

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号
特許第4871018号
(P4871018)

(45) 発行日 平成24年2月8日(2012.2.8)

(24) 登録日 平成23年11月25日(2011.11.25)

(51) Int.Cl.

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

F I

A 6 3 F 7/02 3 O 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 O

請求項の数 3 (全 112 頁)

(21) 出願番号	特願2006-127129 (P2006-127129)	(73) 特許権者	000148922
(22) 出願日	平成18年4月29日 (2006.4.29)		株式会社大一商会
(65) 公開番号	特開2007-296149 (P2007-296149A)		愛知県北名古屋市沖村西ノ川1番地
(43) 公開日	平成19年11月15日 (2007.11.15)	(74) 代理人	100128923
審査請求日	平成21年4月30日 (2009.4.30)		弁理士 納谷 洋弘
		(72) 発明者	市原 高明
			愛知県北名古屋市沖村西ノ川1番地 株式
			会社大一商会内
		(72) 発明者	坪井 睦
			愛知県北名古屋市沖村西ノ川1番地 株式
			会社大一商会内
		審査官	清水 徹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域、及び少なくとも該遊技領域内で前後方向に視認可能な透過部を有した遊技盤と、

前記遊技盤の前記遊技領域内に配置される始動口と、

前記始動口への遊技媒体の受入れに基づいて所定の抽選を行う抽選手段と、

少なくとも前記抽選手段による前記抽選の結果に応じて所定の演出画像が表示されうるとともに、前記遊技盤の前記透過部を通して前記所定の演出画像を遊技者から視認可能となるように配置された演出表示手段と、

前記演出表示手段の上側で前記始動口とは異なる位置に配置され、前記抽選手段による抽選結果に応じて遊技媒体の受入れが可能となる受入口と、

前記受入口に受入れられた遊技媒体を検出する受入検出手段と、

少なくとも前記受入検出手段による遊技媒体の検出、及び前記抽選手段による前記抽選の結果に応じて所定の特典を付与する特典付与手段と、

前記演出表示手段の左右何れか一方に配置され上下方向に延びる軸芯周りに回転可能とされると共に回転される方向に少なくとも二つの空間が形成されるように分割する隔壁部を有する役物回転体本体、

前記役物回転体本体の前記隔壁部によって回転される方向に分割された一方に配置され前記受入検出手段により検出された遊技媒体が流通可能な流通空間、

前記流通空間とは前記隔壁部を挟んで反対側に配置される発光装飾体、

10

20

前記流通空間から遊技媒体の排出が可能とされ互いに異なる位置に配置された第一排出口と第二排出口とからなる排出口、及び

前記排出口の前記第一排出口と前記第二排出口とうちの何れかに遊技媒体を前記抽選手段の前記抽選結果に応じて振分ける振分手段、

を少なくとも有し、遊技制御に影響を与えることなく遊技媒体を流通させて前記遊技領域外へ排出する特別役物と、

前記特別役物を、少なくとも前記抽選手段による前記抽選の結果に応じて、遊技者から前記発光装飾体が視認可能な状態から前記流通空間が視認可能な状態に回転移動させる特別役物移動手段と、

少なくとも前記演出表示手段、前記特別役物及び前記特別役物移動手段を、前記遊技盤の前記透過部を通して遊技者から視認可能となるように前記遊技盤の後側に支持する枠状の支持部材と、

前記遊技盤の前記遊技領域内に打ち込まれた遊技媒体を左右方向に転動可能なステージを少なくとも有し、前記特別役物の一部を覆うように前記遊技盤の前面側に配置される枠状のセンター役物と

を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記特別役物と前記センター役物との間に配置され、前記特別役物の外周を閉鎖して前記遊技領域と前記特別役物の前記流通空間との間で遊技媒体が流通するのを防止すると共に、前記センター役物によって隠蔽される位置に配置され外部から前記特別役物を手動で回転可能とするための切欠き部を有する閉鎖部材をさらに備える

請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記閉鎖部材は、

遊技媒体が通過不能な大きさとされ、前記流通空間内で遊技媒体が詰った際に外部から遊技媒体の詰りを解消させるためのスリットをさらに有する

請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ぱちんこ遊技機（一般的に「パチンコ機」とも称する）や回胴式遊技機（一般的に「パチスロ機」とも称する）等の遊技機に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来の遊技機として、遊技領域の適宜位置に遊技球が入球可能な始動口の上方に、遊技球を転動させることのできるステージを備えた役物を配置すると共に、始動口への入球を契機として所定の抽選を行い、大当たり等が抽選されると所定のパターンで大入賞口を開閉させて遊技者に有利な有利遊技状態を発生させるものが知られている（例えば、引用文献 1 及び 2）。この遊技機では、ステージ上で遊技球を左右方向に転動させた後に、始動口の直上でステージから遊技球が流下すると、始動口に入球する確率が高くなるようになっており、始動口の直上でステージから遊技球が流下するか否かを期待させ、ステージ上を左右方向に転動する遊技球の動きを楽しませるようになっている。

【0003】

また、従来の遊技機として、遊技領域内の適宜位置に遊技球が入球可能な始動口と、内部に V 入賞口を有した役物とを備え、始動口に入球すると役物入賞口が所定時間開閉し、その間に役物入賞口から役物内に遊技球を入賞させた上で、役物内の V 入賞口に遊技球が入賞すると、所定のパターンで役物入賞口を開閉させて有利遊技状態を発生させるものも知られている（例えば、特許文献 3）。この遊技機では、役物内に遊技球の流路を振分ける振分部材が備えられており、振分部材によって遊技球が V 入賞口に振分けられるか否かで遊技を楽しませるようになっている。

【 0 0 0 4 】

【特許文献 1】特開 2 0 0 4 - 0 5 7 6 5 5 号公報

【特許文献 2】特開 2 0 0 4 - 1 4 7 9 0 0 号公報

【特許文献 3】特開 2 0 0 3 - 2 9 0 4 8 9 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 5 】

しかしながら、従来の遊技機では、始動口や V 入賞口等に受入れられる前の遊技媒体をステージ上や役物内で転動させてその動きによって楽しませることができものの、遊技媒体が始動口、大入賞口、V 入賞口等に受入れられてしまうと、遊技盤の裏側を通して遊技領域外へ排出されるため遊技者から見えなくなり、遊技媒体の動きを楽しむことができなかった。

10

【 0 0 0 6 】

また、従来の遊技機では、始動口を狙った遊技や、有利遊技状態の発生による大入賞口や役物入賞口等を狙った遊技では、遊技媒体の打ち込み操作が単調なものとなり、遊技者によっては、飽きて興趣を低下させてしまう恐れがあった。そのため、演出表示装置に所定の演出画像を表示することで遊技者を楽しませて、興趣が低下するのを防止するようにしているが、遊技者によっては演出画像を見慣れることで演出画像に飽きてしまい興趣を低下させてしまう恐れがある。

【 0 0 0 7 】

20

そこで、本発明は、上記の実状に鑑み、遊技媒体の動きを楽しむことで、遊技に飽き難くして興趣が低下するのを防止することができる遊技機の提供を課題とするものである。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 8 】

手段 1：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域、及び少なくとも該遊技領域内で前後方向に視認可能な透過部を有した遊技盤と、

前記遊技盤の前記遊技領域内に配置される始動口と、

前記始動口への遊技媒体の受入れに基づいて所定の抽選を行う抽選手段と、

30

少なくとも前記抽選手段による前記抽選の結果に応じて所定の演出画像が表示されうるとともに、前記遊技盤の前記透過部を通して前記所定の演出画像を遊技者から視認可能となるように配置された演出表示手段と、

前記演出表示手段の上側で前記始動口とは異なる位置に配置され、前記抽選手段による抽選結果に応じて遊技媒体の受入れが可能となる受入口と、

前記受入口に受入れられた遊技媒体を検出する受入検出手段と、

少なくとも前記受入検出手段による遊技媒体の検出、及び前記抽選手段による前記抽選の結果に応じて所定の特典を付与する特典付与手段と、

前記演出表示手段の左右何れか一方に配置され上下方向に延びる軸芯周りに回転可能とされると共に回転される方向に少なくとも二つの空間が形成されるように分割する隔壁部を有する役物回転体本体、

40

前記役物回転体本体の前記隔壁部によって回転される方向に分割された一方に配置され前記受入検出手段により検出された遊技媒体が流通可能な流通空間、

前記流通空間とは前記隔壁部を挟んで反対側に配置される発光装飾体、

前記流通空間から遊技媒体の排出が可能とされ互いに異なる位置に配置された第一排出口と第二排出口とからなる排出口、及び

前記排出口の前記第一排出口と前記第二排出口とうちの何れかに遊技媒体を前記抽選手段の前記抽選結果に応じて振分ける振分手段、

を少なくとも有し、遊技制御に影響を与えることなく遊技媒体を流通させて前記遊技領域外へ排出する特別役物と、

50

前記特別役物を、少なくとも前記抽選手段による前記抽選の結果に応じて、遊技者から前記発光装飾体が視認可能な状態から前記流通空間が視認可能な状態に回転移動させる特別役物移動手段と、

少なくとも前記演出表示手段、前記特別役物及び前記特別役物移動手段を、前記遊技盤の前記透過部を通して遊技者から視認可能となるように前記遊技盤の後側に支持する枠状の支持部材と、

前記遊技盤の前記遊技領域内に打ち込まれた遊技媒体を左右方向に回転可能なステージを少なくとも有し、前記特別役物の一部を覆うように前記遊技盤の前面側に配置される枠状のセンター役物と

を備える」ことを特徴とする遊技機。

10

【0009】

ここで、「遊技盤」としては、「所定厚さの部材からなり透過部が前後方向に貫通する貫通孔とされたもの」、「一部、或いは、全体が透明部材からなり、遊技領域内の所定範囲を透過部としたもの」、等が挙げられる。

【0010】

また、「始動口」としては、「常時遊技媒体が受入可能とされた形態のもので、受入れた遊技媒体を遊技領域に戻すことなく遊技領域外へ排出するものや、受入れた遊技媒体を再び遊技領域へ戻すもの（例えば、スルーチャッカー）」、「チャッカー等による遊技媒体の検出に基づいて開閉片が開いて遊技媒体の受入が可能となるもの」、「チャッカー等による遊技媒体の検出に基づいて開閉片の開度を変化させて遊技媒体の受入確率を変化させるもの」、等が挙げられる。なお、始動口をセンター役物のステージの下方に配置してステージの所定位置から遊技媒体が放出されると始動口への受入確率が高くなるようにしても良く、これにより、ステージ上を左右方向に回転する遊技媒体が始動口に受入れられるか否かで遊技者の期待感を高めて、興味を高められるものとすることができる。

20

【0011】

また、「演出表示手段」としては、「液晶ディスプレイ（LCD）」、「CRT」、「ドットマトリックス」、「発光ダイオード（LED）」、「7セグメントLED」、「エレクトロルミネセンス（EL）」、「蛍光表示管」、「白熱ランプ」、「プラズマディスプレイ（PDP）」、「レーザーディスプレイ」、等が挙げられる。

【0012】

更に、「演出画像」とは、キャラクタ、背景及び図柄等を静止画や動画として、或る動きをさせたり、ストーリー性のある表示をさせたりした画像のことである。なお、「キャラクタ」とは、図柄列及び背景以外の画像を意味しており、小説・漫画・映画・演劇などの登場人物、動物、植物、又は小道具類、もしくはこの遊技機のために作成された仮想上の人物、動物、植物、又は小道具類等を挙げられる。また、「図柄」とは、数字、記号、幾何学的な模様、あるいはそれらと絵柄との組み合わせ等からなる演出用の図柄である。

30

【0013】

また、「受入口」としては、「受入れられることで所定の抽選が行われたり、受入れが困難な状態とされている役物入賞口や入賞口（例えば、電動チューリップ）への受入れを可能としたりする始動口」、「有利遊技状態の発生により所定パターンで開閉する大入賞口や役物入賞口」、等を例示することができる。

40

【0014】

また、「特典付与手段」としては、「所定数の遊技媒体を払い出すもの（例えば、払出手段）」、「受入れられる所定数の遊技媒体を払出す受入口を所定のパターンで遊技媒体の受入可能と受入不能とを繰り返させるもの」、「所定数の遊技媒体が払い出される遊技媒体の受入口への遊技媒体が進入する確率を高くしたり、受入口を所定条件の基で開放したりするもの」、等が挙げられる。

【0015】

更に、「回転される方向に少なくとも二つの空間が形成されるように分割」とは、等分割であっても良いし、非等分割であっても良く、二つ、或いは、それ以上に分割しても良

50

い。また、分割される一方（流通空間が配置される側）の角度範囲としては、30～210度の範囲内、望ましくは120～180度の範囲内であり、これよりも範囲が狭いと流通空間が狭くなり遊技媒体の動きを楽しませられ難くなる恐れがあり、これよりも範囲が広いと回転させて流通空間を視認不能とするのが困難となるためである。

【0016】

また、「発光装飾体」としては、「透光性を有した部材からなり、ロゴマークや文字等（静止画像を含む）が発光するもの」、「所定の動画を発光表示させるもの」、等が挙げられる。

【0017】

また、「振分手段」としては、「遊技媒体が転動可能な樋状に形成され、シーソーのように行ったり来たり回転させることで何れか一方の端部から遊技媒体を放出して振分けるもの（例えば、演出樋）」、「分岐する遊技媒体の流路を切り替えることで振分けるもの」、「異なる受入口に夫々対応し、遊技媒体を収容又は通過可能な溝若しくは孔を周方向に複数有した回転体からなるもの」、「異なる受入口を適宜（例えば列状）配置し、受入口の何れか一つに遊技媒体を案内可能な案内部材を設け、受入口と案内部材とをその配列方向に互いに相対移動させるようにしたもの」、等が挙げられる。

【0018】

更に、「遊技制御」とは、「遊技媒体の払出しに関する制御」、「抽選手段による抽選に関する制御」、「始動口、入賞口（大入賞口を含む）、役物入賞口等を開閉するための開閉片の開閉に関する制御」、等が挙げられる。

【0019】

また、「支持部材」としては、「遊技盤の前後方向に貫通する透過部（貫通孔）の外周を覆うように枠状に形成され遊技盤の後面側に取付支持されるもの（例えば、裏箱）」、が挙げられる。

【0020】

更に、「センター役物」としては、ステージを有したものであれば良く、そのステージとして、複数のステージが前後方向に複数配置されたものや、左右方向に分割して複数配置されたものとしても良い。また、ステージの所定位置に始動口が配置されたものや、始動口に誘導するための誘導路が備えられたものとしても良く、これにより、ステージと始動口が関連付けられて、ステージ上で転動する遊技媒体が始動口に受入れられるか否かで遊技者の期待感を高めて興趣の高められるものとすることができる。更に、ステージへ遊技媒体を誘導するワープ口を少なくとも一つ備えることが望ましく、これにより、センター役物外からステージへ遊技媒体を供給することができる。また、外周に発光装飾するための装飾体を備えても良く、略全周に亘る枠状装飾体を備えることが望ましい。

【0021】

ところで、特別役物をスライド可能に構成し、特別役物移動手段によって特別役物をスライドさせることで、流通空間を視認可能としたり視認不能としたりすることが考えられる。しかしながら、この場合、特別役物のスライド範囲内に、特別役物が視認できる露出部と、特別役物を視認できない隠蔽部（隔壁部）とを設け、露出部と隠蔽部との間をスライドさせることとなるので、露出部と隠蔽部とを合せた領域の広さが、特別役物の占める領域の少なくとも2倍の広さが必要となり、遊技機に備える際の制約が大きくなる問題がある。

【0022】

また、特別役物を回転するように構成した場合に、その回転軸の延びる方向を遊技機に対して左右方向に延びるように配置した場合、特別役物の径を大きくすることで流通空間における上下の落差を大きくすることができるものの、特別役物の前後方向の厚さも厚くなるため、ホール等で遊技機を設置するための島設備等の関係上、特別役物の径を必要以上に大きくすることが困難である。そこで、特別役物を軸方向に延ばすことで流通空間を広くすることが考えられる。しかしながら、流通空間が左右方向に長くなるため、そこで遊技媒体の動きは左右方向の転動が主体となり、従来の遊技機に備えられているステー

10

20

30

40

50

ジでの遊技媒体の転動との差別化が難しくなり、遊技者に対する訴求効果が低下する恐れがある。

【 0 0 2 3 】

更に、特別役物における回転軸の延びる方向を、遊技機に対して前後方向に延びるように配置した場合、回転軸を上下方向や左右方向に配置した場合と比較して特別役物の前側と後側を回転により切り替えることができず、所定角度範囲内に配置された流通空間を含む全ての角度範囲内（即ち、360度）が視認可能となる。そのため、特別役物における前側の所定範囲を隠蔽部材によって隠蔽するようにし、特別役物の流通空間が隠蔽部材の後側に位置すると流通空間が視認不能となり、特別役物と共に流通空間を回転させて隠蔽部材の無い範囲に移動させると視認可能となるような構成とする必要がある。つまり、特別役物の設置に係るスペースは、特別役物の大きさのみで済むものの、正面視において特別役物の略半分を少なくとも遮蔽部材で覆わなければならない、視認可能となる流通空間が小さくなる問題がある。

10

【 0 0 2 4 】

手段1の構成によると、遊技媒体が打ち込まれる遊技領域及び前後方向に視認可能な透過部を有した遊技盤と、遊技領域内に配置された始動口と、始動口への遊技媒体の受入れに基づいて抽選を行う抽選手段と、抽選結果に応じて所定の演出画像を表示可能な演出表示手段と、演出表示手段の上側に配置され抽選結果に応じて遊技媒体の受入れが可能となる受入口と、受入口に受入れられた遊技媒体を検出する受入検出手段と、抽選結果や受入検出手段の検出に基づいて所定の特典を付与する特典付与手段と、演出表示手段の左右何れか一方に配置され回転される方向に少なくとも二つの空間が形成されるように分割する隔壁部を有し上下方向に延びる軸芯周りに回転可能とされた役物回転体本体、役物回転体本体の隔壁部によって分割された一方の空間に配置され受入検出手段によって検出された遊技媒体が流通可能な流通空間、流通空間とは隔壁部を挟んで反対側に配置される発光装飾体、流通空間から遊技媒体を排出する第一排出口及び第二排出口からなる排出口、第一排出口又は第二排出口の何れかに抽選結果に応じて遊技媒体を振分ける振分手段、を有し遊技制御に影響を与えることなく遊技領域外へ遊技媒体を排出する特別役物と、抽選結果に応じて特別役物の発光装飾体が視認可能な状態から流通空間が視認可能な状態に回転移動させる特別役物移動手段と、演出表示手段及び特別役物を透過部を通して視認可能となるように遊技盤の後側に支持すると共に特別役物移動手段を遊技盤の後側に支持する枠状の支持部材と、左右方向に遊技媒体が転動可能なステージを有し遊技盤の前面側で特別役物に一部を覆うように配置される枠状のセンター役物と、を備えたものである。

20

30

【 0 0 2 5 】

これにより、遊技領域内に打ち込まれた遊技媒体がセンター役物のステージ上を左右方向に転動しその遊技媒体の動きを楽しませられ、遊技媒体が始動口に受入れられると抽選が行われると共に、演出表示手段に抽選結果に応じて所定の演出画像（例えば、所定の図柄が変動表示された後に抽選結果を示唆するように図柄が停止表示されるような演出画像）が表示されて抽選結果に対する期待感を高められると同時に演出画像を楽しませる。そして、所定の抽選結果が抽選されると、受入口への遊技媒体の受入れが可能となり、受入口を狙った遊技媒体の打ち込み操作が行われると共に、受入口への遊技媒体の受入れにより所定の特典（例えば、所定数の遊技媒体の払出し）が付与されて遊技者の興趣が高められる。一方、所定の抽選結果が抽選されると、演出表示手段の横に配置された特別役物が回転移動して発光装飾体が視認可能な状態から流通空間が視認可能な状態となり、受入口に受入れられた遊技媒体が特別役物の流通空間内に進入して流通空間内で転動する遊技媒体の動きを楽しませると共に、抽選結果に応じて流通空間内の振分手段により何れの排出口に振分けられるかで楽しませた後に、何れかの排出口から遊技領域外へ遊技媒体が排出されるような遊技とすることができ、演出画像だけでなく、遊技媒体の動きも楽しませることで、遊技に飽き難くして興趣が低下するのを防止することができる。

40

【 0 0 2 6 】

50

また、従来では受入口に受入れられて遊技領域から排出される遊技媒体を視認することができなかつたが、受入口に受入れられた遊技媒体を特別役物の流通空間内において視認することができるので、これまでにない遊技機とすることができ、遊技者の関心を引き付けて興趣の高められるものとする事ができる。なお、受入口と特別役物との間は遊技媒体を視認不能とし、遊技媒体が受入口に受入れられてから特別役物に到達するまでの間、演出表示手段に遊技媒体が所定の流路を転動する演出画像を表示させて、遊技者を楽しませるようにしても良い。

【0027】

更に、抽選結果によって、特別役物が回転移動してその流通空間が視認可能となるので、流通空間に遊技者の関心を引き付けて流通空間内に遊技媒体を流通させたくことができ、流通空間内に遊技媒体を流通させるために、始動口を狙った打ち込み操作をさせて、興趣が低下するのを抑制することができる。

10

【0028】

また、特別役物移動手段によって、遊技媒体の流路を有した所定の大きさの流通空間を有した特別役物が遊技領域内を移動するので、流通空間が目立つようになり、その存在を遊技者に強くアピールすることが可能となり、流通空間に注目させて興味を抱かせることができ、興趣を高められるものとする事ができる。

【0029】

更に、役物回転体本体の隔壁部で分割された一方に流通空間が配置されており、特別役物移動手段によって役物回転体本体を回転させるだけで、容易に流通空間を視認可能としたり視認不能としたりすることができるので、特別役物の占める広さの領域のみで流通空間を出没させることが可能となり、特別役物の設置に係る領域を可及的に狭くすることができ、遊技機に備え易くすることができる。

20

【0030】

また、役物回転体本体の隔壁部で分割された一方に流通空間が他方に発光装飾体が夫々配置されており、流通空間が配置された側とは反対側を遊技者に向けると発光装飾体によって流通空間を視認不能とすることができると共に発光装飾体を視認可能とすることができ、簡単な構成で流通空間や発光装飾体を視認可能としたり視認不能としたりすることができると共に、特別役物を正面視した時の略全ての領域を流通空間や発光装飾体とすることができ、流通空間や発光装飾体を可及的に大きくして遊技媒体の動きをより楽しませられるものとする事ができる。

30

【0031】

また、特別役物に、隔壁部を挟んで流通空間の反対側に発光装飾体を配置しているので、流通空間が視認不能の時は、発光装飾体が遊技者から視認可能となり、流通空間が視認不能の際に、何も無く殺風景になって見栄えが悪くなるのを防止して、興趣が低下するのを抑制することができる。また、通常時は、発光装飾体が視認可能となっているので、他の装飾体と同化させることができ、特別役物を回転移動させて流通空間を視認可能とした時のギャップを大きくすることができ、流通空間が視認可能となった時に、流通空間に対する関心度を高めることができ、流通空間での演出を楽しませて興趣の高められるものとする事ができる。

40

【0032】

更に、特別役物を軸方向、つまり、上下方向に延ばして流通空間を広くすることができるので、流通空間内での遊技媒体の落差を大きくすることができ、センター役物のステージによる左右方向の遊技媒体の動きとは大きく異なる上下方向の動きをさせることができ、センター役物での遊技媒体の動きや、特別役物での遊技媒体の動き等、種々の動きを楽しむことが可能となり、従来の遊技機との差別化を計る事ができ、遊技者に対する訴求効果を高めることができる。

【0033】

なお、特別役物を軸線周りに回転可能としているので、特別役物をその回転軸を中心とした円筒形状とすることが望ましく、これにより、特別役物の容積を可及的に広くするこ

50

とができる。つまり、特別役物内の流通空間を可及的に広くすることができ、遊技媒体の動きをより多様的に楽しませられるものとすることができる。

【 0 0 3 4 】

ところで、流通空間内に振分手段を備えて複数の流路に振分けるようにした場合、第二種の遊技機のように役物内における振分手段による遊技媒体の振分が遊技制御と関係付けられていると振分手段による振分確率のバラツキを所定の有意水準以内とする必要があり、振分手段の構造的な設計や、振分手段の制御を厳密にして遊技媒体の動きを規定しなければならず、設計や制御の制約が多くなると共に具現化するためのコストが増加する問題がある。

【 0 0 3 5 】

しかしながら、本手段によると、遊技制御に影響を与えることなく遊技媒体を流通空間内に流通させて遊技領域外へ排出するようにしている、つまり、流通空間内を流通する遊技媒体では遊技制御に影響を与えないようにしているので、流通空間内を流通する遊技媒体の動きを厳密に規定する必要がなく、流通空間内における遊技媒体の流通（転動演出）の設計自由度を高くすることができ、より遊技媒体の動きを楽しませられるものとすることができると共に、具現化するためのコストを抑制することができる。

【 0 0 3 6 】

詳述すると、流通空間に供給された遊技媒体は、以後遊技制御に関わらない、所謂、「死球」となるので、振分手段により厳密な確率で遊技媒体を振分ける必要がなく、振分手段にかかるコストを低減させることができる。これにより、仮に、目的としない排出口へ振分けられても、流通空間に供給される前の受入検出手段による検出や抽選手段の抽選結果等によって既に所定の特典が付与されるのが決定されているので、遊技者に不利な状況となることは無く、逆に目的と異なる排出口に振分けられて、意図しない特典が付与されることで、遊技者を驚かせて、興趣の高められる効果を期待することができる。

【 0 0 3 7 】

なお、特別役物の流通空間に供給された遊技媒体が、その流通空間から排出されてから、特典付与手段により所定の特典を付与すると共に、付与される特典によって異なる排出口に振分けられるようにすることが望ましく、これにより、振分手段によって所定の排出口へ振分けられると、その排出口に応じた特典が付与されるので、あたかも、流通空間内での振分手段による振分が、遊技制御に影響を与えているかのように錯覚させることができる。これにより、流通空間内の遊技媒体が振分手段によって何れの排出口へ振分けられるかで、遊技者の関心をより高められると共に、振分手段により振分けられる遊技媒体の動きによってハラハラ、ドキドキさせて興趣の高められるものとするすることができる。

【 0 0 3 8 】

また、抽選結果によって、特典として特典付与手段により有利遊技状態を発生させ、その際に、流通空間が視認可能となるように特別役物を移動させると共に、受入口を有利遊技状態発生手段によって開閉動作する大入賞口や役物入賞口等とした場合、有利遊技状態の発生中は入賞口等を狙った打ち込み操作が単調な遊技となっても、受入口としての大入賞口等に遊技媒体が受入れられると、流通空間を流通して遊技領域外に排出されるのを視認することができ、流通空間内を流通する遊技媒体の動きを楽しませて興趣が低下するのを防止することができる。また、その際に、「確変」、「時短」、「大当たり」、「小当たり」、及び「ラウンド数」等が、あたかも振分手段の振分けにより決定されるような演出を行うことが望ましく、より流通空間に注目させて遊技者を楽しませることができる。

【 0 0 3 9 】

また、流通空間内の遊技媒体を振分手段によって、第一排出口又は第二排出口の何れかに振分けることができるので、遊技媒体が何れの排出口に振分けられるかで、遊技者をハラハラ、ドキドキさせて、興趣が低下するのを抑制することができる。また、第一排出口と第二排出口とで異なる特典（例えば、払出す遊技媒体の数が異なる、発生する有利遊技状態の種類が異なる、等）を付与するようにした場合、遊技者は、より有利となる排出口側に遊技媒体が振分けられるのを願い、振分手段による遊技媒体の動きにより注目させる

10

20

30

40

50

ことができ、興趣の高められるものとすることができる。

【 0 0 4 0 】

ところで、遊技領域内に演出表示手段を備え、その上側又は下側に特別役物を配置した場合、遊技領域との関係から、蓋然的に左右方向に長い形態となり、特別役物内の流通空間も左右方向に長いものとなる。しかしながら、この場合、遊技媒体の動きは左右方向の転動が主体となり、従来の遊技機に備えられているステージでの遊技媒体の転動との差別化が難しくなり、遊技者に対する訴求効果が低下する恐れがある。

【 0 0 4 1 】

しかしながら、本手段によると、演出表示手段の左右何れか一方に特別役物を配置しているので、演出表示手段の上側や下側に配置した場合と比較して、特別役物を上下方向に長くしたものとなり、流通空間内の落差を大きくして遊技媒体の動きにメリハリを付けることができ、遊技媒体の動きを楽しませられるものとすることができる。

10

【 0 0 4 2 】

また、特別役物の高さを演出表示手段と同じ高さとした場合、特別役物と演出表示手段とが横方向に連続したデザインとすることができ、特別役物或いは演出表示手段が横に広がったように見せて、遊技者の関心を引き付けることができる。つまり、特別役物を回転移動させて流通空間を視認可能とすることで、流通空間による演出領域と、演出表示手段による演出領域とが同時に視認可能となり、遊技機全体としての演出領域が広がったように見せることができ、遊技者を驚かせると共に関心を引き付けて、飽き難くして興趣が低下するのを抑制できる効果を期待することができる。

20

【 0 0 4 3 】

更に、演出表示手段に、上述の排出口に関する表示の他に、所定の図柄やキャラクタ等を表示させるようにしても良く、例えば、従来の遊技機と同様に、抽選結果の演出表示として、抽選結果を遊技者に示唆する前に、図柄等を変動表示させて何れの抽選結果が示唆されるのかを期待させるようにしても良く、図柄等の変動によって遊技者をハラハラ、ドキドキさせて興趣の高められるものとすることができる。

【 0 0 4 4 】

なお、特別役物を演出表示手段の左右に配置しても良く、上述と同様の作用効果を奏することができると共に、夫々の流通空間を視認可能に回転移動させると、演出表示手段が左右に広がったように見せることができ、遊技者を楽しませて興趣が低下するのを抑制することができる。

30

【 0 0 4 5 】

また、遊技媒体が転動可能なステージを有したセンター役物が備えられているので、従来の遊技機と同様の遊技をさせることが可能となり、従来の遊技機に慣れた遊技者に対して、違和感が生じるのを可及的に抑制して、本発明の遊技機を選択し易くすることができる。なお、ステージの下方に始動口を配置するようにした場合、ステージ上を左右方向に転動する遊技媒体が、ステージの所定位置から始動口に向かって放出されるか否かで、遊技者の期待感を高めることができ、興趣の高められるものとすることができる。

【 0 0 4 6 】

ところで、演出表示手段を備えた場合、通常、遊技領域の略中央に演出表示手段が配置されており、演出表示手段の上側に受入口を配置すると、遊技者の操作により遊技領域の上方に遊技媒体が打ち込まれるため、その受入口に遊技媒体が受入れられると、遊技領域を流下する遊技媒体が早い段階で遊技領域から姿を消して外部へ排出されてしまうこととなるので、遊技媒体の動きを最後（遊技領域の下端に至る）まで見ることができず、遊技者によっては、損した気分となって興趣を低下させてしまう恐れがある。そこで、受入口を、演出表示手段の下側に配置することが考えられるが、この場合、特別役物における流通空間の上下方向の大きさは、蓋然的に小さくなり、流通空間が狭くなるので、流通空間において遊技者の興趣が高められるような遊技媒体の動きをさせることが難しくなる恐れがある。

40

【 0 0 4 7 】

50

また、演出表示手段の横側に受入口を配置した場合、受入口が遊技領域の左右何れかに偏った位置に配置され、受入口が配置された側へ遊技媒体の打ち込み操作がなされることとなり、遊技領域全体を使った遊技をさせることが困難となると共に、狭い領域で遊技をさせることとなり遊技媒体の動きの変化が乏しくなり、遊技者の興趣を低下させてしまう恐れがある。

【 0 0 4 8 】

しかしながら、本手段によると、演出表示手段の上側に受入口を配置し、遊技領域に打ち込まれた遊技媒体が、早い段階で受入口に受入れられても、特別役物の流通空間内を流通することで、流通空間から排出されるまでその動きを見せて楽しませることができ、損した気分となって興趣が低下するのを抑制することができる。

10

【 0 0 4 9 】

また、受入口が遊技領域の上方に配置されているので、流通空間の上下方向の落差を可及的に大きくすることができると共に、流通空間を広くすることができるので、流通空間内で遊技媒体に種々の動きをさせることができ、遊技者を楽しませて興趣の高められるものとすることができる。

【 0 0 5 0 】

なお、受入口を遊技領域の左右方向の略中心に配置することが望ましく、これにより、演出表示手段の横側に配置された場合と比較して、遊技領域の中心を狙った打ち込み操作をさせることができ、打ち込まれた遊技媒体が遊技領域の左右に分散するように流下して、遊技媒体が遊技領域の全体に流下するようになるので、遊技領域の広い範囲で遊技媒体の動きを楽しませることができ、飽き難くして遊技者の興趣が低下するのを防止することができる。

20

【 0 0 5 1 】

また、棒状の支持部材に、演出表示手段、特別役物、特別役物移動手段等を支持するようにしているので、支持部材によってそれらを所定位置に支持した上で遊技盤に固定することができると共に、それらをユニット化して組立作業等を簡略化させることができる。

【 0 0 5 2 】

手段 2：手段 1 の構成において、

「前記特別役物と前記センター役物との間に配置され、前記特別役物の外周を閉鎖して前記遊技領域と前記特別役物の前記流通空間との間で遊技媒体が流通するのを防止すると共に、前記センター役物によって隠蔽される位置に配置され外部から前記特別役物を手動で回転可能とするための切欠き部を有した閉鎖部材を更に具備する」ものであることを特徴とする。

30

【 0 0 5 3 】

ここで、「閉鎖部材」としては、「特別役物の外周に略沿った円筒形状のもの」、「役物回転体本体の外周に略沿った部分円筒面形状の円筒部と、円筒部の周方向一端側に配置され左右方向外側に延びる平坦部と、平坦部とは反対側の円筒部の周方向他端側でセンター役物における装飾体の一部の後方に配置され前後方向外側に延びる延出部とを備えたもの」、「平板状のもの」、等が挙げられ、透明部材によって形成されたものとするのが望ましい。

40

【 0 0 5 4 】

ところで、遊技機を組み立てる際に、支持部材により特別役物を支持させた上で、特別役物を覆うように閉鎖部材を取付けた際に、特別役物の回転位置が、所定の位置に位置していない場合があり、その場合、特別役物移動手段に通電して、特別役物を回転させなければならない、手間がかかるものとなる問題がある。

【 0 0 5 5 】

また、遊技機を組み立てる際に、支持部材により特別役物を支持させた上で、特別役物を覆うように閉鎖部材を取付けると、その後の作業では、特別役物移動手段により特別役物を回転移動させる以外には、特別役物を回転させることができなくなるので、特別役物が支持部材に回転可能に支持されているか否かをチェックすることができなかつた。その

50

ため、組立工程の最終段階あたりに進むまで、不具合を発見することができず、無駄な作業が行われてしまう問題がある。

【 0 0 5 6 】

手段 2 の構成によると、特別役物とセンター役物との間に、センター役物によって隠蔽され外部から手動で特別役物を回転させるための切欠き部を有した閉鎖部材を備えたものである。

【 0 0 5 7 】

これにより、遊技媒体が受入口以外から流通空間に進入したり、排出口以外から流通空間内の遊技媒体が排出されたりするのを防止することができる。また、切欠き部を通して手動で特別役物を回転させることができるので、組立て作業時に特別役物を所定の位置に簡単に位置させることができると共に、特別役物が回転可能に支持されているか否かのチェックを早期に行うことができ、無駄な作業が行われるのを防止することができる。

10

【 0 0 5 8 】

また、切欠き部がセンター役物によって隠蔽される位置に配置されているので、組立て後は特別役物を手動で回転させることができなくなり、不正に特別役物が回転させられるのを防止することができる。

【 0 0 5 9 】

手段 3 : 手段 2 の構成において、

「前記閉鎖部材は、

遊技媒体が通過不能な大きさとされ、前記流通空間内で遊技媒体が詰った際に外部から遊技媒体の詰りを解消させるためのスリットを更に有している」ものであることを特徴とする。

20

【 0 0 6 0 】

ところで、特別役物を閉鎖部材で覆った場合、遊技中に流通空間内で遊技媒体が詰ると、遊技機を揺すったり叩いたりしてその詰まりを解消させようとする恐れがあり、遊技機の破損の原因となったり、遊技機を設置した島設備が揺れて他の遊技機で遊技する遊技者に不快感を与えて興趣を低下させてしまう原因となったりする恐れがある。

【 0 0 6 1 】

また、流通空間内で遊技媒体が詰ると、一旦、遊技機から遊技盤を取外した上で、遊技盤から支持部材や特別役物等を分解する必要がある、大掛かりな作業が必要となって、手間がかかると共に、遊技者だけでなく、遊技機を設置するホール側にも負担をかけてしまう恐れがある。

30

【 0 0 6 2 】

手段 3 の構成によると、閉鎖部材の所定位置に貫通するスリットを備えたものである。これにより、そのスリットを介して、例えば、細長い棒を流通空間内に挿入して、その棒により遊技媒体の詰まりを簡単に解消させることができる。

【 0 0 6 3 】

また、遊技媒体の詰まりを簡単に解消させることができるので、遊技機を揺すったり叩いたりする必要がなく、遊技機の破損の原因となったり、遊技機を設置した島設備が揺れて他の遊技機で遊技する遊技者に不快感を与えて興趣を低下させてしまう原因となったりするのを防止することができる。

40

【 0 0 6 4 】

なお、流通空間内に演出樋や誘導樋等を備えるようにした場合は、それら演出樋や誘導樋と対応した位置にスリットを備えるようにすることが望ましく、これにより、何れの樋で遊技媒体が詰っても、その詰まりを解消させることができる。

【 0 0 6 5 】

手段 4 : 手段 1 から手段 3 までの何れか一つの構成において、

「前記演出表示手段は、外周の所定位置に配置された着脱係止部と、及び該着脱係止部が配置された側とは反対側に配置された着脱突起とを備え、且つ、

前記支持部材は、前記演出表示手段の前記着脱係止部と対応する位置に配置され該着脱

50

係止部を着脱自在に保持する着脱機構と、及び前記演出表示手段の前記着脱突起と対応する位置に配置され該着脱突起を収容可能とし後方に開放された着脱溝とを備え、

前記支持部材の後側に後方から固定され、前記着脱溝内に収容された前記演出表示手段の着脱突起が後方へ移動するのを防止し、識別可能に着色された固定部材を更に具備する」ものであることを特徴とする。

【 0 0 6 6 】

ところで、従来の遊技機では、演出表示手段に不具合が発生した等、何らかの理由により演出表示手段を遊技機から取り外す必要が生じた場合、演出表示手段は、ビスを用いて遊技盤の裏側に、直接又は棒状の支持部材を介して固定されているので、まず、遊技機から遊技盤を取り外した上で、演出表示手段を固定するビスを外して、演出表示手段の交換を行っており演出表示手段の取り外しに手間がかかり、長時間に亘って遊技が中断することとなり、遊技者の興味が低下してしまう問題があった。

10

【 0 0 6 7 】

そこで、演出表示手段を所定の着脱機構を用いて遊技盤の後側に固定することで、演出表示手段の着脱を容易にすることが考えられる。しかしながら、着脱機構のみで着脱可能とした場合、遊技媒体の流通による振動や、着脱作業時の閉め忘れ等、何らかの理由により着脱機構での着脱が解除されてしまい、演出表示装置が脱落して遊技を中断せざる負えない事態となり、遊技者に不快感を与えて興気を低下させてしまう恐れがある。また、着脱機構のみで固定した場合、通常、着脱機構では、演出表示手段との間に所定の遊びがあり、その遊びにより、遊技媒体の流通による振動等によって、演出表示手段が微振動することとなり、その微振動により精密電子部品からなる演出表示手段に不具合が発生する恐れがある。

20

【 0 0 6 8 】

これに対して、演出表示手段を固定する際に、一部を所定の固定部材により固定することで、演出表示手段を確実に固定するようにすることが考えられる。しかしながら、この場合、遊技機の後側には種々の部材が固定されており、演出表示手段を交換する作業者が、遊技機の構造にあまり精通していない者の場合、一見しただけでは演出表示装置を固定する固定部材を判別するのが難しく、取り外しに時間がかかってしまう問題がある。また、演出表示手段を取り外す作業者が、メーカー等に電話等で問い合わせた際に、固定部材の位置を伝達し難く、時間のかかるものとなる問題がある。

30

【 0 0 6 9 】

手段4の構成によると、演出表示手段に、外周の所定位置に配置された着脱係止部と、着脱係止部と反対側に配置された着脱突起とを備えさせ、且つ、支持部材に、着脱係止部と対応する位置に着脱係止部を後方から着脱自在に保持する着脱機構と、着脱突起と対応する位置に配置され着脱突起を収容可能な後方に開放された着脱溝とを備えさせ、支持部材の後側に後方から固定され着脱溝に収容された着脱突起が移動するのを防止し識別可能に着色された固定部材を更に備えるようにしたものである。

【 0 0 7 0 】

これにより、着脱機構において着脱係止部の保持を解除すると共に、支持部材から固定部材を外すことで、遊技盤を遊技機から取り外すことなく、遊技盤から演出表示手段を遊技盤の後方へ簡単に取り外すことができるので、遊技機の停止時間を可及的に短くして遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

40

【 0 0 7 1 】

また、固定部材に識別可能な着色が施されているので、演出表示手段を固定する固定部材を簡単に判別することが可能となり、演出表示手段の取り外しにかかる時間を可及的に短縮することができると共に、電話連絡等でも容易に固定部材を指示することができるので、精通していない作業でも容易に交換作業をすることができる。

【 0 0 7 2 】

更に、演出表示手段の固定を着脱機構だけでなく固定部材によっても固定するようにしているため、演出表示手段をガタ付なく確実に固定することができ、遊技媒体の流通等に

50

よる振動によって演出表示手段が微振動するのを防止して、微振動により演出表示手段に不具合が発生するのを防止することができる。

【0073】

なお、固定部材としては、遊技媒体が流通可能な誘導経路を備えたものとしても良いし、単に演出表示手段を固定する機能のみを有したものとしても良い。

【0074】

手段5：手段4の構成において、

「前記着脱機構は、

前記演出表示手段の前記着脱係止部を後方から収容可能な開放部と、

該開放部内に収容された前記着脱係止部が後方に移動するのを防止する装着位置と前記着脱係止部が前記開放部内外へ脱着可能となる開放位置との間でスライド可能な着脱レバーとを備えている」ものであることを特徴とする。

10

【0075】

手段5の構成によると、着脱機構を、着脱係止部を後方から収容可能な開放部と、開放部に収容された着脱係止部が移動不能となる装着位置と移動可能となる開放位置との間でスライド可能な着脱レバーとで構成するようにしたものである。

【0076】

これにより、着脱レバーをスライド操作するだけで、演出表示手段の着脱係止部を簡単に保持したり、開放させたりすることができ、演出表示手段の取り外しにかかる手間を簡略化させて作業時間を可及的に短くすることができる。

20

【0077】

なお、着脱レバーのスライド方向としては、上下方向として下側にスライドさせた時が装着位置となるようにすることが望ましく、これにより、着脱係止部を開放させるには着脱レバーを重力に逆らって上側に上げなければならず、振動等により着脱レバーが開放位置に移動するのを防止して、演出表示手段が勝手に脱落したりするのを防止することができる。

【0078】

手段6：手段1から手段5までの何れか一つの構成において、

「前記受入検出手段によって検出された遊技媒体が通過可能とされ且つ遊技媒体を一つのみ通過可能な大きさとされた落下口が形成されたベース天板部と、

30

該ベース天板部と対向配置されるベース底板部と、

前記ベース天板部と前記ベース底板部の外周を連結し前記特別役物を収納可能な広さで前記落下口と連通する収納空間を形成すると共に遊技媒体が通過可能とされ所定位置に上下方向に離反して配置された第一排出受入口及び第二排出受入口が後側に形成されたベース外周壁部とを備え、

前記収納空間内に前記特別役物を回転可能に支持すると共に前記ベース底板部の下側に前記特別役物移動手段を支持し前記支持部材に固定される役物支持ベースを更に具備し、

前記特別役物の役物回転体本体が、

前記特別役物の回転軸芯を中心とした円盤状で前記流通空間が遊技者から視認可能となる位置に回転移動すると前端部分が前記役物支持ベースの前記落下口と略一致するような周方向に延びる長孔からなり大きさが前記落下口よりも大きく前記流通空間と連通する連通孔が形成された天板部と、

40

該天板部と略同軸芯上で前記隔壁部の下部に配置される円盤状の底板部と、

前記天板部と前記底板部との間に配置され周方向に分割し、前記流通空間が遊技者から視認可能となる位置に回転移動すると前記役物支持ベースの前記第一排出受入口及び前記第二排出受入口と連通可能となり前記演出表示手段と隣接する位置に第一排出口及び第二排出口が形成された前記隔壁部とを備えている」ものであることを特徴とする。

【0079】

ところで、抽選結果に応じて、役物内に配置された遊技媒体が流通する流通空間を遊技者から視認可能又は視認不能となるように回転移動させるようにすることで、流通空間を

50

見せたり隠したりして、流通空間が視認可能となる機会を限定して、流通空間を見飽きてしまうの防止することが考えられる。そして、流通空間が視認不能の時は、流通空間内に遊技媒体が進入しないようにすることが望ましく、流通空間への入口となる部分が、視認不能時には閉状態に、又視認可能時には開状態となるようにする必要がある。その具体的な構成として、例えば、位置が固定された落下口と、流通空間と共に移動し落下口と同じ大きさの連通孔とで構成し、流通空間が視認可能となった時に落下口と連通孔とが一致することで、遊技媒体が流通空間内に進入できるようにすることが考えられる。

【 0 0 8 0 】

しかしながら、この場合、落下口及び連通孔の大きさを遊技媒体より若干大きい程度の大きさとするのが一般的であるので、遊技媒体が連通孔を完全に通過するまでは、遊技媒体を左右或いは前後方向に移動させることができず、流通空間内における遊技媒体が自由に移動できる範囲が狭くなる問題がある。

【 0 0 8 1 】

手段6の構成によると、受入検出手段に検出された遊技媒体が通過可能とされ遊技媒体と略同じ大きさの落下口が形成されたベース天板部と、ベース天板部に対向配置されるベース底板部と、ベース天板部とベース底板部の外周を連結して特別役物を収納可能な収納空間を形成すると共に上下に離反した第一排出受入口及び第二排出受入口が後側に形成されたベース外周壁部とを有し、特別役物と特別役物移動手段とを支持し支持部材に固定される役物支持ベースを更に備え、特別役物の役物回転体本体に、流通空間が視認可能な位置に移動した状態で落下口と略一致すると共に周方向に延びる長孔からなり落下口より大きく流通空間と連通する連通孔が形成された円盤状の天板部、天板部と同軸芯上に配置される円盤状の底板部、及び天板部と底板部とを繋ぐと共に流通空間が視認可能な位置に移動した状態で第一排出受入口及び第二排出受入口と連通し且つ演出表示手段と隣接する位置に第一排出口及び第二排出口が形成周方向に分割する隔壁部とを備えたものである。

【 0 0 8 2 】

これにより、特別役物内の流通空間への遊技媒体の進入口となる連通孔が、落下口よりも大きい、つまり、遊技媒体よりも大きい大きさとされており、遊技媒体が連通孔を完全に通過していない状態でも、遊技媒体が左右或いは前後方向に移動することができ、落下口と連通孔とを可及的に近づけることが可能となり流通空間を広くすることができるので、流通空間内における遊技媒体が自由に移動できる範囲をより広くすることができ、より遊技媒体の動きを楽しませられる流通空間とすることが可能となり、遊技媒体の動きを楽しませて、遊技者の興趣が低下するのを防止することができる。

【 0 0 8 3 】

また、特別役物を移動させて流通空間が視認可能となると、落下口と連通孔とが一致して、遊技媒体が流通空間内に進入可能となるので、特別役物の流通空間が視認不能時に流通空間内に遊技媒体が進入するのを防止して、遊技媒体の無駄な動きを防止することができる。

【 0 0 8 4 】

更に、連通孔が特別役物の移動方向に沿って形成された長孔としているので、特別役物を回転移動させて流通空間を視認可能な状態とした時に、特別役物の回転停止位置が多少ずれても、落下口に連通孔を一致させて遊技媒体を通過させることができる。

【 0 0 8 5 】

また、役物支持ベースにより特別役物を覆うことができるので、特別役物の流通空間において、排出口以外から遊技媒体が排出されるのを防止することができる。なお、この場合、流通空間が視認可能となるように、特別役物の流通空間が視認可能となる位置に移動した時に、ベース外周壁部の流通空間の前側に位置する部分を少なくとも透明部材により構成する必要がある。

【 0 0 8 6 】

更に、特別役物における流通空間内の第一排出口及び第二排出口が、演出表示手段に近接した位置に配置されているので、演出表示手段に、第一排出口及び第二排出口に隣接す

10

20

30

40

50

る位置にそれらの属性、つまり、どのような特典（例えば、「大当り」、「確変大当り」、「ハズレ」、等）が付与される排出口なのかを指し示す画像を表示して、第一排出口や第二排出口に遊技者の関心を引き付けることができると共に、何れの排出口から排出されるのかで、ドキドキ、ワクワクさせることができ、遊技媒体の動きを楽しませて、遊技に飽き難くして興味が低下するのを防止することができる。

【0087】

手段7：手段6の構成において、

「前記特別役物は、

前記役物回転体本体の前記天板部の下側に配置され、前記長孔の前端部分から後端部分に向かうに従って低くなるように傾斜し遊技媒体を前記隔壁部側へ誘導可能な誘導部材を更に備えている」ものであることを特徴とする。

10

【0088】

手段7の構成によると、特別役物に、長孔の下側で隔壁部に向かって低くなるように傾斜し遊技媒体を隔壁側へ誘導する誘導部材を更に備えたものである。これにより、落下口と連通孔とを可及的に近づけても、遊技媒体が連通孔に沿うように誘導部材によって良好に流通空間内へ誘導されるので、落下口と連通孔とを可及的に近づけることができ、流通空間をより広くすることができる。

【0089】

また、誘導部材により連通孔を通過した遊技媒体を隔壁部の方向へ移動させるようにしているので、誘導部材により遊技媒体の流下速度を抑制させて、より長い時間、流通空間内に遊技媒体が留まるようにして、流通空間内での遊技媒体の動きを楽しませられるようにすることができる。

20

【0090】

手段8：手段1から手段7までの何れか一つの構成において、

「前記振分手段は、

供給された遊技媒体が回転可能とされると共に、前記第一排出口又は前記第二排出口の何れかに遊技媒体を放出するシーソー状の演出樋と、

該演出樋を所定軸芯周りに回転傾動させる回転傾動手段とを備えている」ものであることを特徴とする。

【0091】

30

ここで、「演出樋」としては、「平面視で、回転可能な方向に直線状に延びるもの」、「平面視で、特別役物の周方向に沿って延びるもの」、等を挙げることができる。また、「正面視で、回転可能な方向に直線状に延びるもの」、「正面視で、両端に対して中央が下がった形状のもの」、等を挙げることができる。上記の平面視のもの及び正面視のものを適宜組み合わせたものとしても良い。なお、演出樋を透明部材により構成することが望ましく、これにより、演出樋内の遊技媒体を見易くすることができると共に、発光手段等からの光が透過することで、演出樋による影が遊技領域内に映るのを抑制して、遊技領域内が暗くなるのを防止することができる。

【0092】

また、「回転傾動手段」としては、「複数の回転伝達部材（例えば、リンク部材、或いは、ギア部材等）を介して、駆動手段としてのモータやソレノイド等からの駆動を伝達させて回転傾動させるもの」、「モータ軸に直結させて直接回転傾動させるもの」、等を例示することができる。

40

【0093】

手段8の構成によると、振分手段をシーソー状の演出樋とすると共に、演出樋を回転傾動させる回転傾動手段を備えたものである。これにより、演出樋をシーソーのように交互に傾動させることで、演出樋上に供給された遊技媒体が、演出樋の延びる方向に行ったり来たりして揺動することとなり、何れの端から遊技媒体が放出されるのか予見し難くすることができ、何れの排出口に振分けられるのかでハラハラ、ドキドキさせることができると共に、揺動する遊技媒体の動きを楽しませて、遊技者の興を高めることができる。

50

【 0 0 9 4 】

手段 9：手段 1 から手段 8 までの何れか一つの構成において、

「前記特別役物は、

前記振分手段に供給される遊技媒体の運動エネルギーを減衰させるエネルギー減衰手段を更に有する」ものであることを特徴とする。

【 0 0 9 5 】

ここで、「エネルギー減衰手段」としては、「バウンドさせることで運動エネルギーを減衰させるもの」、「摩擦抵抗により運動エネルギーを減衰させるもの」、等を挙げることができ、また、構成する部材が塑性変形や弾性変形等の物理的な変形をすることで運動エネルギーを減衰させるものであれば良く、「低反発性部材を用いたもの」、「繊維材からなり網状、織布状、又は不織布状に形成されたもの」、「有機、無機、金属等からなり繊維状又は線状に形成された素材を起毛状にしたもの」、等が挙げられる。

10

【 0 0 9 6 】

ところで、振分手段（演出樋）や、振分手段に遊技媒体を供給するための球放出部材に供給される遊技媒体の運動エネルギーが大きいと、その運動エネルギーによって振分手段等が破損して、遊技を中断させる原因となる恐れがある。また、意匠性や装飾性を高めるために、振分手段（演出樋）や球放出部材等を透明な素材（特に樹脂）で構成した場合、その透明性を維持するために素材内に添加できる添加材が限られており、特に、強度を向上させるための添加材を添加することができず、強度が低く破損し易いものとなる問題がある。

20

【 0 0 9 7 】

手段 9 の構成によると、特別役物の連通孔を通過して誘導部材に供給された遊技媒体の運動エネルギーを減衰させる運動エネルギー減衰手段を備えたものである。

【 0 0 9 8 】

これにより、演出樋（や球放出部材）に供給される遊技媒体の運動エネルギーを小さくすることができるので、遊技媒体が演出樋と接触しても、その衝撃を可及的に小さくすることができ、演出樋等が破損するのを防止することができる。

【 0 0 9 9 】

また、遊技媒体の接触による衝撃を可及的に小さくすることができるので、演出樋等に強度の弱い素材を用いることができ、例えば、その素材として透明なものを用いることが可能となり、演出樋等の意匠性や装飾性をより高めて、遊技者の興味を高められるものとすることができる。

30

【 0 1 0 0 】

なお、エネルギー減衰手段として、遊技媒体をバウンド（弾ませる）させることで運動エネルギーを減衰させるものとするのが望ましく、これにより、遊技媒体の運動エネルギーを減衰させることができると共に、その際に遊技媒体が弾んで遊技媒体の動きに変化を付けることができるので、上記の作用効果に加えて、エネルギー減衰手段における遊技媒体の動きも楽しませることができ、興味の高められるものとするのが望ましい。因みに、遊技媒体をバウンドさせるものとしては、例えば、落下する遊技媒体が当接する当接面を、強度を向上させる添加材が添加された素材により形成したり、強度を向上させるためのその厚さを増加したり、或いは、それらを両用したりしたものとすることが望ましい。また、遊技媒体との当接面に低反発性部材を用いるようにしても良く、これにより、バウンドによる遊技媒体の動きを抑制することができ、振分手段への遊技媒体の供給誘導を行い易くすることができる。

40

【 0 1 0 1 】

手段 10：手段 9 の構成において、

「前記エネルギー減衰手段によって運動エネルギーが減衰した遊技媒体を前記演出樋の略中央に放出供給する球放出部材を更に有する」ものであることを特徴とする。

【 0 1 0 2 】

ところで、シーソー状の演出樋に遊技媒体を供給する際に、演出樋の端部に遊技媒体を

50

供給するようにした場合、演出樋の回転傾動によって端部の高さが変化するので、遊技媒体を供給する高さを、端部が最も高いときに合せた高さとする、端部が下がった時に遊技媒体が供給されると、遊技媒体が落下する距離が長くなり、遊技媒体の運動エネルギーが増加し、演出樋に与える衝撃が大きくなると共に、演出樋に無理な力が作用して演出樋等が破損する恐れがある。

【 0 1 0 3 】

手段 1 0 の構成によると、運動エネルギー減衰手段によって減衰した遊技媒体を演出樋の略中央に供給する球放出部材を備えたものである。

【 0 1 0 4 】

これにより、球放出部材によって、演出樋の略中央に遊技媒体を供給するようにしているので、演出樋が回転傾動しても、演出樋の略中央が回転中心となっているので、演出樋の略中央の高さ変化が少なく、供給する球放出部材の放出部と、供給される演出樋の略中央との位置関係が殆んど変化することが無く、演出樋の回転傾動位置に関係なく、安定して遊技媒体を供給することができると共に、演出樋に無理な力が作用するのを防止することができる。

10

【 0 1 0 5 】

手段 1 1：手段 8 から手段 1 0 までの何れか一つの構成において、

「前記特別役物は、

前記演出樋が、一方の端が前記第一排出口の上方に位置するように配置され、

前記演出樋の他方の端の下方に配置される誘導受部と、

該誘導受部に受けられた遊技媒体を前記第二排出口へ誘導する誘導樋とを更に有する」ものであることを特徴とする。

20

【 0 1 0 6 】

手段 1 1 の構成によると、振分手段における演出樋の一方の端を第一排出口の上方に位置させ、他方の端の下方に遊技媒体を受ける誘導受部と、誘導受部に受けられた遊技媒体を第二排出口へ誘導する誘導樋とを更に備えたものである。

【 0 1 0 7 】

これにより、振分手段としての演出樋によって、第一排出口又は第二排出口の何れかに確実に振分けることができると共に、振分手段として、左右方向に延びる演出樋を採用しても上下方向に配置された第一排出口及び第二排出口に遊技媒体を振分けることができる。従って、演出樋によって何れの排出口に振分けられるのかでハラハラ、ドキドキさせることができると共に、揺動する遊技媒体の動きを楽しませて、遊技者の興趣を高めることができる。

30

【 0 1 0 8 】

手段 1 2：手段 8 から手段 1 1 までの何れか一つの構成において、

「前記演出樋は、

略水平時に中央が両端よりも低い位置とされている」ものであることを特徴とする。

【 0 1 0 9 】

ところで、演出樋を略直線状に延びる真直ぐなものとした場合、演出樋を水平な状態にしても、演出樋に供給される遊技媒体が、演出樋の延びる方向に対して運動ベクトルを有していると、演出樋に供給された遊技媒体がその方向に移動してしまい、遊技媒体が演出樋上を揺動することなく端から放出されてしまい、演出樋による遊技媒体の動きを楽しめられなくなる問題がある。

40

【 0 1 1 0 】

そこで、演出樋の延びる方向に対する運動ベクトルが可及的に小さくなるように遊技媒体を演出樋に供給することが考えられる。具体的には、例えば、演出樋の延びる方向とは直角方向から遊技媒体を供給することが考えられるが、この場合、演出樋に供給された遊技媒体はその延びる方向に動くことがないので、演出樋が回転して傾動するまでは、遊技媒体が転動せず、遊技媒体の連続した動きが絶たれて遊技者によっては興趣を低下させてしまう恐れがある。また、演出樋に遊技媒体を供給する位置が限られるので、特別役物の

50

デザインが限定され、興趣の高められる効果的なデザインとすることが困難となる問題がある。

【 0 1 1 1 】

手段 1 2 の構成によると、演出樋を両端よりも中央が下がった形状としたものである。これにより、演出樋に供給された遊技媒体が、演出樋の延びる方向に対して所定の運動ベクトルを有していても、遊技媒体が演出樋の端に向かって転動しようとする、坂を登ることとなるので、遊技媒体の転動速度が減速する。そして、演出樋に供給される遊技媒体の初速度や、演出樋における中央と両端との高低差を適宜選択することで、演出樋を傾動させなくても、供給された遊技媒体を演出樋の延びる方向に揺動させることができる。従って、演出樋に供給された遊技媒体が直ちに放出されるのを防止することができ、演出樋上で十分に遊技媒体の動きを楽しませることができる。また、演出樋に対する遊技媒体の供給位置が限定されない、特別役物を多様にデザインすることが可能となり、より興趣の高められるものとする。 10

【 0 1 1 2 】

手段 1 3 : 手段 1 1 又は手段 1 2 の構成において、
「前記演出樋及び前記誘導樋の少なくとも一方は、
平面視で、前記役物回転体本体の外周に略沿った形状とされている」ものであることを特徴とする。

【 0 1 1 3 】

手段 1 3 の構成によると、演出樋及び誘導樋の少なくとも一方を、平面視で役物回転体本体の外周に略沿った円弧形状としたものである。これにより、演出樋や誘導樋の長さを可及的に長くすることができるので、遊技媒体の転動可能距離を長くすることができ、より長い間、演出樋や誘導樋上に遊技媒体を転動させて、遊技媒体の動きを楽しませることができる。 20

【 0 1 1 4 】

手段 1 4 : 手段 8 から手段 1 3 までの何れか一つの構成において、
「前記回転傾動手段は、
前記演出樋と一体回転すると共に該演出樋の回転中心から所定距離の位置に係合部を有した第一伝達部材と、
該第一伝達部材の前記係合部と係合する被係合部を有し前記演出樋の軸芯方向と平行な方向に延びる軸周りに回転可能とされた第二伝達部材と、
該第二伝達部材を回転駆動させる回転駆動手段と
を備えている」ものであることを特徴とする。 30

【 0 1 1 5 】

ここで、「第一伝達部材」及び「第二伝達部材」としては、「夫々が半径方向に延びる棒状とされると共に、係合部及び被係合部が、反径方向に延びるスリット又はスリットに挿入されるピンとされたもの（リンク部材とされたもの）」、「係合部及び被係合部が互いに噛合するギアとされたもの」、等が挙げられる。

【 0 1 1 6 】

手段 1 4 の構成によると、回転傾動手段に、演出樋と一体回転し係合部を有した第一伝達部材と、係合部と係合する被係合部を有し回転可能とされた第二伝達部材と、第二伝達部材を回転駆動する回転駆動手段とを備えたものである。 40

【 0 1 1 7 】

これにより、回転駆動手段からの回転駆動を第二伝達部材及び第一伝達部材を介して演出樋へ伝達させて、演出樋を良好に回転傾動させることができる。また、演出樋の回転中心から離れた位置にモータ等の回転駆動手段を配置することができるので、例えば、スペースの関係上、演出樋の後方に回転駆動手段を配置することができない場合でも、演出樋に回転駆動を伝達させて回転傾動させることができる。

【 0 1 1 8 】

なお、回転駆動手段での回転角度と、第二伝達部材及び第一伝達部材を介して回転する 50

演出樋の回転角度とを、同じ回転角度となるようにしても良いし、異なる回転角度となるようにしても良く、例えば、回転駆動手段の回転角度よりも演出樋の回転角度の方が小さくなるようにした場合は、回転駆動手段での回転が少なくなって演出樋に伝達されるので、演出樋の回転制御をより細かくすることが可能となり、演出樋上を転動する遊技媒体の動きの制御をより緻密にすることができる。

【0119】

手段15：手段14の構成において、

「前記回転傾動手段は、

前記第一伝達部材の前記係合部が、前記第一伝達部材の半径方向に延びるスリットとされ、前記第二伝達部材の被係合部が、第二伝達部材の軸方向と平行な方向に延び前記スリット内を摺動可能に挿入されるピンとされている」ものであることを特徴とする。

10

【0120】

ところで、第一伝達部材及び第二伝達部材の係合部及び被係合部を、夫々ギアとした場合、少なくとも各伝達部材の回転角度の範囲内は、ギアを備える必要があり、各伝達部材が扇型の形状となって、各伝達部材が大きくなると共に、回転駆動手段からの回転を伝達させるための各伝達部材の旋回範囲が大きくなる問題がある。そのため、ギアを用いた場合は、回転傾動手段を設置するために広いスペースを必要とし、特別役物に配設するための制約が多くなり、特別役物に設置できなかつたり、設置できても演出樋の回転角度が小さくなつたりする問題がある。

【0121】

20

手段15の構成によると、回転傾動手段として、第一伝達部材の係合部を半径方向に延びるスリットとすると共に、第二伝達部材の被係合部をスリット内を摺動可能なピンとしたものである。

【0122】

これにより、スリット内にピンを挿通させた上で第二伝達部材を回転駆動手段によって回転させることで、第二伝達部材から第一伝達部材へ回転駆動を伝達させることができると共に、係合部及び被係合部を夫々スリット及びピンとしているので、第一伝達部材及び第二伝達部材を棒状とすることができ、それら伝達部材の大きさを可及的に小さくすることができる。

【0123】

30

また、第一伝達部材及び第二伝達部材の旋回範囲を、ギアを用いた場合よりも小さくすることができるので、回転傾動手段の設置に係るスペースを少なくすることが可能となり、特別役物に良好に配設することができると共に、演出樋の回転角度を可及的に大きくすることができ、演出樋を十分に回転傾動させて、遊技媒体の揺動が大きくなるようにしてより遊技媒体の動きを楽しませられるものとすることができる。

【0124】

手段16：手段14又は手段15の構成において、

「前記回転傾動手段は、

前記第一伝達部材の回転中心から前記係合部までの長さが、前記第二伝達部材の回転中心から前記被係合部までの長さよりも、長い長さとされていると共に、

40

前記第一伝達部材の旋回範囲よりも外側に、前記第二伝達部材の回転中心が配置されている」ものであることを特徴とする。

【0125】

手段16の構成によると、第一伝達部材の長さを第二伝達部材の長さよりも長いものとしたものである。これにより、演出樋の回転角度に対して、回転駆動手段の回転角度を大きくする必要がある。つまり、回転駆動手段の回転が少なくなって演出樋に伝達されるので、演出樋の回転制御をより細やかにして、演出樋を所望の通り回転させることができ、演出樋上を転動する遊技媒体の動きを、より興趣の高められる動きとすることができる。

【0126】

また、回転駆動手段の回転が少なくなって演出樋に伝達されるので、回転駆動手段での

50

遊びや、回転誤差があっても、その差が小さくなって演出樋に伝達され、回転駆動手段での誤差等が演出樋に現れ難くすることができ、演出樋の回転制御に対する影響を低減させることができる。

【0127】

手段17：手段8から手段16までの何れか一つの構成において、

「前記回転傾動手段は、

前記演出樋の回転位置を検知可能な回転位置検知手段を更に備えている」ものであることを特徴とする。

【0128】

ここで、「回転位置検知手段」としては、「第一伝達部材や第二伝達部材に検知片を備えて、その検知片を検知することで回転位置を検知するもの」、「演出樋に検知片或いは検知部を備えて、その検知片或いは検知部を検知することで回転位置を検知するもの」、「回転駆動手段に検知部（例えば、エンコーダ）を備えて回転位置を検知するもの」、等が挙げられる。

【0129】

手段17の構成によると、回転傾動手段に演出樋の回転位置を検知可能な回転位置検知手段を備えたものである。これにより、演出樋の回転位置を検知することができるので、演出樋の回転傾動の状況を適切に把握することができ、演出樋上で遊技媒体を良好に揺動転動させることができると共に、所望の排出口に遊技媒体が排出されるように、確実に演出樋を所望の方向に傾動させることができる。

【0130】

手段18：手段17の構成において、

「前記回転傾動手段における前記回転位置検知手段は、

前記第二伝達部材と一体回転すると共に、該第二伝達部材の延びる方向とは異なる方向に延びる検知片と、

該検知片を検知する検知センサとを備えている」ものであることを特徴とする。

【0131】

ところで、回転位置を検知する検知片を、第一伝達部材や演出樋に備えて、演出樋の回転位置を検知するようにすることが考えられる。しかしながら、この場合、演出樋の回転位置を直接検知することとなるので、演出樋の回転位置を厳密に制御しようとする、回転位置検知手段による回転位置の検知精度を高くする必要があり、回転位置検知手段にかかるコストが増加する問題がある。

【0132】

また、回転位置検知手段として、第二伝達部材に検知片を備えてその検知片を検知することで演出樋の回転位置を検知するようにすることが考えられ、検知片を第二伝達部材の延びる方向に対して反対方向の延びるように配置することが考えられる。しかしながら、この場合、第二伝達部材の回転軸に対して第一伝達部材とは反対側に検知片が延びだすこととなり、回転傾動手段全体が大きくなる問題がある。

【0133】

手段18の構成によると、回転位置検知手段に、第二伝達部材に第二伝達部材の延びる方向とは異なる方向に延びる検知片と、検知片を検知する検知センサとを備えたものである。これにより、検知片を検知センサで検知するだけで演出樋の回転位置を検知することができるので、回転位置検知手段にかかる構成を簡単なものとすることができる。

【0134】

また、検知片を第二伝達部材に備えるようにしているので、特に、回転駆動手段の回転が少なくなって演出樋に伝達されるようなものに適用した場合、動きの大きな第二伝達部材で回転位置を検知するので、演出樋に対する回転位置の検知精度を蓋然的に高くなり、簡単な構成で検知精度を高めることができ、回転検知手段にかかるコストが増加するのを抑制することができる。

【 0 1 3 5 】

更に、検知片を、第二伝達部材の延びる方向とは異なる方向に延びるようにしているの
で、第二伝達部材の回転軸に対して第一伝達部材とは反対側に延び出す量を可及的に少な
くすることができ、回転傾動手段全体が大きくなるのを抑制することができる。なお、検
知片が延び出す方向としては、第二伝達部材の延びる方向に対して略直角方向に延びるよ
うにすることが望ましい。

【 0 1 3 6 】

手段 19：手段 18 の構成において、

「前記回転位置検知手段の前記検知片は、

前記第一伝達部材の旋回面と略同一面上を旋回するように配置されると共に、該第一伝
達部材との接触を回避する逃し部を備えている」ものであることを特徴とする。

10

【 0 1 3 7 】

ところで、第二伝達部材と一体回転する検知片を、第一伝達部材の旋回面と略同一面上
に配置した場合、検知片の長さや延びる方向によっては、検知片と第一伝達部材とが接触
して、第二伝達部材から第一伝達部材へ回転駆動を伝達させることができなくなって、演
出樋を良好に回転傾動させることができなくなる恐れがある。

【 0 1 3 8 】

手段 19 の構成によると、回転位置検知手段における検知片を、第一伝達部材の旋回面
と略同一面上に配置すると共に、第一伝達部材との接触を回避する逃し部を備えたもので
ある。これにより、検知片と第一伝達部材とが接触するのを回避することができ、第二伝
達部材から第一伝達部材へ回転駆動を伝達させて、演出樋を良好に回転傾動させることが
できる。

20

【 0 1 3 9 】

手段 20：手段 8 から手段 19 までの何れか一つの構成において、

「前記回転傾動手段の少なくとも一部が、前記隔壁部と前記発光装飾体との間に配置さ
れている」ものであることを特徴とする。

【 0 1 4 0 】

手段 20 の構成によると、役物回転体本体の隔壁部と発光装飾体との間に回転傾動手段
の一部を配置したものである。これにより、回転傾動手段の一部が隔壁部と発光装飾体と
の間に配置されるので、流通空間側からも、装飾体側からも回転傾動手段を目立ち難くす
ることができ、相対的に、流通空間内の演出樋等の振分手段や、発光装飾体を目立たせて
、演出樋等への関心を引き付けることができる。

30

【 0 1 4 1 】

手段 21：手段 1 から手段 20 までの何れか一つの構成において、

「前記特別役物は、回転軸線上の所定位置に少なくとも前記振分手段及び前記発光装飾
体と電氣的に接続された役物側接続部を更に備えると共に、

前記支持部材は、前記役物側接続部と対向すると共に前記特別役物の回転軸線上に配置
され電氣的な接続が可能な支持側接続部を更に備え、

前記支持部材の前記支持側接続部と、前記特別役物の役物側接続部とを電氣的に接続す
る可撓性を有したハーネスを更に具備する」ものであることを特徴とする。

40

【 0 1 4 2 】

ここで、「支持側接続部」及び「役物側接続部」としては、「配線用のコネクタ」、「
配線用のカブラ」、「配線用のソケット又はプラグ」、等が挙げられる。

【 0 1 4 3 】

また、「ハーネス」とは、電氣的な接続をするための電気配線コードであり、単線、又
は複数の線からなるものである。

【 0 1 4 4 】

ところで、回転する特別役物に発光する装飾体や電動の振分手段等を備えた場合、それ
ら装飾体等に電気等を供給するための電氣的な接続方向としては、役物にその回転軸を中
心として円環状の導電体を同芯円状に複数備えると共に、役物の外部から各導電体と接触

50

する導電ブラシを備えることで、回転する役物に対して電氣的に接続するものが知られている。しかしながら、この場合、導電体と導電ブラシとが互いに摺動するように接触しているので、その摺動により導電体や導電ブラシが摩耗して、接触不良が発生したり、通電できなくなったりして役物内の装飾体や振分手段等が作動しなくなって、それらによる演出などができなくなり遊技者の興趣を低下させてしまう恐れがある。また、導電体や導電ブラシが摩耗するので、耐久性が低いものとなっていた。

【0145】

また、装飾体や振分手段等を備えた可動する可動役物（特別役物）に対して、所定長さの電気配線コードからなるハーネスにより、電氣的に接続することが考えられる。しかしながら、この場合、ハーネスにより接続される役物側接続部と、支持側接続部との位置関係によっては、特別役物の移動に伴って移動するハーネスの移動量や変形量等が大きくなり、ハーネスに無理な力が作用して接続部での接続が外れたり、ハーネスが疲労して断線したりする恐れがある。

【0146】

手段21の構成によると、特別役物の回転軸線上に振分手段や発光装飾体等と電氣的に接続された役物側接続部を備えると共に、支持部材に特別役物の回転軸線上で役物側接続部と対向する位置に電氣的な接続が可能な支持側接続部を備え、支持部材の支持側接続部と特別役物の役物側接続部とを接続するハーネスとを更に備えたものである。

【0147】

これにより、支持部材を介して特別役物や特別役物移動手段を遊技盤の所定位置に配置支持することができると共に、支持側接続部と役物側接続部とが回転軸線上に対向配置されているので、特別役物を回転移動させても、支持側接続部と役物側接続部とを接続するハーネスの動き（捩れ等）を最小限にすることが可能となり、ハーネスが断線したり、ハーネスと各接続部との接続が外れたりするのを防止することができ、特別役物に配置された発光装飾体や振分手段等を確実に作動させて、遊技者の興趣が低下するのを防止することができる。

【0148】

また、支持部材と特別役物とがハーネスにより接続されているので、接続部分が摺動して摩耗することがなく、耐久性を向上させることができると共に、確実に電氣的に接続することで発光装飾体や振分手段等を作動させることができ、発光装飾体や振分手段等による所望の演出を確実に行わせて、遊技者の興趣が低下するのを防止することができる。

【0149】

更に、ハーネスの動きを最小限とすることができるので、ハーネスとして用いる配線コードに、可撓性の高い高価なものを用いなくても、充分に対応させることが可能となり、安価な配線コードを用いることでハーネスにかかるコストを低減させることができる。

【0150】

なお、特別役物の回転角度としては、360度以内とすることが望ましく、回転角度がより小さい方が望ましい。これにより、ハーネスの捩れ量を少なくすることができ、ハーネスの断線や、接続が外れたりするのを防止することができる。

【0151】

手段22：手段1から手段21までの何れか一つの構成において、

「前記特別役物移動手段は、

前記特別役物の前記流通空間が、前記演出表示手段と近接する側から徐々に視認可能となるように前記特別役物を回転移動させる」ものであることを特徴とする。

【0152】

手段22の構成によると、演出表示手段と近接する側から流通空間が徐々に視認可能となるように特別役物を回転移動させて流通空間を視認可能とするようにしたものである。これにより、流通空間が視認可能となるのに従って、演出表示手段が横に広がるような錯覚を与えることができ、遊技者を驚かせられると共に演出表示手段や流通空間に注目させることができる。

10

20

30

40

50

【 0 1 5 3 】

また、特別役物に、隔壁部を挟んで反対側に発光装飾体を配置し、通常時は、発光装飾体が視認可能となるようにしているので、特別役物を上述のように回転移動させることで、より演出表示手段が広がるような印象を与えることができ、遊技者を注目させて、所望の演出効果が得られるようにすることができる。

【 0 1 5 4 】

手段 2 3：手段 1 から手段 2 2 までの何れか一つの構成において、

「前記受入検出手段によって検出された遊技媒体を所定数貯留可能な貯留部、及び該貯留部を移動させる貯留部移動手段を少なくとも有し、前記受入検出手段による遊技媒体の検出及び前記抽選手段の前記抽選結果の少なくとも一方に応じて前記貯留部を前記貯留部移動手段により移動させて前記貯留部に貯留された遊技媒体を前記流通空間側へ受け渡す貯留振分手段と、

10

該貯留振分手段の前記貯留部に貯留されなかった遊技媒体を誘導して遊技領域外へ排出する排出誘導路と、

該排出誘導路によって誘導された遊技媒体を検出可能な排出誘導センサと、を更に具備する」ものであることを特徴とする。

【 0 1 5 5 】

ここで、「貯留部」としては、「所定数の遊技媒体を収容可能な収容凹部」、「所定数の遊技媒体を保持可能な保持手段」、等が挙げられる。なお、貯留部（収容凹部）が移動することで、その場所に遊技媒体が侵入するのを防止する侵入防止手段（例えば、貯留部の移動方向に延びる延出部）を備えても良い。

20

【 0 1 5 6 】

また、「貯留部駆動手段」としては、「ソレノイドの駆動により貯留部を移動させるもの」、「モータの回転駆動により貯留部を移動させるもの」、等が挙げられる。なお、ソレノイドを用いることで、貯留部の移動レスポンスを高めることができると共に、貯留可能位置や落下位置へ貯留部を移動停止させる際の貯留部の位置決め、ソレノイドの進退によって容易にすることができる。

【 0 1 5 7 】

手段 2 3 の構成によると、受入検出手段に検出された遊技媒体を所定数貯留可能な貯留部、貯留部を抽選結果に応じて移動させて貯留部に貯留された遊技媒体を下流の流通空間側に受け渡す貯留部移動手段を有した貯留振分手段と、貯留部に貯留されなかった遊技媒体を遊技領域外へ排出誘導する排出誘導路と、排出誘導路により誘導された遊技媒体を検出する排出誘導センサとを備えたものである。

30

【 0 1 5 8 】

これにより、受入口に受入れられた遊技媒体が受入検出手段に検出された後に、所定数まで貯留振分手段に貯留され、抽選結果により特別役物が回転移動して流通空間が視認可能な状態となると、貯留振分手段に貯留された遊技媒体が下流側の流通空間へと送られることとなり、流通空間内の振分手段により何れの排出口に振分けられるかを楽しませることができる。一方、貯留振分手段により貯留されなかった遊技媒体は、排出誘導路に誘導されて排出誘導センサに検出されることで、貯留振分手段に貯留されなかったことが判別され、例えば、排出誘導センサの検出に応じて所定の演出画像を演出表示手段に表示させることで、遊技媒体が排出されることに対する興趣の低下を抑制させることができる。

40

【 0 1 5 9 】

また、貯留振分手段により貯留された遊技媒体のみが特別役物の流通空間内へ供給されるので、受入口に遊技媒体が必ずしも流通空間に供給されるとは限らず、流通空間内での遊技媒体の流通機会を限定することができ、流通空間内における遊技媒体の転動演出の価値を高めて、流通空間内を流通する遊技媒体により注目させることができる。また、貯留振分手段により遊技媒体が流通空間側へ振分けられるか否か、つまり、貯留部に貯留されるか否かによって遊技者を楽しませて、興趣が低下するのを防止することができる。

【 0 1 6 0 】

50

また、貯留振分手段により貯留された遊技媒体が、何時、流通空間へ供給されるか否かによっても遊技者をハラハラさせることができ、例えば、流通空間内に配置された振分手段が所定の周期でV入賞口等へ振分けるようなものの場合、振分手段の状態と遊技媒体が供給されるタイミングとが重要となり、そのタイミングで遊技媒体が供給されるか否かで、ハラハラ、ドキドキさせて、遊技者の興味を高めることができる。

【0161】

更に、排出誘導路を備えているので、貯留振分手段に貯留されなかった遊技媒体を、良好に排出させることができる。なお、貯留振分手段に、貯留部が移動することで隙間が形成され、その隙間に遊技媒体が侵入して不具合が発生するのを防止するために、その隙間を塞いで、遊技媒体の侵入を防ぐと共に確実に排出誘導させるようにする侵入防止手段（延出部）を備えることが望ましい。

10

【0162】

なお、貯留振分手段は、受入口と特別役物との間であれば何処に配置しても良く、例えば、特別役物（役物支持ベース）の直前や、受入口と特別役物との間に役物誘導路を備えた場合は、役物誘導路と特別役物（役物支持ベース）との間に配置することが望ましい。

【0163】

また、貯留振分手段の貯留部に貯留される遊技媒体の数を一つのみとすることが望ましく、これにより、流通空間に進入する遊技媒体が一つだけとなるので、進入した遊技媒体に注目し易くなり、流通空間内での遊技媒体の動きを楽しませることができる。また、流通空間内に振分手段、特に、シーソー状の演出樋を備えた場合、複数の遊技媒体が供給されることで、遊技媒体同士が衝突し、演出樋上で意図しない転動動作をするのを防止して、所望の転動演出が得られるようにすることができる。

20

【0164】

手段24：手段23の構成において、

「前記貯留振分手段及び前記排出誘導路が、前記役物支持ベースにおける前記ベース天板部の上側に配置され、前記貯留部の移動により該貯留部に貯留された遊技媒体が前記ベース天板部の前記落下口に落下させると共に、前記排出誘導路によって前記役物支持ベースの後方に遊技媒体が誘導排出される」ものであることを特徴とする。

【0165】

ところで、貯留振分手段を、受入口の近く、つまり、役物誘導路の上流側に配置した場合、遊技媒体が、一旦その貯留部で貯留されて停止状態となり、その後、貯留部が移動することで貯留された遊技媒体が開放され、役物誘導路を流通してから役物支持ベースの落下口に到達することとなり、遊技媒体が受入口に受入れられてから、特別役物の流通空間内に供給されるまでの時間が長くなり、遊技者によっては、苛付の原因となり興味を低下させてしまう恐れがある。

30

【0166】

手段24の構成によると、貯留振分手段と排出誘導路を役物支持ベースのベース天板部の上側に配置し、貯留振分手段の貯留部を貯留部移動手段によりベース天板部の落下口上に移動させて、貯留部に貯留された遊技媒体を落下口へ落下させるようにすると共に、貯留されなかった遊技媒体を役物支持ベースの後方に排出するようにしたものである。

40

【0167】

これにより、貯留振分手段と落下口とを可及的に近づけることができるので、貯留振分手段の貯留部の移動と同時に遊技媒体を落下口に落下させることができ、遊技のスピード感を高めて、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。また、貯留されなかった遊技媒体を役物支持ベースの後方へ排出するようにしているので、排出される遊技媒体の排出流路を形成し易くすることができる。

【0168】

手段25：手段1から手段24までの何れか一つの構成において、

「前記受入口に受入れられた遊技媒体を、遊技者から視認可能な状態で前記特別役物へ誘導する役物誘導路を更に具備する」ものであることを特徴とする。

50

【 0 1 6 9 】

ここで、「役物誘導路」としては、遊技媒体を誘導できるものであれば良く、例えば、「管状のもの」、「樋状のもの」、等が挙げられる。また、誘導中の遊技媒体の転動速度を減速させる減速手段を備えたものであっても良い。なお、透明部材により構成することが望ましく、これにより、簡単な構成で、誘導中の遊技媒体を遊技者に視認させることができる。

【 0 1 7 0 】

手段 2 5 の構成によると、受入口から特別役物まで遊技媒体を遊技者から視認できるように誘導する役物誘導路を備えたものである。これにより、受入口から特別役物まで誘導される遊技媒体を視認させることができ、その動きを楽しませることができると共に、特別役物の流通空間へと進む遊技媒体を視認させることで、流通空間内での遊技媒体の動きに対する期待感を徐々に高めることができ、興味が低下するのを防止することができる。

10

【 0 1 7 1 】

手段 2 6：手段 2 5 の構成において、

「前記役物誘導路は、

誘導される遊技媒体の流通速度を減速させる減速手段を備えている」ものであることを特徴とする。

【 0 1 7 2 】

ここで、「減速手段」としては、「役物誘導路を屈曲させることで減速させるもの」、「役物誘導路の遊技媒体との接触部分に複数の凹凸を付けることで減速させるもの」、等が挙げられる。

20

【 0 1 7 3 】

手段 2 6 の構成によると、役物誘導路に遊技媒体の流通速度を減速させる減速手段を備えたものである。これにより、役物誘導路によって誘導される遊技媒体の流通速度を遅くすることができるので、流通する遊技媒体を遊技者に視認させ易くすることができ、遊技媒体を確実に視認させて、その動きを十分に楽しませることができる。

【 0 1 7 4 】

また、役物誘導路によって誘導させられる遊技媒体の速度を減速させることができるので、役物支持ベースの落下口に遊技媒体をスムーズに誘導させることができ、遊技媒体を確実に特別役物の流通空間内に供給させることができる。

30

【 0 1 7 5 】

手段 2 7：手段 2 5 又は手段 2 6 の構成において、

「前記役物誘導路は、

遊技媒体を後方へ誘導する第一屈曲部と、該第一屈曲部により後方へ誘導された遊技媒体を前方へ誘導する第二屈曲部とを少なくとも備えている」ものであることを特徴とする。

【 0 1 7 6 】

手段 2 7 の構成によると、役物誘導路に第一屈曲部と第二屈曲部とを備え、遊技媒体を一端、後方へ誘導させてから前方へ誘導させて、役物支持ベースに遊技媒体を誘導するようにしたものである。これにより、役物誘導路の誘導長さを長くすることができ、より長い間、遊技媒体の動きを楽しませることができる。

40

【 0 1 7 7 】

また、第二屈曲部により、前方へ誘導させて役物支持ベースに誘導供給するようにしているので、役物支持ベースの前側に遊技媒体が供給されることとなり、遊技媒体がより見易くなって、遊技媒体に対する期待感を高めることができ、興味が低下するのを抑制する効果を期待することができる。

【 0 1 7 8 】

更に、第一屈曲部なより、後方へ遊技媒体を誘導するようにしているので、一端、遊技媒体が見辛くなり、役物誘導路による遊技媒体の誘導にアクセントを付けることができ、遊技媒体の動きが単調となるのを防止して、飽き難くすることができる。

50

【 0 1 7 9 】

手段 2 8 : 手段 2 7 の構成において、

「前記役物誘導路の前記減速手段が、前記第一屈曲部及び前記第二屈曲部とされている」ものであることを特徴とする。

【 0 1 8 0 】

ところで、役物誘導路を透明部材で構成して、その透明部材を通して遊技媒体が視認できるようにした場合、減速手段として、凹凸により減速させるものを採用すると、その凹凸の存在により、透明部材の屈折状況が変化して、誘導させる遊技媒体が歪んで見えたりして、遊技媒体が見辛くなる問題が発生する。

【 0 1 8 1 】

手段 2 8 の構成によると、第一屈折部及び第二屈折部により遊技媒体の流通速度を減速させるようにしたものである。これにより、第一屈折部及び第二屈折部以外の役物誘導路の一般部の形状を均一で滑らかな形状とすることができ、役物誘導路を透明部材で構成しても、誘導される遊技媒体が見辛くなることなく視認できるようにすることができると共に、遊技媒体の流通速度を適宜減速させることができ、上記の作用効果を好適に奏することができるものとすることができる。

【 0 1 8 2 】

手段 2 9 : 手段 2 5 から手段 2 8 までの何れか一つの構成において、

「前記受入検出手段が、前記受入口と前記役物誘導路との間に配置されている」ものであることを特徴とする。

【 0 1 8 3 】

手段 2 9 の構成によると、受入検出手段を受入口と役物誘導路との間に配置したものである。つまり、可及的に受入口に近い位置に配置したものである。これにより、受入口に遊技媒体が受入れられると直ちに受入検出手段により検出されることとなり、この受入検出手段の検出によって特典付与手段により所定の特典を速やかに付与することが可能となり、受入口を狙った遊技媒体の打ち込み操作に係る遊技を速やかに決着させて、続く、特別役物による遊技に遊技者の関心を行き移し易くすることができると共に、特別役物による遊技への期待感を高めて、興味が低下するのを防止することができる。

【 0 1 8 4 】

手段 3 0 : 手段 2 5 から手段 2 9 までの何れか一つの構成において、

「前記貯留振分手段の前記貯留部が、前記排出誘導路の上流側で前記役物誘導路の誘導軸線上に配置されている」ものであることを特徴とする。

【 0 1 8 5 】

手段 3 0 の構成によると、貯留振分手段の貯留部を、排出誘導路の上流部で役物誘導路の誘導軸線上に配置したものである。

【 0 1 8 6 】

これにより、役物誘導路により誘導された遊技媒体が真直ぐに貯留部に到達することができ、確実に遊技媒体を貯留部に貯留させることができる。また、貯留部が排出誘導路の上流部、つまり、坂の上に配置されているので、貯留部に向かう遊技媒体が坂を登るような状態となり、遊技媒体の流通速度を減速させて、遊技媒体による貯留部等への衝撃を緩和させることができる。なお、排出誘導路が後方に傾斜する傾斜面とすることが望ましく、これにより、貯留部に貯留されなかった遊技媒体を重力の作用により役物支持ベースの後方へ確実に誘導させることができる。

【 0 1 8 7 】

手段 3 1 : 手段 1 から手段 3 0 までの何れか一つの構成において、

「前記特別役物の前記第一排出口から排出された遊技媒体を検出可能な第一排出センサと、

前記特別役物の前記第二排出口から排出された遊技媒体を少なくとも検出可能な第二排出センサと、

前記受入検出手段、前記第一排出センサ、及び前記第二排出センサの少なくともいずれ

10

20

30

40

50

か一つに検出された遊技媒体を前記遊技盤の後側で下方へ排出する遊技媒体排出部材とを更に具備する」ものであることを特徴とする。

【0188】

手段31の構成によると、第一排出口から排出された遊技媒体を検出可能な第一排出センサと、第二排出口から排出された遊技媒体を検出可能な第二排出センサと、排出誘導センサ、第一排出センサ、及び第二排出センサの少なくとも一つに検出された遊技媒体を遊技盤の後側下方に排出する遊技媒体排出部材とを備えたものである。

【0189】

これにより、特別役物の流通空間内において第一排出口へ振分けられた遊技媒体は第一排出センサが、第二排出口に振分けられた遊技媒体は第二排出センサが夫々検出するので、流通空間内に進入した遊技媒体が何れの排出口から排出されたのかを検出することができ、その検出により、受入口から遊技媒体排出部材までの間で遊技媒体が詰ったか否かを判別することができ、遊技媒体の詰まりにより遊技が中断して興趣を低下させてしまうのを防止することができる。

【0190】

また、上述の通り、何れの排出口に振分けられて排出されたのかを判断することができるので、何れかの排出センサの検出に応じて、演出表示手段に所定の演出画像により、流通空間内の振分手段により何れの排出口に振分けられたかを表示して、遊技媒体の動きだけでなく、演出画像によってもそれらを強く認識させることができ、遊技者を楽しませて興趣が低下するのを抑制することができる。

【0191】

なお、貯留振分手段に貯留されなかった遊技媒体を検出する排出誘導センサと関連させることで、受入口に受入れられた遊技媒体が何れの流路を通して排出されたのかを検出することができ、その検出により、受入口から遊技媒体排出部材までの間で遊技媒体が詰ったか否かを判別することができ、遊技媒体の詰まりにより遊技が中断して興趣を低下させてしまうのを防止することができると共に、その検出に応じて、貯留振分手段に貯留されたか否かを所定の演出画像により表示するようにしても良い。

【0192】

手段32：手段31の構成において、

「前記固定部材は、

前記排出誘導センサによって検出された遊技媒体を前記第一排出センサ及び前記第二排出センサの下流側の前記遊技媒体排出部材へ誘導する誘導経路が備えられている」ものであることを特徴とする。

【0193】

手段32の構成によると、固定部材に、排出誘導センサに検出された遊技媒体を第一排出センサ及び第二排出センサの下流側の遊技媒体排出部材へ誘導する誘導経路を備えるようにしたものである。

【0194】

これにより、固定部材に遊技媒体を排出誘導する誘導経路を備えるようにしているので、貯留振分手段に貯留されずに排出誘導路により排出される遊技媒体を流通させるための経路を別途備える必要が無く、遊技盤の後側のスペースを有効に活用することができる。

【0195】

手段33：手段32の構成において、

「前記役物支持ベースは、

前記ベース外周壁部の後側に、前記排出誘導路と連通すると共に前記排出誘導センサが配置され後方が開放された形態の第一排出流路と、

該排出流路とは異なる流路とされ前記第一排出受入口及び前記第二排出受入口と連通し、前記第一排出受入口の下流側に前記第一排出センサが配置されると共に、該第一排出センサ及び前記第二排出受入口の下流側に前記第二排出センサが配置され、遊技媒体を下方へ誘導可能な後方が開放された形態の第二排出流路とが更に形成され、

前記支持部材は、

前記第一排出流路及び前記第二排出流路の後方を閉鎖するように前記役物支持ベースを支持すると共に、前記第一排出流路と対応する所定位置に遊技媒体が通過可能とされ前記固定部材の前記誘導経路と連通可能な通過口を備えている」ものであることを特徴とする。

【0196】

手段33の構成によると、役物支持ベースのベース外周壁部の後側に、後方が開放された形態の、排出誘導路と連通し排出誘導センサが配置される第一排出流路と、第一排出流路とは異なり第一排出受入口の下流側に第一排出センサが配置されると共に第一排出センサ及び第二排出受入口の下流側に第二排出センサが配置され遊技媒体を下方へ誘導する第二排出流路とを形成し、更に、支持部材により第一排出流路及び第二排出流路の後方を閉鎖させると共に、第一排出流路と対応した位置に固定部材の誘導経路と連通する通過口を支持部材に備えたものである。

10

【0197】

これにより、第一排出流路及び第二排出流路を介して、貯留振分手段により貯留されなかった遊技媒体及び貯留振分手段に貯留され特別役物内の振分手段に振分けられた遊技媒体を確実に排出することができる。また、夫々の流路に排出誘導センサ、第一排出センサ、及び第二排出センサが配置されているので、それらセンサによる遊技媒体の検出によって何れの流路を経て遊技媒体が排出されたのかを容易に判別することができる。

【0198】

20

ところで、第一排出受入口や第二排出受入口を通った遊技媒体を夫々別々の流路を経て下流側の遊技媒体排出部材に誘導するするのが一般的であるが、この場合、別々の流路を形成しなければならず、遊技媒体の排出に対して、その流路の占めるスペースが大きくなり、近年、演出表示手段の大型化等により遊技盤の後側の空きスペースが狭くなる傾向があり、遊技媒体の排出流路を設置するスペースを確保することが困難となる恐れがある。

【0199】

そこで、本手段によると、第二排出流路では、第一排出センサに検出された遊技媒体及び第二排出受入口からの遊技媒体が第二排出センサを通るようにしている。つまり、第一排出受入口及び第二排出受入口を通った遊技媒体が、同じ流路を通過して排出するようにしているので、遊技媒体を排出するための流路を少なくして排出に係るスペースを可及的に小さくできると共に、より大型の演出表示手段を用いることができ、より遊技者の興趣を高められるものとすることができる。

30

【0200】

なお、本手段では、第一排出受入口を通った遊技媒体は、第一排出センサと第二排出センサの両方に検出され、第二排出受入口を通った遊技媒体は第二排出センサのみに検出されるので、例えば、第一排出センサで遊技媒体が検出されてから所定時間内に第二排出センサで遊技媒体が検出された場合、或いは、第一排出センサで遊技媒体が検出されてから所定時間内は第二排出センサでの遊技媒体の検出を無視する等のようにすることで、第一排出受入口を通った遊技媒体であると判別させるようにすることが望ましい。

【0201】

40

手段34：手段1から手段33までの何れか一つの構成において、

「前記特別役物は、

前記流通空間内の所定位置に配置されるフィギュアと、

該フィギュアの下方で前記役物回転体本体の外周に配置され上下方向に延びる部分円筒形状のカバー部、及び該カバー部の下端から前記役物回転体本体の回転中心に向かって略水平に延びる板状の底部を有すると共に、該底部の前記役物回転体本体の中心側端部近傍の下側に配置される光入射部、光入射部から前記底部内に入射した光を前記カバー部と前記底部とが接する方向に反射誘導させる第一光誘導部と、及び前記カバー部と前記底部とが接する位置に配置され第一光誘導部からの光を前記カバー部の上端面の方向に反射誘導させる第二光誘導部からなる光誘導部、前記カバー部の上端面に配置され第二光誘導部か

50

らの光を前記カバー部の内側斜め上方で前記フィギュアに向けて外部に放射する光放射部を更に有したカバーレンズと、

該カバーレンズの光入射部に光軸を向けて前記役物回転体本体の下部に配置されるフィギュア用発光手段と
を更に有する」ものであることを特徴とする。

【0202】

ここで、「フィギュア」としては、「所定のキャラクタを立体的に造形したもの」、「所定のアイテムを立体的に造形したもの」、「遊技内容に係るロゴなどを立体的に造形したもの」、等が挙げられる。

【0203】

また、「発光手段」としては、「発光ダイオード（LED）」、「白熱灯」、「蛍光灯」、「LCD」、等が挙げられる。なお、「光軸」とは、発光手段から発せられる光の中心軸のことである。

【0204】

ところで、従来より、パチンコ機等の遊技機において、所定の発光装飾や、発光演出を行うために、遊技機の前側に電飾装置を備えたものが知られている。この電飾装置としては、透明な装飾体と、装飾体の後方に配置される複数のLED等からなる発光手段と、装飾体と発光手段との間に配置されるレンズ部材とを備えており、レンズ部材によって発光手段からの光を拡散させて装飾体全体が略均一に発光するようにしたものが知られている（例えば、特開2000-325773号公報）。また、装飾体と発光手段とから構成され、装飾体に不透明な遮光性薄膜層を具備させると共に、遮光性薄膜層の無い部分に凹凸のレンズカットを施して、遮光性薄膜層により発光装飾の輪郭を明確にすることができると共に、装飾体にレンズ部材の機能が一体とされているので厚さ寸法を薄くできるものも知られている（例えば、特開2006-61565号公報）。

【0205】

しかしながら、従来のもものでは、レンズ部材等によって装飾体の直後に配置された発光手段からの光を拡散させて装飾体が略均一に発光できるようにしているが、装飾体と発光手段との間を狭くすると、光を十分に拡散させることが困難となり良好な発光装飾が行えなくなるので、装飾体と発光手段との間の距離が所定量必要であった。そのため、装飾体を配置する場所によっては、発光させるのに十分なスペースを確保することができず、装飾体を発光装飾させることができない問題があった。また、装飾体を発光装飾させるためには、上述の通り所定のスペースを確保する必要があるので、スペースを確保できる位置にしか装飾体を配置することができず、装飾体の配置による遊技機全体のデザインが画一的になり易く、デザインの自由度が低く、遊技者に対する訴求力を高めることが困難であった。

【0206】

手段34の構成によると、特別役物の流通空間内に、フィギュアと、フィギュアの下方に配置され上下方向に延びる部分円筒形状のカバー部と、及び略水平方向に延びる板状の底部とを有し、底部の中心側端部の下側に配置された光入射部と、その上側にカバー部と底部とが接する方向に光を反射させる第一光誘導部、及びカバー部と底部とが接する位置に第一光誘導部からの光をカバー部の上端側へ反射させる第二光誘導部からなる光誘導部と、カバー部の上端に配置され第二光誘導部からの光をフィギュアに向けて放射する光放射部とを更に有したカバーレンズと、カバーレンズの光入射部に光軸が向けられると共に役物回転体本体の下部に配置されるフィギュア用発光手段とを備えたものである。

【0207】

これにより、フィギュア用発光手段の光軸がフィギュア（装飾体）の方向に向いていなくても、カバーレンズによってフィギュア用発光手段からの光をフィギュアに導くことができ、フィギュアを発光装飾させることができる。つまり、フィギュアの後側（直後）にフィギュア用発光手段を配置しなくてもフィギュアを発光装飾させることができるので、フィギュアの後にフィギュア用発光手段を配置するスペースを確保することができなくて

10

20

30

40

50

も、フィギュアを良好に発光装飾させることができ、フィギュアの配置自由度を高くすることができる。従って、フィギュアの配置によるデザインを多様化することができ、遊技者に対する訴求力の高いデザインとしたり、装飾効果の高いデザインとしたりすることができ、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

【0208】

また、上述の通り、フィギュアの配置自由度を高くすることができるので、特別役物の流通空間のように、設置スペースの確保が難しいものに対しても発光するフィギュアを配置することができると共に、遊技盤に配置することで、フィギュアを遊技者の視界に入り易くすることができ、フィギュアへの関心、つまり、フィギュアが配置された流通空間への関心をより高めることができる。

10

【0209】

更に、前側から光をフィギュアに放射（照射）するようにしているので、形状に特徴のあるフィギュアに対して、前方からの光により陰影がで易くなり立体感を強調することができると共に、色彩の施された（着色された）もの場合は、前方から照明することでその色彩をより鮮明に見せることができ、フィギュア本来の装飾効果をより引き出して、遊技者の関心を引き付けることができる。

【0210】

また、フィギュアと共に演出樋等の流通空間内でも照明することができるので、明るく照明された流通空間が視認可能となることで、遊技者の関心を流通空間に引き付けることが可能となり、照明によってフィギュアだけでなく流通空間内の遊技媒体も明瞭に認識させることができ、流通空間内のフィギュアや遊技媒体の動きを楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

20

【0211】

手段35：手段34の構成において、

「前記カバーレンズは、

前記カバー部が、前記回転傾動手段における前記流通空間内に配置された部位の前記役物回転体本体における半径方向外側となる位置に配置される」ものであることを特徴とする。

【0212】

手段35の構成によると、カバーレンズのカバー部を、流通空間内に配置された回転傾動手段の外側、つまり、回転傾動手段を覆うように配置したものである。これにより、流通空間内の回転傾動手段をカバーレンズで隠すことが可能となり、流通空間内の見栄えを良くして、より遊技者の興味を引き付けられる流通空間とすることができる。なお、カバーレンズのカバー部に文字などを図案化したもの等を磨り装飾するようにしても良く、これにより、カバー部内を通過する光によって磨り装飾部が発光しより装飾効果を高めることができると共に、カバー部の後側に配置されたもの（例えば、回転傾動手段）が鮮明に見えるのを防止することができる。

30

【0213】

手段36：手段1から手段35までの何れか一つの構成において、

「前記特別役物の前記発光装飾体は、

透光性を有した板状の装飾レンズと、

該装飾レンズの後側に配置され該装飾レンズの面方向に略沿うように光軸が向けられた役物装飾用発光手段と、

該役物装飾用発光手段の前記光軸と対向する光入射部、光入射部から入射した光を前記装飾レンズの方向に反射させる光反射部、及び光反射部によって反射された光を前記装飾レンズへ拡散放射させる光放射部を有し、前記役物装飾用発光手段からの光を前記装飾レンズの方向へ反射拡散させる透明板状の拡散レンズと、

該拡散レンズの後側に配置され前記役物装飾用発光手段を支持する板状の光源基板とを備えた」ものであることを特徴とする。

40

【0214】

50

ここで、「光反射部」としては、「装飾レンズとは反対側に配置され、発光手段の光軸方向に対して略直角方向に延びる複数の溝からなるもの」、「装飾レンズとは反対側の面を全体的に斜めに傾斜する傾斜面としたもの」、等が挙げられる。

【0215】

また、「光放射部」としては、「装飾レンズと近接する側に配置され、発光手段の光軸方向と略平行な方向に延びる複数の突条からなるもの」、「装飾レンズと近接する側に配置され、複数の小径凸レンズからなるもの」、「装飾レンズと近接する側の面を摺りガラス状としたもの」、等が挙げられる。

【0216】

手段36の構成によると、特別役物の発光装飾体を、透光性を有した板状の装飾レンズと、装飾レンズの後側で装飾レンズの面方向に沿うように光軸を向けた役物装飾用発光手段と、役物装飾用発光手段の光軸と対向する光入射部、光入射部から入射した光を装飾レンズの方向へ反射させる光反射部、光反射部で反射した光を装飾レンズに向かって拡散放射させる光放射部を有した拡散レンズと、拡散レンズの後側に配置され役物装飾用発光手段を支持する板状の光源基板とを備えたものである。

【0217】

これにより、装飾レンズの面方向に対して略直角方向に役物装飾用発光手段の光軸を向けた上で、拡散レンズにより役物装飾用発光手段からの光を略直角方向に反射拡散させて装飾レンズを後側から発光させるようにしており、役物装飾用発光手段から装飾レンズまでの光が進む距離を長くすることができるので、その間に光が放射状に拡散すると共に拡散レンズによっても反射拡散し、発光装飾体の厚さを可及的に薄くしても発光装飾体を略均一に発光装飾させることが可能となり、発光装飾体の設置に必要な後方スペースを可及的に少なくすることができ、設置スペースの狭い役物回転体にも確実に発光装飾体を備えさせることができる。

【0218】

また、役物装飾用発光手段としてLEDを用いた場合、LEDでは点状に発光するため、従来では、面状に発光装飾体を発光させるために装飾レンズとLEDとの間に相当の距離を置いており、蓋然的に発光装飾体の厚さが厚くなっていたが、本手段によると、LEDにより点状に発せられる光を、透明板状の拡散レンズ内において、面方向に送った上で直角方向に反射させて面状に放射するようにしているので、拡散レンズ内で光の進む距離を稼ぐことができ、それにより光を十分に拡散させることができ、点状に発光するLEDを役物装飾用発光手段として用いても、発光装飾体を略均一に面状発光させることができ、発光装飾体による装飾効果を高めて、遊技者の興味が低下するのを抑制することができる。

【0219】

また、役物装飾用発光手段からの光を反射拡散させて面状に発光させるようにしているので、役物装飾用発光手段の輝度を分散させると共に、光源のみが光り輝くのを防止し、光源の形状を判り難くすることができ、装飾レンズ本来の形状(装飾形状)を引き立たせて、装飾効果を高めることができる。また、役物装飾用発光手段の輝度に対して、発光装飾体の輝度が低くなるので、遊技者に眩しさを与えてしまうのを抑制することができ、眩しさにより遊技領域内の遊技媒体や役物等が見辛くなったり、遊技者の目が刺激されて眼球疲労の原因となるのを抑制すると共に、疲労等により興味が低下するのを防止することができる。

【0220】

手段37：手段36の構成において、

「前記拡散レンズは、

光反射部が、前記装飾レンズと近接する側とは反対側に配置され前記役物装飾用発光手段の光軸方向に対して略直角方向に延びる複数の反射溝とされていると共に、

光放射部が、前記装飾レンズと近接する側に配置され前記役物装飾用発光手段の光軸方向に延びる複数の突条とされている」ものであることを特徴とする。

【 0 2 2 1 】

手段 3 7 の構成によると、拡散レンズの光反射部を、装飾レンズと近接する側とは反対側に配置すると共に役物装飾用発光手段の光軸方向に対して略直角方向に延びる複数の反射溝とすると共に、拡散レンズの光放射部を、装飾レンズと近接する側に配置すると共に役物装飾用発光手段の光軸方向に延びる複数の突条としたものである。

【 0 2 2 2 】

これにより、光軸に対して略直角方向に配置された反射溝により、役物装飾用発光手段からの光を装飾レンズの方向へ反射させることができると共に、役物装飾用発光手段から遠ざかった位置でも装飾レンズの方向に反射させることができるので、役物装飾用発光手段からの光を面状で略均一に反射させて、装飾レンズを略均一に発光装飾させることができる。また、光反射部を斜めの傾斜面とせず、複数の反射溝としており、拡散レンズを形成する透明部材の板厚が、役物装飾用発光手段から遠ざかるほど薄くなるのを防止して、略一定の厚みのものとするので、拡散レンズの強度、剛性が低下するのを防止することができる。

10

【 0 2 2 3 】

また、光放射部の各突条において、光反射部から反射してきた光を、発光手段の光軸に対して直角方向に拡散させて放射することができるので、装飾レンズをより均一に光るようにすることができると共に、上述した光反射部の反射溝と組み合わせることで、より高い効果を発揮し、装飾レンズをより均一に発光装飾させて、発光装飾体を明るく均一に発光装飾させて装飾効果の高いものとすることができる。

20

【 0 2 2 4 】

手段 3 8 : 手段 3 6 又は手段 3 7 の構成において、

「前記発光装飾体は、

前記拡散レンズが、上下方向に延びると共に上下方向の略中央部に所定広さの開口部を有し、上下端面及び該開口部内周の上下面が光入射部とされ、

前記役物装飾用発光手段が、前記拡散レンズの光入射部に光軸を向けて、前記拡散レンズの上側、下側、及び前記開口部内に配置されている」ものであることを特徴とする。

【 0 2 2 5 】

手段 3 8 の構成によると、発光装飾体は、拡散レンズを、上下方向に延び中央に開口部を有した形状とすると共に、上下の端面及び開口部ない周の上下面を光入射部とし、役物装飾用発光手段を拡散レンズの上下側及び開口部内にその光入射部に光軸が向くように配置したものである。

30

【 0 2 2 6 】

これにより、適宜位置に役物装飾用発光手段を備えて拡散レンズを介して光を反射拡散させることができるので、上下方向に長い発光装飾体を略均一に面状発光させることができる。なお、例えば、発光装飾体として、縦長に複数の文字等を備えたものの場合、二文字毎に拡散レンズの対応する部分に開口部を形成すると共に開口部内に役物装飾用発光手段を備えるようにすることで、各役物装飾用発光手段により一文字ずつ均一に面状発光させることができ、発光装飾体の装飾効果をより高めることができる。なお、開口部を複数形成しても良い。

40

【 0 2 2 7 】

手段 3 9 : 手段 1 から手段 3 8 までの何れか一つの構成において、

「前記センター役物は、少なくとも前側で全周に亘って配置される枠状装飾体を更に有し、

該枠状装飾体を発光装飾させる枠状装飾体用発光手段を更に具備する」ものであることを特徴とする。

【 0 2 2 8 】

手段 3 9 の構成によると、センター役物の全周に枠状装飾体を備えると共に、枠状装飾体を発光装飾させる枠状装飾体用発光手段を更に備えたものである。これにより、センター役物全体が発光装飾されるので、センター役物の枠内に配置された特別役物、演出表示

50

手段、及びステージに遊技者を注目させることが可能となり、それらによる演出を楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

【 0 2 2 9 】

手段 4 0 : 手段 3 9 の構成において、

「前記杵状装飾体用発光手段が、前記杵状装飾体に向かう方向とは異なる方向に光軸が向けられると共に、前記特別役物の近傍で前記遊技盤の後方に配置され、

前記杵状装飾体用発光手段からの光を、前記閉鎖部材を介して誘導させて前記杵状装飾体の一部に照射させる」ものであることを特徴とする。

【 0 2 3 0 】

ここで、「杵状装飾体に向かう方向とは異なる方向」とは、「杵状装飾体に杵状装飾体用発光手段の光軸がかからないような方向」、「杵状装飾体用発光手段の光軸線が杵状装飾体にかかるものの杵状装飾体用発光手段と杵状装飾体との間に不透光性の遮蔽部材（例えば、遊技盤など）が配置される方向」、「杵状装飾体用発光手段の光軸線が杵状装飾体にかかるものの実際に照射される位置が光軸線に対してオフセットした位置の杵状装飾体を照射する方向」等である。

【 0 2 3 1 】

手段 4 0 の構成によると、杵状装飾体とは異なる方向に光軸が向いた杵状装飾体用発光手段を特別役物の近傍で遊技盤の後方に配置すると共に、杵状装飾体の一部に杵状装飾体用発光手段からの光を閉鎖部材を介して照射するようにしたものである。

【 0 2 3 2 】

これにより、センター役物の一部が特別役物の前側にかかって、その杵状装飾体の直後に杵状装飾体用発光手段を配置することができないような場合でも、特別役物の近傍で遊技盤の後面側に杵状装飾体用発光手段を配置すると共に、特別役物とセンター役物との間に配置された閉鎖部材を用いることで、杵状装飾体用発光手段からの光をセンター役物の杵状装飾体に導くことが可能となり、センター役物の全周に配置された杵状装飾体を良好に発光装飾させることができ、センター役物による装飾効果を高めて、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

【 0 2 3 3 】

手段 4 1 : 手段 4 0 の構成において、

前記閉鎖部材は、

「前記役物回転体本体の外周に略沿った部分円筒面形状の円筒部と、

該円筒部の周方向一端側に配置され左右方向外側に延びる平坦部と、

該平坦部とは反対側の前記円筒部の周方向他端側で前記センター役物における前記杵状装飾体の一部の後方に配置され前後方向外側に延びる延出部とを有すると共に、

前記平坦部の後面側に配置される光入射部と、

光入射部から入射した光を前記円筒部の周方向に沿って誘導されるように反射誘導する第一光誘導部、及び第一光誘導部から誘導された光を前記延出部の延びる方向に沿うように反射誘導させる第二光誘導部からなる光誘導部と、

第二光誘導部から誘導された光を前記延出部内を介して前面側へ放射する光放射部とを更に有した」ものであることを特徴とする。

【 0 2 3 4 】

手段 4 1 の構成によると、閉鎖手段に、部分円筒形状の円筒部と、円筒部の一端側に配置され左右方向外側に延びる平坦部と、平坦部とは反対側に配置され前後方向外側に延びる延出部とを備えると共に、平坦部の後面側に光入射部を配置し、その前側に円筒部に沿って光を誘導反射させる第一光誘導部、及び円筒部と延出部との接する位置に配置され第一光誘導部により誘導された光を延出部の延びる方向へ反射誘導させる第二光誘導部からなる光誘導部と、延出部の前面に配置され第二光誘導部で誘導された光を前方のセンター役物における杵状装飾体に向けて放射する光放射部とを備えたものである。

【 0 2 3 5 】

これにより、遊技盤の後面側に配置された杵状装飾体用発光手段からの光を、閉鎖手段

10

20

30

40

50

を介して役物回転体本体の外周に略沿うように誘導した上で、その延出部から放射して特別役物の前側にかかるセンター役物の杵状装飾体を後側から照明することができ、杵状装飾体の特別役物にかかった部位を良好に発光装飾させることができる。

【0236】

手段42：手段1から手段41までの何れか一つの構成において、

「前記特典付与手段は、

少なくとも前記受入検出手段による遊技媒体の検出に基づいて所定数の遊技媒体を払出す払出手段と、

前記抽選手段の前記抽選結果が所定条件を充足すると、所定のパターンで前記受入口が遊技媒体の受入可能と受入不能とを繰り返して遊技者に有利な有利遊技状態を発生させる有利遊技状態発生手段とを備え、

10

該有利遊技状態発生手段により有利遊技状態が発生する前記抽選結果に応じて、前記特別役物移動手段により前記特別役物の前記流通空間を視認可能とすると共に、前記振分手段により遊技媒体を所定の前記排出口へ振分ける」ものであることを特徴とする。

【0237】

ここで、「有利遊技状態」とは、通常の遊技状態よりも遊技者に有利となる状態を意味するものであり、以下のような種々の状態を例示できる。

【0238】

(1) パチンコ機等の遊技機において、開閉駆動される進入口(入賞口)を、所定回数繰返し開閉させたり、所定時間、あるいは遊技球が所定個数入賞するまで継続して開放させたりして、遊技媒体(遊技球)が多量に進入口に進入し易くした状態(所謂「大当たり状態」)。

20

【0239】

(2) パチンコ等の遊技機において、大当たりに関する抽選の当選確率を通常よりも高確率として、大当たり状態が発生する確率を通常よりも高確率とした状態、所謂「確率変動状態」。

【0240】

(3) パチンコ機等の遊技機において、遊技媒体の進入口(入賞)や通過により大当たり状態を発生させるか否かの抽選を行う抽選用の抽選始動装置を、通常よりも遊技媒体が進入し易い状態とし、大当たりの抽選が通常よりも頻繁に行われるようにした状態、所謂「時間短縮状態」。

30

【0241】

(4) パチスロ機等の遊技機において、所定ゲームの間、遊技媒体であるメダルの払出しを行う態様にてリールが停止され易くした状態、所謂「ボーナスゲーム状態」。

【0242】

(5) パチスロ機等の遊技機において、次回以降のゲーム状態をボーナスゲーム状態にさせるための条件であるボーナス図柄にてリールを停止可能とした状態、所謂「ボーナス成立状態」。

【0243】

(6) パチスロ機等の遊技機において、所定ゲーム数の間、役を成立させるためのリールの停止順序や図柄を案内する等して、役の成立を手助けする状態、所謂「アシストゲーム状態」。

40

【0244】

(7) パチスロ機等の遊技機において、ボーナスゲーム状態、ボーナス成立状態、アシストゲーム状態等の特典状態が発生する確率を通常よりも高確率とした状態、所謂「確率変動状態」。

【0245】

手段42の構成によると、特典付与手段に、少なくとも受入検出手段による遊技媒体の検出に基づいて遊技媒体を払出す払出手段と、抽選手段の抽選結果が所定条件を充足すると受入口を所定のパターンで開閉させて有利遊技状態を発生させる有利遊技状態発生手段

50

とを備え、有利遊技状態が発生すると特別役物の流通空間が視認可能となるようにすると共に、その際に流通空間内に供給された遊技媒体を振分手段によって振分けるようにしたものである。

【0246】

これにより、遊技媒体を受入口に受入れさせると、特別役物の流通空間内を流通する遊技媒体を視認させて遊技媒体の動きを楽しませるだけでなく、遊技媒体が払出されるので、受入口を狙った遊技媒体の打ち込み操作を積極的に行わせて興趣の高められるものとすることができる。

【0247】

また、抽選結果が所定条件を充足（例えば、大当り、小当り等）すると、有利遊技状態が発生して受入口が所定のパターンで開閉動作を繰り返すので、抽選を開始させるために始動口を狙った遊技をさせることができると共に、受入口を大入賞口や役物入賞口としていので、有利遊技状態が発生することで、遊技媒体の打ち込み操作が大入賞口や役物入賞口等としての受入口を狙った単調な操作となって飽き易くなっても、受入口に受入れられた遊技媒体が特別役物の流通空間内で種々の動きをすることで遊技者を楽しませることができ、遊技に飽き難くして興趣が低下するのを防止することができる。

【0248】

また、有利遊技状態が発生すると、特別役物の流通空間が遊技者から視認可能となるようにしているので、流通空間が視認可能となることで有利遊技状態が発生したことを認識させることができると共に、これまで視認不能であった流通空間が視認可能となることで、遊技者の関心を流通空間に向けさせることができ、流通空間内を流通する遊技媒体の動きを楽しませることができる。

【0249】

更に、流通空間の振分手段によって振分けられる第一排出口又は第二排出口によって、あたかも遊技制御に影響を与えているかのような遊技とすることができ、例えば、有利遊技状態の発生中のある段階で遊技媒体が所定の排出口に振分けられた場合は、あたかも有利遊技状態が延長されたように錯覚させたり、或いは、有利遊技状態の終了間直の段階で遊技媒体が所定の排出口に振分けられた場合は、あたかも抽選手段による所定条件を充足する抽選結果が抽選される確率を高確率に変更されるように錯覚させたりすることができ、有利遊技状態の発生中に流通空間への関心をより高められると共に、流通空間内での遊技媒体の動き、特に、振分手段により振分けられる動きによりハラハラ、ドキドキさせて興趣の高められるものとすることができる。

【0250】

なお、演出表示手段を備えているので、例えば、演出表示手段に近接配置された第一排出口及び第二排出口が、どのような特典（例えば、「大当り」、「確変大当り」、「ハズレ」、等）を付与する排出口なのかを指し示す画像を表示することができるので、その表示により振分手段での遊技媒体の振分に対する期待感をより高めることができ、遊技者の興趣が低下するのを防止することができる。

【0251】

手段43：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域、及び少なくとも該遊技領域内で前後方向に視認可能な透過部を有した遊技盤と、

該遊技盤の前記遊技領域内に配置される始動口と、

該始動口への遊技媒体の受入れに基づいて所定の抽選を行う抽選手段と、

少なくとも該抽選手段の前記抽選結果に応じて所定の演出画像を表示可能とされると共に、前記遊技盤の前記透過部を通して遊技者から視認可能となるように配置され、外周の所定位置に配置された着脱係止部、及び該着脱係止部が配置された側とは反対側に配置された着脱突起とを有した演出表示手段と、

該演出表示手段の上側で前記始動口とは異なる位置に配置され、前記抽選手段による抽選結果に応じて遊技媒体の受入れが可能となる受入口と、

該受入口に受入れられた遊技媒体を検出する受入検出手段と、

少なくとも該受入検出手段による遊技媒体の検出に基づいて所定数の遊技媒体を払出す払出手段、前記抽選手段の抽選結果が所定条件を充足すると、前記受入口を所定のパターンで遊技媒体の受入可能と受入不能とを繰り返しさせて遊技者に有利な有利遊技状態を発生させる有利遊技状態発生手段とを備えた特典付与手段と、

前記受入検出手段によって検出された遊技媒体を、遊技者から視認可能な状態で流通させ、遊技媒体を後方へ誘導する第一屈曲部、及び該第一屈曲部により後方へ誘導された遊技媒体を前方へ誘導する第二屈曲部を少なくとも有した役物誘導路と、

該役物誘導路の誘導軸線上に配置され所定数の遊技媒体を貯留させる貯留部、及び該貯留部を前記受入検出手段による遊技媒体の検出及び前記抽選手段の前記抽選結果の少なくとも一方に応じて、移動させる貯留部駆動手段、を少なくとも有した貯留振分手段と、

該貯留振分手段の前記貯留部が移動することで貯留された遊技媒体が通過可能とされ且つ遊技媒体の一つのみ通過可能な大きさとされた落下口と、及び前記貯留振分手段によって貯留されなかった遊技媒体を後方へ誘導排出する傾斜面からなる排出誘導路とが少なくとも形成されたベース天板部、該ベース天板部と対向配置されるベース底板部、前記ベース天板部と前記ベース底板部の外周を連結し前記落下口と連通する所定広さの収納空間を形成すると共に遊技媒体が通過可能とされ所定位置に上下方向に離反した第一排出受入口及び第二排出受入口が形成され、更に、前記排出誘導路と連通し後方が開放された形態の第一排出流路、及び該排出流路とは異なる流路とされ前記第一排出受入口及び前記第二排出受入口と連通し遊技媒体を下方へ誘導可能な後方が開放された形態の第二排出流路とが後側に形成されたベース外周壁部とを備え、前記演出表示手段の左右何れか一方に配置される役物支持ベースと、

該役物支持ベースの前記収納空間内に上下方向に延びる軸芯周りに回転可能に収納支持され、隔壁部によって周方向に分割された一方に配置され前記受入検出手段によって検出された遊技媒体が流通可能な流通空間、

該流通空間とは前記隔壁部を挟んで反対側に配置され、透光性を有した板状の装飾レンズと、該装飾レンズの後側に配置され該装飾レンズの面方向に略沿うように光軸が向けられた役物装飾体用発光手段と、該役物装飾体用発光手段の前記光軸と対向する光入射部、前記装飾レンズと近接する側とは反対側に配置され前記役物装飾体用発光手段の光軸方向に対して略直角方向に延びる複数の反射溝からなり光入射部から入射した光を前記装飾レンズの方向に反射させる光反射部、前記装飾レンズと近接する側に配置され前記役物装飾体用発光手段の光軸方向に延びる複数の突条からなり光反射部によって反射された光を前記装飾レンズへ拡散放射させる光放射部を有し、前記役物装飾体用発光手段からの光を前記装飾レンズの方向へ反射攪乱させる透明板状の拡散レンズと、該拡散レンズの後側に配置され前記発光手段を支持する板状の光源基板とを備え、前記拡散レンズが上下方向に延びると共に上下方向の略中央部に所定広さの開口部を有し上下端面及び該開口部内周の上下面が光入射部とされると共に、前記役物装飾体用発光手段が前記拡散レンズの光入射部に光軸を向けて前記拡散レンズの上側、下側、及び前記開口部内に配置された発光装飾体、

前記軸芯を中心とした円盤状で前記流通空間が遊技者から視認可能となる位置に回転移動すると前端部分が前記落下口と略一致するような周方向に延びる長孔からなり大きさが前記落下口よりも大きく前記流通空間と連通する連通孔が形成された天板部と、該天板部と略同軸芯上で前記隔壁部の下部に配置される円盤状の底板部と、前記天板部と前記底板部との間に配置され前記流通空間が遊技者から視認可能となる位置に回転移動すると前記第一排出受入口及び前記第二排出受入口と夫々連通可能となり前記流通空間内の遊技媒体を排出すると共に前記演出表示手段と隣接する位置に第一排出口及び第二排出口が形成され周方向に分割する前記隔壁部とを備えた役物回転体、

該役物回転体の前記天板部の下側で前記流通空間内に配置され、前記長孔の前端部分から後端部分に向かうに従って該長孔から遠ざかるように傾斜し遊技媒体を前記隔壁部側へ誘導可能な誘導部材、

該誘導部材に誘導された遊技媒体の運動エネルギーを減衰させるエネルギー減衰手段と

10

20

30

40

50

、
該エネルギー減衰手段によって運動エネルギーが減衰した遊技媒体が転動可能とされ
と共に前記第一排出口の上方に一方の端が位置し略水平時に中央が両端よりも低い位置と
され平面視で前記役物回転体本体の外周に略沿った形状でシーソー状の演出樋と、該演出
樋と一体回転すると共に該演出樋の回転中心から所定距離の位置に半径方向に延びるスリ
ットからなる係合部を有した第一伝達部材、該第一伝達部材の前記係合部と係合するピン
からなる被係合部を有し前記演出樋の軸芯方向と平行な方向に延び前記第一伝達部材の旋
回範囲よりも外側に配置された軸周りに回転可能とされその回転中心から前記被係合部ま
での長さが前記第一伝達部材における回転中心から前記係合部までの長さよりも短い長さ
とされた第二伝達部材、該第二伝達部材を回転駆動させる回転駆動手段、前記第二伝達部
材と一体回転すると共に前記第一伝達部材の旋回面と略同一面上を回転するように配置さ
れ前記第二伝達部材の延びる方向とは異なる方向に延び前記第一伝達部材との接触を回避
する逃し部を有した検知片及び該検知片を検知する検知センサからなり前記演出樋の回転
位置を検知可能な回転位置検知手段を備え少なくとも前記第一伝達部材、前記第二伝達部
材、及び前記回転位置検知手段が前記隔壁部と前記発光装飾体との間に配置される回転傾
動手段とを有し、前記第一排出口又は前記第二排出口の何れかに前記抽選結果に応じて前
記演出樋を回転傾動させて遊技媒体を振分ける振分手段、

10

該振分手段の前記演出樋における他方の端の下方に配置され誘導受部、

該誘導受部に受けられた遊技媒体を前記第二排出口へ誘導すると共に平面視で前記役物
回転体本体の外周に略沿った形状とされた誘導樋、

20

前記振分手段における前記演出樋の略中央に、前記エネルギー減衰手段によって運動エ
ネルギーが減衰した遊技媒体を放出供給する球放出部材、

前記流通空間内に配置されるフィギュア、

該フィギュアの下方且つ前記役物回転体の外周で前記回転傾動手段における前記流通空
間内に配置された部位の前記役物回転体本体における半径方向外側に配置され上下方向に
延びる部分円筒形状のカバー部と、及び該カバー部の下端から前記役物回転体本体の回転
中心に向かって略水平に延びる板状の底部とを有すると共に、該底部の前記役物回転体本
体の中心側端部近傍の下側に配置される光入射部と、光入射部から前記底部内に入射した
光を前記カバー部と前記底部とが接する方向に反射誘導させる第一光誘導部、及び前記カ
バー部と前記底部とが接する位置に配置され第一光誘導部からの光を前記カバー部の上端
面の方向に反射誘導させる第二光誘導部からなる光誘導部と、前記カバー部の上端面に配
置され第二光誘導部からの光を前記カバー部の内側斜め上方で前記フィギュアに向けて外
部に放射する光放射部とを更に有したカバーレンズ、

30

該カバーレンズの前記光入射部に光軸を向けると共に前記役物回転体本体の下部に配置
されるフィギュア用発光手段、

前記役物回転体本体における回転軸線上の所定位置に少なくとも前記振分手段、前記発
光装飾体の前記役物装飾体用発光手段、及び前記フィギュア用発光手段と電氣的に接続さ
れた役物側接続部

を少なくとも有し、遊技制御に影響を与えることなく遊技媒体を流通させて前記遊技領域
外へ排出する特別役物と、

40

該特別役物を、前記有利遊技状態発生手段により有利遊技状態が発生する前記抽選結果
に応じて前記流通空間が遊技者から視認不能、又は前記演出表示手段と近接する側から徐
々に視認可能となるように回転移動させる特別役物移動手段と

前記役物支持ベースの前記第一排出流路に配置され、前記排出誘導路によって誘導され
た遊技媒体を検出可能な排出誘導センサと、

前記役物支持ベースの前記第二排出流路に配置され、前記特別役物の前記第一排出口か
ら排出された遊技媒体を検出可能な第一排出センサと、

前記役物支持ベースの前記第二排出流路に配置され、前記第一排出センサにより検出さ
れた遊技媒体を検出可能とされると共に前記特別役物の前記第二排出口から排出された遊
技媒体を検出可能な第二排出センサと、

50

前記排出誘導センサ、前記第一排出センサ、及び前記第二排出センサの少なくともいずれか一つに検出された遊技媒体を前記遊技盤の後側で下方へ排出する遊技媒体排出部材と

、
前記役物支持ベースの前記第一排出流路及び前記第二排出流路の後方を閉鎖すると共に前記第一排出流路と対応する所定位置に遊技媒体が通過可能な通過口、前記演出表示手段の前記着脱係止部と対応する位置に配置され前記演出表示手段の前記着脱係止部を後方から収容可能な開放部と、該開放部内に収容された前記着脱係止部が後方に移動するのを防止する装着位置と前記着脱係止部が前記開放部内外へ脱着可能となる開放位置との間でスライド可能な着脱レバーとを有し前記着脱係止部を着脱自在に保持する着脱機構、前記演出表示手段の着脱突起と対応する位置に配置され該着脱突起を収容可能とし後方に開放された着脱溝、及び前記特別役物の前記役物側接続部と対向すると共に前記特別役物における前記役物回転体本体の前記回転軸線上に配置され電氣的な接続が可能な支持側接続部を有し、少なくとも前記演出表示手段、前記特別役物及び前記特別役物移動手段を前記遊技盤の前記透過部を通して遊技者から視認可能となるように前記遊技盤の後側に支持する杵状の支持部材と、

10

該支持部材の後側に後方から固定され、前記支持部材の前記通過口を通過した遊技媒体を前記第一排出センサ及び前記第二排出センサの下流側の前記遊技媒体排出部材へ誘導する誘導経路を備え、前記着脱溝内に収容された前記演出表示手段の着脱突起が後方へ移動するのを防止し、識別可能に着色された固定部材と、

該支持部材の前記支持側接続部と、前記特別役物の役物側接続部とを電氣的に接続する可撓性を有したハーネスと、

20

前記遊技盤における前記遊技領域内に打ち込まれた遊技媒体を左右方向に回転可能なステージ、及び少なくとも前側で全周に亘って配置される杵状装飾体を有し、前記特別役物の一部を覆うように前記遊技盤の前面側に配置される杵状のセンター役物と、

該センター役物と前記特別役物との間に配置され、該特別役物の外周を閉鎖して前記遊技領域と前記特別役物の前記流通空間との間で遊技媒体が流通するのを防止すると共に前記センター役物によって隠蔽される位置に配置され外部から前記特別役物を手動で回転可能とするための切欠き部、及び遊技媒体が通過不能な大きさとされ前記流通空間内で遊技媒体が詰った際に外部から遊技媒体の詰りを解消させるためのスリットを備え前記役物回転体本体の外周に略沿った部分円筒面形状の円筒部と、該円筒部の周方向一端側に配置され左右方向外側に延びる平坦部と、該平坦部とは反対側の前記円筒部の周方向他端側で前記センター役物における前記装飾体の一部の後方に配置され前後方向外側に延びる延出部とを有すると共に、前記平坦部の後面側に配置される前記光入射部と、光入射部から入射した光を前記円筒部の周方向に沿って誘導されるように反射誘導する第一光誘導部、及び第一光誘導部から誘導された光を前記延出部の延びる方向に沿うように反射誘導させる第二光誘導部からなる光誘導部と、第二光誘導部から誘導された光を前記延出部内を介して前面側へ放射する光放射部とを更に有した閉鎖部材と、

30

該閉鎖部材の光入射部に光軸を向けると共に前記特別役物の近傍で前記遊技盤の後方に配置される杵状役物用発光手段と

を具備する」ものであることを特徴とする。

40

【 0 2 5 2 】

手段 4 3 の構成によると、遊技媒体が打ち込まれる遊技領域及び前後方向に視認可能な透過部を有した遊技盤と、遊技領域内に配置された始動口と、始動口への遊技媒体の受入れにより所定の抽選結果を抽選する抽選手段と、遊技盤の透過部を通して視認可能に配置され外周の一端に着脱係止部が反対側に着脱突起が備えられ抽選結果に応じて所定の演出画像を表示可能な演出表示手段と、抽選手段の抽選結果に応じて開閉する受入口と、受入口に受入れられた遊技媒体を検出する受入検出手段と、少なくとも受入検出手段による遊技媒体の検出及び始動口への遊技媒体の受入れにより所定数の遊技媒体を払出す払出手段、及び抽選結果が所定条件を充足すると受入口を所定のパターンで開閉させて有利遊技状態を発生させる有利遊技状態発生手段を有した特典付与手段と、受入検出手段により検出

50

された遊技媒体を視認可能な状態で誘導し後方へ誘導する第一屈曲部及び第一屈曲部で後方に誘導された遊技媒体を前方に誘導する第二屈曲部を有した役物誘導路と、役物誘導路の誘導軸線上に配置され所定数の遊技媒体を貯留する貯留部及び受入検出手段の検出や抽選結果に応じて貯留部を移動させる貯留部駆動手段を有した貯留振分手段と、貯留部の移動先に配置され貯留部に貯留された遊技媒体が一つのみ通過可能な大きさの落下口と貯留振分手段により貯留されなかった遊技媒体を後方へ誘導排出する排出誘導路とが形成されたベース天板部、ベース天板部と対向配置されるベース底板部、及びベース天板部とベース底板部とを連結しそれらの間に収納空間を形成すると共に所定位置に遊技媒体が通過可能な第一排出受口と第二排出受口とが形成され後側に後方に開放された形態の排出誘導路と連通する第一排出流路と第一排出流路とは異なり第一排出受入口及び第二排出受入口と連通し遊技媒体を下方へ誘導する第二排出流路が形成されたベース外周壁部を備え演出表示手段の左右何れか一方に配置される役物支持ベースと、役物支持ベースの収納空間に収納支持されると共に隔壁部によって分割された一方に配置され遊技媒体が流通可能な流通空間、隔壁部を挟んで流通空間の反対側に配置され板状の装飾レンズと、装飾レンズの後側でその面に略沿うように光軸が向けられた役物装飾用発光手段と、役物装飾用発光手段の光軸と対向配置された光入射部、装飾レンズと近接する側とは反対側に配置され役物装飾用発光手段の光軸方向に対して略直角方向に延びる反射溝により光入射部から入射した光を装飾レンズの方向へ反射させる光反射部、及び装飾レンズと近接する側に配置され役物装飾用発光手段の光軸方向に延びる複数の突条により光反射部で反射した光を装飾レンズに拡散放射させる光放射部を有した透明板状の拡散レンズと、拡散レンズの後側に配置され役物装飾用発光手段を支持する板状の光源基板とを備え、拡散レンズに上下方向に延び中央に開口部を有した形状とすると共に上下の端面及び開口部ない周の上下面を光入射部とし、役物装飾用発光手段を拡散レンズの上下側及び開口部内にその光入射部に光軸が向くように配置された発光装飾体、役物支持ベースの収納空間に上下方向に延びる軸芯周りに回転可能に収納支持され、流通空間が視認可能な位置にあると落下口と連通し周方向に延びる長孔からなる連通孔が形成された天板部と、天板部と同芯上に対向配置される底板部と、天板部と底板部との間に周方向に分割するように配置されると共に流通空間が視認可能な位置にあると第一排出受入口及び第二排出受入口と連通し且つ演出表示手段に近接して上下方向に配置され流通空間内の遊技媒体を排出する第一排出口及び第二排出口が形成された隔壁部とを備えた役物回転体、役物回転体の長孔の下側に配置され隔壁部に向かって下がるように傾斜し遊技媒体を誘導する誘導部材、誘導部材に誘導された遊技媒体の運動エネルギーを減衰させるエネルギー減衰手段、第一排出口の上方に一端が配置されるシーソー状の演出樋と、演出樋と一体回転しスリットからなる係合部を有した第一伝達部材、第一伝達部材のスリットと係合するピンからなる被係合部を有し第一伝達部材よりも長さの短い第二伝達部材、第二伝達部材と一体回転し第一伝達部材から逃げる逃し部を有した検知片と、検知片を検知する検知センサとからなり演出樋の回転位置を検知可能な回転位置検知手段とを備え、第一伝達部材、第二伝達部材、及び回転位置検知手段が隔壁部と発光装飾体との間に配置され演出樋を回転傾動させる回転傾動手段と有し、演出樋に供給された遊技媒体を抽選結果に応じて第一排出口又は第二排出口の何れかに振分けられる振分手段、演出樋の他方の端の下方に配置される誘導受部、誘導受部に受けられた遊技媒体を第二排出口へ誘導する誘導樋、演出樋の略中央にエネルギー減衰手段によって減衰した遊技媒体を放出供給する球放出部材、流通空間内に配置される装飾体としてのフィギュア、上下方向に延びる部分円筒形状のカバー部と、及び略水平方向に延びる板状の底部とを有し、底部の中心側端部の下側に配置された光入射部と、その上側にカバー部と底部とが接する方向に光を反射させる第一光誘導部、及びカバー部と底部とが接する位置に第一光誘導部からの光をカバー部の上端側へ反射させる第二光誘導部からなる光誘導部と、カバー部の上端に配置され第二光誘導部からの光をフィギュアに向けて放射する光放射部とを更に有したカバーレンズ、カバーレンズの光入射部に光軸が向けられると共に役物回転体本体の下部に配置されるフィギュア用発光手段、役物回転体本体の回転軸線上に配置され少なくとも振分手段、発光装飾体、及びフィギュア用発光手段と電氣的に接続された

10

20

30

40

50

役物側接続部、を少なくとも有し遊技制御に影響を与えることなく遊技媒体を遊技領域外へ排出する特別役物と、少なくとも有利遊技状態の発生を契機として流通空間が視認不能の状態から演出表示手段と近接する側から徐々に視認可能となるように特別役物を回転移動させる特別役物移動手段と、第一排出流路に配置され排出誘導路を通して排出された遊技媒体を検出する排出誘導センサと、第二排出流路に配置され第一排出口から排出された遊技媒体を検出する第一排出センサと、第二排出流路の第一排出センサの下流側に配置され第二排出口から排出された遊技媒体を検出可能な第二排出センサと、排出誘導センサ、第一排出センサ、及び第二排出センサの何れかに少なくとも検出された遊技媒体を遊技盤の下方へ排出する遊技媒体排出部材と、第一排出流路及び第二排出流路の後方を閉鎖すると共に第一排出流路と対応した位置に配置された通過口、着脱係止部と対応する位置に着脱係止部を収容可能な開放部、及び開放部を閉鎖する着脱レバーとからなり着脱係止部を後方から着脱自在に保持する着脱機構と、着脱突起と対応する位置に配置され着脱突起を収容可能な後方に開放された着脱溝と、役物回転体の回転軸線上で役物接続部と対向配置される支持側接続部とを有し、演出表示手段等を透過部を通して視認可能となるように遊技盤に支持すると共に特別役物及び特別役物移動手段を所定位置に支持する枠状の支持部材と、支持部材の後側に後方から固定され通過口を通過した遊技媒体を遊技媒体排出部材へ誘導する誘導経路を備え着脱溝に収容された着脱突起が移動するのを防止し識別可能に着色された固定部材と、支持側接続部と役物側接続部とを接続するハーネスと、遊技媒体が回転可能なステージ及び全周に亘って配置される枠状装飾体を有し一部が特別役物の前側にかかるように遊技盤の前面側に配置される枠状のセンター役物と、センター役物と特別役物との間に配置され、部分円筒形状の円筒部と、円筒部の一端側に配置され左右方向外側に延びる平坦部と、平坦部とは反対側に配置され前後方向外側に延びる延出部とを備えると共に、平坦部の後面側に光入射部を配置し、その前側に円筒部に沿って光を誘導反射させる第一光誘導部、及び円筒部と延出部との接する位置に配置され第一光誘導部により誘導された光を延出部の延びる方向へ反射誘導させる第二光誘導部からなる光誘導部と、延出部の前面に配置され第二光誘導部で誘導された光を前方のセンター役物における枠状装飾体に向けて放射する光放射部とを備えた閉鎖手段と、閉鎖手段の光入射部に光軸が向けられると共に特別役物の近傍で遊技盤の後面側に配置される枠状装飾体用発光手段とを備えたものである。

【 0 2 5 3 】

これにより、遊技領域内に打ち込まれた遊技媒体がセンター役物のステージ上を左右方向に回転しその遊技媒体の動きを楽しませられ、遊技媒体が始動口に受入れられると抽選が行われると共に、演出表示手段に抽選結果に応じて所定の演出画像（例えば、所定の図柄が変動表示された後に抽選結果を示唆するように図柄が停止表示されるような演出画像）が表示されて抽選結果に対する期待感を高められると同時に演出画像を楽しませる。そして、所定の抽選結果が抽選されると、受入口への遊技媒体の受入れが可能となり、受入口を狙った遊技媒体の打ち込み操作が行われると共に、受入口への遊技媒体の受入れにより所定の特典（例えば、所定数の遊技媒体の払出し）が付与されて遊技者の興趣が高められる。一方、所定の抽選結果が抽選されると、演出表示手段の横に配置された特別役物が回転移動して発光装飾体が視認可能な状態から流通空間が視認可能な状態となり、受入口に受入れられた遊技媒体が特別役物の流通空間内に進入して流通空間内で回転する遊技媒体の動きを楽しませると共に、抽選結果に応じて流通空間内の振分手段により何れの排出口に振分けられるかで楽しませた後に、何れかの排出口から遊技領域外へ遊技媒体が排出されるような遊技とすることができ、演出画像だけでなく、遊技媒体の動きも楽しむことで、遊技に飽き難くして興趣が低下するのを防止することができる。

【 0 2 5 4 】

また、遊技媒体が回転可能なステージを有したセンター役物が備えられているので、従来の遊技機と同様の遊技をさせることが可能となり、従来の遊技機に慣れた遊技者に対して、違和感が生じるのを可及的に抑制して、本発明の遊技機を選択し易くすることができる。なお、ステージの下方に始動口を配置するようにした場合、ステージ上を左右方向に

転動する遊技媒体が、ステージの所定位置から始動口に向かって放出されるか否かで、遊技者の期待感を高めることができ、興趣の高められるものとすることができる。

【0255】

更に、特別役物とセンター役物との間に、センター役物によって隠蔽され外部から手動で特別役物を回転させるための切欠き部を有した閉鎖部材を備えているので、これにより、遊技媒体が受入口以外から流通空間に進入したり、排出口以外から流通空間内の遊技媒体が排出されたりするのを防止することができる。また、切欠き部を通して手動で特別役物を回転させることができるので、組立て作業時に特別役物を所定の位置に簡単に位置させることができると共に、特別役物が回転可能に支持されているか否かのチェックを早期に行うことができ、無駄な作業が行われるのを防止することができる。

10

【0256】

また、切欠き部がセンター役物によって隠蔽される位置に配置されているので、組立て後は特別役物を手動で回転させることができなくなり、不正に特別役物が回転させられるのを防止することができる。

【0257】

また、閉鎖部材の所定位置に貫通するスリットを備えているので、そのスリットを介して、例えば、細長い棒を流通空間内に挿入して、その棒により遊技媒体の詰まりを簡単に解消させることができる。また、遊技媒体の詰まりを簡単に解消させることができるので、遊技機を揺すったり叩いたりする必要がなく、遊技機の破損の原因となったり、遊技機を設置した島設備が揺れて他の遊技機で遊技する遊技者に不快感を与えて興趣を低下させてしまう原因となったりするのを防止することができる。

20

【0258】

更に、着脱機構において着脱係止部の保持を解除すると共に、支持部材から固定部材を外すことで、遊技盤を遊技機から取り外すことなく、遊技盤から演出表示手段を遊技盤の後方へ簡単に取り外すことができるので、遊技機の停止時間を可及的に短くして遊技者の興趣が低下するのを防止することができる。また、固定部材に識別可能な着色が施されているので、演出表示手段を固定する固定部材を簡単に判別することが可能となり、演出表示手段の取り外しにかかる時間を可及的に短縮することができると共に、電話連絡等でも容易に固定部材を指示することができるので、精通していない作業員でも容易に交換作業をすることができる。

30

【0259】

また、演出表示手段の固定を着脱機構だけでなく固定部材によっても固定するようにしているので、演出表示手段をガタ付なく確実に固定することができ、遊技媒体の流通等による振動によって演出表示手段が微振動するのを防止して、微振動により演出表示手段に不具合が発生するのを防止することができる。

【0260】

更に、着脱レバーをスライド操作するだけで、演出表示手段の着脱係止部を簡単に保持したり、開放させたりすることができ、演出表示手段の取り外しにかかる手間を簡略化させて作業時間を可及的に短くすることができる。

【0261】

40

また、貯留振分手段に貯留されなかった遊技媒体に対しては排出誘導センサが、貯留振分手段に貯留され流通空間内において第一排出口へ振分けられた遊技媒体に対しては第一排出センサが、また、流通空間内において第二排出口に振分けられた遊技媒体に対しては第二排出センサが夫々対応しているので、受入口に受入れられた遊技媒体が何れの流路を通過して排出されたのかを検出することができ、その検出により、受入口から遊技媒体排出部材までの間で遊技媒体が詰ったか否かを判別することができ、遊技媒体の詰まりにより遊技が中断して興趣を低下させてしまうのを防止することができる。

【0262】

更に、上述の通り、遊技媒体が何れの流路を通ったのかを検出することができるので、例えば、その検出に応じて、演出表示手段に所定の演出画像により、貯留振分手段に貯留

50

されたか否かや、流通空間内の振分手段により何れの排出口に振分けられたかを表示して、遊技媒体の動きだけでなく、演出画像によってもそれらを強く認識させることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0263】

また、固定部材に遊技媒体を排出誘導する誘導経路を備えるようにしているので、貯留振分手段に貯留されずに排出誘導路により排出される遊技媒体を流通させるための経路を別途備える必要が無く、遊技盤の後側のスペースを有効に活用することができる。

【0264】

更に、第一排出流路及び第二排出流路を介して、貯留振分手段により貯留されなかった遊技媒体及び貯留振分手段に貯留され特別役物内の振分手段に振分けられた遊技媒体を確実に排出することができる。また、夫々の流路に排出誘導センサ、第一排出センサ、及び第二排出センサが配置されているので、それらセンサによる遊技媒体の検出によって何れの流路を経て遊技媒体が排出されたのかを容易に判別することができる。

10

【0265】

また、第二排出流路では、第一排出センサに検出された遊技媒体及び第二排出受入口からの遊技媒体が第二排出センサを通るようにしている。つまり、第一排出受入口及び第二排出受入口を通った遊技媒体が、同じ流路を通して排出するようにしているので、遊技媒体を排出するための流路を少なくして排出に係るスペースを可及的に小さくできると共に、より大型の演出表示手段を用いることができ、より遊技者の興味が高められるものとすることができる。

20

【0266】

更に、特別役物内の流通空間への遊技媒体の進入口となる連通孔が、落下口よりも大きい、つまり、遊技媒体よりも大きい大きさとなっているので、遊技媒体が連通孔を完全に通過していない状態でも、遊技媒体が左右或いは前後方向に移動することができ、流通空間内における遊技媒体が自由に移動できる範囲をより広くすることができ、より遊技媒体の動きを楽しませられる流通空間とすることが可能となり、遊技媒体の動きを楽しませて、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

【0267】

また、特別役物を回転移動させて流通空間が視認可能となると、落下口と連通孔とが一致して、遊技媒体が流通空間内に進入可能となるので、特別役物の流通空間が視認不能時に流通空間内に遊技媒体が進入するのを防止して、遊技媒体の無駄な動きを防止することができる。

30

【0268】

また、連通孔が特別役物の移動方向、つまり、周方向に沿って延びるように形成された長孔としているので、特別役物を回転移動させて流通空間を視認可能な状態とした時に、特別役物の回転停止位置が多少ずれても、落下口に連通孔を一致させて遊技媒体を通過させることができる。また、誘導部材により連通孔を通過した遊技媒体を隔壁部の方向へ移動させるようにしているので、誘導部材により遊技媒体の流下速度を抑制させて、より長い時間、流通空間内に遊技媒体が留まるようにして、流通空間内での遊技媒体の動きを楽しませられるようにすることができる。

40

【0269】

更に、球放出部材によって、演出樋の略中央に遊技媒体を供給するようにしているので、演出樋が回転傾動しても、演出樋の略中央が回転中心となっているので、演出樋の略中央の高さ変化が少なく、供給する球放出部材の放出部と、供給される演出樋の略中央との位置関係が殆んど変化することが無く、演出樋の回転傾動位置に関係なく、安定して遊技媒体を供給することができると共に、演出樋に無理な力が作用するのを防止することができる。

【0270】

また、受入口から役物支持ベースまで遊技媒体を遊技者から視認できるように誘導する役物誘導路を備えているので、受入口から役物支持ベースまで誘導される遊技媒体を視認

50

させることができ、その動きを楽しませることができると共に、役物支持ベース、すなわち、特別役物の流通空間へと進む遊技媒体を視認させることで、流通空間内での遊技媒体の動きに対する期待感を徐々に高めることができ、興味が低下するのを防止することができる。また、役物誘導路に第一屈曲部と第二屈曲部とを備えているので、役物誘導路の誘導長さを長くすることができ、より長い間、遊技媒体の動きを楽しませることができる。

【0271】

また、貯留振分手段により貯留された遊技媒体のみが落下口から落下して特別役物の流通空間内へ供給されるので、受入口に受入れられた遊技媒体が必ずしも流通空間に供給されるとは限らず、流通空間内での遊技媒体の流通機会を限定することができ、流通空間内における遊技媒体の転動演出の価値を高めて、流通空間内を流通する遊技媒体により注目させることができる。また、貯留振分手段により遊技媒体が流通空間側へ振分けられるか否かによって遊技者を楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

10

【0272】

更に、特別役物における流通空間内において、振分手段により振分けられる先の第一排出口及び第二排出口が、演出表示手段に近接した位置に配置されているので、演出表示手段に、第一排出口及び第二排出口に隣接する位置にそれらがどのような特典（例えば、「大当たり」、「確変大当たり」、「ハズレ」、等）を付与する排出口なのかを指し示す画像を表示して、第一排出口や第二排出口に遊技者の関心を引き付けることができると共に、振分手段により何れの排出口へ振分けられるのかで、ドキドキ、ワクワクさせることができ、演出表示手段の演出表示と共に、振分手段によって振分けられる遊技媒体の動きを楽しませて、遊技に飽き難くして興味が低下するのを防止することができる。

20

【0273】

また、演出表示手段の横に特別役物を配置すると共に、演出表示手段と近接する側から流通空間が徐々に視認可能となるように特別役物を回転移動させるようにしているので、これにより、演出表示手段の上側や下側に配置した場合と比較して、特別役物を上下方向に長くしたものとなり、流通空間内の落差を大きくして遊技媒体の動きにメリハリを付けることができ、遊技媒体の動きを楽しませられるものとすることができると共に、流通空間が視認可能となるのに従って、演出表示手段が横に広がるような錯覚を与えることができ、遊技者を驚かせられると共に演出表示手段や流通空間に注目させることができる。

【0274】

30

更に、支持側接続部と役物側接続部とが回転軸線上に対向配置されているので、回転駆動手段、発光手段、及び検知センサを有した特別役物を回転移動させても、支持側接続部と役物側接続部とを接続するハーネスの動き（擦れ等）を最小限にすることが可能となり、ハーネスが断線したり、ハーネスと各接続部との接続が外れたりするのを防止することができ、特別役物に配置されたモータ等を確実に作動させて、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

【0275】

また、特別役物に、隔壁部を挟んで流通空間の反対側に発光装飾体を配置しているので、流通空間が視認不能の時は、発光装飾体が遊技者から視認可能となり、流通空間が視認不能の際に、何も無く殺風景になって見栄えが悪くなるのを防止して、興味が低下するのを抑制することができる。また、通常時は、発光装飾体が視認可能となっているので、他の装飾体と同化させることができ、特別役物を回転移動させて流通空間を視認可能とした時のギャップを大きくすることができ、流通空間が視認可能となった時に、流通空間に対する関心度を高めることができ、流通空間での演出を楽しませて興味の高められるものとするすることができる。

40

【0276】

更に、少なくとも有利遊技状態が発生すると、受入口が受入可能となると共に特別役物が移動してその流通空間が視認可能となり、その際に、遊技媒体を受入口に受入れさせると、所定数の遊技媒体が払い出されると共に受入れられた遊技媒体が特別役物の流通空間内に供給される。そして、流通空間内に供給された遊技媒体は、シーソー状の演出樋に供

50

給され、その演出樋上を行ったり来たりして揺動させた上で、抽選結果に応じて何れかの排出口に振分けられて遊技領域外へ排出されるので、流通空間内の演出樋上を揺動する遊技媒体の動きを楽しませることができると共に、演出樋によって何れの排出口へ振分けられるかで興味を誘って遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

【0277】

また、シーソー状の演出樋を備えており、演出樋をシーソーのように交互に傾動させることで、演出樋上に供給された遊技媒体が、演出樋の延びる方向に行ったり来たりして揺動することとなり、何れの端から遊技媒体が放出されるのか予見し難くすることができ、何れの排出口に振分けられるのかでハラハラ、ドキドキさせることができると共に、揺動する遊技媒体の動きを楽しませて、遊技者の興を高めることができる。

10

【0278】

また、流通空間に供給された遊技媒体は、以後遊技制御に関わらない、所謂、「死球」となるので、演出樋により厳密な確率で遊技媒体を振分ける必要がなく、演出樋にかかるコストを低減させることができる。これにより、仮に、目的としない排出口へ振分けられても、流通空間に供給される前の受入検出手段による検出や抽選手段の抽選結果によって既に所定の特典が付与されるのが決定されているので、遊技者に不利な状況となることは無く、逆に目的と異なる排出口に振分けられて、意図しない特典が付与されることで、遊技者を驚かせて、興の高められる効果を期待することができる。

【0279】

また、特別役物移動手段によって特別役物を回転させるだけで、容易に流通空間を視認可能としたり視認不能としたりすることができるので、特別役物の占める広さの領域のみで流通空間を出没させることが可能となり、特別役物の設置に係る領域を可及的に狭くすることができ、遊技機に備え易くすることができると共に、演出樋を回転傾動させる回転傾動手段の一部が隔壁部を挟んで反対側に配置されているので、流通空間側からは、回転傾動手段を目立ち難くして、相対的に流通空間内の演出樋等を目立たせて、演出樋への遊技者の関心を引き付けることができる。

20

【0280】

また、役物回転体本体の隔壁部で分割された一方に流通空間が配置されており、流通空間が配置された側とは反対側を遊技者に向けると隔壁部によって流通空間を視認不能とすることができ、簡単な構成で流通空間を視認可能としたり視認不能としたりすることができると共に、特別役物を正面視した時の略全ての領域を流通空間とすることができ、流通空間を可及的に大きくして遊技媒体の動きをより楽しませられるものとすることができる。また、特別役物を軸方向、つまり、上下方向に延ばして流通空間を広くすることができるので、流通空間内での遊技媒体の落差を大きくすることができ、ステージによる左右方向の遊技媒体の動きとは大きく異なる上下方向の動きをさせることができ、従来の遊技機との差別化を計る事ができ、遊技者に対する訴求効果を高めることができる。

30

【0281】

また、少なくとも始動口や受入口に遊技媒体が受入れられると、払出手段によって所定数の遊技媒体が払出されるので、始動口や受入口を狙った遊技媒体の打ち込み操作を積極的に行わせて興の高められるものとするすることができる。

40

【0282】

更に、有利遊技状態が発生すると受入口が所定のパターンで受入可能と受入不能とを繰り返す、つまり、受入口を大入賞口や役物入賞口としているので、有利遊技状態が発生することで、遊技媒体の打ち込み操作が大入賞口や役物入賞口等としての受入口を狙った単調な操作となって飽き易くなっても、受入口に受入れられた遊技媒体が特別役物の流通空間内で種々の動きをすることで遊技者を楽しませることができ、遊技に飽き難くして興味が低下するのを防止することができる。

【0283】

また、少なくとも有利遊技状態が発生すると、特別役物の流通空間が遊技者から視認可能となるようにしているので、流通空間が視認可能となることで有利遊技状態が発生した

50

ことを認識させることができると共に、これまで視認不能であった流通空間が視認可能となることで、遊技者の関心を流通空間に向けさせることができ、流通空間内を流通する遊技媒体の動きを楽しませることができる。

【 0 2 8 4 】

更に、流通空間の演出樋によって振分けられる排出口によって、あたかも遊技制御に影響を与えているかのような遊技とすることができ、その際に、演出表示手段に、近接配置された第一排出口及び第二排出口が、どのような特典（例えば、「大当り」、「確変大当り」、「ハズレ」、等）を付与する排出口なのかを指し示す画像を表示することができるので、その表示により振分手段での遊技媒体の振分に対する期待感をより高めることができ、例えば、有利遊技状態の発生中のある段階で遊技媒体が所定の排出口に振分けられた場合は、あたかも有利遊技状態が延長されたように錯覚させたり、或いは、有利遊技状態の終了間直の段階で遊技媒体が所定の排出口に振分けられた場合は、あたかも抽選手段による所定条件を充足する抽選結果が抽選される確率を高確率に変更されるように錯覚させたりすることができ、有利遊技状態の発生中に流通空間への関心をより高められると共に、流通空間内での遊技媒体の動き、特に、演出樋により振分けられる動きによりハラハラ、ドキドキさせて興趣の高められるものとすることができる。

10

【 0 2 8 5 】

また、フィギュア用発光手段の光軸がフィギュア（装飾体）の方向に向いていなくても、カバーレンズによってフィギュア用発光手段からの光をフィギュアに導くことができ、フィギュアを発光装飾させることができる。つまり、フィギュアの後側（直後）にフィギュア用発光手段を配置しなくてもフィギュアを発光装飾させることができるので、フィギュアの後にフィギュア用発光手段を配置するスペースを確保することができなくても、フィギュアを良好に発光装飾させることができ、フィギュアの配置自由度を高くすることができる。従って、フィギュアの配置によるデザインを多様化することができ、遊技者に対する訴求力の高いデザインとしたり、装飾効果の高いデザインとしたりすることができ、遊技者の興趣が低下するのを防止することができる。

20

【 0 2 8 6 】

更に、前側から光をフィギュアに放射（照射）するようにしているので、形状に特徴のあるフィギュアに対して、前方からの光により陰影がで易くなり立体感を強調することができると共に、色彩の施された（着色された）ものの場合は、前方から照明することでその色彩をより鮮明に見せることができ、フィギュア本来の装飾効果をより引き出して、遊技者の関心を引き付けることができる。

30

【 0 2 8 7 】

また、フィギュアと共に演出樋等の流通空間内も照明することができるので、明るく照明された流通空間が視認可能となることで、遊技者の関心を流通空間に引き付けることが可能となり、照明によってフィギュアだけでなく流通空間内の遊技媒体も明瞭に認識させることができ、流通空間内のフィギュアや遊技媒体の動きを楽しませて、興趣が低下するのを防止することができる。

【 0 2 8 8 】

更に、装飾レンズの面方向に対して略直角方向に役物装飾用発光手段の光軸を向けた上で、拡散レンズにより役物装飾用発光手段からの光を略直角方向に反射拡散させて装飾レンズを後側から発光させるようにしており、役物装飾用発光手段から装飾レンズまでの光が進む距離を長くすることができるので、その間に光が放射状に拡散すると共に拡散レンズによっても反射拡散し、発光装飾体の厚さを可及的に薄くしても発光装飾体を略均一に発光装飾させることが可能となり、発光装飾体の設置に必要な後方スペースを可及的に少なくすることができ、設置スペースの狭い役物回転体にも確実に発光装飾体を備えさせることができる。

40

【 0 2 8 9 】

また、役物装飾用発光手段からの光を反射拡散させて面状に発光させるようにしているので、役物装飾用発光手段の輝度を分散させると共に、光源のみが光り輝くのを防止し、

50

光源の形状を判り難くすることができ、装飾レンズ本来の形状（装飾形状）を引き立たせて、装飾効果を高めることができる。また、役物装飾用発光手段の輝度に対して、発光装飾体の輝度が低くなるので、遊技者に眩しさを与えてしまうのを抑制することができ、眩しさにより遊技領域内の遊技媒体や役物等が見辛くなったり、遊技者の目が刺激されて眼球疲労の原因となるのを抑制すると共に、疲労等により興味が低下するのを防止することができる。

【 0 2 9 0 】

また、適宜位置に役物装飾用発光手段を備えて拡散レンズを介して光を反射拡散させることができるので、上下方向に長い発光装飾体を略均一に面状発光させることができる。なお、例えば、発光装飾体として、縦長に複数の文字等を備えたものの場合、二文字毎に
10 拡散レンズの対応する部分に開口部を形成すると共に開口部内に役物装飾用発光手段を備えるようにすることで、各役物装飾用発光手段により一文字ずつ均一に面状発光させることができ、発光装飾体の装飾効果をより高めることができる。

【 0 2 9 1 】

更に、センター役物の一部が特別役物の前側にかかって、その枠状装飾体の直後に枠状装飾体用発光手段を配置することができないような場合でも、特別役物の近傍で遊技盤の後面側に枠状装飾体用発光手段を配置すると共に、特別役物とセンター役物との間に配置された閉鎖部材を用いることで、枠状装飾体用発光手段からの光をセンター役物の枠状装飾体に導くことが可能となり、センター役物の全周に配置された枠状装飾体を良好に発光
20 装飾させることができ、センター役物による装飾効果を高めて、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

【 0 2 9 2 】

また、遊技盤の後面側に配置された枠状装飾体用発光手段からの光を、閉鎖手段を介して役物回転体本体の外周に略沿うように誘導した上で、その延出部から放射して特別役物の前側にかかるセンター役物の枠状装飾体を後側から照明することができ、枠状装飾体の特別役物にかかった部位を良好に発光装飾させることができる。

【 0 2 9 3 】

手段 4 4：手段 1 から手段 4 3 までの何れか一つの遊技機において、
パチンコ機であることを特徴とする。

ここで、パチンコ機とは、遊技者が遊技機に投入する媒体である投入媒体と、遊技者が
30 行う実質的な遊技に用いられる媒体である遊技媒体とを同一のものとした遊技機であり、投入された例えば遊技球等の媒体を用いて遊技が行われるタイプの遊技機の一つである。具体的には、「操作ハンドルの操作に対応して遊技球を発射する発射装置と、多数の障害釘、役物、表示手段等の適宜の機器が組み込まれたり、始動入賞口、大入賞口、通過口、到達口等の遊技球が入球する適宜の入球口が設けられた遊技領域と、発射装置から遊技領域に遊技球を導くルールと、遊技領域に導かれた遊技球の入球口への入球に応じたり、複数の入球口への遊技球の入球態様に応じて、所定数の遊技球を賞球として払い出す払出手段とを具備するもの」である。

【 0 2 9 4 】

なお、パチンコ機としては、種々のタイプのものがあり、一般に「デジパチ機」と称されるものに代表される「入球口への入球状態を検出する入球状態検出手段（遊技状態検出手段として捉えることもできる）と、入球状態検出手段によって入球が検出されると所定の抽選を行う抽選手段と、抽選手段の抽選結果に応じて特別図柄を変動させると共に変動を停止させる特別図柄表示手段とを備えたもの」や「加えて、特別図柄の変動中に、複数の図柄からなる図柄列を変動表示し、図柄列にて図柄を停止表示させたり、キャラクタや種々の物品等の表示物を描写し、表示物を動作させたりする等によって適宜の演出表示を行う演出表示手段を更に具備するもの」、一般に「ハネモノ機」と称されるものに代表される「役物内での遊技球の振分けによって抽選を行う抽選手段を備えたもの」、一般に「アレパチ機」と称されるものに代表される「例えば 1 6 個等の所定個数の遊技球により 1
40
50 ゲームが行われ、1 ゲームにおける複数の入球口への遊技球の入球態様に応じて所定個数

の遊技球の払出しを行うもの」等を例示することができる。

【0295】

手段44の構成によると、パチンコ機において、上述した手段のいずれかの作用効果を奏することができる。

【0296】

手段45：手段1から手段43までの何れか一つの遊技機において、パチスロ機であることを特徴とする。

ここで、パチスロ機とは、投入媒体であるメダルを投入し、メダルの投入後、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作によって、夫々複数の図柄が描かれた複数のリールを回転させる等して、各リール等によって構成された図柄列を変動表示させるとともに、その後、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に応じて各図柄列の変動表示を停止させる、といった遊技が遊技者によって行われるものである。換言すれば、停止操作機能付きのスロットマシンとして捉えることができるものである。なお、所定時間が経過しても停止用操作手段が操作されない場合には、所定時間経過したことに応じて図柄列の変動表示を停止させるものであってもよい。そして、各図柄列の変動表示の停止時において、表示された単体の図柄が特定の図柄であったり、各図柄列にて表示された図柄の組合わせが特定の組合せであったりする等、特定の条件を満たす場合に、満たされた条件に応じて所定個数のメダルを払出したり、遊技者が多量のメダルを獲得することができる遊技者に有利な特別有利状態を発生させたりするものである。

【0297】

手段45の構成によると、パチスロ機において、上述した手段のいずれかの作用効果を奏することができる。

【0298】

手段46：手段1から手段43までの何れか一つの遊技機において、パチンコ機とパチスロ機とを融合させてなることを特徴とする。

ここで、「パチンコ機とパチスロ機とを融合させてなる遊技機」とは、複数個（例えば5個）の遊技球を1単位の投入媒体とし、投入媒体を投入した後、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に応じて複数の図柄からなる図柄列を変動表示させるとともに、その後、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に応じて図柄列の変動を停止させるものである。なお、所定時間が経過しても停止用操作手段が操作されない場合には、所定時間経過したことに応じて図柄列の変動表示を停止させるものであってもよい。そして、各図柄列の変動表示の停止時において、表示された単体の図柄が特定の図柄であったり、各図柄列にて表示された図柄の組合わせが特定の組合せであったりする等、特定の条件を満たす場合に、満たされた条件に応じて所定個数のメダルを払出したり、遊技者が多量のメダルを獲得することができる遊技者に有利な特別有利状態を発生させたりするものである。

【0299】

手段46の構成によると、パチンコ機とパチスロ機とを融合させてなる遊技機において、上述した手段のいずれかの作用効果を奏することができる。

【発明の効果】

【0300】

このように、本発明によれば、遊技媒体の動きを楽しませることで、遊技に飽き難くして興趣が低下するのを防止することができる遊技機を提供することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0301】

以下、本発明の一実施形態である遊技機（以下、単に「パチンコ機」と称する。）について、各図を参照しつつ説明する。

【0302】

〔パチンコ機の全体構成について〕図1および図2を参照しつつ説明する。

図1は、パチンコ機の外枠の一側に本体枠が開かれその本体枠の一側に前面枠が開かれ

10

20

30

40

50

た状態を示す斜視図である。図 2 は、パチンコ機の前側全体を示す正面図である。なお、図 1 および図 2 では、遊技領域における装飾部材を省略して図示している。

【 0 3 0 3 】

パチンコ機 1 は、外枠 2、本体枠 3、前面枠 4 および遊技盤 5 等を備えて構成されている。外枠 2 は、上下左右の木製の枠材によって縦長四角形の枠状に形成され、同外枠 2 の前側下部には、本体枠 3 の下面を受ける下受板 6 を有している。外枠 2 の全面の片側には、ヒンジ機構 7 によって本体枠 3 が前方に開閉自在に装着されている。なお、外枠 2 は、樹脂やアルミニウム等の軽金属によって形成されていてもよい。

【 0 3 0 4 】

[本体枠の構成について] 図 2 および図 3 を参照しつつ説明する。

10

図 3 は、パチンコ機の本体枠と遊技盤とを分離して斜め右上前方から示す斜視図である。

【 0 3 0 5 】

本体枠 3 は、前枠体 1 1、遊技盤装着枠 1 2 および機構装着体 1 3 を合成樹脂等によって一体成形することで構成されている。本体枠 3 の前枠体 1 1 は、外枠 2 (図 1 参照) の前側の下受板 6 を除く外郭形状に対応する大きさの矩形枠状に形成されている。前枠体 1 1 の片側の上下部には、本体枠側ヒンジ具 1 5 が固定されており、外枠 2 の片側の上下部に固定された外枠側ヒンジ具 1 4 に対してヒンジピンおよびヒンジ孔によって開閉回動自在に装着されている。即ち、外枠側ヒンジ具 1 4、本体枠側ヒンジ具 1 5、ヒンジピンおよびヒンジ孔によってヒンジ機構 7 が構成されている。

20

【 0 3 0 6 】

前枠体 1 1 の前側において、遊技盤装着枠 1 2 よりも下方に位置する前枠体 1 1 の前下部左側領域にはスピーカボックス部 1 6 が一体に形成され、そのスピーカボックス部 1 6 の前側開口部には、同開口部を塞ぐようにしてスピーカ装着板 1 7 が装着されている。そして、スピーカ装着板 1 7 にはスピーカ 1 8 が装着されている。

【 0 3 0 7 】

前枠体 1 1 前面の下部領域内において、その上半部分には発射ルール 1 9 が傾斜状に装着されている。また、前枠体 1 1 前面の下部領域内の下半部分には下部前面板 3 0 が装着されている。そして、下部前面板 3 0 の前面の略中央部には、遊技球を貯留可能な下皿 3 1 が設けられ、右側寄りには操作ハンドル 3 2 が設けられ、左側寄りには灰皿 3 3 が設けられている。なお、下皿 3 1 には、遊技球を下方に排出するための球排出レバー 3 4 が配設されている。

30

【 0 3 0 8 】

[前面枠の構成について] 図 1 および図 2 を参照しつつ説明する。

前枠体 1 1 の前面の片側には、その前枠体 1 1 の上端から下部前面板 3 0 の上縁にわたる部分を覆うようにして、前面枠 4 がヒンジ機構 3 6 によって前方に開閉可能に装着されている。

【 0 3 0 9 】

前面枠 4 の略中央部には、遊技盤 5 の遊技領域 3 7 を前方から透視可能な略円形の開口窓 3 8 が形成されている。前面枠 4 の後側には開口窓 3 8 よりも大きな矩形枠状をなす窓枠 3 9 が設けられ、その窓枠 3 9 にはガラス板、透明樹脂板等の透明板 5 0 が装着されている。前面枠 4 の前面の略全体は、ランプ等が内設された前面装飾部材によって装飾され、同前面枠 4 の前面の下部には上皿 5 1 が形成されている。詳しくは、開口窓 3 8 の周囲において、左右両側部にサイド装飾装置 5 2 が、下部に上皿 5 1 が、上部に音響電飾装置 5 3 が、それぞれ装着されている。

40

【 0 3 1 0 】

サイド装飾装置 5 2 は、ランプ駆動基板が内部に配置され且つ合成樹脂材によって形成されたサイド装飾体 5 4 を主体として構成されている。サイド装飾体 5 4 には、横方向に長いスリット状の開口孔が上下方向に複数配列されており、この開口孔には、ランプ駆動基板に配置された光源に対応するレンズ 5 5 が組み込まれている、音響電飾装置 5 3 は、

50

透明カバー体 5 6、スピーカ 5 7、スピーカカバー 5 8 およびリフレクタ体（図示せず）等を備え、これらの構成部材が相互に組み付けられてユニット化されている。

【 0 3 1 1 】

また、上皿 5 1 の前面左側には、ボタン 6 0 が設けられている。このボタン 6 0 は、遊技者自身が押下可能に構成されている。遊技者がこのボタン 6 0 を押下すると、後述する演出表示装置 1 1 5 における演出表示に、遊技者の意思を反映することができる。なお、このボタン 6 0 に代えて、レバーまたはスイッチであってもよい。また、遊技者の音声を受け付ける音声入力手段であってもよい。即ち、遊技者の意思を反映できるものであれば良い。

【 0 3 1 2 】

[施錠装置の構成について] 図 1 および図 3 を参照しつつ説明する。

前枠体 1 1 のヒンジ機構 3 6 に対して反対側となる自由端側の後側には、外枠 2 に対し本体枠 3 を施錠する機能と、本体枠 3 に対し前面枠 4 を施錠する機能とを兼ね備えた施錠装置 7 0 が装着されている。

【 0 3 1 3 】

即ち、この実施形態において、施錠装置 7 0 は、外枠 2 に設けられた閉止具 7 1 に係脱自在に係合して本体枠 3 を閉じ状態に施錠する上下複数の本体枠施錠フック 7 2 と、前面枠 4 の自由端側の後側に設けられた閉止具 7 3 に係脱自在に係合して前面枠 4 を閉じ状態に施錠する上下複数の扉施錠フック 7 4 と、パチンコ機 1 の前方から鍵が挿入されて解錠操作可能に、前枠体 1 1 および下部前面板 3 0 を貫通して露出されたシリンダー錠 7 5 と、を備えている。そして、シリンダー錠 7 5 の鍵穴に鍵が挿入されて一方向に回動操作されることで本体枠施錠フック 7 2 と外枠 2 の閉止具 7 1 との係合が外れて本体枠 3 が解錠され、これとは逆方向に回動操作されることで、扉施錠フック 7 4 と前面枠 4 の閉止具 7 3 との係合が外れて前面枠 4 が解錠されるようになっている。

【 0 3 1 4 】

[遊技盤装着枠の構成について] 図 1、図 3 および図 4 を参照しつつ説明する。

図 4 は、パチンコ機の後側全体を示す背面図である。図 1 および図 3 に示すように、本体枠 3 の遊技盤装着枠 1 2 は、前枠体 1 1 の後側に設けられかつ遊技盤 5 が前方から着脱交換可能に装着されるようになっている。

【 0 3 1 5 】

遊技盤 5 は、遊技盤装着枠 1 2 の前方から嵌込まれる大きさの略四角板状に形成されている（図 1 1 参照）。遊技盤 5 の盤面（前面）には、外レール 7 6 と内レール 7 7 とを備えた案内レール 7 8 が設けられ、その案内レール 7 8 の内側に遊技領域 3 7 が区画形成されている。

【 0 3 1 6 】

なお、発射レール 1 9 と案内レール 7 8 との間には、所定の間隙が設けられており、発射された遊技球が案内レール 7 8 を逆戻りした場合には、その遊技球は、その間隙から排出され、下皿 3 1 に案内されるように構成されている。

【 0 3 1 7 】

また、遊技盤 5 の前面には、その案内レール 7 8 の外側領域において、合成樹脂製の前構成部材 7 9 が装着されている。

【 0 3 1 8 】

一方、図 4 に示すように、遊技盤 5 の後側下部には、その中央部から下部にわたる部分において、各種入賞装置に流入した遊技球を受けかつその遊技球を所定位置まで導く集合樋としての機能とボックス装着部としての機能を兼ね備えたボックス装着台 1 1 8 が設けられている。

【 0 3 1 9 】

ボックス装着台 1 1 8 には、音声制御基板、ランプ制御基板等の副制御基板 1 1 9 が収納された副制御基板ボックス 1 3 0 が装着され、その副制御基板ボックス 1 3 0 の後側に重ね合わされた状態で、主制御基板 1 3 1 が収納された主制御基板ボックス 1 3 2 が装着

10

20

30

40

50

されている。

【 0 3 2 0 】

さらに、遊技盤 5 の後側に対しボックス装着台 1 1 8、副制御基板ボックス 1 3 0 および主制御基板ボックス 1 3 2 がそれぞれ装着された状態において、本体枠 3 の遊技盤装着枠 1 2 の前方から遊技盤 5 を嵌込んで装着できるように、遊技盤 5 の外郭より外側にはみ出すことなくボックス装着台 1 1 8、副制御基板ボックス 1 3 0 および主制御基板ボックス 1 3 2 が配置されている。

【 0 3 2 1 】

[本体枠の機構装着体、球タンクおよびタンクレールの構成について] 図 7 および図 8 を参照しつつ説明する。

図 7 は、パチンコ機の本体枠に各種部材が組み付けられた状態を斜め右上後方から示す斜視図であり、図 8 は、本体枠単体を斜め右上後方から示す斜視図である。

【 0 3 2 2 】

本体枠 3 の機構装着体 1 3 には、タンク装着部 1 3 3、レール装着部 1 3 4 および払出装装置装着部 1 3 5 等がそれぞれ形成され、タンク装着部 1 3 3 には球タンク 1 3 6 が装着されている。

【 0 3 2 3 】

球タンク 1 3 6 は、透明な合成樹脂材よりなり、島設備から供給される多数の遊技球が貯留可能な上方に開口する箱形状に形成されている。そして、球タンク 1 3 6 の遊技球の貯留状態が球タンク 1 3 6 の後側壁を透して視認可能となっている。

【 0 3 2 4 】

また、球タンク 1 3 6 の底板部 1 3 7 の後側隅部には遊技球を放出する放出口 1 3 8 が形成されるとともに、底板部 1 3 7 は放出口 1 3 8 に向けて下傾する傾斜面に形成されている。

【 0 3 2 5 】

本体枠 3 の機構装着体 1 3 には、そのタンク装着部 1 3 3 に下方に接近してレール装着部 1 3 4 が一体に形成され、そのレール装着部 1 3 4 にレール構成部材 1 3 9 が装着されることでタンクレール 1 5 0 が構成されるようになっている。即ち、この実施形態において、レール装着部 1 3 4 は、本体枠 3 の上部横方向部分が所定深さ凹まされた状態で形成されており、その凹部の奥側壁をタンクレール 1 5 0 の前壁部 1 5 1 とし、その凹部の下縁部に沿って一端（図 8 に向かって左側）から他端（図 8 に向かって右端）に向けて下傾する傾斜状のレール棚 1 5 5 が形成されている。そして、レール棚 1 5 5 の横方向に伸びる上向き面をレール受け部 1 5 8 としている。

【 0 3 2 6 】

レール装着部 1 3 4 に装着されてタンクレール 1 5 0 を構成するレール構成部材 1 3 9 は、レール装着部 1 3 4 の前壁部 1 5 1 との間にレール通路を構成する後壁部 1 5 2 と、傾斜状をなす下板部と、その下板部の上面の前後方向中央部に沿って突設されレール通路を前後複数列（この実施形態では前後 2 列）に区画する仕切り壁（いずれも図示せず）とを一体に備えて形成されている。

【 0 3 2 7 】

レール構成部材 1 3 9 は、レール装着部 1 3 4 に対し適宜の取付手段によって装着され、これによって、前後複数列のレール通路を備えたタンクレール 1 5 0 が構成されている。そして、球タンク 1 3 6 の放出口 1 3 8 から放出（自重によって落下）された遊技球がタンクレール 1 5 0 の前後複数列のレール通路の一端部においてそれぞれ受けられた後、遊技球が自重によってレール通路に沿って転動することでレール通路の他端部に向けて流れるようになっている。

【 0 3 2 8 】

また、この実施形態において、レール構成部材 1 3 9 は、透明な合成樹脂材より形成され、これによって、レール通路内の遊技球の流れ状態が、レール構成部材 1 3 9 の後壁部 1 5 2 を透して視認可能となっている。

【 0 3 2 9 】

タンクレール 1 5 0 (レール装着部 1 3 4) の前壁部 1 5 1 は、遊技盤 5 の後側に突出する装備品 (例えばセンター役物 3 0 0) における後部の上端部との干渉を避けるため第一空間部を隔てた状態で設けられている。

【 0 3 3 0 】

また、この実施形態において、本体枠 3 の後端部となるレール棚 1 5 5 の後端と、タンクレール 1 5 0 の後壁部は、球タンク 1 3 6 の後側壁と略同一面をなしている。換言すれば、球タンク 1 3 6 の後壁部に対しタンクレール 1 5 0 の後壁部が略同一面となる位置までタンクレール 1 5 0 が遊技盤 5 の後面より後方に離隔して配置されている。これによって、遊技盤 5 の後側とタンクレール 1 5 0 の前壁部 1 5 1 との間にセンター役物 3 0 0 の後部との干渉を避けるための第一空間部が設けられるようになっている。

10

【 0 3 3 1 】

タンクレール 1 5 0 の上方には、レール通路を流れる遊技球を上下に重なることなく整列させる整流体 1 5 6 がその上部において軸 1 5 7 を中心として揺動可能に装着されている。この整流体 1 5 6 には、その中央部から下部において錘が設けられている。

【 0 3 3 2 】

[払出装置装着部および球払出装置の構成について] 図 7 および図 8 を参照しつつ説明する。

本体枠 3 の機構装着体 1 3 の片側寄りの上下方向には、次に述べる球払出装置 (球払出ユニット) 1 7 0 に対応する縦長の払出装置装着部 1 3 5 が形成されている。払出装置装着部 1 3 5 は、後方に開口部をもつ凹状に形成されている。

20

【 0 3 3 3 】

また、払出装置装着部 1 3 5 の段差状をなす奥壁部 (図示しない) の所定位置には、球払出装置 1 7 0 の払出用モータ 1 7 2 (図 3 参照) が突出可能な開口部 1 7 3 が形成されている。

【 0 3 3 4 】

払出装置装着部 1 3 5 の凹部に球払出装置 1 7 0 が装着された状態において、遊技盤 5 との間には、第一空間部と前後方向に略同一レベルとなる第二空間部が設けられている。これによって、レール通路と球通路とが前後方向に略同一レベルで配置されている。

【 0 3 3 5 】

30

また、本体枠 3 の後端、即ち、払出装置装着部 1 3 5 の周壁部後端、レール棚 1 5 5 の後端、球タンク 1 3 6、タンクレール 1 5 0 および球払出装置 1 7 0 のそれぞれの後面は略同一面をなしている。

【 0 3 3 6 】

球払出装置 1 7 0 は、払出装置装着部 1 3 5 の凹部と略同じ大きさの縦長のボックス形状をなし、払い出しに関する各種部品が装着されることでユニット化されている。

【 0 3 3 7 】

なお、球払出装置 1 7 0 は、払出装置装着部 1 3 5 の凹部の後方開口部から嵌め込まれて適宜の取付手段 (例えば、弾性クリップ、係止爪、ビス等の取付手段) によって装着されるようになっている。

40

【 0 3 3 8 】

また、図示しないが、球払出装置 1 7 0 は、タンクレール 1 5 0 におけるレール通路の出口にそれぞれ連通する流入口を有する球通路が前後複数列 (例えば前後 2 列) に区画されて形成されている。また、その内部に形成された前後複数列の球通路の下流部が二股状に分岐されて前後複数列の賞球および貸球用球通路と球抜き用球通路とがそれぞれ形成されている。そして賞球および貸球用球通路と球抜き用球通路との分岐部には、遊技球をいずれかの通路に振り分けて払い出すための回転体よりなる払出部材 (図示しない) が正逆回転可能に配設されている。

【 0 3 3 9 】

[本体枠の後側下部の装備について] 図 3 および図 4 を参照しつつ説明する。

50

本体枠 3 の前枠体 1 1 の後側において、遊技盤装着枠 1 2 よりも下方に位置する前枠体 1 1 の後下部領域の片側（図 4 に向かって左側）には、発射レール 1 9 の下傾端部の発射位置に送られた遊技球を発射するための発射ハンマー（図示しない）、その発射ハンマーを差動する発射モータ 1 9 2 等が取付基板 1 9 3 に組み付けられてユニット化された発射装置ユニット 1 9 4 が装着されている。

【 0 3 4 0 】

前枠体 1 1 の後下部領域の略中央部には、電源基板 1 9 5 を収容する電源基板ボックス 1 9 6 が装着され、その電源基板ボックス 1 9 6 の後側に重ね合わされた状態で払出制御基板 1 9 7 を収容する払出制御基板ボックス 1 9 8 が装着されている。

【 0 3 4 1 】

払出制御基板 1 9 7 は、遊技球を払い出す数を記憶する R A M を備え、主制御基板 1 3 1 から送信される払出用信号に従って遊技球を払い出す制御信号を中継用回路基板（図示しない）に伝達して払出用モータ 1 7 2 を作動制御するようになっている。

【 0 3 4 2 】

[後カバー体の構成について] 図 4 および図 5 を参照しつつ説明する。

図 5 はパチンコ機の後側全体を右上後方から示す斜視図である。

【 0 3 4 3 】

遊技盤 5 後面に配置された表示装置制御基板ボックス 1 1 7（図 9 参照）および主制御基板ボックス 1 3 2 の後端部は機構装着体 1 3 の中央部に開口された窓開口部に向けて突出している。

【 0 3 4 4 】

機構装着体 1 3 の窓開口部の一側壁を構成する側壁部と他端壁を構成する払出装置装着部 1 3 5 の片側壁との間には、不透明な合成樹脂材によって略方形の箱形状に形成された後カバー体 2 1 0 がカバーヒンジ機構 2 1 1 によって開閉並びに着脱可能に装着されている。

【 0 3 4 5 】

後カバー体 2 1 0 は、略四角形状の後壁部 2 1 2 と、その後壁部 2 1 2 の外周縁から前方に向けて突出された周壁部 2 1 3 とから一体に構成されている。後カバー体 2 1 0 の周壁部 2 1 3 のうち、一側の壁部 2 1 3 a には、機構装着体 1 3 の後壁部の上下および中間の計 3 箇所に形成されたヒンジ体 2 1 4 のヒンジ孔の上方からそれぞれ着脱可能に嵌め込まれるヒンジピン 2 1 5 を下向きに有するヒンジ体 2 1 6 が一体に形成されている。

【 0 3 4 6 】

また、後カバー体 2 1 0 の周壁部 2 1 3 のうち、他側の壁部 2 1 3 b には、払出装置装着部 1 3 5 の片側壁に形成された係止孔に弾性的に係合可能な係止爪を有する弾性閉止体 2 1 7 が一体に形成されている。

【 0 3 4 7 】

即ち、後カバー体 2 1 0 は、その上下および中間のヒンジ体 2 1 6 の各ヒンジピン 2 1 5 が機構装着体 1 3 の側壁部のヒンジ体 2 1 4 のヒンジ孔の上方からそれぞれ嵌め込まれる。この状態で、ヒンジピン 2 1 5 を中心として後カバー体 2 1 0 が機構装着体 1 3 の他側に向けて回動されながら、その弾性閉止体 2 1 7 を払出装置装着部 1 3 5 の片側壁の係止孔に差し込んで弾性的に係合させることで、機構装着体 1 3 の後側に後カバー体 2 1 0 が閉じ状態で保持される。そして、後カバー体 2 1 0 によって、遊技盤 5 後面の表示装置制御基板ボックス 1 1 7（図 9 参照）全体および主制御基板ボックス 1 3 2 の略中間部から上端にわたる部分が後カバー体 2 1 0 によって覆われるようになっている。これによって主制御基板ボックス 1 3 2 の上部に露出された主制御基板 1 3 1 の基板コネクタ（主として表示装置制御基板 1 1 6 と接続するための基板コネクタ）が後方から視認不能に隠蔽されている。

【 0 3 4 8 】

また、主制御基板ボックス 1 3 2 の略中間部から下端にわたる部分は後カバー体 2 1 0 によって覆われることなく露出されている。そして、主制御基板ボックス 1 3 2 の下部に

10

20

30

40

50

は、その主制御基板 1 3 1 上に配置された検査用コネクタ 2 1 8 が露出されており、後力パー体 2 1 0 が閉じられた状態で主制御基板 1 3 1 上の検査用コネクタ 2 1 8 に基板検査装置（図示しない）を接続して検査可能となっている。

【 0 3 4 9 】

後力パー体 2 1 0 には、多数の放熱孔 2 3 0 , 2 3 1 , 2 3 2 , 2 3 3 が貫設されており、これら多数の放熱孔 2 3 0 , 2 3 1 , 2 3 2 , 2 3 3 から内部の熱が放出されるようになっている。この実施形態において、後力パー体 2 1 0 には、その周壁部 2 1 3 から後壁部 2 1 2 に延びる多数のスリット状の放熱孔 2 3 0 が貫設され、後壁部 2 1 2 の略中間高さ位置から上部においては多数の長円形、楕円形等の放熱孔 2 3 1 が貫設され後壁部 2 1 2 の下部には多数の長円形、楕円形等の放熱孔 2 3 2 と所定数の横長四角形状の放熱孔 2 3 3 が貫設されている。

10

【 0 3 5 0 】

また、横長四角形状の放熱孔 2 3 3 は、主制御基板ボックス 1 3 2 の封印ねじ（封印部材）によって封印される複数の並列状の封印部 2 3 5 の列の大きさおよび配設位置に対応する大きさおよび位置に貫設されている。これによって、不透明な後力パー体 2 1 0 が閉じられた状態であっても、主制御基板ボックス 1 3 2 の複数の並列状の封印部 2 3 5 が放熱孔 2 3 3 の部分において視認可能に露出される。このため、後力パー体 2 1 0 が閉じられた状態であっても、主制御基板ボックス 1 3 2 の封印部 2 3 5 の封印状態を容易に視認することができる。また、不透明な合成樹脂材は、透明な合成樹脂材と比べ、リサイクル使用される合成樹脂材を材料として用いることが容易であるため、後力パー体 2 1 0 を安価に製作することができる。

20

【 0 3 5 1 】

後力パー体 2 1 0 の周壁部 2 1 3 のうち、上側壁部 2 1 3 c の所定位置（この実施形態では左右 2 箇所）には、電源コード（図示しない）を適宜に折り畳んだ状態で保持する略 C 字状でかつ弾性変形可能なコード保持体 2 3 7 が上方のタンクレール 1 5 0 の後壁面（レール構成部材 1 3 9 の後壁面）に向けて延出されている。このコード保持体 2 3 7 の先端部には、同コード保持体 2 3 7 を弾性変形させて電源コードを取り外すためのつまみが形成されている。

【 0 3 5 2 】

電源コードは、その一端が分電基板 2 3 8 の基板コネクタ 2 3 9 に取り外し可能に接続され、他端の電源プラグが電源コンセントに差し込まれる。前記したように、後力パー体 2 1 0 にコード保持体 2 3 7 を一体に形成して電源コードを保持することで、パチンコ機 1 を運搬・保管する際に電源コードがぶらついて邪魔になったり、異物に引っ掛かる不具合を防止することができる。

30

【 0 3 5 3 】

〔 本体枠の後側下部の下皿用球誘導体等の構成について 〕 図 2 および図 6 を参照しつつ説明する。

図 6 は、図 5 に示すパチンコ機の斜視図から後力パー体および各種制御基板等を取り外した状態を示す斜視図である。

【 0 3 5 4 】

40

本体枠 3 の後下部領域の他側寄り部分（ヒンジ寄り部分）には、そのスピーカボックス部 1 6 の後段差部の凹み部分において下皿用球誘導体 2 5 3 が装着されている。この下皿用球誘導体 2 5 3 は、球払出装置 1 7 0 の賞球および貸球用球通路から上皿連絡路（図示しない）を経て上皿 5 1 に払い出された遊技球が満杯になったときに、上皿連絡路の遊技球を下皿 3 1 に導くためのものである。

【 0 3 5 5 】

なお、この実施形態において、下皿用球誘導体 2 5 3 の後壁外面には、インターフェース基板 2 5 2 を収納している基板ボックス 2 5 4 が装着されている。なお、インターフェース基板 2 5 2 は、パチンコ機 1 に隣接して設置される貸球機と払出制御基板 1 9 7 との間に介在され、球貸に関する信号を球貸機と払出制御基板 1 9 7 との間で送受信可能に電

50

氣的に接続するようになっている。

【 0 3 5 6 】

[遊技盤の構成について] 図 1 0 ~ 図 3 6 を参照しつつ説明する。

図 1 0 は、遊技領域を有した遊技盤の構成を示す拡大正面図である。図 1 1 は、遊技盤を斜め前方から示す斜視図である。図 1 2 は、遊技盤を主要な構成部品毎に分解して斜め前方から示す斜視図である。図 1 3 は、遊技盤を主要な構成部品毎に分解して斜め後方から示す斜視図である。

【 0 3 5 7 】

図 1 0 および図 1 1 に示すように、遊技盤 5 は、遊技領域 3 7 を形成する略円形の遊技領域形成壁 8 0 を有している。この遊技領域形成壁 8 0 の内側（遊技領域 3 7 側）であって且つ左側には、遊技球を遊技領域 3 7 に案内する外レール 7 6 および内レール 7 7 からなる案内レール 7 8 が設けられている。発射装置ユニット 1 9 4（図 7 参照）から発射された遊技球は、案内レールに沿って遊技領域 3 7 に向けて打ち込まれる。

【 0 3 5 8 】

遊技領域 3 7 の中央部には、センター役物 3 0 0 が配置されている。このセンター役物 3 0 0 は、遊技領域 3 7 の幅方向のうち 3 分の 2 以上の幅を占める大きさである。センター役物 3 0 0 は略長方形の開口部 3 0 1 を有しており、この開口部 3 0 1 には演出表示装置 1 1 5 が配置されている。また、センター役物 3 0 0 は枠状装飾体 3 7 0 を有しており、この枠状装飾体 3 7 0 は、開口部 3 0 1 の開口縁に沿って設けられている。

【 0 3 5 9 】

センター役物 3 0 0 の下方には、遊技領域 3 7 に向けて打ち込まれた遊技球を受入れ可能な第一始動口 3 9 0 が配置されている。第一始動口 3 9 0 の下方には、一对の可動片 3 9 6 を有する第三始動口 3 9 4（第二始動口については後述する）が配置されている。第三始動口 3 9 4 は、一对の可動片 3 9 6 が閉状態であるときは遊技球を受入れることが不可能または受入れ困難となっており、この一对の可動片 3 9 6 が開状態であるときは、第一始動口 3 9 0 よりも遊技球の受入れが容易となる。

【 0 3 6 0 】

なお、本実施形態において、「下方」とは、遊技球の流下方向についての下流側を意味し、「上方」とは、遊技球の流下方向についての上流側を意味する。

【 0 3 6 1 】

第一始動口 3 9 0 の真上であって且つ枠状装飾体 3 7 0 の下枠 3 7 0 a には開口部 3 7 2 が形成されている。

【 0 3 6 2 】

センター役物 3 0 0 の上部には、第一開閉装置 3 9 8 が設けられている。この第一開閉装置 3 9 8 は、第一大入賞口 3 9 8 a と、この第一大入賞口 3 9 8 a に対応して設けられた第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b とを有している。第一大入賞口 3 9 8 a は、遊技球の受入れが可能な開口部である。第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b は、第一大入賞口 3 9 8 a を、遊技球の受入れが可能な開状態と遊技球の受入れが不可能または困難にする閉状態とに切り換えるための部材である。

【 0 3 6 3 】

なお、第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b の構成は、第一大入賞口 3 9 8 a を開閉させることができればその態様は限定されないが、本実施形態では、遊技盤 5 の遊技領域 3 7 が形成された面を横切る方向（即ち前後方向）に出し入れ自在に構成されている。

【 0 3 6 4 】

また、本実施形態において、「前後方向」とは、遊技盤 5 の面に対して直交する方向、即ち、遊技者からみた前後方向を意味する。

【 0 3 6 5 】

第三始動口 3 9 4 の下方には、第二開閉装置 4 0 0 が設けられている。この第二開閉装置 4 0 0 は、第二大入賞口 4 0 0 a と、この第二大入賞口 4 0 0 a に対応して設けられた第二大入賞口開閉扉 4 0 0 b とを有している。第二大入賞口 4 0 0 a は、遊技球の受入れ

が可能な開口部である。第二大入賞口開閉扉 4 0 0 b は、第二大入賞口 4 0 0 a を、遊技球の受入れが可能な開状態と遊技球の受入れが不可能または困難にする閉状態とに切り換えるための部材である。

【 0 3 6 6 】

センター役物 3 0 0 の左側には、遊技球が通過可能な通過ゲート 4 0 2 が設けられており、センター役物 3 0 0 の左下方（第一始動口 3 9 0 および第三始動口 3 9 4 の左側）には、三つの一般入賞口 4 0 4 が設けられている。

【 0 3 6 7 】

また、本実施形態において、「左側」とは、遊技者からみた左側を意味する。

【 0 3 6 8 】

センター役物 3 0 0 の右下には、後述する第一特別図柄抽選手段 7 0 0 による抽選結果を表示する第一特別図柄表示器 8 4、第二特別図柄抽選手段 7 1 0 による抽選結果を表示する第二特別図柄表示器 8 6、第一特別図柄抽選手段 7 0 0 による抽選の保留数を表示する第一保留表示器 8 8 および第二特別図柄抽選手段 7 1 0 による抽選の保留数を表示する第二保留表示器 9 0 が設けられている。

【 0 3 6 9 】

これらの各表示器 8 4、8 6、8 8、9 0 は、例えば L E D で構成されており、この L E D の点灯態様によって、第一特別図柄抽選手段 7 0 0 による抽選結果、第二特別図柄抽選手段 7 1 0 による抽選結果、第一特別図柄抽選手段 7 0 0 による抽選の保留数および第二特別図柄抽選手段 7 1 0 による抽選の保留数が報知される。

【 0 3 7 0 】

本実施形態の遊技盤 5 は、主要な構成部品毎に分解すると、図 1 2 及び図 1 3 に示すように、前側から、案内レール 7 8 を備えた前構成部材 7 9 と、枠状のセンター役物 3 0 0 と、第二開閉装置 4 0 0、第三始動口 3 9 4、及び一般入賞口 4 0 4 を備えた入賞口ユニット 2 6 0 と、通過ゲート 4 0 2 を備えたサイド装飾部材 2 6 2 と、前側からセンター役物 3 0 0、入賞口ユニット 2 6 0、及びサイド装飾部材 2 6 2 を取付けるための適宜大きさの貫通孔 2 6 4 を複数有した板状の遊技盤ベース 2 6 6 と、遊技盤ベース 2 6 6 の後側に取付けられる枠状開口部を有した裏ユニット 2 7 0 と、裏ユニット 2 7 0 の開口部を後側から閉鎖するように裏ユニット 2 7 0 に固定される演出表示装置 1 1 5 と、裏ユニット 2 7 0 の下側に配置されると共に遊技盤ベース 2 6 6 の後面側に取付けられ、副制御基板ボックス 1 3 0 及び主制御基板ボックス 1 3 2 を支持し且つ遊技領域 3 7 に打ち込まれた遊技球を遊技盤 5 から排出するアウト口流路を有した基板ボックスホルダ 2 6 8 とを主に備えている。

【 0 3 7 1 】

（センター役物における第一、第二、及び第三ステージについて）

センター役物 3 0 0 は、図 1 0 及び図 1 1 に示すように、枠状装飾体 3 7 0 の下枠 3 7 0 a 付近に、第一棚部（以下、「第一ステージ 3 3 0」と称する。）と、遊技球の流下方向について第一ステージ 3 3 0 よりも下流側に配置された第二棚部（以下、「第二ステージ 3 5 0」と称する。）とを有している。第二ステージ 3 5 0 が配置されている位置は、第一ステージ 3 3 0 に対して演出表示装置 1 1 5 の反対側（即ち前方（遊技者）側）である。

【 0 3 7 2 】

枠状装飾体 3 7 0 の左枠 3 7 0 b の上下方向の略中央付近（即ち枠状装飾体 3 7 0 の側方）には、流下する遊技球を、第一ステージ 3 3 0 まで誘導するための第一ステージ誘導路（以下、「第一ワープ 3 1 6」と称する。）に受入れ可能な第一ワープ入口 3 0 6 が設けられている。

【 0 3 7 3 】

また、第一ワープ入口 3 0 6 の下方には第二ステージ誘導路（以下、「第二ワープ 3 1 8」と称する。）に受入れ可能な第二ワープ入口 3 0 8 が、第一ワープ入口 3 0 6 と並設されている。

【 0 3 7 4 】

第一ワープ入口 3 0 6 および第二ワープ入口 3 0 8 の下方には、それぞれ、第一ワープ入口 3 0 6 に遊技球を誘導する第一ワープ誘導片（図示せず）および第二ワープ入口 3 0 8 に遊技球を誘導する第二ワープ誘導片 3 1 0 が設けられている。この第二ワープ誘導片 3 1 0 は、枠状装飾体 3 7 0 から左方（即ち、センター役物 3 0 0 から遊技領域 3 7）に向けて突出している。これにより、第二ワープ入口 3 0 8 が第一ワープ入口 3 0 6 よりも遊技球が導かれ易くなっている。従って、遊技球が第一ワープ入口 3 0 6 に導かれなかった場合であっても、第二ワープ入口 3 0 8 に受入れられる期待感が高まり、興味が高められる。

【 0 3 7 5 】

第一ステージ 3 3 0 には、第一ワープ出口側端部 3 3 6 から第一ワープ反出口側端部 3 3 8 にかけて波状に形成された曲面が形成されている。詳しくは、上方向に膨らんだ山部 3 3 2 が第一ステージ 3 3 0 の左右方向の略中央部に形成されており、この山部 3 3 2 の左右両側には、山部 3 3 2 と連続的に連なった谷部 3 3 4 が形成されている。

【 0 3 7 6 】

なお、山部 3 3 2 の高さは、第一ワープ出口側端部 3 3 6 および第一ワープ反出口側端部 3 3 8 よりも低い位置となっている。これにより、第一ワープ出口 3 1 2 から排出された遊技球は、山部 3 3 2 を乗り越えることができ、第一ワープ出口側端部 3 3 6 第一ワープ反出口側端部 3 3 8 との間を往復して転動することができる。

【 0 3 7 7 】

第二ステージ 3 5 0 の略中央部には、高台部 3 5 2 が形成されている。この高台部 3 5 2 は、第一ステージ 3 3 0 の山部 3 3 2 の前方に位置している。第二ステージ 3 5 0 は、高台部 3 5 2 の他、第二ワープ出口側端部 3 5 6 からこの高台部 3 5 2 にかけて曲面が形成された湾曲部 3 5 4 を有している。また、第二ワープ反出口側端部 3 5 8 から高台部 3 5 2 にかけて曲面が形成された湾曲部 3 5 4 を有している。これらの湾曲部 3 5 4 は、高台部 3 5 2 よりも下方に湾曲している。

【 0 3 7 8 】

なお、高台部 3 5 2 の高さは、第二ワープ出口側端部 3 5 6 および第二ワープ反出口側端部 3 5 8 よりも低い位置である。これにより、第二ワープ出口 3 1 4 から排出された遊技球は、高台部 3 5 2 を乗り越えることができ、第二ワープ出口側端部 3 5 6 から第二ワープ反出口側端部 3 5 8 との間を往復して転動することができる。

【 0 3 7 9 】

第一ワープ入口 3 0 6 および第二ワープ入口 3 0 8 に受入れられた遊技球は、それぞれ、第一ワープ出口 3 1 2 および第二ワープ出口 3 1 4 から排出されて、第一ステージ 3 3 0 および第二ステージ 3 5 0 に導かれる。

【 0 3 8 0 】

なお、第一ワープ 3 1 6 における遊技球の流下方向と第一ステージ 3 3 0 における遊技球の転動方向とが略同一線上にあるので、第一ワープ 3 1 6 を流下した遊技球は、運動エネルギーの損失が少ない。即ち、第一ワープ 3 1 6 を流下した遊技球がその進行方向を変えられると運動エネルギーが損失してしまう。従って、第一ワープ 3 1 6 を流下した遊技球は、第一ステージ 3 3 0 上を勢い良く転動する。同様に、第二ワープ 3 1 8 における遊技球の流下方向と第二ステージ 3 5 0 における遊技球の転動方向とが略同一線上にあるので、第二ワープ 3 1 8 を流下した遊技球も、運動エネルギーの損失が少ない。これにより、第一ステージ 3 3 0 に導かれた遊技球および第二ステージ 3 5 0 に導かれた遊技球は、いずれも、第一ステージ 3 3 0 上および第二ステージ 3 5 0 上を勢い良く転動し、各ステージ上 3 3 0 , 3 5 0 に滞在する時間が長くなり、その結果各ステージ 3 3 0 , 3 5 0 において遊技球が遊ぶこととなり、興味が高められる。

【 0 3 8 1 】

また、本実施形態において、第一ステージ 3 3 0 および第二ステージ 3 5 0 には、センター役物 3 0 0 の右側からは遊技球が導かれない。即ち、第一ステージ 3 3 0 および第二

10

20

30

40

50

ステージ 350 にはセンター役物 300 の左側からのみ遊技球が導かれるので、第一ステージ 330 上および第二ステージ 350 上を転動する遊技球が、反対方向から導かれた遊技球によって転動を阻害されることがない。これにより、各ステージ上 330, 350 に滞在する時間が長くなり、その結果各ステージ 330, 350 において遊技球が遊ぶこととなり、興味が高められる。

【0382】

枠状装飾体 370 の下枠 370a 付近であって且つ演出表示装置 115 と第一ステージ 330 との間には、演出表示装置 115 に隣接するセンター電飾部 302 が形成されている。このセンター電飾部 302 には、センター役物 300 の幅方向に沿って棚状の曲面が形成されており、この曲面には、複数のセンター装飾ランプ 304 が配置されている。

10

【0383】

センター電飾部 302 の左右方向の略中央部であって且つ第一ステージ 330 の山部 332 に対応する位置には、遊技球を受入れ可能な第二始動口 392 が形成されている。即ち、第二始動口 392 は、遊技球の流下方向である第二ステージ 350 側ではなくその反対方向（第一ステージ 330 の後方側）に設けられている。これにより、遊技者から見て遊技球の第二始動口 392 への入賞を視認し易くなる。これは、第二ステージ 350 が第一ステージ 330 よりも下方に形成されており且つ第一ステージ 330 と第二ステージ 350 との間に後述するステージ仕切壁 364 が設けられているからである。

【0384】

また、第一ステージ 330 の山部 332 には、第二始動口 392 に遊技球を導くための第二始動誘導口 340 が形成されている。この第二始動誘導口 340 は、山部 332 から第二始動口 392 にかけて下方に傾斜しており、これにより、第二始動口 392 に遊技球が導かれるようになっている。従って、第一ステージ 330 上を転動している遊技球が山部 332 付近で転動する勢いがなくなったとき、この第二始動誘導口 340 によって第二始動口 392 に導かれ易くなる。

20

【0385】

なお、第二始動口 392 に入賞した遊技球は、遊技盤 5 の背後に連通する排出路（図示せず）を通して、遊技盤 5 の背後に排出される。

【0386】

第一ステージ 330 の谷部 334 には、第二ステージ 350 に遊技球を流下させるための第一ステージ傾斜溝 342 が形成されている。この第一ステージ傾斜溝 342 は、谷部 334 から第二ステージ 350 にかけて（即ち、後方から前方に向けて）下方に傾斜しており、これにより、第二ステージ 350 に遊技球が導かれるようになっている。従って、第一ステージ 330 上を転動している遊技球が山部 332 を乗り越える勢いがなくなったとき、この第一ステージ傾斜溝 342 によって第二ステージ 350 に導かれ易くなる。第一ワープ出口側端部 336 と第一ワープ反出口側端部 338 との間を往復して転動するだけの勢いがなくなった遊技球は、山部 332 から第三始動口 394 に入賞する可能性よりも、谷部 334 から第二ステージ 350 に導かれる可能性の方が極めて高い。

30

【0387】

第一ステージ 330 と第二ステージ 350 との間には、各ステージ 330, 350 を仕切るための薄い板状のステージ仕切壁 364 が設けられている。このステージ仕切壁 364 は第一ステージ 330 上の面よりも上方向に突出するように配置されており、これにより、第一ステージ 330 上を転動する遊技球が第二ステージ 350 に流下しないようになっている。ただし、ステージ仕切壁 364 の第一ステージ 330 の谷部 334 に対応する位置には、第一ステージ 330（具体的には谷部 334）と第二ステージ 350 とが連通する連通部 366 が形成されている。連通部 366 付近で左右に転動する勢いがなくなった遊技球は、連通部 366 を通って第一ステージ 330 から第二ステージ 350 に流下する。

40

【0388】

第二ステージ 350 の左右方向の略中央部（即ち、第一ステージ 330 の山部 332 に

50

対応する部位)であって且つ高台部352に対応する位置には、第一始動口誘導路374を介して枠状装飾体370の下枠370aに形成された開口部372に連通する第一始動誘導口368が形成されている。即ち、第一始動誘導口368は、遊技球の流下方向側ではなくその反対方向(第二ステージ350の後方側)に設けられている。これにより、遊技者から見て遊技球が第一始動誘導口368に受入れられることを視認し易くなる。

【0389】

第一始動誘導口368に導かれた遊技球は、第一始動口誘導路374を通過して開口部372から遊技盤5上に排出される。ここで、第一始動口誘導路374は第一始動口390の真上方まで遊技球を導くように形成されているので、第一始動口誘導路374に導かれて遊技盤5面側に排出された遊技球が第一始動口390に入賞する期待感は非常に大きなものとなる。ただし、第一始動口390の真上には釘が配置(図示せず)されており、この釘によって第一始動口390への遊技球の入賞が阻害されることがある。従って、第一始動口誘導路374を通過して開口部372から遊技盤5上に排出された遊技球が第一始動口390に入賞する確率は、概ね4分の1～4分の3程度となる。

【0390】

高台部352の左右方向の略中央部は第一始動誘導口368の位置に対応しており、高台部352の両端から略中央部にかけて(即ち、第一始動誘導口368側に向けて)下方に傾斜する傾斜部353を有している。また、高台部352の略中央部には、後述する第三棚部(以下、「第三ステージ376」と称する。)に遊技球を導くための前方傾斜溝360が形成されている。また、前方傾斜溝360の内側にはさらに、遊技球を第一始動誘導口368に導くための第一始動誘導口誘導溝362が形成されている。即ち、高台部352の略中央部には、後方から前方に向けて下方に傾斜する前方傾斜溝360が形成されていると共に、この前方傾斜溝360の内部にさらに、前方から後方にかけて下方に傾斜する第一始動誘導口誘導溝362が形成されていることとなる。これにより、前方傾斜溝360付近で左右に転動する勢いがなくなった遊技球は、第一始動誘導口誘導溝362に沿って第一始動誘導口368に導かれる場合と、前方傾斜溝360に沿って第三ステージ376に流下する場合とがある。

【0391】

また、枠状装飾体370の下枠370aには、左右方向に円弧を描くように曲面が形成された第三ステージ376が形成されている。遊技球は、この第三ステージ376上を左右方向に転動可能となっている。第三ステージ376の左右方向の略中央部には、後方から前方にかけて下方に傾斜する前方誘導溝378が形成されている。この前方誘導溝378付近で左右に転動する勢いがなくなった遊技球は、前方誘導溝378に沿って遊技盤5上を流下する。

【0392】

このように、高台部352の略中央部に第一始動誘導口誘導溝362が形成されているので、第一始動誘導口368に遊技球が導かれる期待感は、山部332から第二始動口392に入賞する期待感よりも極めて高くなる。また、第二始動口392には第一ワープ入口306からセンター役物300内に受入れられた遊技球のみが入賞可能である一方、第一始動口390には第一ワープ入口306または第二ワープ入口308からセンター役物300内に受入れられた遊技球のみでなく、センター役物300の左側を流下した遊技球が、釘によって誘導されて第一始動口390に入賞する場合もある。このように、第一始動口390に遊技球が入賞する確率は、第二始動口392に遊技球が入賞する確率よりも高いものとなる。

【0393】

(センター役物における第一、第二ワープ、及び光透過部材について)

図14は、遊技盤を斜め前方から示す斜視図であって、装飾カバーを取り外すことによって第一ワープおよび第二ワープを視認可能とした斜視図である。図15は、第一ワープおよび第二ワープの周辺の構成を示す斜視図である。図16は、光透過部材と第一ワープおよび第二ワープとの位置関係を示した図である。図17は、図16とは異なる位置の光

10

20

30

40

50

透過部材の構成を示す分解斜視図である。図 18 は、図 17 に係る光透過部材を含む断面図である。

【0394】

図 14 に示すように、第一ワープ 316 および第二ワープ 318 は、互いに区画して形成されている。即ち、第一ワープ入口 306 から取り込まれた遊技球は第一ワープ 316 のみを流下し、第二ワープ入口 308 から取り込まれた遊技球は第二ワープ 318 のみを流下する。これにより、第一ワープ入口 306 から取り込まれた遊技球と第二ワープ入口 308 から取り込まれた遊技球とが互いに干渉することなく、それぞれ、第一ステージ 330 および第二ステージ 350 に導かれる。

【0395】

また、第一ワープ 316 および第二ワープ 318 は、いずれも、内部を流下する遊技球を視認可能であるように透明部材で構成されている。これにより、第一ワープ入口 306 または第二ワープ入口 308 から受入れられた遊技球を視認できる。つまり、従来では遊技者は、センター役物 300 や演出表示装置 115 に注意を惹かれていることが多いため、第一ワープ入口 306 または第二ワープ入口 308 に遊技球が受入れられたことを見逃す場合が多く、これにより興味が低下していた。そこで、第一ワープ 316 および第二ワープ 318 を透明部材とすることによって、第一ワープ入口 306 または第二ワープ入口 308 に遊技球が受入れられたことを見逃した場合であっても、第一ワープ 316 および第二ワープ 318 を流下する遊技球を視認できるので、興味の低下を抑制できる。

【0396】

さらに、第一ワープ 316 および第二ワープ 318 は、互いに前後方向に隣接してセンター役物 300 の開口部 301 に沿って配置されている。詳しくは、第一ワープ 316 が後方側、第二ワープ 318 が前方側となるように、互いに隣接すると共に、センター役物 300 の開口部 301 に沿って設けられている。これにより、狭いスペースであっても、両者を効率良く配置できる。

【0397】

また、図 15 に示すように、第一ワープ 316 および第二ワープ 318 の後方には、演出用の光源 380 が配置される。光源 380 は、ベース 382 と複数個の LED 384 とを有しており、ベース 382 に複数個の LED 384 が配列されている。なお、光源 380 (ベース 382 および LED 384)、装飾カバー 386 および光透過部材 388 によ

【0398】

光源 380 から発光された光は、光透過部材 388 に入射し、平面部 388a に沿って光透過部材 388 を透過して遊技盤 5 の前方に導かれる。光透過部材 388 は、湾曲された板状の部材であって、透明のプラスチック等の樹脂により構成されている。光透過部材 388 は平面部 388a と、この平面部 388a に交差する端部 388b とを有している。光透過部材 388 は、この端部 388b が前方側(遊技者側)となるように配置される。

【0399】

第一ワープ 316、第二ワープ 318 および光透過部材 388 は、着色された非透明の装飾カバー 386 によって被覆されている。光透過部材 388 を透過した光は、装飾カバー 386 まで導かれるので、装飾カバー 386 の前面部が発光する。このように、光透過部材 388 は、光源 380 から発光された光を前方に導いて線状に発光させることができる。しかも、この光透過部材 388 は平面部 388a の幅方向長さ分だけ光を前方に導くことができるので、光源 380 を配置する位置の自由度が大きくなる。

【0400】

また、装飾カバー 386 が着色されることによって、第一ワープ 316 および第二ワープ 318 が視認し難くなっている。従って、装飾カバー 386 の前面部には、第一ワープ 316 を流下する遊技球を視認できるように第一ワープ視認孔 386a と、第二ワープ 318 を流下する遊技球を視認できるように第二ワープ視認孔 386b とが形成されている

10

20

30

40

50

。これにより、着色された光による演出を行うことができると共に、第一ワープ 3 1 6 および第二ワープ 3 1 8 を流下する遊技球を視認することができ、興味が高められる。

【0401】

更に、図 1 6 に示すように、第一ワープ 3 1 6 および第二ワープ 3 1 8 は、光透過部材 3 8 8 の平面部 3 8 8 a に沿って取り付けられる。ここで、光源 3 8 0 から発光された光は光透過部材 3 8 8 の端部 3 8 8 b から前方に導かれるので、遊技球が流下する経路を、光源 3 8 0 から発光された光によって容易に把握することができる。

【0402】

また、第一ワープ 3 1 6 および第二ワープ 3 1 8 が互いに前後方向に隣接して配置されているので、第一ワープ 3 1 6 および第二ワープ 3 1 8 のそれぞれに光源 3 8 0 および光透過部材 3 8 8 を設けることなく、第一ワープ 3 1 6 および第二ワープ 3 1 8 のそれぞれを流下する遊技球を把握することができる。

【0403】

また、光透過部材 3 8 8 を透過した光は端部 3 8 8 b から出射するので、線状に発光させることができる。これにより、センター役物 3 0 0 の周囲に沿う場所等、狭い場所であっても発光させることが可能になり、華やかな演出の実行が可能となる。さらに、センター役物 3 0 0 の開口部 3 0 1 に沿って発光させたい場合のように、枠状に発光させることも可能となる。

【0404】

また、この光透過部材 3 8 8 の端部 3 8 8 b には、平面部 3 8 8 a が正面視となる方向から見て蒲鉾形に形成されている。これにより、平面部 3 8 8 a を透過した光が、直線的に前方に導き出されるのではなく端部 3 8 8 b の長手方向に沿う方向に分散されるので、発光領域が大きくなり、より華やかに見え、興味が高められる。

【0405】

本実施形態のセンター役物 3 0 0 における外周に配置された電飾部材 3 7 9 の内、センター役物 3 0 0 の正面視右下側の電飾部材 3 7 9、つまり、各ステージ 3 3 0、3 5 0、3 7 6 よりも下方に延びだし、普通図柄表示器 8 2、第一及び第二特別図柄表示器 8 4、8 6、第一及び第二保留表示器 8 8、9 0 の近傍（左側）に配置された電飾部材 3 7 9 では、図 1 7 及び図 1 8 に示すような、形状に特徴のある光透過部材 3 8 9 が用いられている。

【0406】

この光透過部材 3 8 9 は、上記の光透過部材 3 8 8 と同様に、所定厚さの透明板からなり、光源 3 8 0 の LED 3 8 4 からの光が直接照射される入射側端部 3 8 9 a と、入射側端部 3 8 9 a の反対側、つまり、装飾カバー 3 8 6 側に配置され、入射側端部 3 8 9 a から光透過部材 3 8 9 内に進入した光を外部へ放射する放射側端部 3 8 9 b とを備えている。この放射側端部 3 8 9 b の表面は、細かい凸状レンズが形成されており、放射される光が拡散するようになっている。

【0407】

また、光透過部材 3 8 9 には、放射側端部 3 8 9 b 側から、入射側端部 3 8 9 a に向かう V 字形状の切欠き部 3 8 9 c が形成されており、この切欠き部 3 8 9 c における光透過部材 3 8 9 の長手方向先端部側（図中上側）の端面が第一光誘導部 3 8 9 d とされている。この第一光誘導部 3 8 9 d は、入射側端部 3 8 9 a から入射した光が、光透過部材 3 8 9 の長手方向に反射誘導するような面形状とされている。

【0408】

この第一光誘導部 3 8 9 d によって、入射端部側 3 8 9 a 側から入った光が光透過部材 3 8 9 の内部で第一光誘導部 3 8 9 d に到達すると、その光の一部が第一光誘導部 3 8 9 d で光透過部材 3 8 9 の長手方向に沿った方向に反射し、光透過部材 3 8 9 内部をその長手方向の先端部側に向かって光が進むこととなる。なお、第一光誘導部 3 8 9 d では反射されずに、第一光誘導部 3 8 9 d から光透過部材 3 8 9 の外部へ放射される光があり、外部へ放射された光は、切欠き部 3 8 9 c 前方の装飾カバー 3 8 6 を照射することとなる。

10

20

30

40

50

【0409】

また、光透過部材389には、切欠き部389cにおける第一光誘導部389dが配置された側と同じ側の長手方向先端部（図中上側端部）には、光透過部材389の長手方向に沿ってその内を進んできた光を、放射側端部389b側に反射誘導させる第二光誘導部389eが形成されている。この第二光誘導部389eは、長手方向先端に向かう入射側端部389aの端面から鋭角となるような角度に形成された複数の傾斜面を有している。図示するように、これら傾斜面は夫々異なる角度とされており、本例では鋸形状とされている。この第二光誘導部389eによって、光透過部材389内を長手方向先端側に向かって進んできた光を放射側端部389bに向かって反射させて、放射側端部389bから放射できるようになっている。

10

【0410】

本例の光透過部材389によると、所定位置に配置された光源380からの光を、入射側端部389aから内部に進入させた上で、第一光誘導部389dで反射させてその光軸をパチンコ機1の前後方向に対して略直角方向である光透過部材389の長手方向に向けさせて、第一光誘導部389dから所定距離離れた第二光誘導部389eへと送り、第二光誘導部389eでは長手方向に進んできた光を、パチンコ機1の前方向へ反射させることで第二光誘導部389eの前側にある放射側端部389bから放射して、その前方の装飾カバー386に照射することで、光装飾することができるようになっている。

【0411】

つまり、本例の光透過部材389によると、装飾カバー386における光源380の真正面に配置されていない部位に対しても、光源380からの光を照射させることができるので、真後ろに光源380が配置できなくても装飾カバー386全体に光を照射して、装飾カバー386を良好に光装飾することができる。

20

【0412】

（裏ユニットと演出表示装置との関係について）

図19は、裏ユニットと演出表示装置とを組付けた状態で前方から示す斜視図である。図20は、図19を後方から示す斜視図である。図21は、裏ユニットを後方から示す斜視図である。図22は、演出表示装置の背面図である。図23は、裏ユニットと演出表示装置等とを分解して前方から示す斜視図である。

【0413】

図示するように、本例では、裏ユニット270の後側に、演出表示装置115が着脱可能に取付けられるようになっている。具体的には、図21に示すように、裏ユニット270には、裏箱410における略矩形状に形成された開口部412の内周で、上下に延びる一方側（背面視で左側）に上下に離反して形成される二つの着脱溝414と、着脱溝414とは左右方向反対側（背面視で右側）で裏箱410の後面に配置され着脱レバー416を有した着脱機構418とを備えている。

30

【0414】

着脱機構416の着脱レバー416は、裏箱410における開口部412の中心を向く側が開放された上下方向に長い断面箱型形状とされと共に、裏箱410の後面に上下方向にスライドできるように保持されている。この着脱レバー416の後面側には、上下方向の略中央で後側に突出するツマミ部416aと、ツマミ部416a下側の後面が切り欠かれて後側に開放された開放部416bとを備えている。

40

【0415】

一方、演出表示装置115は、図22に示すように、その外形が略矩形状に形成されており、左右一方の側面（背面視左側の側面）で上下方向に互いに離反した位置に形成され、外方に向かって突出する二つの着脱突起420と、着脱突起420が形成された側面とは反対側の他方の側面（背面視右側の側面）で上下方向の略中央に形成され、外方に向かって突出する着脱係止部422とを備えている。これら、着脱突起420及び着脱係止部422は、裏ユニット270の着脱溝414及び着脱機構418と対応するように形成されている。

50

【0416】

裏ユニット270への演出表示装置115の取付けは、裏箱410における着脱機構418の着脱レバー416を上側にスライドさせた状態で、演出表示装置115の表示画面を前側に向けて裏ユニット270の後側に配置し、二つの着脱突起420を着脱溝414に挿入すると共に、着脱係止部422を着脱レバー416の開放部416bから着脱機構418内に挿入する。そして、着脱レバー416を下側にスライドさせることで、着脱係止部422の後側が着脱レバー416の後面に覆われて、着脱係止部422が係止され演出表示装置115が裏ユニット270へ取付けられることとなる。

【0417】

なお、演出表示装置115が裏ユニット270へ取付けられることにより、裏箱410の開口部412が演出表示装置115によって閉鎖されと共に、裏箱410の剛性が高くなるようになっている。

10

【0418】

また、裏ユニット270における着脱溝414は、裏箱410と、裏箱410の後側に固定された演出用役物裏球経路上部材424（詳細な構成及び作用は後述する）との協働によって形成されるようになっている。この演出用役物裏球経路上部材424は、後側から所定のビスによって裏箱410に固定されていると共に、裏ユニット270の裏箱410や、演出表示装置115とは明らかに異なる色に着色されており、それらと容易に識別できるようになっている（図20、図21等を参照）。

【0419】

20

ところで、故障等により演出表示装置115を裏ユニット270からはずす場合、演出表示装置115を固定する着脱機構418においては着脱レバー416のツマミ部416aの存在により、そこに着脱するための着脱機構418があることを、容易に作業者に認識させることができる。しかしながら、着脱機構418で着脱係止部422の係止を解除しても、着脱突起420が着脱溝414に挿入嵌合されているので、演出表示装置115を後側へ引っ張っただけでは取り外すことができず、作業者に取り外し方法を考えさせてしまい作業にかかる時間が長くなったり、無理に取り外して破損したりする恐れがある。

【0420】

しかしながら、本実施形態では、演出用役物裏球経路上部材424が、容易に識別できるようになっており、演出用役物裏球経路上部材424が別部材で取り外せることを即座に認識させることができるので、演出表示装置115を取り外す際に、演出用役物裏球経路上部材424を取り外させて、演出表示装置115の取り外しを容易に行わせることができ、取り外しにかかる時間を結果的に短くすることができると共に、無理な取り外しにより裏ユニット270等が破損するのを防止することができるようになっている。

30

【0421】

（裏ユニットの全体構成について）

図24は、演出用役物を含む遊技盤の構成を示す正面図である。図25は、遊技盤の後方に取り付けられる裏ユニットを、正面上前方から示す斜視図である。図26は、遊技盤の正面図である。図27は、図26に示されるA-A線断面図である。図28は、裏ユニットを主要な部材毎に分解して前方から示す斜視図である。

40

【0422】

図示するように、本実施形態のパチンコ機1には、遊技領域37に配置され、遊技球を用いた演出を行うことが可能な演出用役物430が備えられている。この演出用役物430は、センター役物300の内側であって且つ枠状装飾体370の右枠370cに隣接する部位に配置されており、第一大入賞口398aから受入れられた遊技球を用いて演出を行なうものである。

【0423】

この演出用役物430は円筒状の役物回転体432を有しており、この役物回転体432の内部には、図24に示すようにフィギュア434が収容されている。この役物回転体432は、円周方向の一部が、内部を視認できる透明部材で構成されており、円周方向の

50

一部とは異なる他の部が、内部を視認できない不透明部材で構成されている。ただし、透明部材に代えて開口部が形成されていても良い。内部に収容されたフィギュア 4 3 4 を視認できればその態様は限定されない。

【 0 4 2 4 】

この演出用役物 4 3 0 の役物回転体 4 3 2 は、長手方向に伸びる中心（即ち役物回転体 4 3 2 の長手方向を横切る断面の中心線）を回転中心として回転自在に構成されている。従って、その回転位置によって、遊技者からフィギュア 4 3 4 を視認できたりまたは視認できなかったりする。即ち、不透明部材が前方（遊技者側）となる場合にはフィギュア 4 3 4 を視認できず（図 1 0 参照）、透明部分が前方となる場合にはフィギュア 4 3 4 を視認することができるようになっている（図 2 4 参照）。

10

【 0 4 2 5 】

なお、「遊技盤 5 に対して回転自在」とは、遊技盤 5 に取り付けられていることを意味するのではなく、遊技盤 5 に取り付けられているか否かに拘わらず、遊技盤 5 に対して回転自在であれば良い。

【 0 4 2 6 】

このフィギュア 4 3 4 を視認できないとき、役物回転体 4 3 2 の前面には「歌姫伝説」の文字を視認することができる。詳細な構成は後述するが、この文字は光を透過可能な透明部材で構成されており、また、この文字の後方には L E D 等の光源が配置されている。この光源から遊技盤 5 の前方に向けて発光させると、「歌姫伝説（装飾文字）」が点灯する。そして、光源の点灯態様を様々な態様とすることで、演出用役物 4 3 0 を装飾部材として用いることもできるようになっている。

20

【 0 4 2 7 】

つまり、この演出用役物 4 3 0 は、役物回転体 4 3 2 が、フィギュア 4 3 4 が視認できる演出位置と、フィギュア 4 3 4 が視認できず「歌姫伝説」の装飾文字が視認できる装飾位置との間を任意に回転可能な構成となっている。

【 0 4 2 8 】

従って、演出用役物 4 3 0 は、フィギュア 4 3 4 を視認できるとは演出用役物 4 3 0 として機能し、フィギュア 4 3 4 を視認できないとき（即ち装飾文字を視認できるとき）は装飾部材として機能するので、遊技盤 5 の領域を有効に活用できると共に、役物回転体 4 3 2 を回転させることによって遊技者に意外性を与えることができるので興味が高められる。

30

【 0 4 2 9 】

また、図 2 5 及び図 2 7 に示すように、演出用役物 4 3 0 と第一開閉装置 3 9 8 との間には、第一大入賞口 3 9 8 a から受入れられた遊技球を演出用役物 4 3 0 に向けて導く役物誘導路 4 3 6 が設けられている。

【 0 4 3 0 】

この役物誘導路 4 3 6 は、第一開閉装置 3 9 8 から演出用役物 4 3 0 に向けて下方に傾斜している（図 2 5 参照）。これにより、第一大入賞口 3 9 8 a に受入れられた遊技球は、演出用役物 4 3 0 に向けて役物誘導路 4 3 6 上を転動する。また、役物誘導路 4 3 6 は透明な樹脂部材で構成されており、これにより、役物誘導路 4 3 6 上を転動する遊技球を視認することができるようになっている。

40

【 0 4 3 1 】

ここで、上述した演出用役物 4 3 0、役物誘導路 4 3 6 等は、裏箱 4 1 0 に夫々支持されるようになっており、裏ユニット 2 7 0 を構成する構成部材とされている。つまり、裏ユニット 2 7 0 は、第一大入賞口 3 9 8 a を有した第一開閉装置 3 9 8 と、第一開閉装置 3 9 8 の第一大入賞口 3 9 8 a に受入れられた遊技球を誘導する役物誘導路 4 3 6 と、役物誘導路 4 3 6 によって誘導された遊技球が内部に進入することで遊技球を用いた演出を行うことができる演出用役物 4 3 0 と、第一開閉装置 3 9 8、役物誘導路 4 3 6、及び演出用役物 4 3 0 等を夫々所定位置に保持すると共に前後方向に貫通する矩形状の開口部 4 1 2 を有した裏箱 4 1 0 とを主に備えている。

50

【0432】

また、裏ユニット270には、演出用役物430の上部に配置され役物誘導路436により誘導された遊技球を、演出用役物430内、又は外（演出用役物430内に進入させることなく外部へ排出する）の何れかに振分ける振分機構438と、振分機構438によって演出用役物430外へ振分けられた遊技球が流通する演出用役物裏球経路上部材424と、演出用役物裏球経路下部材426（図43参照）とを更に備えている。なお、図28中符号440は、後述のランプ駆動基板688を収容したランプ駆動基板ボックスである。

【0433】

更に裏ユニット270には、上述したセンター役物300における枠状装飾体370を光装飾するための複数の光源380と、ステージ330、350、376近傍に配置されたセンター電飾部302の光源となるセンター装飾ランプ304等を有したセンター光源部442とを備えている（図25及び図28等を参照）。このセンター光源部442は、図示は省略するが、複数のLEDを有したベース基板と、ベース基板の上側に配置されLEDからの光を拡散させる拡散レンズとを備えており、センター電飾部302の他に、各ステージ330、350、376等を光装飾できるようになっている。

【0434】

この裏ユニット270では、図示するように、上部に振分機構438が備えられた演出用役物430、役物誘導路436、各光源380、及びセンター光源部442等が、前側から裏箱410に取付けられるようになっている。また、第一開閉装置398、演出用役物裏球経路上部材424、演出用役物裏球経路下部材426、及びランプ駆動基板ボックス440等が、裏側から裏箱410に取付けられるようになっている。

【0435】

（裏ユニットにおける演出用役物及び振分機構の構成について）

図29は、演出用役物に振分機構を備えた状態でフィギュアの正面から示す変則正面図である。図30は、演出用役物に振分機構を備えた状態で示す背面図である。図31は、図30における平面図である。図32は、図30における底面図である。図33は、演出用役物に振分機構を備えた状態で前方から示す斜視図である。図34は、演出用役物を主要な構成毎に分解して前方から示す斜視図である。図35は、役物回転体を示す斜視図である。図36は、役物回転体をフィギュアを正面として示す変則正面図である。図37は、役物回転体のフィギュア側を分解して示す斜視図である。図38は、役物回転体の装飾部材側を分解して示す斜視図である。図39は、役物回転体における第一演出樋の回動駆動機構を示す図である。図40は、図31におけるB-B断面図である。図41は、図31におけるC-C断面図である。図42は、図26におけるD-D断面図である。図43は、演出用役物における遊技球の排出経路を説明するための分解斜視図である。

【0436】

図示するように、演出用役物430は、上下方向に延びる軸芯周りに回転可能とされた役物回転体432と、役物回転体432の周方向の所定範囲内が外部に露出するような開口部444を有した演出用役物ベース446と、演出用役物ベース446の下側に配置され役物回転体432を回転駆動させる回転駆動ユニット448と、演出用役物ベース446の開口部444を閉鎖し透明部材からなる第一閉鎖部材450、及び第二閉鎖部材452とを主に備えている（図34参照）。

【0437】

また、演出用役物430には、透明な第二閉鎖部材452を介してセンター役物300における枠状装飾体370の所定範囲（具体的には、右枠370c）に光を照射するための光源454が備えられている。この光源454は、上記の光源380と同様に、複数のLED456と、LED456が取付けられる光源基板458とから構成されており、役物回転体432の長さ（上下方向の長さ）と略同じ長さの光源基板458に、LED456が列状に取付けられている（図34参照）。

【0438】

10

20

30

40

50

この演出用役物 4 3 0 における役物回転体 4 3 2 は、フィギュア 4 3 4 等を保持する役物回転体本体 4 6 0 を備えている。この役物回転体本体 4 6 0 は、上下に配置された円盤状の天板部 4 6 2 及び底板部 4 6 4 と、天板部 4 6 2 と底板部 4 6 4 とで形成される円筒空間を、円周方向に分割して二つの空間（球流通空間 4 6 0 a と装飾空間 4 6 0 b）を形成する隔壁部 4 6 6 とを備えている（図 3 7 及び図 3 8 参照）。

【 0 4 3 9 】

この役物回転体本体 4 6 0 の天板部 4 6 2 には、その上面中心に軸受溝 4 6 2 a が形成されていると共に、上下方向に貫通し遊技球が通過可能な長孔 4 6 2 b が形成されている。この長孔 4 6 2 b は、隔壁部 4 6 6 によって区画された一方の空間（球流通空間 4 6 0 a）と連通するように形成されていると共に、球流通空間 4 6 0 a の周方向端部（図 3 6 において左側端部）近傍に配置されている。

10

【 0 4 4 0 】

一方、役物回転体本体 4 6 0 の底板部 4 6 4 には、その略中心に配置される開口 4 6 4 a と、球流通空間 4 6 0 a 側に配置され円弧状に列設された複数の通孔 4 6 4 b とが備えられており、開口 4 6 4 a 及び通孔 4 6 4 b は上下方向に貫通した形態とされている（図 3 7 及び図 3 8 参照）。

【 0 4 4 1 】

また、役物回転体 4 3 2 には、隔壁部 4 6 6 によって区画された球流通空間 4 6 0 a 内に、所定のキャラクタを立体的にデフォルメして造形したフィギュア 4 3 4 と、フィギュア 4 3 4 の略中心に向けて長孔 4 6 2 b を通過した遊技球を役物回転体 4 3 2 内に放出する球放出部材 4 6 8 と、球放出部材 4 6 8 の下方に配置され左右方向に延びると共に左右方向の略中心で水平方向に延びる軸（後述する支持軸 4 7 4）周りに回転可能とされた第一演出樋 4 7 0 と、第一演出樋 4 7 0 の下方に配置された第二演出樋 4 7 2 とを更に備えている。

20

【 0 4 4 2 】

これら球放出部材 4 6 8、第一演出樋 4 7 0 および第二演出樋 4 7 2 は、いずれも、遊技球が転動する様子を視認できるように透明部材で構成されている。

【 0 4 4 3 】

このフィギュア 4 3 4 は、片手 4 3 4 a を前方向に差し出した状態で配置されている。また、フィギュア 4 3 4 には、片手 4 3 4 a の真上に支持軸 4 7 4 が支持されている。この支持軸 4 7 4 は、前後方向を長手方向とする軸である。即ち、片手 4 3 4 a と支持軸 4 7 4 とが略平行となる。第一演出樋 4 7 0 は、フィギュア 4 3 4 の片手 4 3 4 a に支えられるように片手 4 3 4 a に固定して配置されていると共に、支持軸 4 7 4 に支持されている。

30

【 0 4 4 4 】

この支持軸 4 7 4 は、フィギュア 4 3 4 の片手 4 3 4 a および第一演出樋 4 7 0 と一体的に構成されていると共に、所定の角度範囲内で回転自在に構成されている（詳細は後述する）。なお、支持軸 4 7 4 は、隔壁部 4 6 6 によって軸支されると共に、片手 4 3 4 a 側とは反対側の端部が隔壁部 4 6 6 を貫通して装飾空間 4 6 0 b 側へ延びだしている（図 3 8 参照）。

40

【 0 4 4 5 】

また、第一演出樋 4 7 0 の下方に配置された第二演出樋 4 7 2 は、一方の端（本実施形態では右端 4 7 2 a）から他方の端（本実施形態では左端 4 7 2 b）にかけて傾斜している。なお、第一演出樋 4 7 0 及び第二演出樋 4 7 2 は、平面視において役物回転体 4 3 2 の周方向に沿った円弧形状とされており、その外形が役物回転体本体 4 6 0 の円筒外周から突出しないような形態となっている（図 3 5 及び図 4 2 等を参照）。

【 0 4 4 6 】

また、役物回転体 4 3 2 には、球流通空間 4 6 0 a 内に、支持軸 4 7 4 の下方であって且つ左側には第一の演出口 4 7 6 が、支持軸 4 7 4 の下方であって且つ右側には第二演出樋 4 7 2 に連通する第二演出樋誘導口 4 7 8 が、それぞれ形成されている。支持軸 4 7 4

50

が反時計回りの方向に回転限界まで回転したとき、第一演出樋470の左端470bが第一の演出口476の上方に位置する。一方、支持軸474が時計回りの方向に回転限界まで回転したとき、第一演出樋470の右端470aが第二演出樋誘導口478の上方に位置する。

【0447】

なお、この第一演出樋470は、その両端の右端470aと左端470bとを同じ高さ（水平状態）となるようにすると、中心部分が右端470a及び左端470bよりも下方の位置となるような形状となっている。つまり、第一演出樋470は中央が下がった形状となっている。これにより、第一演出樋470が略水平状態の時に、球放出部材468から放出された遊技球が供給されると、第一演出樋470上を左右方向に揺動するような動きをさせることができるようになっている（図29参照）。 10

【0448】

第一演出樋470での遊技球の動きを詳述すると、図29に示すように、第一演出樋470に供給される遊技球は、球放出部材468により右方向に向かう運動ベクトル（所定の初速度）を付与された上で第一演出樋470の略中央付近に落下供給されるため、第一演出樋470に供給された遊技球は、第一演出樋470の右端470aへ向かって転動することとなる。その際に、第一演出樋470は、左右両端470a、470bが中央よりも高くなっているため、右端470a向かって転動する遊技球は、坂を登るような状態となり重力の作用によって速度が徐々に減速し、遊技球の転動が停止すると今度は第一演出樋470の中央に向かって転動を開始して、左右よりも低い中央に遊技球が戻ってくる。 20
なお、右方向の運動ベクトルが大きくて減速しきれずに遊技球が右端470aに到達した場合、第一演出樋470が略水平状態の時は、第一演出樋470の右端470aと第二演出樋誘導口478とが非連通状態となっているので、遊技球は第二演出樋誘導口478へと誘導されず隔壁部466に衝突して反射し、第一演出樋470の中央つまり左端470bに向かって転動することとなる。

【0449】

そして、第一演出樋470の右端470a側から中央側に向かった遊技球は、坂を下るような状態となり、中央に向かうに従って転動速度が速くなるので、第一演出樋470の中央を通り過ぎて、今度は左端470bに向かって坂を登ることとなる。そして、中央から左端470bへ向かった遊技球は、重力の作用により転動速度が徐々に減速して停止すると、今度は左端470b側から中央側、つまり、右端470a側に向かって転動を開始する。なお、第一演出樋470が略水平状態の時は、第一演出樋470の左端470bと第一の演出口476とが非連通状態となっているので、遊技球は第一の演出口476へと誘導されず、遊技球の転動速度が速くて停止できず左端470まで到達した場合は、隔壁部466に衝突して反射し、第一演出樋470の中央つまり右端470aに向かって転動するようになる。 30

【0450】

このように、遊技球が上記の動作を繰り返すことで、第一演出樋470上を左右方向に揺動するように転動することとなり、第一演出樋470の右端470aと左端470bとの間を遊技球が行ったり来たりすることで、遊技者に対して何れの端から遊技球が落下するのかをハラハラ・ドキドキさせることができ、興趣の高められる動きができるようになっている。 40

【0451】

また、第二演出樋472の左端472bの下方には、第二の演出口480が形成されている。即ち、第一の演出口476と第二の演出口480とが上下に並んで形成されている。これら、第一の演出口476及び第二の演出口480は、隔壁部466を貫通して装飾空間460b側と連通しており、受入れた遊技球が装飾空間460b側へ送られるようになっている。なお、隔壁部466の装飾空間460b側には、第一の演出口476及び第二の演出口480に受入れられた遊技球を、役物回転体本体460の円筒外周まで誘導する第一誘導部466a及び第二誘導部466bが形成されている。 50

【0452】

ここで、第一の演出口476は青色、第二演出樋誘導口478および第二の演出口480は赤色で構成されている。これにより、第一演出樋470による一球の遊技球を左右に振り分けつつ、当たりであるかハズレであるかについては、上下に並んで形成された各演出口への遊技球の受入れによって判断できるようになっている。

【0453】

ところで、役物回転体本体460では、図40に示すように、天板部462における長孔462bの後端が、隔壁部466の一般形状に対して装飾空間460b側に食込んだ位置に配置されていると共に、長孔462bが球流通空間460aのみと連通するように、長孔462bの下方所定範囲（第一演出樋470の略回動上端まで）において、隔壁部466が装飾空間460b側に突き出すことで球流通空間460a側が窪んだ凹部466cが形成されている。

10

【0454】

一方、球放出部材468は、天板部462の下側に配置される扇形状の装飾部468aと、装飾部468aの一方の端部（左端部）から下方に延び役物回転体本体460における隔壁部466の凹部466c前側上部を覆う被覆部468bと、被覆部468bの下方で凹部466cの底面と略連続し第一演出樋470の中央部上方付近に延び出す放出部468cとを備えている。

【0455】

この球放出部材468が、役物回転体本体460に取付けられることで、後述する演出用役物ベース446の落下口536bに落下した遊技球が、長孔462b内の前側部分から進入し、被覆部468bにより凹部466cへと誘導される。その際に、被覆部468bの上方で遊技球の移動に沿うように長孔462bが形成されている、つまり、長孔462bにより被覆部468bの上側部分が高くなっているため、遊技球が天板部462の裏側と当接することなく凹部466cへ良好に誘導されるようになっている。

20

【0456】

そして、被覆部468bと凹部466cとにより遊技球を凹部466cの底面まで降下させ、凹部466cの底面で遊技球をバウンドさせてその運動エネルギーを減衰させた上で、凹部466cの底面から放出部468cを介して第一演出樋470に供給させることができるようになっている（図40参照）。

30

【0457】

この凹部466cで遊技球をバウンドさせることで、透明部材からなり強度の比較的弱放出部468cに直接遊技球が当たるのを防止して放出部468cが破損するのを防止している。また、バウンドにより運動エネルギーを減衰させてから、放出部468cを介して第一演出樋470に遊技球を供給するので、遊技球の供給による第一演出樋470への衝撃を緩和させると共に、第一演出樋470上を遊技球が良好に転動できるようになっている。

【0458】

更に、役物回転体432には、球流通空間460a内に、第二演出樋472の下方の隔壁部466に取付けられ回転軸482が隔壁部466を貫通して装飾空間460b側に突出する球振分部モータ484と、球振分部モータ484を覆うように前側に配置され表面がメッキ装飾されたモータカバー486とが備えられている。このモータカバー486によって球振分部モータ484が、遊技者から見えないようになっている。なお、本例では、球振分部モータ484がステッピングモータとされている。

40

【0459】

また、モータカバー486の前側には、透明部材からなるシャンデリア状の装飾レンズ488と、装飾レンズ488の前面を覆うと共に外面が役物回転体本体460の外周面と略一致するような部分円筒面形状とされた透明部材からなるカバーレンズ490とが備えられている。モータカバー486のメッキ装飾と、透明な装飾レンズ488とによって、煌びやかでゴージャスな印象を与えられるようにしている。

50

【0460】

このカバーレンズ490は、上下方向に延びる部分円筒形状のカバー部490aと、カバー部490aの下端から役物回転体本体460の回転中心に向かって略水平に延びる板状の底部490bとを備え、断面が略L字形状とされている(図41参照)。なお、図示は省略するが、カバーレンズ490のカバー部490aには、文字等を図案化した磨り装飾が施されている。

【0461】

このカバーレンズ490は、カバーレンズ490における底部490bの外側端部近傍の下側に配置される光入射部490cと、光入射部490cから底部490b内に入射した光をカバー部490aと底部490bとが接する方向に反射誘導させる第一光誘導部490dと、カバー部490aと底部490bとが接する位置に配置され第一光誘導部490dからの光をカバー部490aの上端面の方向に反射誘導させる第二光誘導部490eと、カバー部490aの上端面に配置され第二光誘導部490eからの光をカバーレンズ490の内側斜め上方に向けて外部に放射する光放射部490fとを更に備えている。

【0462】

このカバーレンズ490における第一光誘導部490dは、底部490bの外側端部(役物回転体本体460の中心に向かう側の端部)を、その上側が面取り(C面取り)状に切り欠かれるような形状とすることで形成されている。また、第二光誘導部490eは、カバー部490aと底部490bとが接する部分を、内外共に面取り(C面取り)された形状とすることで形成されている。更に、光放射部490fは、カバー部490aの上端を、カバーレンズ490の内側が低くなるようにして、その垂直線がフィギュア434の方向を向くような面取り(C面取り)形状とすることで形成されている。

【0463】

このカバーレンズ490によると、光入射部490cから内部に入射された光をカバー部490a上端の光放射部490fまで導いて、その光放射部490fから放射させて、カバーレンズ490の上方に配置されたフィギュア434、第一演出樋470、及び第二演出樋472を下側から照明できるようになっている。

【0464】

なお、カバーレンズ490の第一光誘導部490dに接するように、表面がメッキ処理されたモータカバー486の一部が配置されており、このモータカバー486においても光が反射することで第二光誘導部490e方向に反射される光を相対的に多くすることができるようになっている。

【0465】

一方、図38に示すように、役物回転体432における隔壁部466によって区画された他方の空間、つまり、装飾空間460b内には、第一演出樋470を所定角度範囲内に回動させるための回動駆動機構492が備えられている。この回動駆動機構492は、第一演出樋470の支持軸474と一体回転する第一リンク部材494と、球振分部モータ484の回転軸482と一体回転する第二リンク部材496とを備えている。

【0466】

この回動駆動機構492は、第一リンク部材494の先端側に形成されたスリット494a内に、第二リンク部材496の先端に突設されたピン496aを挿入することで第一リンク部材494と第二リンク部材496とが互いにリンクされて、球振分部モータ484の回転が第一演出樋470に伝達されるようになっている(図39参照)。詳述すると、球振分部モータ484の駆動により第二リンク部材496が回転すると、その先端のピン496aが、回転軸482を中心とした所定半径の円周上を移動することとなる。この移動するピン496aによって第一リンク部材494のスリット494aが内側から押されると共に、第一リンク部材494が支持軸474により回転以外の移動が規制されているので、スリット494a内でピン496aが摺動し、これにより、第一リンク部材494が支持軸474を中心として回動することとなる。

【0467】

この回動駆動機構 4 9 2 は、図示するように、第一リンク部材 4 9 4 の長さが、第二リンク部材 4 9 6 の長さの約二倍の長さとなっている。これにより、球振分部モータ 4 8 4 によって第二リンク部材 4 9 6 が所定角度回動させられると、第二リンク部材 4 9 6 及び第一リンク部材 4 9 4 を介して支持軸 4 7 4 が所定角度の約 $1/3$ の角度、回動するようになっている。つまり、球振分部モータ 4 8 4 の回転角度が約 $1/3$ になって、第一演出樋 4 7 0 を軸支する支持軸 4 7 4 に伝達されるので、球振分部モータ 4 8 4 の回転誤差に対して第一演出樋 4 7 0 の回転誤差が約半分となり、第一演出樋 4 7 0 の回動制御をより綿密に制御できると共に、第一演出樋 4 7 0 を滑らかに回動させることができるようになっている。

【0468】

10

なお、回動駆動機構 4 9 2 には、球振分部モータ 4 8 4 の回転軸 4 8 2 に対して第二リンク部材 4 9 6 とは異なる方向に延出すると共に、第二リンク部材 4 9 6 と一体に構成された検知片 4 9 8 と、検知片 4 9 8 を検知可能とされ球振分部モータ 4 8 4 における回転軸 4 8 2 の近傍で隔壁部 4 6 6 に支持される球振分部モータセンサ 5 0 0 とが備えられている。

【0469】

この検知片 4 9 8 と、球振分部モータセンサ 5 0 0 とによって、球振分部モータ 4 8 4 の回転位置を検出することができ、その検出によって球振分部モータ 4 8 4 の原点調整を行って、第一演出樋 4 7 0 の回動が良好な状態で行うことができるようになっている。

【0470】

20

この検知片 4 9 8 は、図 3 9 (B) に示すように、第二リンク部材 4 9 6 の延びる方向に対して、 180 度反対側ではなく、左右方向 (図中、斜め右上方向) に延びるように配置されており、回転駆動機構 4 9 2 の上下方向の長さが長くなるのを防止できるようになっている。また、検知片 4 9 8 には、第一リンク部材 4 9 4 と対向する側面に、湾曲形状の逃し部 4 9 8 a が形成されており、回転駆動機構 4 9 2 が可動した際に、第一リンク部材 4 9 4 と検知片 4 9 8 とが当接するのを防止できるようになっている。

【0471】

また、役物回転体 4 3 2 には、装飾空間 4 6 0 b 内に、「歌姫伝説」の文字を点灯・点滅する装飾部材 5 0 2 が備えられている。この装飾部材 5 0 2 は、役物回転体本体 4 6 0 における装飾空間 4 6 0 b の周方向全体ではなく、所定範囲内のみを覆う大きさとされている。詳しくは、装飾部材 5 0 2 の周方向の大きさが、隔壁部 4 6 6 から外周に向かって延びる第一誘導部 4 6 6 a 及び第二誘導部 4 6 6 b が、役物回転体 4 3 2 の外側に露出するような大きさとされている (図 3 5 参照)。

30

【0472】

この装飾部材 5 0 2 は、役物回転体本体 4 6 0 の円筒外周と略一致するような部分円筒面形状とされ「歌姫伝説」の文字を備え透光性を有する部材からなる装飾レンズ 5 0 4 と、装飾レンズ 5 0 4 の裏側に配置される板状の拡散レンズ 5 0 6 と、拡散レンズ 5 0 6 の裏側に配置され基板 5 0 8 の所定位置に複数の LED 5 1 0 が備えられた光源基板 5 1 2 とを備えている。

【0473】

40

この装飾部材 5 0 2 の拡散レンズ 5 0 6 は、装飾レンズ 5 0 4 と対向する面で装飾レンズ 5 0 4 における「歌姫伝説」の装飾と対応する位置に配置され上下方向に延びる複数の帯状凸レンズからなる光放射部 5 0 6 a と、光放射部 5 0 6 a とは反対側の面に備えられ上下方向に対して直交する方向に延びる複数の V 溝からなる光反射部 5 0 6 b と、光反射部 5 0 6 b の V 溝が延びる方向に対して直角方向 (上下方向) に位置する端部に形成された平坦面からなる光入射部 5 0 6 c とを備えている (図 3 8 及び図 4 1 参照)。

【0474】

本例の拡散レンズ 5 0 6 は、上下方向の中間部で光放射部 5 0 6 a の形成された部位に貫通する所定幅の開口部 5 0 6 d が形成されており、この開口部 5 0 6 d 内周の上面及び下面が夫々光入射部 5 0 6 c とされている。

50

【 0 4 7 5 】

また、装飾部材 5 0 2 の光源基板 5 1 2 は、図示するように、その基板 5 0 8 が拡散レンズ 5 0 6 の裏面と接するぐらいに接近した位置に配置されると共に、LED 5 1 0 からの光が拡散レンズ 5 0 6 の光入射部 5 0 6 c に照射されるように、LED 5 1 0 の発光部が上下方向を向くように基板 5 0 8 に取付けられている。つまり、LED 5 1 0 が、拡散レンズ 5 0 6 の上下端部及び開口部 5 0 6 d に形成された光入射部 5 0 6 c と夫々対面するように基板 5 0 8 に取付けられている。

【 0 4 7 6 】

この装飾部材 5 0 2 は、光源基板 5 1 2 の LED 5 1 0 によって上下方向に発せられた光が、拡散レンズ 5 0 6 の光放射部 5 0 6 a により形成される面に対して直角方向に配置された光入射部 5 0 6 c に照射されると、その光入射部 5 0 6 c から拡散レンズ 5 0 6 内へと進入する。そして、拡散レンズ 5 0 6 内に進入した光のうち、装飾レンズ 5 0 4 が配置された側とは反対側（基板 5 0 8 が配置された側）に向かった光が、光反射部 5 0 6 b に到達してその複数の V 溝により装飾レンズ 5 0 4 側（光放射部 5 0 6 a 側）に反射して、光放射部 5 0 6 a から装飾レンズ 5 0 4 へと放射される。その際に、この光放射部 5 0 6 a には、上下方向に延びる複数の帯状凸レンズを備えているので、光放射部 5 0 6 a から放射される光が上下方向に対して直角方向に拡散するように放射される。

【 0 4 7 7 】

この装飾部材 5 0 2 によると、板状に形成された拡散レンズ 5 0 6 の端部に設けられた光入射部 5 0 6 c から光を入射させると、拡散レンズ 5 0 6 の一方の面に形成された複数の V 溝からなる光反射部 5 0 6 b によって他方の面に形成された光放射部 5 0 6 a 側に反射され、光放射部 5 0 6 a 全体から光を放射することができ、装飾レンズ 5 0 4 全体を面状に光らせることができるようになっている。

【 0 4 7 8 】

ところで、装飾レンズの裏側に光源を配置した場合、光源と装飾レンズとの間が近すぎると、光源からの光が十分に拡散する前に装飾レンズに到達してしまい、光源が有るところと無いところで装飾レンズの光具合が異なって面状に発光しない問題がある。そのため、装飾レンズに対して光源を遠ざけることで、光を十分に拡散させて装飾レンズを面状に発光させるようにすることが考えられるが、この場合、装飾レンズと光源との距離が長くなるので、装飾部材全体の厚さが厚くなり、スペース等の関係により装飾レンズを面状に発光させることができなくなり、効果的な光装飾が行えない問題がある。

【 0 4 7 9 】

しかしながら、この装飾部材 5 0 2 によると、拡散レンズ 5 0 6 の面に沿うような方向から入射した光が、拡散レンズ 5 0 6 の面から面状に放射することができるので、拡散レンズ 5 0 6 の裏側に LED 等の光源を配置する必要がなく、装飾部材 5 0 2 の厚さを可及的に薄くすることができ、装飾部材の設置スペースに関係なく装飾レンズ 5 0 4 を良好な状態で面状に発光させて、効果的な光装飾が行えるようになっている。

【 0 4 8 0 】

本例の役物回転体 4 3 2 には、図 4 1 に示すように、役物回転体本体 4 6 0 における天板部 4 6 2 と球放出部材 4 6 8 との間に配置される回転体上基板 5 1 4 が更に備えられる。この回転体上基板 5 1 4 の下面には複数の LED 5 1 6 が取付けられており、この LED 5 1 6 の発光によって、球放出部材 4 6 8 を介してフィギュア 4 3 4、第一演出樋 4 7 0、及び第二演出樋 4 7 2 等を上から照明するようになっている。

【 0 4 8 1 】

また、役物回転体 4 3 2 には、役物回転体本体 4 6 0 における底板部 4 6 4 の下側に配置される回転体下基板 5 1 8 が更に備えられている。この回転体下基板 5 1 8 は、その上面側で底板部 4 6 4 における通孔 4 6 4 b と対応した位置に光源としての LED 5 2 0 が複数取付けられていると共に、その下面側の中央には役物回転体 4 3 2 に備えられた球振分部モータ 4 8 4、球振分部モータセンサ 5 0 0、光源基板 5 1 2、回転体上基板 5 1 4、回転体下基板 5 1 8、及び振分機構 4 3 8 を電氣的に接続するための接続コネクタ 5 2

10

20

30

40

50

2が複数（本例では三つ）備えられている。

【0482】

なお、三つの接続コネクタ522のうち、役物回転体本体460の回転中心に位置する中央の接続コネクタ522は、球振分部モータ484や球振分部モータセンサ500等へ接続される回転体下基板518と接続しており、役物回転体432の回転に伴って接続コネクタ522が回転しても、接続コネクタ522と接続される接続プラグから延びる配線コードの捩れを可及的に少なくすることができ、捩れにより配線コードが断線するリスクを低減させることができるようになっている。

【0483】

更に、役物回転体432には、回転体下基板518の下側に配置され回転駆動ユニット448からの回転駆動を役物回転体432に伝達させるための回転接続部材524が備えられている。この回転接続部材524を役物回転体本体460の底板部464に所定のビスを用いて固定することで、回転接続部材524と底板部464とにより回転体下基板518が挟持固定されるようになっている。

10

【0484】

この回転接続部材524は、役物回転体本体460の軸芯と略同芯となり回転体下基板518に取付けられた複数の接続コネクタ522全体が下方から望める大きさの円形状に開口する開口部524aと、開口部524の周縁近傍から下方に延び出した円筒部524bと、円筒部524bの内周に配置され上下方向に延びる複数（本例では二つ）の突起524cとを備えている（図32及び図34参照）。この開口部524aは、その大きさが接続コネクタ522と接続する接続プラグ（図示しない）が通過可能な大きさとされ、開口部524aを通して回転する役物回転体432を電氣的に接続できるようになっている。

20

【0485】

本例の演出用役物430における回転駆動ユニット448は、役物回転体432を回転駆動させるための回転部モータ526と、回転部モータ526の回転軸に固定される第一ギア528と、第一ギア528と噛合する第二ギア530aを有し役物回転体432の回転接続部材524と接続すると共に役物回転体432を下側から支持する台座ギア530と、台座ギア530の回転位置を検出することで回転部モータ526の回転位置を検出する回転部モータセンサ532と、回転部モータ526、第一ギア528、台座ギア530、及び回転部モータセンサ532を所定位置に支持する回転駆動ユニットケーシング534とを備えている（図34参照）。

30

【0486】

この回転駆動ユニット448における台座ギア530には、上下が開放され回転接続部材524の円筒部524b内に挿入可能な円筒状の台座円筒部530bと、台座円筒部530bの上端部で円筒部524b内の突起524cが嵌合可能な切欠き部530cと、台座円筒部530bの下部外周に形成され第一ギアと噛合し外形が第一ギア528の約二倍の径とされた第二ギア530aと、第二ギアの下側外周に形成され半径方向外側に突出する略扇形状の検出片530dとを主に備えている。

【0487】

40

また、回転駆動ユニット448の回転駆動ユニットケーシング534には、台座ギア530の台座円筒部530bの内部と連通するような大きさで円形の開口部534aと、開口部534aの外側で周方向所定間隔に備えられ台座ギア530を回転可能に支持する複数（本例では三つ）の支持ローラ534bとが備えられている（図32参照）。複数の支持ローラ534b上に台座ギア530が載置されることで、台座ギア530が回転可能に支持されるようになっている。

【0488】

この回転駆動ユニット448は、台座ギア530の台座円筒部530bを回転接続部材524の円筒部524b内に挿入すると共に、台座円筒部530bの切欠き部530cと円筒部524c内の突起524cとを互いに嵌合させることで、台座ギア530と回転接

50

続部材 5 2 4 とを一体回転可能に接続することができ、回転部モータ 5 2 6 の駆動により役物回転体 4 3 2 を回転させることができるようになっている。

【 0 4 8 9 】

また、回転駆動ユニット 4 4 8 の台座ギア 5 3 0 により、役物回転体 4 3 2 の下側を回転可能に軸支するようになっている。なお、回転駆動ユニット 4 4 8 は、役物回転体 4 3 2 を回転駆動させるだけでなく、台座ギア 5 3 0 を介して回転駆動ユニットケーシング 5 3 4 の支持ローラ 5 3 4 b により役物回転体 4 3 2 の重量も良好に支持できるようになっている。

【 0 4 9 0 】

この回転体駆動ユニット 4 4 8 における回転駆動ユニットケーシング 5 3 4 の開口部 5 3 4 a 及び台座ギア 5 3 0 の台座円筒部 5 3 0 b とにより、役物回転体 4 3 2 下部に備えられた接続コネクタ 5 2 2 が下方から望めるようになっていると共に、図示しない接続プラグを回転体駆動ユニット 4 4 8 の下側から通過させて接続コネクタ 5 2 2 に接続できるようになっている（図 3 2 参照）。

【 0 4 9 1 】

なお、具体的な構成については図示を省略するが、役物回転体 4 3 2 下部の接続コネクタ 5 2 2 に接続される接続プラグは、裏箱 4 1 0 の演出用役物 4 3 0 が固定支持される部位の下方に形成された回転体中継基板固定部 4 1 0 a（図 2 5 及び図 2 8 参照）に取付けられる回転体中継基板（図示せず）から所定の弛みを持たせた長さの配線コード（ハーネス）を介して接続されている。この接続コネクタ 5 2 2 と回転体中継基板との距離は、回転する接続コネクタ 5 2 2 と裏箱 4 1 0 に固定される回転体中継基板との間を、不具合が発生することなく配線コードが捩れることのできる距離となっているので、回転する役物回転体 4 3 2 と良好な状態で電氣的に接続することができると共に、配線コードが断線するリスクが可及的に低くなるようになっている。

【 0 4 9 2 】

演出用役物 4 3 0 における演出用役物ベース 4 4 6 は、上側に配置され略円盤形状のベース天板部 5 3 6 と、下側に配置されるベース底板部 5 3 8 と、ベース天板部 5 3 6 とベース底板部 5 3 8 との外周縁同士を連結すると共にパチンコ機 1 に対して前側が開放されたベース外周壁部 5 4 0 とを主に備えている（図 3 4 参照）。

【 0 4 9 3 】

この演出用役物ベース 4 4 6 におけるベース天板部 5 3 6 には、その上面に役物誘導路 4 3 6 から供給された遊技球を演出用役物ベース 4 4 6 の後側に誘導する上部球誘導路 5 3 6 a と、上部球誘導路 5 3 6 a から外れた位置にベース天板部 5 3 6 を貫通するように穿設され遊技球が通過可能な大きさで円形の落下口 5 3 6 b とが備えられている（図 3 1 参照）。この上部球誘導路 5 3 6 a は、役物誘導路 4 3 6 によりベース天板部 5 3 6 の図中左側から供給された遊技球を、ベース天板部 5 3 6 の中心に対して周方向に遊技球を誘導した上で演出用役物ベース 4 4 6 の後側に誘導するようになっている。

【 0 4 9 4 】

上部球誘導路 5 3 6 a は、役物誘導路 4 3 6 側から落下口 5 3 6 b の方向へ延びる導入部と、導入部から演出用役物ベース 4 4 6 の裏側へ延びる排出誘導部とを備えており、図 3 4 にその断面を拡大して示すように、上部球誘導路 5 3 6 a は、導入部から演出用役物ベース 4 4 6 の裏側へ向かって低くなるように傾斜させられており、上部球誘導路 5 3 6 a に供給された遊技球が、自然と演出用役物ベース 4 4 6 の裏側へ向かうようになっている。

【 0 4 9 5 】

ベース天板部 5 3 6 における落下口 5 3 6 c は、役物回転体 4 3 2 が、フィギュアが視認できる演出位置にある時に、役物回転体 4 3 2 における長孔 4 6 2 b の前端と略一致するような位置に配置されている。なお、ベース天板部 5 3 6 には、中心に役物回転体本体 4 6 0 の軸受溝 4 6 2 a よりも若干大きい径の通孔が備えられている（図 3 4 参照）。

【 0 4 9 6 】

演出用役物ベース４６６のベース底板部５３８には、その中心に役物回転体本体４６０の下側から下方に突出する回転接続部材５２４の円筒部５２４ｂが通過可能な通孔５３８ａが形成されている（図３４参照）。

【０４９７】

本例の演出用役物ベース４６６におけるベース外周壁部５４０には、フィギュア４３４が視認可能となるように、役物回転体４３２が演出位置に位置した時に、役物回転体４３２の第一誘導部４６６ａ及び第二誘導部４６６ｂと対応する位置にベース外周壁部５４０を貫通するように第一排出受入口５４０ａ及び第二排出受入口５４０ｂが形成されており、役物回転体４３２の第一の演出口４７６又は第二の演出口４８０に受入れた遊技球が、第一誘導部４６６ａ又は第二誘導部４６６ｂに誘導されて第一排出受入口５４０ａ又は第二排出受入口５４０ｂを通過してベース外周壁部５４０の裏側、つまり、演出用役物４３０の後側に排出されるようになっている。

10

【０４９８】

また、このベース外周壁部５４０は、図３０に示すように、その後側に、ベース天板部５３６の上部球誘導路５３６ａと連通する球排出流路５４２と、球排出流路５４２とは分離した流路とされ第一排出受入口５４０ａ及び第二排出受入口５４０ｂと連通する演出球排出流路５４４とを備えている。これら球排出流路５４２及び演出球排出流路５４４は、後側が開放された溝状に形成されており、演出用役物４３０が裏箱４１０に取付けられることで、それらの後側が裏箱４１０により閉鎖され、球排出流路５４２及び演出球排出流路５４４内を遊技球が良好に流通できるようになっている。

20

【０４９９】

この球排出流路５４２は、演出球排出流路５４４を挟むように球排出流路上５４２ａと球排出流路下５４２ｂとに、上下に分割された構造となっており、図示は省略するが、裏箱４１０には、球排出流路上５４２ａの下端と、球排出流路下５４２ｂの上端とに対応する位置に、遊技球が通過可能な通孔が形成されていると共に、裏箱４１０の裏側に配置される演出用役物裏球経路上部材４２４が、球排出流路上５４２ａから裏箱４１０外へ排出された遊技球を球排出流路下５４２ｂへ戻すようになっている（図４３参照）。なお、この球排出流路５４２には、流路内を通過する遊技球を検出するための球排出流路センサ５４６が備えられている。

【０５００】

また、演出球排出流路５４４は、図示するように、上下方向に異なる位置に配置された第一排出受入口５４０ａ、第二排出受入口５４０ｂを通過した遊技球が、流路内で合流して下方へ排出するような流路となっており、第一排出受入口５４０ａからの遊技球のみが検出可能とされた第一演出球排出流路センサ５４８と、第一排出受入口５４０ａ及び第二排出受入口５４０ｂからの遊技球を検出可能とされた第二演出球排出流路センサ５５０とを備えている。

30

【０５０１】

この第一演出球排出流路センサ５４８と第二演出球排出流路センサ５５０とによって、所定時間内に第一演出球排出流路センサ５４８と第二演出球排出流路センサ５５０とで遊技球の通過が検出され場合は、第一の演出口４７６に受入れられて第一排出受入口５４０ａを通った遊技球であり、第二演出球排出流路センサ５５０のみ遊技球の通過が検出された場合は、第二の演出口４８０に受入れられて第二排出受入口５４０ｂを通った遊技球であることが判るようになっている。つまり、役物回転体４３２における第一演出樋４７０上に供給された遊技球が、第一演出樋４７０の回動により何れの側に振分けられたかが判るようになっている。

40

【０５０２】

これら球排出流路５４２及び演出球排出流路５４４を流通した遊技球は、その下側に配置された演出用役物裏球経路下部材４２６へと流下し、この演出用役物裏球経路下部材４２６内で合流して、遊技盤５から外部へ排出されるようになっている（図４３参照）。

【０５０３】

50

また、ベース外周壁部 5 4 0 には、その右側端部内面に光源 4 5 4 を保持するための取付段部 5 4 0 c が備えられている。この取付段部 5 4 0 c に光源 4 5 4 が取付けられることで、光源 4 5 4 の L E D 4 5 6 が発光部を略正面に向けた状態で上下方向に所定間隔で列設されるようになっている。

【 0 5 0 4 】

本例の演出用役物 4 3 0 における第一閉鎖部材 4 5 0 及び第二閉鎖部材 4 5 2 は、演出用役物ベース 4 4 6 の外周と略沿うように部分円筒面形状に形成されており、演出用役物ベース 4 4 6 の開放された前側を覆って閉鎖することで、役物回転体 4 3 2 の球流通空間 4 6 0 a 内に進入した遊技球が、第一の演出口 4 7 6 及び第二の演出口 4 8 0 以外から排出されるのを防止するものである。

10

【 0 5 0 5 】

この第一閉鎖部材 4 5 0 は、その下部に切欠き部 4 5 0 a が形成されており、この切欠き部 4 5 0 a により、役物回転体 4 3 2 の下側外周が表面に露出するようになっている。これによって、演出用役物 4 3 0 を裏箱 4 1 0 に取付けた状態でも、切欠き部 4 5 0 a を介して役物回転体 4 3 2 を外部から回転操作することができるようになっている（図 1 9 参照）。なお、この切欠き部 4 5 0 a は、図 2 6 に示すように、裏ユニット 2 7 0 の前側に配置されるセンター役物 3 0 0 によって隠蔽される位置に備えられており、センター役物 3 0 0 を遊技盤 5 から取り外さないと、切欠き部 4 5 0 a を介して役物回転体 4 3 2 を手動で回転操作できないようになっている。

【 0 5 0 6 】

20

また、第一閉鎖部材 4 5 0 には、役物回転体 4 3 2 内部で球詰まりした際に、細長い棒を差し込んで球詰まりを解消するためのスリット 4 5 0 b が備えられている。具体的には、後述する第一演出樋 4 7 0 及び第二演出樋 4 7 2 に夫々対応した位置にスリット 4 5 0 b が備えられており、第一演出樋 4 7 0 及び第二演出樋 4 7 2 で球詰まりが発生した場合に、細長い棒を差し込んで球詰まりを解消できるようになっている。

【 0 5 0 7 】

この第二閉鎖部材 4 5 2 は、部分円筒面形状の円筒部 4 5 2 a と、円筒部 4 5 2 a の周方向一端側に配置され左右方向外側に延びる平坦部 4 5 2 b と、平坦部 4 5 2 b とは反対側の円筒部 4 5 2 a の周方向他端側に配置され前後方向外側に延び正面視中央部が外側に湾曲した湾曲部 4 5 2 c とを備えている。

30

【 0 5 0 8 】

また、第二閉鎖部材 4 5 2 は、演出用役物 4 3 0 に備えられ遊技盤ベース 2 6 6 の裏側に配置された光源 4 5 4 からの光を、遊技盤 5 前面の所定位置に透過誘導させることのできる光透過部材としての機能が備えられている。詳述すると、この第二閉鎖部材 4 5 2 は、平坦部 4 5 2 b の後面側に配置され光源 4 5 4 からの光を内部に入射させる光入射部 4 5 2 d と、光入射部 4 5 2 d から入射した光を円筒部 4 5 2 a の周方向に沿って誘導されるように反射誘導する第一光誘導部 4 5 2 e と、第一光誘導部 4 5 2 e から誘導された光を湾曲部 4 5 2 c の延びる方向に沿うように反射誘導させる第二光誘導部 4 5 2 f と、第二光誘導部 4 5 2 f から誘導された光を湾曲部 4 5 2 c 内を介して前面側へ放射する光放射部 4 5 2 g とを備えている（図 4 2 参照）。

40

【 0 5 0 9 】

この第二閉鎖部材 4 5 2 は、その光入射部 4 5 2 d が、円筒部 4 5 2 a と平坦部 4 5 2 b とが接する部位に配置されていると共に、光入射部 4 5 2 d の前側に第一光誘導部 4 5 2 e が配置されており、第一光誘導部 4 5 2 e は、湾曲部 4 5 2 c に向かうに従って円筒部 4 5 2 a の厚さが薄くなるように断面略直線状に形成された平面とされている。また、第二光誘導部 4 5 2 f は、円筒部 4 5 2 a と湾曲部 4 5 2 c とが接する後側の角部を断面略直線状の C 面取り状に形成した曲面とされている。

【 0 5 1 0 】

この第二閉鎖部材 4 5 2 によると、光源 4 5 4 から発せられた光が、その内部を通して湾曲部 4 5 2 c 前面の光放射部 4 5 2 g まで誘導されて光放射部 4 5 2 g の前側に放射す

50

ると共に、湾曲部 4 5 2 c の前方に配置された装飾カバー 3 8 6 (棒状装飾体 3 7 0 の右棒 3 7 0 c) を照射し、装飾カバー 3 8 6 を光装飾できるようになっている。

【 0 5 1 1 】

また、この第二閉鎖部材 4 5 2 によると、部分円筒面形状の円筒部 4 5 2 a 内をその周方向に沿って光を誘導させて光放射部 4 5 2 g から放射させるようにしているので、光源 4 5 4 の光軸に対して光放射部 4 5 2 g から放射される光軸を所定方向にシフトさせたりずらしたりすることができ、光装飾したい装飾カバー 3 8 6 の直後に光源 4 5 4 を配置することができなくても装飾カバー 3 8 6 に良好に光を誘導して光装飾させることができるようになっている。

【 0 5 1 2 】

演出用役物ベース 4 4 6 の上部に取付けられる振分機構 4 3 8 は、図 3 1 に示すように、パチンコ機 1 に対して前後方向 (図 4 7 に示す X 方向および Y 方向) に伸縮 (移動) するプランジャー 5 5 2 a を有するソレノイド 5 5 2 と、第一開閉装置 3 9 8 (図 4 7 参照) から受入れられた遊技球を、一球のみ保持できる遊技球保持部材 5 5 4 と、プランジャー 5 5 2 a と遊技球保持部材 5 5 4 とを連結する連結部材 5 5 6 と、連結部材 5 5 6 を支持するピン 5 5 8 とを有している。

【 0 5 1 3 】

振分機構 4 3 8 における遊技球保持部材 5 5 4 には、ピン 5 5 8 を中心として半径方向外側に開放され遊技球が一つのみ収容可能な U 形状の収容凹部 5 5 4 a と、収容凹部 5 5 4 a の後側端部からピン 5 5 8 を中心とした周方向に後方へ延出する延出部 5 5 4 b とを備えている。この遊技球保持部材 5 5 4 における延出部 5 5 4 b の外周が、上部球誘導路 5 3 6 a の周壁の一部を構成するようになっている。

【 0 5 1 4 】

振分機構 4 3 8 は、ソレノイド 5 5 2 の駆動により、遊技球保持部材 5 5 4 をピン 5 5 8 周りに回転させることができ、詳しくは、遊技球保持部材 5 5 4 の収容凹部 5 5 4 a が役物誘導路 4 3 6 の誘導方向と略一致する収容位置と、収容凹部 5 5 4 a がベース天板部 5 3 6 の落下口 5 3 6 b と略一致する落下位置との間を回転させることができるようになっている。なお、遊技球保持部材 5 5 4 が収容位置にある時には、収容凹部 5 5 4 a と落下口 5 3 6 b とが一致せず、収容凹部 5 5 4 a に収容された遊技球が落下口 5 3 6 b に落下しないようになっている。また、遊技球保持部材 5 5 4 が落下位置にある時には、役物誘導路 4 3 6 からの遊技球は収容凹部 5 5 4 a に収容されないようになっている。

【 0 5 1 5 】

この振分機構 4 3 8 は、遊技球保持部材 5 5 4 が収容位置にある時に、役物誘導路 4 3 6 から遊技球が供給されると、一つの遊技球のみを収容し、収容凹部 5 5 4 a に遊技球が収容されると、他に供給された遊技球を上部球誘導路 5 3 6 a を介して演出用役物ベース 4 4 6 の後側へ排出誘導するようになっている。また、収容凹部 5 5 4 a に遊技球が収容された状態で、ソレノイド 5 5 2 を駆動して遊技球保持部材 5 5 4 を収容位置から落下位置に回転させると、収容凹部 5 5 4 a に収容された遊技球を落下口 5 3 6 b 内に落下させることができるようになっている。

【 0 5 1 6 】

この振分機構 4 3 8 には、その下側に下方に突出する突出ピン 5 6 0 が備えられている。この突出ピン 5 6 0 は、振分機構 4 3 8 を演出用役物ベース 4 4 6 のベース天板部 5 3 6 に取付けることで、ベース天板部 5 3 6 の中心に穿設され通孔 5 3 6 c を貫通してベース天板部 5 3 6 の下側に延び出すようになり、この突出ピン 5 6 0 がベース天板部 5 3 6 の下側、つまり、演出用役物ベース 4 4 6 内に配置された役物回転体 4 3 2 (役物回転体本体 4 6 0) の軸受溝 4 6 2 a 内に挿入されることで、役物回転体 4 3 2 の上側を回転可能に軸支することができるようになっている。

【 0 5 1 7 】

(裏ユニットにおける第一開閉装置について)

図 4 4 は、第一開閉装置を左前方から示す斜視図である。図 4 5 は、第一開閉装置を右

10

20

30

40

50

前方から示す斜視図である。図 4 6 は、第一開閉装置を分解して示す分解斜視図である。

【 0 5 1 8 】

この第一開閉装置 3 9 8 は、第一大入賞口 3 9 8 a を有した下ケーシング 5 6 2 と、下ケーシング 5 6 2 の上側に組み付けられ第一大入賞口 3 9 8 a を開閉する第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b を前後方向にスライド可能に保持する上ケーシング 5 6 4 と、上ケーシング 5 6 4 と下ケーシング 5 6 2 との協働により保持されると共に第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b を開閉駆動させる開閉駆動機構 5 6 6 とを備えている。

【 0 5 1 9 】

下ケーシング 5 6 2 は、上側が開放された形態とされ、その底部に第一大入賞口 3 9 8 a 内から遊技球を排出する排出口 5 6 2 a が形成されている。第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b は、後方に延びる支持部 3 9 8 b a を有し全体として平面視 T 字形状とされていると共に、支持部に開閉駆動機構 5 6 6 と連結するための連結口 3 9 8 b b が形成されている。

【 0 5 2 0 】

開閉駆動機構 5 6 6 は、上下方向に進退可能とされたプランジャー 5 6 8 a を有した第一大入賞口開閉ソレノイド 5 6 8 と、第一大入賞口開閉ソレノイド 5 6 8 により上下方向に駆動されるプランジャー 5 6 8 a の動きを前後方向の動きに変換して第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b を前後方向にスライドさせる駆動伝達部材 5 7 0 とを備えている。なお、プランジャー 5 6 8 a は、第一大入賞口開閉ソレノイド 5 6 8 の下側から進退するように配置されている。

【 0 5 2 1 】

駆動伝達部材 5 7 0 は、詳述すると、第一大入賞口開閉ソレノイド 5 6 8 のプランジャー 5 6 8 a 先端と係合されると共に略水平方向に延びプランジャー 5 6 8 a の進退方向及び第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b のスライド方向の何れとも直交する支持軸 5 7 0 a 周りに回転可能な第一片 5 7 0 b と、第一片 5 7 0 b と一体回転し支持軸 5 7 0 a から略上方に延びる先端が第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b の連結口 3 9 8 b b 内に挿入係合される第二片 5 7 0 c とを備えている。

【 0 5 2 2 】

また、第一開閉装置 3 9 8 には、下ケーシング 5 6 2 の排出口 5 6 2 a の下側に第一大入賞口カウントセンサ 5 7 2 が備えられており、この第一大入賞口カウントセンサ 5 7 2 によって、第一大入賞口 3 9 8 a に入賞した遊技球を検出できるようになっている。

【 0 5 2 3 】

この第一開閉装置 3 9 8 は、第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b によって第一大入賞口 3 9 8 a の上側のみが閉鎖可能とされ、前側が常時開放された状態となっているが、第一開閉装置 3 9 8 の直前にパチンコ機 1 の窓枠 3 9 に装着されたガラス板が配置されるようになっており（図示は省略する）、開放された前側から第一大入賞口 3 9 8 a 内へ遊技球が入らないようになっている。

【 0 5 2 4 】

また、第一開閉装置 3 9 8 は、第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b を閉鎖位置にした時に、窓枠 3 9 のガラス板との間で遊技球を挟持して球詰まりが発生するのを防止できるように、その開閉力が弱くしてある。

【 0 5 2 5 】

（第一開閉装置から振分機構までの遊技球の流れについて）

図 4 7 は、第一開閉装置、役物誘導路、振分機構および演出用役物を左上方から見た斜視図である。図 4 8 ~ 図 5 0 は、役物誘導路、振分機構および演出用役物の平面図であって、遊技球が振分機構によって振り分けられる態様を示す図である。

【 0 5 2 6 】

本例では、第一開閉装置 3 9 8 から受入れられた遊技球は、演出用役物 4 3 0 の上方に設けられた振分機構 4 3 8 によって、演出用役物 4 3 0 に導かれる遊技球と遊技盤 5 の背後に排出される遊技球とに振り分けられるようになっている。なお、本例では第一開閉装置 3 9 8 に遊技球が受入可能となる前に、演出用役物 4 3 0 内部のフィギュア 4 3 4 が遊

10

20

30

40

50

技者から視認できる演出位置に、役物回転体 4 3 2 が回転するようになっている。

【 0 5 2 7 】

まず、第一開閉装置 3 9 8 の第一大入賞口 3 9 8 a に遊技球が受入れられると、下ケーシング 5 6 2 の排出口 5 6 2 a から排出されると同時に第一大入賞口カウントセンサ 5 7 2 により検出されて入賞が確定し、ここから下流の遊技球は、遊技球の払い出しや、大当り遊技等の有利遊技状態の発生制御等の遊技者が有利となる遊技制御に関係しない遊技球（所謂、死球）となる。

【 0 5 2 8 】

第一大入賞口カウントセンサ 5 7 2 によって検出された遊技球は、役物誘導路 4 3 6 へと供給され、演出用役物 4 3 0 の方向へ誘導される。この役物誘導路 4 3 6 は、図示するように、第一開閉装置 3 9 8 からの遊技球を、左右方向右側へ所定距離誘導させた後に、略直角に後側へ所定距離遊技球を誘導させ、そして、再度遊技球の誘導方向を曲げることで斜め後方から演出用役物 4 3 0 の上部へ向けて遊技球を誘導するようになっている。

【 0 5 2 9 】

このように役物誘導路 4 3 6 には、複数の曲がり角が備えられているので、その角毎に遊技球の流通速度が減衰し、遊技球の流れる速度が速くなるのを防止することができるので、役物誘導路 4 3 6 を流通する遊技球を視認し易くすることができ、遊技球の動きを楽しませることができるようになっている。

【 0 5 3 0 】

そして、役物誘導路 4 3 6 によって誘導された遊技球は、まず、振分機構 4 3 8 に到達する。この振分機構 4 3 8 では、そのソレノイド 5 5 2 のプランジャー 5 5 2 a が、通常状態（即ち消磁状態）のときは X 方向側（収容位置）に位置している。そして、役物誘導路 4 3 6 上を振分機構 4 3 8 に向けて転動してきた遊技球は、遊技球保持部材 5 5 4 の収容凹部 5 4 4 a に収容保持される（図 4 8 参照）。

【 0 5 3 1 】

遊技球保持部材 5 5 4 に一球の遊技球が保持されると、その後に役物誘導路 4 3 6 上を転動してきた遊技球は、遊技球保持部材 5 5 4 の収容凹部 5 3 6 b によって収容保持できないので、上部球誘導路 5 3 6 a を通って遊技盤 5 の後方側（図中の Y 方向側）に排出される（図 4 9 参照）。

【 0 5 3 2 】

ところで、上部球誘導路 5 3 6 a には、役物誘導路 4 3 6 によって斜め後方から前方に向けて遊技球が供給されるため、遊技球の慣性力が上部球誘導路 5 3 6 a の前方側、つまり、遊技球保持部材 5 5 4 の収容凹部 5 4 4 a 側に向いており、遊技球が収容凹部 5 5 4 a に収容され易いようになっている。

【 0 5 3 3 】

この収容凹部 5 4 4 a に遊技球が収容された状態でソレノイド 5 5 2 が励磁されると、プランジャー 5 5 2 a が Y 方向に移動する。このとき、連結部材 5 5 6 がピン 5 5 8 を支点として反時計回り（図中の 方向）に回転する。遊技球保持部材 5 5 4 は、連結部材 5 5 6 の反時計回りへの回転に伴って反時計回りに回転する。演出用役物 4 3 0 の役物回転体 4 3 2 の上面には、遊技球が落下できる落下口 5 3 6 b が形成されている。ソレノイド 5 5 2 が励磁して遊技球保持部材 5 5 4 が連結部材 5 5 6 を支点として反時計回りに回転すると、遊技球保持部材 5 5 4 の収容凹部 5 4 4 a に収容保持されている遊技球は、落下口 5 3 6 b から役物回転体 4 3 2 内に落下する（図 5 0 参照）。

【 0 5 3 4 】

この落下口 5 3 6 b に落下した遊技球は、役物回転体 4 3 2 の球流通空間 4 6 0 a 内へと進入することとなるが、この際に役物回転体 4 3 2 がフィギュア 4 3 4 を視認できる演出位置に回転させられていて、落下口 5 3 6 b と役物回転体 4 3 2 の長孔 4 6 2 b とが一致しているので、落下口 5 3 6 b から役物回転体 4 3 2 内へ進入できるようになっている。なお、役物回転体本体 4 6 0 における天板部 4 6 2 の長孔 4 6 2 b と、球放出部材 4 6 8 の被覆部 4 6 8 b とにより、落下口 5 3 6 b からの遊技球を一旦後側に送ってから第一

10

20

30

40

50

演出樋 4 7 0 へ供給するようになっている（図 4 0 参照）。

【 0 5 3 5 】

なお、ソレノイド 5 5 2 が消磁状態であれば、遊技球保持部材 5 5 4 によって保持された遊技球が落下口 5 3 6 b とずれた位置で保持されるので、遊技球保持部材 5 5 4 によって保持された遊技球が役物回転体 4 3 2 内に落下することはない。

【 0 5 3 6 】

[主基板および周辺基板の制御的な構成について]

図 5 1 および図 5 2 に基づき説明する。図 5 1 は、制御構成を概略的に示すブロック図であって、主基板周辺の構成を主として示した図である。図 5 2 は、制御構成を概略的に示すブロック図であって、周辺基板周辺の構成を主として示した図である。なお、これらの図面において太線の矢印は電源の接続および方向を示し、細線の矢印は信号の接続および方向を示している。

10

【 0 5 3 7 】

本実施形態のパチンコ機 1 の制御は、大きく分けて主基板 6 0 0 のグループ（図 5 1 に示す）と、周辺基板 6 0 0 のグループ（図 5 2 に示す）とで分担されている。主基板 6 0 0 のグループは遊技動作（入賞検出や当たり判定、特別図柄表示、賞球払出等）を制御しており、周辺基板 6 0 0 のグループは演出動作（発行装飾や音響出力、液晶表示および装飾体の動作等）を制御している。

【 0 5 3 8 】

図 5 1 に示すように、主基板 6 0 0 は、主制御基板 1 3 1 と払出制御基板 1 9 7 とから構成されている。主制御基板 1 3 1 は、中央演算装置としての CPU 6 0 2、読み出し専用メモリとしての ROM 6 0 4 および読み書き可能メモリとしての RAM 6 0 6 を備えている。

20

【 0 5 3 9 】

CPU 6 0 2 は、ROM 6 0 4 に格納されている制御プログラムを実行することによりパチンコ機 1 で行われる各種遊技を制御したり、周辺基板 6 0 0 や払出制御基板 1 9 7 に出力するコマンド信号を作成したりする。

【 0 5 4 0 】

ROM 6 0 4 には、主制御基板 1 3 1 で実行される種々の処理において生成される各種データや入力信号等の情報が一時的に記憶される。

30

【 0 5 4 1 】

なお、主基板 6 0 0 は、電源中継端子板 1 9 9 を介して電源基板 1 9 5 に接続されており、電源基板 1 9 5 から作動用電力が供給されるようになっている。

【 0 5 4 2 】

この主制御基板 1 3 1 の入力インタフェースには、第一始動口 3 9 0 への入賞状態を検出する第一始動口センサ 6 4 4、第二始動口 3 9 2 への入賞状態を検出する第二始動口センサ 6 4 6、第三始動口 3 9 4 への入賞状態を検出する第三始動口センサ 6 4 8 および全ての入賞口に対する入賞数をカウントするための全入賞口入賞数検出センサ 6 5 0 が接続されている。

【 0 5 4 3 】

また、主制御基板 1 3 1 の入力インタフェースには、パネル中継端子板 6 2 4 を介して、通過ゲート 4 0 2 を遊技球が通過したことを検出するゲートセンサ 6 3 0 および一般入賞口 4 0 4 に遊技球が入賞したことを検出する一般入賞口センサ 6 3 2 が接続されている。

40

【 0 5 4 4 】

さらに、主制御基板 1 3 1 の入力インタフェースには、パネル中継端子板 6 2 4 に接続された第一大入賞口中継端子板 6 2 6 を介して第一大入賞口カウントセンサ 5 7 2 が接続され、パネル中継端子板 6 2 4 に接続された第二大入賞口中継端子板 6 2 8 を介して第二大入賞口カウントセンサ 6 4 0 が接続されている。

【 0 5 4 5 】

50

上記各センサからの検出信号は主制御基板 1 3 1 に入力されるようになっている。また、主制御基板 1 3 1 の入力インタフェースには、前枠体 1 1 の開放状態を検出する内枠開放スイッチ 6 2 0 および前面枠 4 の開放状態を検出する扉開放スイッチ 6 2 2 も接続されている。

【 0 5 4 6 】

一方、パネル中継端子板 6 2 4 の出力インタフェースには、図柄制限抵抗基板 6 3 4 を介して、普通図柄・特別図柄表示基板 6 3 6 が接続されており、主制御基板 1 3 1 から、普通図柄表示器 8 2、第一特別図柄表示器 8 4 および第二特別図柄表示器 8 6 へ駆動信号を出力することが可能になっている。

【 0 5 4 7 】

また、第一大入賞口中継端子板 6 2 6 の出力インタフェースには、第一開閉装置 3 9 8 の第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b を駆動する第一大入賞口開閉ソレノイド 5 6 8 が接続されており、主制御基板 1 3 1 から、これらの駆動信号が出力されるようになっている。

【 0 5 4 8 】

さらに、第二大入賞口中継端子板 6 2 8 の出力インタフェースには、第三始動口 3 9 4 の一对の可動片 3 9 6 を駆動する普通電動役物ソレノイド 6 3 8 および第二開閉装置 4 0 0 の第二大入賞口開閉扉 4 0 0 b を駆動する第二大入賞口開閉ソレノイド 6 4 2 が接続されており、主制御基板 1 3 1 から、これらの駆動信号が出力されるようになっている。

【 0 5 4 9 】

一方、払出制御基板 1 9 7 は、中央演算装置としての CPU 6 0 8、読み出し専用メモリとしての ROM 6 1 0 および読み書き可能メモリとしての RAM 6 1 2 を備えている。

【 0 5 5 0 】

そして、払出制御基板 1 9 7 は、主制御基板 1 3 1 から入力したコマンド信号を処理し、球払出装置 1 7 0 や、発射制御基板 6 1 6 に接続された発射モータ 1 9 2 に対して、駆動信号を出力する。これにより、球払出装置 1 7 0 は、駆動信号に従って遊技球を払い出し、発射モータ 1 9 2 は駆動信号に従って遊技球を発射させることが可能になる。

【 0 5 5 1 】

なお、主制御基板 1 3 1 と払出制御基板 1 9 7 との間では、それぞれの入出力インタフェースを介して双方向通信が実施されており、たとえば主制御基板 1 3 1 が賞球コマンドを送信すると、これに応じて払出制御基板 1 9 7 から主制御基板 1 3 1 に ACK 信号が返される。

【 0 5 5 2 】

また、払出制御基板 1 9 7 には、下皿 3 1 に貯えられる遊技球が満タンになったことを検出する下皿満タンスイッチ 6 1 4 も接続されており、この検出に基づいて、「遊技球を下皿 3 1 から取り出して下さい」旨の報知がなされる。

【 0 5 5 3 】

また、主制御基板 1 3 1 および払出制御基板 1 9 7 には、外部端子板 6 1 8 が接続されており、各始動口 3 9 0、3 9 2、3 9 4 や各開閉装置 3 9 8、4 0 0 への入賞状態、普通図柄・特別図柄の変動状態および抽選結果に基づく遊技状態等の各種情報が、遊技施設に設けられたホールコンピュータ等へ出力されるようになっている。

【 0 5 5 4 】

一方、周辺基板 6 0 0 は、図 5 2 に示すように、周辺制御基板 6 6 2 と表示装置制御基板 1 1 6 とから構成されている。なお、上記の主制御基板 1 3 1 と周辺制御基板 6 6 2 との間では、それぞれの入出力インタフェースと入力インタフェースとの間で一方向だけの通信が行われており、主制御基板 1 3 1 から周辺制御基板 6 6 2 へのコマンド送信はあっても、その逆は行われぬ。また、周辺基板 6 0 0 に対しても電源中継端子板 1 9 9 を介して電源基板 1 9 5 から作動用電力が供給されるようになっている。

【 0 5 5 5 】

周辺制御基板 6 6 2 もまた、CPU 6 6 4 をはじめ ROM 6 6 6 や RAM 6 6 8 等の電子部品を有しており、これら電子部品によって所定の演出制御プログラムを実行すること

10

20

30

40

50

が可能となっている。

【0556】

また、周辺制御基板662には、音声や音楽の基となる音源を記憶したROM672と、ROM672に記憶された音源を基に、演出内容等に応じた音声や音楽を出力する音源IC670とが設けられている。

【0557】

なお、周辺制御基板662と表示装置制御基板116との間では、それぞれの入出力インタフェースとの間で双方向に通信が行われる。

【0558】

一方、表示装置制御基板116には、演出表示装置115としての液晶表示器(LCD)が接続されており、表示装置制御基板116には、周辺制御基板662から送信されたコマンド信号を処理し、演出表示装置115に対して駆動信号を出力する。詳しく説明すると、表示装置制御基板116には、CPU678、RAM680、ROM682、VDP684および画像ROM686が備えられている。

【0559】

CPU678は、周辺制御基板662から送られてきたコマンド信号を入出力インタフェースを介して受信するとともに、そのコマンドを基に演算処理を行って、VDP684の制御を行う。RAM680は、CPU678の作業領域を提供すると共に、表示コマンドに含まれる情報を一時的に記憶する。また、ROM682は、CPU678用(表示制御用)のプログラムを保持する。

【0560】

VDP(ビデオディスプレイプロセッサ)638は、演出表示装置115に組み込まれたLCDドライバ(液晶駆動回路)を直接操作する描画回路である。VDP684の内部には、レジスタが設けられており、VDP684の動作モードや各種表示機能の設定情報等を保持しておくことが可能となっている。そして、このレジスタに保持される各種情報をCPU678が書き換えることにより、演出表示装置115における表示態様を種々変化させることが可能となる。画像ROM686は、各種の画像データを記憶する不揮発性メモリであり、各種の表示図柄のビットマップ形式画像データおよび背景画像用のJPEG形式画像データ等が記憶されている。

【0561】

また、周辺制御基板662には、ランプ駆動基板688および枠装飾中継端子板674が接続されている。さらに、ランプ駆動基板688には、中継端子板として、センター装飾駆動部中継端子板694が接続されている。さらに、センター装飾駆動部中継端子板694には、回転体下基板518が接続されている。

【0562】

回転体下基板518の入力インタフェースには、演出に用いられた遊技球(即ち、第一演出樋470を転動した遊技球)が、第一の演出口476および第二の演出口480のいずれに受入れられたかを検出するための球振分部モータセンサ500が接続されている。また、回転体下基板518の出力インタフェースには、支持軸474を時計回りと反時計回りとに繰り返し回転させる球振分部モータ484および電飾としてLEDが配列された回転部LED基板696が接続されている。なお、回転部LED基板696とは、回転体上基板514及び光源基板512のことである。

【0563】

また、ランプ駆動基板688の出力インタフェースには、パネル装飾ランプ690、センター装飾ランプ304、演出用役物430を回転させるための回転部モータ526および演出用役物430の回転位置を検出する回転部モータセンサ532が接続されている。これにより、ランプ駆動基板688は、これらの各ランプの点灯状態を切り替えることが可能であると共に、演出用役物430の回転動作および回転位置を検出可能となっている。さらに、ランプ駆動基板688の入力インタフェースには、遊技盤5の後方側に排出された遊技球を検出する排出口センサ692が接続されている。なお、排出口センサ692

10

20

30

40

50

は、球排出流路センサ 5 4 4、第一演出球排出流路センサ 5 4 8 及び第二演出球排出流路センサ 5 5 0 により構成されている。

【 0 5 6 4 】

また、周辺制御基板 6 6 2 に接続された枠装飾中継端子板 6 7 4 には、前面枠 4 に接続されたスピーカ 1 8、5 7、ボタン 6 0 および枠装飾ランプ 6 7 6 等が接続されており、周辺制御基板 6 6 2 には、ボタン 6 0 の操作状態に基づいて演出表示装置 1 1 5 に出力される演出態様を切り替えると共に、スピーカ 1 8、5 7 や枠装飾ランプ 6 7 6 に対して駆動信号を出力する。

【 0 5 6 5 】

[主基板および周辺基板の機能的な構成について]

10

図 5 3 に基づき説明する。図 5 3 は、主基板による抽選および周辺基板による特別演出に拘わる機能的な構成を概略的に示す機能ブロック図である。

【 0 5 6 6 】

図 5 3 に示すように、主制御基板 1 3 1 は、第一特別図柄抽選手段 7 0 0 と、第二特別図柄抽選手段 7 1 0 と、普通図柄抽選手段 7 2 0 と、特別遊技状態発生手段 7 3 0 と、小当たり遊技実行手段 7 3 2 と、第三始動口開閉実行手段 7 2 8 と、第一大入賞口開閉実行手段 7 3 4 と、第二大入賞口開閉実行手段 7 3 6 と、コマンド送信手段 7 4 0 とを備えている。

【 0 5 6 7 】

第一特別図柄抽選手段 7 0 0 は、遊技球が第一始動口 3 9 0 に入賞して第一始動口センサ 6 4 4 により検出されると、第一特別図柄当たり判定用乱数抽出手段 7 0 2 により乱数を抽出する。そして、この抽出した乱数値と主基板 6 0 0 の ROM 6 0 4 に記憶された第一特別図柄当たり判定用テーブル 7 0 6 とに基づいて、第一当否決定手段 7 0 4 によって抽選結果を判定する。

20

【 0 5 6 8 】

第一特別図柄抽選手段 7 1 0 は、遊技球が第二始動口 3 9 2 または第三始動口 3 9 4 に入賞して第二始動口センサ 6 4 6 または第三始動口センサ 6 4 8 により検出されると、第二特別図柄当たり判定用乱数抽出手段 7 1 2 により乱数を抽出する。そして、この抽出した乱数値と主基板 6 0 0 の ROM 6 0 4 に記憶された第二特別図柄当たり判定用テーブル 7 1 6 とに基づいて、第二当否決定手段 7 1 4 によって抽選結果を判定する。

30

【 0 5 6 9 】

普通図柄抽選手段 7 2 0 は、遊技球が通過ゲート 4 0 2 を通過してゲートセンサ 6 3 0 により検出されると、普通図柄当たり判定用乱数抽出手段 7 2 2 により乱数を抽出する。そして、この抽出した乱数値と主基板 6 0 0 の ROM 6 0 4 に記憶された普通図柄当たり判定用テーブル 7 2 6 とに基づいて、普通図柄当否決定手段 7 2 4 によって抽選結果を判定する。

【 0 5 7 0 】

第一特別図柄抽選手段 7 0 0 および第二特別図柄抽選手段 7 1 0 による抽選結果には、いずれも、1 5 R 大当たり、2 R 大当たり、小当たりおよびハズレが含まれている。また、普通図柄抽選手段 7 2 0 による抽選結果には、当たりおよびハズレが含まれている。

40

【 0 5 7 1 】

特別遊技状態発生手段 7 3 0 は、第一当否決定手段 7 0 4 または第二当否決定手段 7 1 4 によって判定された抽選結果が 1 5 R 大当たりまたは 2 R 大当たりであるときに、特別遊技状態を発生させる（以下、「1 5 R 大当たりおよび 2 R 大当たり」を「特別当たり」と称する）。

【 0 5 7 2 】

具体的には、第一当否決定手段 7 0 4 または第二当否決定手段 7 1 4 により判定された抽選結果が 1 5 R 大当たりであれば、2 ラウンドまでを、第一大入賞口開閉実行手段 7 3 4 によって第一大入賞口開閉ソレノイド 5 6 8 を作動させて、第一開閉装置 3 9 8 の第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b を開閉させる。そして、3 ラウンドから 1 5 ラウンドまでを、第

50

二大入賞口開閉実行手段 7 3 6 によって第二大入賞口開閉ソレノイド 6 4 2 を作動させて、第二開閉装置 4 0 0 の第二大入賞口開閉扉 4 0 0 2 を開閉させる。一方、第一当否決定手段 7 0 4 および第二当否決定手段 7 1 4 により判定された抽選結果が 2 R 大当たりであれば、第一大入賞口開閉実行手段 7 3 4 によって第一大入賞口開閉ソレノイド 5 6 8 を作動させて、第一開閉装置 3 9 8 の第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b を開閉させる動作を、2 ラウンドのみ行う。

【 0 5 7 3 】

第一大入賞口 3 9 8 a または第二大入賞口 4 0 0 a に遊技球が入賞すると、球払出装置 1 7 0 によって賞球として遊技球が払い出されると共に、第一大入賞口カウントセンサ 5 7 2 または第二大入賞口カウントセンサ 6 4 0 によって入賞球数がカウントされる。

10

【 0 5 7 4 】

小当たり遊技実行手段 7 3 2 は、第一当否決定手段 7 0 4 または第二当否決定手段 7 1 4 により判定された抽選結果が小当たりであれば、第二大入賞口開閉実行手段 7 3 6 によって第二大入賞口開閉ソレノイド 6 4 2 を作動させて、第二開閉装置 4 0 0 の第二大入賞口開閉扉 4 0 0 b を開閉させる動作を、2 回行う。

【 0 5 7 5 】

ここで、「ラウンド」とは、第一当否決定手段 7 0 4 および第二当否決定手段 7 1 4 により判定された抽選結果が特別当たりであることに基づいて特別遊技状態が発生したときに、第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b による第一大入賞口 3 9 8 a の開閉動作または第二大入賞口開閉扉 4 0 0 b による第二大入賞口 4 0 0 a の所定時間に亘る開閉動作の回数を表す単位である。従って、第一当否決定手段 7 0 4 および第二当否決定手段 7 1 4 により判定された抽選結果が小当たり（通常遊技状態における一態様）の場合には、「ラウンド」とは言わない。

20

【 0 5 7 6 】

なお、本実施形態では、第一当否決定手段 7 0 4 および第二当否決定手段 7 1 4 により判定された抽選結果が 2 R 大当たりの場合と小当たりの場合とで、第一開閉装置 3 9 8 の開閉動作態様が同じである。ただし、2 R 大当たりの場合は特別遊技状態が終了したのちの遊技状態が、特別当たりへの当選確率が高くなる所謂「確変遊技状態」となるが、小当たりの場合は、特別遊技状態、確変遊技状態および所謂「時短遊技状態」のうちいずれの遊技状態でもない通常遊技状態のままである。従って、第一大入賞口開閉扉 3 9 8 b の開閉動作が 2 ラウンドまたは 2 回行われたとき、遊技者は、2 R 大当たりであるのか小当たりであるのかを判別することが困難であるものの、その後、第一特別図柄抽選手段 7 0 0 および第二特別図柄抽選手段 7 1 0 によって特別当りに当選する確率が異なることとなる。これにより、遊技者は、遊技状態が確変遊技状態であるのか通常遊技状態であるのか判別できず、興味が高められる。

30

【 0 5 7 7 】

第三始動口開閉実行手段 7 2 8 は、普通図柄当否決定手段 7 2 4 によって判定された抽選結果が当たりであるときに、普通電動役物ソレノイド 6 3 8 を作動させて一对の可動片 3 9 6 を開閉動作させる。一对の可動片 3 9 6 が開閉動作すると、第三始動口 3 9 4 に遊技球が入賞し易くなる。なお、一对の可動片 3 9 6 が閉状態であるときは、第三始動口 3 9 4 への遊技球の入賞が不可能であるか、または、第三始動口 3 9 4 への遊技球の入賞が第一始動口 3 9 0 および第二始動口 3 9 2 への遊技球への入賞よりも困難であるものの、一对の可動片 3 9 6 が開状態であるときは、第三始動口 3 9 4 への遊技球の入賞は、第一始動口 3 9 0 および第二始動口 3 9 2 への遊技球の入賞よりも容易となる。なお、本実施形態においては、第二始動口 3 9 2 への遊技球の入賞は、第一始動口 3 9 0 への遊技球の入賞よりも困難に構成されている。

40

【 0 5 7 8 】

コマンド送信手段 7 4 0 は、第一当否決定手段 7 0 4 または第二当否決定手段 7 1 4 による抽選結果およびこの抽選結果に拘わる情報を周辺基板 6 6 0 に送信する。「抽選結果に拘わる情報」とは、演出表示装置 1 1 5 において行われる演出時間等が相当する。

50

【 0 5 7 9 】

周辺基板 6 6 0 は、コマンド受信手段 7 5 0 と、演出抽選手段 7 6 0 と、演出役物動作実行手段 7 6 2 とを備えている。

【 0 5 8 0 】

コマンド受信手段 7 5 0 は、主制御基板 1 3 1 から送信された第一当否決定手段 7 0 4 または第二当否決定手段 7 1 4 による抽選結果およびこの抽選結果に拘わる情報を受信する。

【 0 5 8 1 】

演出抽選手段 7 6 0 は、演出用役物 4 3 0 による演出を行うか否かを抽選により決定する。演出抽選手段 7 6 0 による抽選の結果、演出用役物 4 3 0 による演出を行うと決定されると、演出抽選手段 7 6 0 は、ランプ駆動基板 6 8 8 およびセンター装飾駆動部中継端子板 6 9 4 を介して球振分部モータ 4 8 4 を作動させて、演出用役物 4 3 0 による演出を実行する。ただし、演出用役物 4 3 0 による演出は、第一開閉装置 3 9 8 (第一大入賞口 3 9 8 1) に入賞した遊技球を用いて行うため、第一開閉装置 3 9 8 に遊技球が入賞しなかった場合には、かかる演出は行われない。

【 0 5 8 2 】

[演出用役物の動作及び演出について]

図 5 4 (a) は、演出用役物の役物回転体の内部構成を示す正面図であって、第一演出樋が第一の演出口に向けて下方に傾斜していることを示す図である。図 5 4 (b) は、演出用役物の役物回転体の内部構成を示す正面図であって、第一演出樋が第二演出樋誘導口に向けて下方に傾斜していることを示す図である。図 5 5 は、演出用役物と関連した演出画像の一例を示す説明図である。

【 0 5 8 3 】

まず、ランプ駆動基板 6 8 8 では、パチンコ機 1 の電源投入時や、リセット時において、演出用役物 4 3 0 の回転位置を検出する回転部モータセンサ 5 3 2 の検出信号の受信の有無を確認する。回転部モータセンサ 5 3 2 からの検出信号がなければ、演出用役物 4 3 0 の役物回転体 4 3 2 の内部を視認することができない位置 (装飾位置) に、演出用役物 4 3 0 を回転駆動させる。これにより、図 1 0 に示すように、演出用役物 4 3 0 の正面には「歌姫伝説」が表れる。

【 0 5 8 4 】

その後、遊技状態の変化に伴って、周辺制御基板 6 6 2 からランプ駆動基板 6 8 8 へ、演出用役物 4 3 0 を回転駆動制御する旨の制御コマンドが送信されると、ランプ駆動基板 6 8 8 では、図 2 4 に示すように演出用役物 4 3 0 の役物回転体 4 3 2 の内部のフィギュア 4 3 4 を視認することができるように、回転部モータ 5 2 6 を駆動させ、演出用役物 4 3 0 を演出位置に回転駆動させる。これにより、遊技者は、演出用役物 4 3 0 の役物回転体 4 3 2 の内部に配置されたフィギュア 4 3 4 を視認することができる。また、第一開閉装置 3 9 8 から受入れられた遊技球が第一演出樋 4 7 0 に導かれた場合には、この遊技球を用いた演出を視認することができる。

【 0 5 8 5 】

ところで、本例の演出用役物 4 3 0 における、役物回転体 4 3 2 のフィギュア 4 3 4 側つまり球流通空間 4 6 0 a 側と、装飾空間 4 6 0 b との回転移動は、装飾空間 4 6 0 b 側から球流通空間 4 6 0 a 側へ視認可能となるように回転する方向が、平面視で反時計回りに回転するようになっている。これにより、演出表示装置 1 1 5 の右側に配置された演出用役物 4 3 0 が反時計回りに回転することで、遊技者からは、球流通空間 4 6 0 a が左側から順次広がるように見え、演出表示装置 1 1 5 の表示領域が右側に広がるように見せることができるようになっている。

【 0 5 8 6 】

なお、遊技球を用いた演出は、フィギュア 4 3 4 により演出駆動制御する旨の制御コマンドが周辺制御基板 6 6 2 からランプ駆動基板 6 8 8 へ送信されると、ランプ駆動基板 6 8 8 は、支持軸 4 7 4 を、 方向と 方向とに繰り返し往復回転させる。

【0587】

支持軸474が 方向と 方向とに繰り返し往復回転されると、フィギュア434の片手434aは、支持軸474の回転に伴って、フィギュア434に対して支持軸474を回転中心として回転する。即ち、支持軸474が時計回り（図中の 方向）に回転すると、これに伴って片手434aおよび第一演出樋470が、支持軸474を回転中心として、フィギュア434に対して 方向に回転する。また、支持軸474が反時計回り（図中の 方向）に回転すると、これに伴って片手434aおよび第一演出樋470が、支持軸474を回転中心として、フィギュア434に対して 方向に回転する。これにより、図54（a）に示されるように第一演出樋470が第一の演出口476に向けて下方に傾斜した態様と、図54（b）に示されるように第一演出樋470が第二演出樋誘導口478に向けて下方に傾斜した態様とが繰り返される。

10

【0588】

なお、第一大入賞口398aに入賞した遊技球が第一演出樋470上に存在していれば、支持軸474が時計回りおよび反時計回りに繰り返し往復回転することによって、かかる遊技球は、第一演出樋470上を左右方向に転動する。換言すれば、第一演出樋470の遊技球が第一の演出口476または第二演出樋誘導口478に導かれる前に、支持軸474がそれまでの回転方向とは異なる反対方向に回転することによって、遊技球が第一演出樋470上を左右方向に転動することとなる。そして、支持軸474が 方向について回転限界まで回転して一定時間保持されると（図54（a）の態様で一定時間保持されると）、遊技球は第一の演出口476に導かれる。一方、支持軸474が時計回りの方向について回転限界まで回転して一定時間保持されると（図54（b）の態様で一定時間保持されると）、遊技球は第二演出樋誘導口478に導かれる。

20

【0589】

第一演出樋470上を転動する遊技球が第一の演出口476に受入れられると、かかる遊技球は遊技盤5の背後に排出される。一方、第一演出樋470上を転動する遊技球が第二演出樋誘導口478に受入れられると、かかる遊技球は、第二演出樋472の右端472a上に落下し、右端472aから左端472bに向けて転動する。そして、右端472aから左端472bに向けて転動した遊技球は、第二の演出口480に受入れられる。

【0590】

なお、遊技球を用いた演出用役物430による演出（即ち、遊技球が第一の演出口476に受入れられるかまたは第二の演出口480に受入れられるかといった演出）は、コマンド送信手段740から受信した第一当否決定手段704または第二当否決定手段714による抽選結果に基づいて行われる。

30

【0591】

具体的には、演出用役物430による演出を行うとき、第一の演出口476および第二演出口480のうちいずれの演出口を当たりの演出口（またはハズレの演出口）とするのかを決定する。より具体的には、演出用役物430における第一の演出口476及び第二の演出口480は、夫々演出表示装置115と接する側に配置されており、図55に示すように、演出表示装置115において、第一の演出口476及び第二の演出口480の直ぐ隣（図中左側）に、例えば、「ハズレ」及び「当たり」の画像を表示させることで、いずれの演出口が当たりの演出口であるかを遊技者に認識できるようにしている。

40

【0592】

そして、第一当否決定手段704または第二当否決定手段714による抽選結果の判定が2R大当たりまたは小当たりである場合には、第一演出樋470上を転動する遊技球が当たりの演出口と決定された側の演出口に導かれるように演出を行う。一方、第一当否決定手段704または第二当否決定手段714による抽選結果の判定がハズレである場合には、第一演出樋470上を転動する遊技球がハズレの演出口と決定された側の演出口に導かれるように演出を行う。このようにして、演出用役物430による演出毎に、当たりの演出口とハズレの演出口とを切り替える。これにより、単調な遊技を回避でき、演出用役物430による演出が行われる際に遊技者は、いずれの演出口が当たりであるのかに注意

50

を惹かれ、興味が高められるようになっている。

【0593】

なお、「当たりの演出口」とは、抽選手段による抽選結果が遊技者に有利な結果である可能性があることを示す演出口のことであり、「ハズレの演出口」とは、抽選手段による抽選結果が遊技者に有利な結果よりも不利な結果であることを示す演出口のことである。ここで、「抽選手段による抽選結果が遊技者に有利な結果である可能性がある」とは、第一特別図柄抽選手段700または第二特別図柄抽選手段710による抽選結果が「2R大当たりおよび小当たり」を意味する。即ち、「可能性」とは、この抽選結果が2R大当たりであれば確変遊技状態が発生することから遊技者に有利な結果と言うことができ、小当たりであれば通常遊技状態が継続するので遊技者に有利な結果とは言えないことに基づくものである。

10

【0594】

一方、演出表示装置115では、第一当否決定手段704または第二当否決定手段714による抽選結果の判定が2R大当たりまたは小当たりである場合に、特別演出が行われる。これにより、遊技者は、演出表示装置115において特別演出が行われると特別遊技状態が発生する期待感が高まり、興味が高められるようになっている。

【0595】

このように、第一当否決定手段704または第二当否決定手段714による抽選結果の判定に応じて、第一演出樋470上を転動する遊技球が第一の演出口476または第二の演出口480に導かれるように演出を行う。そして、演出表示装置115において特別演出が行われる場合には、第一演出樋470上を転動する遊技球を、当たりの演出口に誘導し、演出表示装置115において特別演出が行われない場合には、ハズレの演出口に誘導する。従って、演出用役物430による演出が行われているとき、遊技者は、当たりの演出口に遊技球が受入れられることに期待感を持って遊技を行うことになる。

20

【0596】

しかも、本実施形態では、第一当否決定手段704または第二当否決定手段714による抽選結果の判定がたとえ2R大当たりまたは小当たりであったとしても、第一開閉装置398に遊技球が受入れられなかった場合には、遊技球を用いた演出が行われない。従って、遊技者は、第一開閉装置398の第一大入賞口398aが開状態となったときには、何としても遊技球を第一大入賞口398a内に入賞させようという意思が働く。これにより、パチンコ機1から一方的に行われる演出を単に見るだけでなく、遊技者自身が遊技に参加しているといった感情を持つことができ、興味が高められる。さらに、役物誘導路436、第一演出樋470および第二演出樋472はいずれも、これらの上を転動する遊技球を視認できるように透明部材で構成されているので、遊技球が第一開閉装置398に入賞してから第一の演出口476または第二の演出口480に受入れられるまでの一連の動向を把握できるので、さらに興味が高められるようになっている。

30

【0597】

なお、本例の演出表示装置115が本発明の演出表示手段に、本例の球払出装170が本発明の払出手段に夫々相当している。また、本例の第一始動口390、第二始動口392、及び第三始動口394が、本発明の始動口に相当している。更に、本例の第一大入賞口398aが、本発明の受入口に相当している。

40

【0598】

また、本例の裏箱410が本発明の支持部材に、本例の貫通孔264が本発明の透過部に、本例の演出用役物430及び役物回転体432が本発明の特別役物に夫々相当している。また、本例の隔壁部466における凹部466cが本発明のエネルギー減衰手段に、本例の回転駆動ユニット448が本発明の特別役物移動手段に、本例の球流通空間460aが本発明の流通空間に、本例の回転駆動機構492が本発明の回転傾動手段に夫々相当している。更に、本例の第一の演出口476及び第二の演出口480が本発明の第一排出口及び第二排出口に夫々相当している。

【0599】

50

また、本例の演出用役物裏球経路上部材 4 2 4 が本発明の固定部材に、本例の演出用役物裏球経路下部材 4 2 6 が本発明の遊技媒体排出部材に夫々相当している。また、本例の L E D 3 8 4 , 4 5 6 が本発明の枠状装飾体用発光手段に、本例の装飾カバー 3 8 6 が本発明の枠状装飾体に、及び本例の L E D 5 1 0 が本発明の役物装飾用発光手段に夫々相当している。

【 0 6 0 0 】

更に、本例の第一演出樋 4 7 0 が本発明の演出樋に、本例の第二演出樋 4 7 2 が本発明の誘導樋に、本例の第二演出樋誘導口 4 7 8 が本発明の誘導受部に、及び本例の装飾部材 5 0 2 が本発明の発光装飾体に夫々相当している。更に、本例の第一演出樋 4 7 0 及び回動駆動機構 4 9 2 が本発明の振分手段に相当している。

10

【 0 6 0 1 】

また、本例の振分機構 4 3 8 が本発明の貯留振分手段に、本例のソレノイド 5 5 2 が本発明の貯留部駆動手段に、及び本例の収容凹部 5 5 4 a が本発明の貯留部に夫々相当している。また、本例の演出用役物ベース 4 4 6 が本発明の役物支持ベースに、本例の上部球誘導路 5 3 6 a が本発明の排出誘導路に夫々相当している。

【 0 6 0 2 】

また、本例の接続コネクタ 5 2 2 が本発明の役物接続部に、本例の上部球誘導路 5 3 6 a が本発明の排出誘導路に、本例の球排出流路 5 4 2 が本発明の第一排出流路に、本例の演出球排出流路 5 4 4 が本発明の第二排出流路に、本例の球排出流路センサ 5 4 6 が本発明の排出誘導センサに、本例の第一演出球排出流路センサ 5 4 8 が本発明の第一排出センサに、本例の第二演出球排出流路センサ 5 5 0 が本発明の第二排出センサに夫々相当している。

20

【 0 6 0 3 】

更に、本例の第一大入賞口カウントセンサ 5 7 2 が、本発明の受入検出手段に相当している。また、本例の第一特別図柄抽選手段 7 0 0 及び第二特別図柄抽選手段 7 1 0 が本発明の抽選手段に、本例の特別遊技状態発生手段 7 3 0 が本発明の有利遊技状態発生手段に夫々相当している。

【 0 6 0 4 】

このように本実施形態のパチンコ機 1 によると、遊技領域 3 7 内に打ち込まれた遊技球がセンター役物 3 0 0 のステージ 3 3 0 , 3 5 0 , 3 7 6 上を左右方向に転動しその遊技球の動きを楽しませられ、遊技球が始動口 3 9 0 , 3 9 2 , 3 9 4 に受入れられると抽選が行われると共に、演出表示装置 1 1 5 に抽選結果に応じて所定の演出画像（例えば、所定の図柄が変動表示された後に抽選結果を示唆するように図柄が停止表示されるような演出画像）が表示されて抽選結果に対する期待感を高められると同時に演出画像を楽しませる。そして、所定の抽選結果が抽選されると、第一大入賞口 3 9 8 a への遊技球の受入れが可能となり、第一大入賞口 3 9 8 a を狙った遊技球の打ち込み操作が行われると共に、第一大入賞口 3 9 8 a への遊技球の受入れにより所定数の遊技球の払出しが行われて遊技者の興味が高められる。一方、所定の抽選結果が抽選されると、演出表示装置 1 1 5 の横に配置された演出用役物 4 3 0 が回転移動して装飾部材 5 0 2 が視認可能な状態から球流通空間 4 6 0 a が視認可能な状態となり、第一大入賞口 3 9 8 a に受入れられた遊技球が演出用役物 4 3 0 の球流通空間 4 6 0 a 内に進入して球流通空間 4 6 0 a 内で転動する遊技球の動きを楽しませると共に、抽選結果に応じて球流通空間 4 6 0 a 内の第一演出樋 4 7 0 により何れの演出口 4 7 6 , 4 8 0 に振分けられるかで楽しませた後に、何れかの演出口 4 7 6 , 4 8 0 から遊技領域 3 7 外へ遊技球が排出されるような遊技とすることができ、演出画像だけでなく、遊技球の動きも楽しませることで、遊技に飽き難くして興味が低下するのを防止することができる。

30

40

【 0 6 0 5 】

また、遊技球が転動可能なステージ 3 3 0 , 3 5 0 , 3 7 6 を有したセンター役物 3 0 0 が備えられているので、従来のパチンコ機と同様の遊技をさせることが可能となり、従来のパチンコ機に慣れた遊技者に対して、違和感が生じるのを可及的に抑制して、本例の

50

パチンコ機を選択し易くすることができる。なお、ステージ 330, 350, 376 の下方に始動口 390, 394 を配置しているので、ステージ 330, 350, 376 上を左右方向に転動する遊技球が、ステージ 330, 350, 376 の所定位置から始動口 390, 394 に向かって放出されるか否かで、遊技者の期待感を高めることができ、興趣の高められるものとすることができる。

【0606】

更に、演出用役物 430 とセンター役物 300 との間に、センター役物 300 によって隠蔽され外部から手動で演出用役物 430 の役物回転体 432 を回転させるための切欠き部 450a を有した第一閉鎖部材 450 を備えているので、これにより、遊技球が第一大入賞口 398a 以外から球流通空間 460a に進入したり、演出口 476, 480 以外から球流通空間 460a 内の遊技球が排出されたりするのを防止することができる。また、切欠き部 450a を通して手動で役物回転体 432 を回転させることができるので、組立て作業時に役物回転体 432 を所定の位置に簡単に位置させることができると共に、役物回転体が回転可能に支持されているか否かのチェックを早期に行うことができ、無駄な作業が行われるのを防止することができる。

10

【0607】

また、切欠き部 450a がセンター役物 300 によって隠蔽される位置に配置されているので、組立て後は役物回転体 432 を手動で回転させることができなくなり、不正に役物回転体 432 が回転させられるのを防止することができる。

【0608】

20

また、第一閉鎖部材 450 の所定位置に貫通するスリット 450b を備えているので、そのスリット 450b を介して、例えば、細長い棒を球流通空間 460a 内に挿入して、その棒により遊技球の詰まりを簡単に解消させることができる。また、遊技球の詰まりを簡単に解消させることができるので、パチンコ機 1 を揺すったり叩いたりする必要がなく、パチンコ機 1 の破損の原因となったり、パチンコ機 1 を設置した島設備が揺れて他のパチンコ機で遊技する遊技者に不快感を与えて興趣を低下させてしまう原因となったりするのを防止することができる。

【0609】

更に、着脱機構 418 において着脱係止部 422 の保持を解除すると共に、裏箱 410 支持部材から演出用役物裏球経路上部材 424 を外すことで、遊技盤 5 をパチンコ機 1 から取り外すことなく、遊技盤 5 から演出表示装置 115 を遊技盤 5 の後方へ簡単に取り外すことができるので、パチンコ機 1 の停止時間を可及的に短くして遊技者の興趣が低下するのを防止することができる。また、演出用役物裏球経路上部材 424 に識別可能な着色が施されているので、演出表示装置 115 を固定する演出用役物裏球経路上部材 424 を簡単に判別することが可能となり、演出表示装置 115 の取り外しにかかる時間を可及的に短縮することができると共に、電話連絡等でも容易に演出用役物裏球経路上部材 424 を指示することができるので、精通していない作業者でも容易に交換作業をすることができる。

30

【0610】

また、演出表示装置 115 の固定を着脱機構 418 だけでなく演出用役物裏球経路上部材 424 によっても固定するようにしているので、演出表示装置 115 をガタ付なく確実に固定することができ、遊技球の流通等による振動によって演出表示装置 115 が微振動するのを防止して、微振動により演出表示装置 115 に不具合が発生するのを防止することができる。

40

【0611】

更に、着脱レバー 416 をスライド操作するだけで、演出表示装置 115 の着脱係止部 422 を簡単に保持したり、開放させたりすることができ、演出表示装置 115 の取り外しにかかる手間を簡略化させて作業時間を可及的に短くすることができる。

【0612】

また、振分機構 438 に貯留されなかった遊技球に対しては球排出流路センサ 546 が

50

、振分機構 4 3 8 に貯留され球流通空間 4 6 0 a 内において第一の演出口 4 7 6 へ振分けられた遊技球に対しては第一演出球排出流路センサ 5 4 8 が、また、球流通空間 4 6 0 a 内において第二の演出口 4 8 0 に振分けられた遊技球に対しては第二演出球排出流路センサ 5 5 0 が夫々対応しているので、第一大入賞口 3 9 8 a に受入れられた遊技球が何れの流路を通して排出されたのかを検出することができ、その検出により、第一大入賞口 3 9 8 a から演出用役物裏球経路下部材 4 2 6 までの間で遊技球が詰ったか否かを判別することができ、遊技球の詰まりにより遊技が中断して興趣を低下させてしまうのを防止することができる。

【 0 6 1 3 】

更に、上述の通り、遊技球が何れの流路を通ったのかを検出することができるので、例えば、その検出に応じて、演出表示装置 1 1 5 に所定の演出画像により、振分機構 4 3 8 に貯留されたか否かや、球流通空間 4 6 0 a 内の第一演出樋 4 7 0 により何れの演出口に振分けられたかを表示して、遊技球の動きだけでなく、演出画像によってもそれらを強く認識させることができ、遊技者を楽しませて興趣が低下するのを抑制することができる。

【 0 6 1 4 】

また、演出用役物裏球経路上部材 4 2 4 に遊技球を排出誘導する誘導経路を備えるようにしているので、振分機構 4 3 8 に貯留されずに上部球誘導路 5 3 6 a により排出される遊技球を流通させるための経路を別途備える必要が無く、遊技盤 5 の後側のスペースを有効に活用することができる。

【 0 6 1 5 】

更に、球排出流路 5 4 2 及び演出球排出流路 5 4 4 を介して、振分機構 4 3 8 により貯留されなかった遊技球及び貯振分機構 4 3 8 に貯留され役物回転体 4 3 2 内の第一演出樋 4 7 0 に振分けられた遊技球を確実に排出することができる。また、夫々の流路に球排出流路センサ 5 4 6、第一演出球排出流路センサ 5 4 8、及び第二演出球排出流路センサ 5 5 0 が配置されているので、それらセンサによる遊技球の検出によって何れの流路を経て遊技球が排出されたのかを容易に判別することができる。

【 0 6 1 6 】

また、演出球排出流路 5 4 4 では、第一演出球排出流路センサ 5 4 8 に検出された遊技球及び第二排出受入口 5 4 0 b からの遊技球が第二演出球排出流路センサ 5 5 0 を通るようにしている。つまり、第一排出受入口 5 4 0 a 及び第二排出受入口 5 4 0 b を通った遊技球が、同じ流路を通して排出するようにしているので、遊技球を排出するための流路を少なくして排出に係るスペースを可及的に小さくすることができると共に、より大型の演出表示装置 1 1 5 を用いることができ、より遊技者の興趣を高められるものとすることができる。

【 0 6 1 7 】

更に、役物回転体 4 3 2 内の球流通空間 4 6 0 a への遊技球の進入口となる長孔 4 6 2 b が、落下口 5 3 6 b よりも大きい、つまり、遊技球よりも大きい大きさとなっているので、遊技球が長孔 4 6 2 b を完全に通過していない状態でも、遊技球が左右或いは前後方向に移動することができ、球流通空間 4 6 0 a 内における遊技球が自由に移動できる範囲をより広くすることができ、より遊技球の動きを楽しませられる球流通空間 4 6 0 a とすることが可能となり、遊技球の動きを楽しませて、遊技者の興趣が低下するのを防止することができる。

【 0 6 1 8 】

また、役物回転体 4 3 2 を回転移動させて球流通空間 4 6 0 が視認可能となると、落下口 5 3 6 b と長孔 4 6 2 b とが一致して、遊技球が球流通空間 4 6 0 a 内に進入可能となるので、役物回転体 4 3 2 の球流通空間 4 6 0 a が視認不能時に球流通空間 4 6 0 a 内に遊技球が進入するのを防止して、遊技球の無駄な動きを防止することができる。

【 0 6 1 9 】

また、長孔 4 6 2 b が役物回転体 4 3 2 の移動方向、つまり、周方向に沿って延びるように形成されているので、役物回転体 4 3 2 を回転移動させて球流通空間 4 6 0 a を視認

10

20

30

40

50

可能な状態とした時に、役物回転体 4 3 2 の回転停止位置が多少ずれても、落下口 5 3 6 b に長孔 4 6 2 b を一致させて遊技球を通過させることができる。また、球放出部材 4 6 8 の被覆部 4 6 8 b により長孔 4 6 2 b を通過した遊技球を隔壁部 4 6 6 の方向へ移動させるようにしているので、被覆部 4 6 8 b により遊技球の流下速度を抑制させて、より長い時間、球流通空間 4 6 0 a 内に遊技球が留まるようにして、球流通空間 4 6 0 a 内での遊技球の動きを楽しませられるようにすることができる。

【0620】

更に、球放出部材 4 6 8 によって、第一演出樋 4 7 0 の略中央に遊技球を放出供給するようにしているので、第一演出樋 4 7 0 が回転傾動しても、第一演出樋 4 7 0 の略中央が回転中心となっているので、第一演出樋 4 7 0 の略中央の高さ変化が少なく、供給する球放出部材 4 6 8 の放出部 4 6 8 c と、供給される第一演出樋 4 7 0 の略中央との位置関係が殆んど変化することが無く、第一演出樋 4 7 0 の回転傾動位置に関係なく、安定して遊技球を供給することができると共に、第一演出樋 4 7 0 に無理な力が作用するのを防止することができる。

10

【0621】

また、第一大入賞口 3 9 8 a から演出用役物ベース 4 4 6 まで遊技球を遊技者から視認できるように誘導する役物誘導路 4 3 6 を備えているので、第一大入賞口 3 9 8 a から演出用役物ベース 4 4 6 まで誘導される遊技球を視認させることができ、その動きを楽しませることができると共に、演出用役物ベース 4 4 6、すなわち、役物回転体 4 3 2 の球流通空間 4 6 0 a へと進む遊技球を視認させることで、球流通空間 4 6 0 a 内での遊技球の動きに対する期待感を徐々に高めることができ、興味が低下するのを防止することができる。また、役物誘導路 4 3 6 に第一屈曲部と第二屈曲部とを備えているので、役物誘導路 4 3 6 の誘導長さを長くすることができ、より長い間、遊技球の動きを楽しませることができる。

20

【0622】

また、振分機構 4 3 8 により貯留された遊技球のみが落下口 5 3 6 b から落下して役物回転体 4 3 2 の球流通空間 4 6 0 a 内へ供給されるので、第一大入賞口 3 9 8 a に受入れられた遊技球が必ずしも球流通空間 4 6 0 a に供給されるとは限らず、球流通空間 4 6 0 a 内での遊技球の流通機会を限定することができ、球流通空間 4 6 0 a 内における遊技球の転動演出の価値を高めて、球流通空間 4 6 0 a 内を流通する遊技球により注目させることができる。また、振分機構 4 3 8 により遊技球が球流通空間 4 6 0 a 側へ振分けられるか否かによって遊技者を楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

30

【0623】

更に、演出用役物 4 3 0 (役物回転体 4 3 2) における球流通空間 4 6 0 a 内において、第一演出樋 4 7 0 により振分けられる先の第一の演出口 4 7 6 及び第二の演出口 4 8 0 が、演出表示装置 1 1 5 に近接した位置に配置されているので、演出表示装置 1 1 5 に、第一の演出口 4 7 6 及び第二の演出口 4 8 0 に隣接する位置にそれらがどのような特典(例えば、「大当たり」、「ハズレ」、等)を付与する演出口なのかを指し示す画像を表示して、第一の演出口 4 7 6 や第二の演出口 4 8 0 に遊技者の関心を引き付けることができると共に、第一演出樋 4 7 0 により何れの演出口へ振分けられるのかで、ドキドキ、ワクワクさせることができ、演出表示装置 1 1 5 の演出表示と共に、第一演出樋 4 7 0 によって振分けられる遊技球の動きを楽しませて、遊技に飽き難くして興味が低下するのを防止することができる。

40

【0624】

また、演出表示装置 1 1 5 の横に役物回転体 4 3 2 を配置すると共に、演出表示装置 1 1 5 と近接する側から球流通空間 4 6 0 a が徐々に視認可能となるように役物回転体 4 3 2 を回転移動させるようにしているので、これにより、演出表示装置 1 1 5 の上側や下側に配置した場合と比較して、役物回転体 4 3 2 を上下方向に長くしたものとなり、球流通空間 4 6 0 a 内の落差を大きくして遊技球の動きにメリハリを付けることができ、遊技球の動きを楽しませられるものとすることができると共に、球流通空間 4 6 0 a が視認可能

50

となるのに従って、演出表示装置 1 1 5 が横に広がるような錯覚を与えることができ、遊技者を驚かせられると共に演出表示装置 1 1 5 や球流通空間 4 6 0 a に注目させることができる。

【 0 6 2 5 】

また、役物回転体 4 3 2 に、隔壁部 4 6 6 を挟んで球流通空間 4 6 0 a の反対側に発光する装飾部材 5 0 2 を配置しているので、球流通空間 4 6 0 a が視認不能の時は、装飾部材 5 0 2 が遊技者から視認可能となり、球流通空間 4 6 0 a が視認不能の際に、何も無く殺風景になって見栄えが悪くなるのを防止して、興味が低下するのを抑制することができる。また、通常時は、装飾部材 5 0 2 が視認可能となっているので、他の装飾体（例えば、杵状装飾体）と同化させることができ、役物回転体 4 3 2 を回転移動させて球流通空間 4 6 0 a を視認可能とした時のギャップを大きくすることができ、球流通空間 4 6 0 a が視認可能となった時に、球流通空間 4 6 0 a に対する関心度を高めることができ、球流通空間 4 6 0 a での演出を楽しませて興味が高められるものとすることができる。

【 0 6 2 6 】

更に、LED 3 8 4 , 4 5 6 , 5 2 0 光軸が装飾カバー 3 9 6 やフィギュア 4 3 4 の方向に向いていなくても、光透過部材 3 9 8、第二閉鎖部材 3 9 8、及びカバーレンズ 4 9 0 等によって LED 3 8 4 , 4 5 6 , 5 2 0 からの光を装飾カバー 3 9 6 等に導くことができ、装飾カバー 3 9 6 等を発光装飾させることができる。つまり、装飾カバー 3 9 6 等の後側（直後）に LED 3 8 4 , 4 5 6 , 5 2 0 を配置しなくても装飾カバー 3 9 6 等を発光装飾させることができるので、装飾カバー 3 9 6 等の後に LED 3 8 4 , 4 5 6 , 5 2 0 を配置するスペースを確保することができなくても、装飾カバー 3 9 6 等を良好に発光装飾させることができ、装飾カバー 3 9 6 等の配置自由度を高くすることができる。従って、装飾カバー 3 9 6 等の配置によるデザインを多様化することができ、遊技者に対する訴求力の高いデザインとしたり、装飾効果の高いデザインとしたりすることができ、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

【 0 6 2 7 】

また、カバーレンズ 4 9 0 を介して演出用役物 4 3 0 における球流通空間 4 6 0 a 内のフィギュア 4 3 4 を照明することができるので、フィギュア 4 3 4 を目立たせてフィギュア 4 3 4 による装飾効果を高めることができ、フィギュア 4 3 4 に注目させて興味が低下するのを防止することができる。また、フィギュア 4 3 4 と共に第一演出樋 4 7 0 等の球流通空間 4 6 0 a 内も照明することができるので、明るく照明された球流通空間 4 6 0 a が視認可能となることで、遊技者の関心を球流通空間 4 6 0 a に引き付けることが可能となり、照明によってフィギュア 4 3 4 だけでなく球流通空間 4 6 0 a 内の遊技球も明瞭に認識させることができ、球流通空間 4 6 0 a 内のフィギュア 4 3 4 や遊技球の動きを楽しませて、興味が低下するのを防止することができる。

【 0 6 2 8 】

更に、演出用役物 4 3 0 において上方に向けられた LED 5 2 0 からの光を、カバーレンズ 4 9 0 を介して役物回転体本体 4 6 0 の外周側に誘導した上で、役物回転体本体 4 6 0 の内側に向かって放射して、フィギュア 4 3 4 の前側から照明することができるので、立体的に造形されたフィギュア 4 3 4 の陰影を強調したり、フィギュア 4 3 4 に着色された色彩を明瞭に見せることができる。

【 0 6 2 9 】

また、センター役物 3 0 0 の一部が演出用役物 4 3 0 の前側にかかって、その装飾カバー 3 9 6 の直後に LED を配置することができないような場合でも、演出用役物 4 3 0 の近傍で遊技盤 5 の後面側に LED 4 5 6 を配置すると共に、演出用役物 4 3 0 とセンター役物 3 0 0 との間に配置された第二閉鎖部材 4 5 2 を導光手段として用いることで、LED 4 5 6 からの光をセンター役物 3 0 0 の装飾カバー 3 9 6 に導くことが可能となり、センター役物 3 0 0 の全周に配置された装飾カバー 3 9 6 を良好に発光装飾させることができ、センター役物 3 0 0 による装飾効果を高めて、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。また、演出用役物 4 3 0 とセンター役物 3 0 0 との間に第二閉鎖部材 4 5

2が配置されているので、遊技球が第一大入賞口398a以外から球流通空間460aに進入したり、第一の演出口476及び第二の演出口480以外から球流通空間460a内の遊技球が排出されたりするのを防止することができる。

【0630】

更に、裏箱410の回転体中継基板固定部410aに取付けられる回転体中継基板の接続コネクタ(支持側接続部)と役物回転体432下部の接続コネクタ522(役物側接続部)とが役物回転体432の回転軸線上に対向配置されているので、球振分部モータ484、LED510、516、520、及び球振分部モータセンサ500を有した演出用役物430を回転移動させても、支持側接続部と接続コネクタ522とを接続する配線コード(ハーネス)の動きを最小限にすることが可能となり、配線コードが断線したり、配線コードと各接続コネクタとの接続が外れたりするのを防止することができ、演出用役物430に配置された球振分部モータ484等を確実に作動させて、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

10

【0631】

また、役物回転体本体460の隔壁部466を挟んで一方に球流通空間460aを他方に装飾部材502を配置しているので、演出用役物430を回転させることで、遊技者に対して球流通空間460aを視認させたり、装飾部材502を視認させたりすることが可能となり、遊技状況に応じて球流通空間460aや装飾部材502を楽しませることができると共に、上述の通り球振分部モータ484やLED510、516、520に対して良好な状態で電氣的に接続することができるので、球流通空間460a内の第一演出樋470や、装飾部材502を確実に作動させることができ、遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

20

【0632】

更に、有利遊技状態として特別遊技状態が発生すると、第一開閉装置398の第一大入賞口398aが所定の開閉動作をすると共に演出用役物430が回転してその球流通空間460aが視認可能となり、その際に、遊技球を第一大入賞口398aに入賞させると、所定数の遊技球が払い出されると共に入賞した遊技球が演出用役物430の球流通空間460a内に供給される。そして、球流通空間460a内に供給された遊技球は、シーソー状の第一演出樋470に供給され、その第一演出樋470上を行ったり来たりして揺動させた上で、抽選結果に応じて第一の演出口476又は第二の演出口480の何れかに振分けられて遊技領域37外へ排出されるので、球流通空間460a内の第一演出樋470上を揺動する遊技球の動きを楽しませることができると共に、第一演出樋470によって何れの演出口476、480へ振分けられるかで興味を誘って遊技者の興味が低下するのを防止することができる。

30

【0633】

また、シーソー状の第一演出樋470を備えており、第一演出樋470をシーソーのように交互に傾動させることで、第一演出樋470上に供給された遊技球が、第一演出樋470の延びる方向に行ったり来たりして揺動することとなり、何れの端から遊技球が放出されるのか予見し難くすることができ、何れの演出口476、480に振分けられるのかでハラハラ、ドキドキさせることができると共に、揺動する遊技球の動きを楽しませて、遊技者の興を高めることができる。

40

【0634】

また、回動駆動機構492に、第一演出樋470と一体回転しスリット494aを有した第一リンク部材494と、スリット494aと係合するピン496aを有し回転可能とされた第二リンク部材496と、第二リンク部材496を回転駆動する球振分部モータ484とを備えているので、これにより、球振分部モータ484からの回転駆動を第二リンク部材496及び第一リンク部材494を介して第一演出樋470へ伝達させて、第一演出樋470を良好に回転傾動させることができる。また、第一演出樋470の回転中心から離れた位置に球振分部モータ484を配置することができるので、例えば、スペースの関係上、第一演出樋470の後方に球振分部モータ484を配置することができない場合

50

でも、第一演出樋 4 7 0 に回転駆動を伝達させて回転傾動させることができる。

【 0 6 3 5 】

更に、回動駆動機構 4 9 2 として、第一リンク部材 4 9 4 のスリット 4 9 4 a を半径方向に延びるようにすると共に、第二リンク部材 4 9 6 のピン 4 9 6 a をスリット 4 9 4 a 内を摺動可能としているので、これにより、スリット 4 9 4 a 内にピン 4 9 6 a を挿通させた上で第二リンク部材 4 9 6 を球振分部モータ 4 8 4 によって回転させることで、第二リンク部材 4 9 6 から第一リンク部材 4 9 4 へ回転駆動を伝達させることができると共に、係合部及び被係合部を夫々スリット 4 9 4 a 及びピン 4 9 6 a としているので、第一リンク部材 4 9 4 及び第二リンク部材 4 9 6 を棒状とすることができ、それらリンク部材 4 9 4 , 4 9 6 の大きさを可及的に小さくすることができる。また、第一リンク部材 4 9 4 及び第二リンク部材 4 9 6 の旋回範囲を、ギアを用いた場合よりも小さくすることができるので、回動駆動機構 4 9 2 の設置に係るスペースを少なくすることが可能となり、演出用役物 4 3 0 に良好に配設することができると共に、第一演出樋 4 7 0 の回転角度を可及的に大きくすることができ、第一演出樋 4 7 0 を十分に回転傾動させて、遊技球の揺動が大きくなるようにしてより遊技球の動きを楽しませられるものとすることができる。

10

【 0 6 3 6 】

また、第一リンク部材 4 9 4 の長さを第二リンク部材 4 9 6 の長さよりも長いものとしており、第一演出樋 4 7 0 の回転角度に対して、球振分部モータ 4 8 4 の回転角度を大きくする必要がある。換言すると、球振分部モータ 4 8 4 の回転が少なくなると第一演出樋 4 7 0 に伝達されるので、第一演出樋 4 7 0 の回転制御をより細やかにして、第一演出樋 4 7 0 を所望の通り回転させることができ、第一演出樋 4 7 0 上を転動する遊技球の動きを、より興趣の高められる動きとすることができる。また、球振分部モータ 4 8 4 の回転が少なくなると第一演出樋 4 7 0 に伝達されるので、球振分部モータ 4 8 4 での遊びや、回転誤差があっても、その差が小さくなって第一演出樋 4 7 0 に伝達され、球振分部モータ 4 8 4 での誤差等が第一演出樋 4 7 0 に現れ難くすることができ、第一演出樋 4 7 0 の回転制御に対する影響を低減させることができる。

20

【 0 6 3 7 】

更に、第一演出樋 4 7 0 の回転位置検知手段として、検知片 4 9 8 と、検知片 4 9 8 を検知する検知センサとしての球振分部モータセンサ 5 0 0 とを備えており、検知片 4 9 8 を球振分部モータセンサ 5 0 0 で検知するだけで第一演出樋 4 7 0 の回転位置を検知することができるので、回転位置検知手段にかかる構成を簡単なものとすることができる。また、検知片 4 9 8 を第二リンク部材 4 9 6 に備えるようにしており、第一リンク部材 4 9 4 よりも動きの大きな第二リンク部材 4 9 6 で回転位置を検知するので、第一演出樋 4 7 0 に対する回転位置の検知精度を蓋然的に高くなり、簡単な構成で検知精度を高めることができ、回転検知手段にかかるコストが増加するのを抑制することができる。更に、検知片 4 9 8 を、第二リンク部材 4 9 6 の延びる方向とは異なる方向に延びるようにしているので、第二リンク部材 4 9 6 の回転軸に対して第一リンク部材 4 9 4 とは反対側に延び出す量を可及的に少なくすることができ、回動駆動機構 4 9 2 全体が大きくなるのを抑制することができる。

30

【 0 6 3 8 】

また、回転位置検知手段における検知片 4 9 8 を、第一リンク部材 4 9 4 の旋回面と略同一面上に配置すると共に、第一リンク部材 4 9 4 との接触を回避する逃し部 4 9 8 a を備えているので、これにより、検知片 4 9 8 と第一リンク部材 4 9 4 とが接触するのを回避することができ、第二リンク部材 4 9 6 から第一リンク部材 4 9 4 へ回転駆動を伝達させて、第一演出樋 4 7 0 を良好に回転傾動させることができる。

40

【 0 6 3 9 】

また、球流通空間 4 6 0 a に供給された遊技球は、以後、遊技制御に関わらない、所謂、「死球」となるので、第一演出樋 4 7 0 により厳密な確率で遊技球を振分ける必要がなく、第一演出樋 4 7 0 や回転駆動機構 4 9 2 にかかるコストを低減させることができる。これにより、仮に、目的としない演出口 4 7 6 , 4 8 0 へ振分けられても、球流通空間 4

50

60aに供給される前の各始動口センサ644, 646, 648による検出によって既に所定の特別遊技状態となるのが決定されているので、遊技者に不利な状況となることは無く、逆に目的と異なる演出口476, 480に振分けられて、意図しない特別遊技状態となることで遊技者を驚かせて、興趣の高められる効果を期待することができる。

【0640】

更に、球流通空間460aが視認可能な状態となると、球流通空間460a内に遊技球が流通可能となるようにしているので、球流通空間460aが視認可能となった時のみ遊技球が流通可能となり、球流通空間460a内に遊技球を進入させるための機構を簡単なものとすることができ、コストの増加や不具合の発生を低減させることができる。

【0641】

また、回転駆動ユニット448によって演出用役物430の役物回転体432を回転させるだけで、容易に球流通空間460aを視認可能としたり視認不能としたりすることができるので、演出用役物430の占める広さの領域のみで球流通空間460aを出没させることが可能となり、演出用役物430の設置に係る領域を可及的に狭くすることができ、パチンコ機1に備え易くすることができると共に、第一演出樋470を回転傾動させる回動駆動機構492の一部が隔壁部466を挟んで反対側に配置されているので、球流通空間460a側からは、回動駆動機構492を目立ち難くして、相対的に球流通空間460a内の第一演出樋470等を目立たせて、第一演出樋470への遊技者の関心を引き付けることができる。

【0642】

また、演出用役物430の役物回転体432における回転軸の軸芯を上下方向に延びるように配置しており、球流通空間460aの後側に役物回転体432と共に回転する隔壁部466を備えて、隔壁部466の前側を遊技者に向けると球流通空間460aが視認可能となって、回転させることで隔壁部466の後側を遊技者に向けると球流通空間460aが視認不能となるので、簡単な構成で球流通空間460aを視認可能としたり視認不能としたりすることができると共に、役物回転体432を正面視した時の略全ての領域を球流通空間460aとすることができ、球流通空間460aを可及的に大きくして遊技球の動きをより楽しませられるものとすることができる。また、役物回転体432を軸方向、つまり、上下方向に延ばして球流通空間460aを広くすることができるので、球流通空間460a内での遊技球の落差を大きくすることができ、ステージによる左右方向の遊技球の動きとは大きく異なる上下方向の動きをさせることができ、従来のパチンコ機との差別化を計る事ができ、遊技者に対する訴求効果を高めることができる。

【0643】

更に、遊技領域37の中心よりも上側に第一開閉装置398つまり第一大入賞口398aを配置しており、遊技領域37に打ち込まれた遊技球が、早い段階で第一大入賞口398aに受入れられても、演出用役物430の球流通空間460a内を流通することで、球流通空間460aから排出されるまでその動きを見せて楽しませることができ、損した気分となって興趣が低下するのを抑制することができる。また、第一大入賞口398aが遊技領域37の上方に配置されているので、球流通空間460aの上下方向の落差を可及的に大きくすることができると共に、球流通空間460aを広くすることができるので、球流通空間460a内で遊技球に種々の動きをさせることができ、遊技者を楽しませて興趣の高められるものとすることができる。

【0644】

また、第一演出樋470に供給される遊技球の運動エネルギーを減衰させる隔壁部466の凹部466c等で減衰させるようにしており、第一演出樋470に供給される遊技球の運動エネルギーを小さくすることができるので、遊技球が第一演出樋470と接触しても、その衝撃を可及的に小さくすることができ、第一演出樋470が破損するのを防止することができる。また、遊技球の接触による衝撃を可及的に小さくすることができるので、第一演出樋470や第一演出樋470に遊技球を供給するための球放出部材468に強度の弱い透明なものをを用いることが可能となり、第一演出樋470等の意匠性や装飾性を

10

20

30

40

50

より高めて、遊技者の興趣を高められるものとすることができる。

【0645】

また、少なくとも始動口や入賞口等に遊技球が受入れられると、球払出装置170によって所定数の遊技球が払出されるので、始動口や入賞口等を狙った遊技球の打ち込み操作を積極的に行わせて興趣の高められるものとすることができる。

【0646】

更に、特別遊技状態が発生すると第一大入賞口398aが所定のパターンで受入可能と受入不能とを繰り返すので、特別遊技状態が発生することで、遊技球の打ち込み操作が第一大入賞口398aを狙った単調な操作となって飽き易くなっても、第一大入賞口398aに受入れられた遊技球が演出用役物430の球流通空間460a内で種々の動きをすることによって遊技者を楽ませることができ、遊技に飽き難くして興趣が低下するのを防止することができる。

10

【0647】

また、特別遊技状態が発生すると、演出用役物430の球流通空間460aが遊技者から視認可能となるようにしているので、球流通空間460aが視認可能となることで特別遊技状態が発生したことを認識させることができると共に、これまで視認不能であった球流通空間460aが視認可能となることで、遊技者の関心を球流通空間460aに向けさせることができ、球流通空間460a内を流通する遊技球の動きを楽ませることができる。

【0648】

20

更に、球流通空間460aの第一演出樋470によって振分けられる演出口476、480によって、あたかも遊技制御に影響を与えているかのような遊技とすることができ、その際に、演出表示装置115に、近接配置された第一の演出口476及び第二の演出口480が、どのような特典（例えば、「大当り」、「ハズレ」、等）を付与する演出口なのかを指し示す画像を表示することができるので、その表示により第一演出樋470での遊技球の振分に対する期待感をより高めることができ、例えば、特別遊技状態の発生中のある段階で遊技球が当たりの演出口（第一の演出口476又は第二の演出口480の何れかの演出口）に振分けられた場合は、あたかも特別遊技状態が延長されたように錯覚させたり、或いは、特別遊技状態の終了間直の段階で遊技球が当たりの演出口に振分けられた場合は、あたかも確変遊技状態が発生したかのように錯覚させたりすることができ、特別遊技状態の発生中に球流通空間460aへの関心をより高められると共に、球流通空間460a内での遊技球の動き、特に、第一演出樋470により振分けられる動きによりハラハラ、ドキドキさせて興趣の高められるものとすることができる。

30

【0649】

以上、本発明について好適な実施形態を挙げて説明したが、本発明はこれらの実施形態に限定されるものではなく、以下に示すように、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、種々の改良及び設計の変更が可能である。

【0650】

すなわち、上記の実施形態では、遊技機としてパチンコ遊技機1を示したが、パチンコ機以外の遊技機、例えば、スロットマシンや、パチンコ機とスロットマシンとを融合させてなる遊技機等であっても本発明を適用することができる。

40

【図面の簡単な説明】

【0651】

【図1】パチンコ機の外枠の一侧に本体枠が開かれその本体枠の一侧に前面枠が開かれた状態を示す斜視図である。

【図2】パチンコ機の前側全体を示す正面図である。

【図3】パチンコ機の本体枠と遊技盤とを分離して斜め右上前方から示す斜視図である。

【図4】パチンコ機の後側全体を示す背面図である。

【図5】パチンコ機の後側全体を右上後方から示す斜視図である。

【図6】図5に示すパチンコ機の斜視図から後カバー一体および各種制御基板等を取り外し

50

た状態を示す斜視図である。

【図 7】パチンコ機の本体枠に各種部材が組み付けられた状態を斜め右上後方から示す斜視図である。

【図 8】本体枠単体を斜め右上後方から示す斜視図である。

【図 9】各種の制御基板ボックスが装着された遊技盤を右下後方から示す斜視図である。

【図 10】遊技領域を有した遊技盤の構成を示す拡大正面図である。

【図 11】遊技盤を斜め前方から示す斜視図である。

【図 12】遊技盤を主要な構成部品毎に分解して斜め前方から示す斜視図である。

【図 13】遊技盤を主要な構成部品毎に分解して斜め後方から示す斜視図である。

【図 14】遊技盤を斜め前方から示す斜視図であって、装飾カバーを取り外すことによって第一ワープおよび第二ワープを視認可能とした斜視図である。 10

【図 15】第一ワープおよび第二ワープの周辺の構成を示す斜視図である。

【図 16】光透過部材と第一ワープおよび第二ワープとの位置関係を示した図である。

【図 17】図 16 とは異なる位置の光透過部材の構成を示す分解斜視図である。

【図 18】図 17 に係る光透過部材を含む断面図である。

【図 19】裏ユニットと演出表示装置とを組付けた状態で前方から示す斜視図である。

【図 20】図 19 を後方から示す斜視図である。

【図 21】裏ユニットを後方から示す斜視図である。

【図 22】演出表示装置の背面図である。

【図 23】裏ユニットと演出表示装置等とを分解して前方から示す斜視図である。 20

【図 24】演出用役物を含む遊技盤の構成を示す正面図である。

【図 25】遊技盤の後方に取り付けられる裏ユニットを、正面上前方から示す斜視図である。

【図 26】遊技盤の正面図である。

【図 27】図 26 における A - A 断面図である。

【図 28】裏ユニットを主要な部材毎に分解して前方から示す斜視図である。

【図 29】演出用役物に振分機構を備えた状態でフィギュアの正面から示す変則正面図である。

【図 30】演出用役物に振分機構を備えた状態で示す背面図である。

【図 31】図 30 における平面図である。 30

【図 32】図 30 における底面図である。

【図 33】演出用役物に振分機構を備えた状態で前方から示す斜視図である。

【図 34】演出用役物を主要な構成毎に分解して前方から示す斜視図である。

【図 35】役物回転体を示す斜視図である。

【図 36】役物回転体をフィギュアを正面として示す変則正面図である。

【図 37】役物回転体のフィギュア側を分解して示す斜視図である。

【図 38】役物回転体の装飾部材側を分解して示す斜視図である。

【図 39】役物回転体における第一演出樋の回動駆動機構を示す図である。

【図 40】図 31 における B - B 断面図である。

【図 41】図 31 における C - C 断面図である。 40

【図 42】図 26 における D - D 断面図である。

【図 43】演出用役物における遊技球の排出経路を説明するための分解斜視図である。

【図 44】第一開閉装置を左前方から示す斜視図である。

【図 45】第一開閉装置を右前方から示す斜視図である。

【図 46】第一開閉装置を分解して示す分解斜視図である。

【図 47】第一開閉装置、役物誘導路、振分機構および演出用役物を左上方から見た斜視図である。

【図 48】役物誘導路、振分機構および演出用役物の平面図であって、遊技球が振分機構によって振り分けられる態様を示す図である。

【図 49】図 48 に続く遊技球が振分機構によって振り分けられる態様を示す図である。 50

【図 5 0】図 4 9 に続く遊技球が振分機構によって振り分けられる態様を示す図である。

【図 5 1】制御構成を概略的に示すブロック図であって、主基板周辺の構成を主として示した図である。

【図 5 2】制御構成を概略的に示すブロック図であって、周辺基板周辺の構成を主として示した図である。

【図 5 3】主基板による抽選および周辺基板による特別演出に拘わる機能的な構成を概略的に示す機能ブロック図である。

【図 5 4】演出用役物の役物回転体の内部構成を示す正面図であって、(a) は第一演出樋が第一の演出口に向けて下方に傾斜していることを示す図であり、(b) は第一演出樋が第二演出樋誘導口に向けて下方に傾斜していることを示す図である。

10

【図 5 5】演出用役物と関連した演出画像の一例を示す説明図である。

【符号の説明】

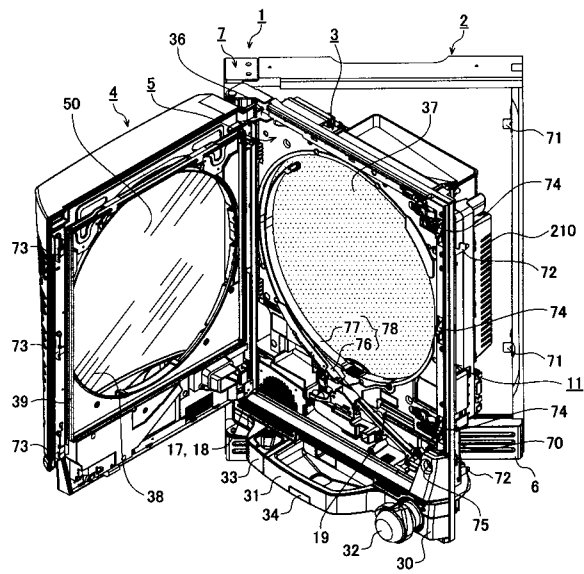
【 0 6 5 2 】

1	パチンコ機	
5	遊技盤	
3 7	遊技領域	
5 0	透明板	
1 1 5	演出表示装置 (演出表示手段)	
1 3 1	主制御基板	
1 7 0	球払出装置 (払出手段 , 特典付与手段)	20
2 6 4	貫通孔 (透過部)	
2 6 6	遊技盤ベース	
2 7 0	裏ユニット	
3 0 0	センター役物	
3 7 9	電飾部材	
3 8 0	光源	
3 8 2	ベース	
3 8 4	L E D (枠状装飾体用発光手段)	
3 8 6	装飾カバー (枠状装飾体)	
3 9 0	第一始動口 (始動口)	30
3 9 2	第二始動口 (始動口)	
3 9 4	第三始動口 (始動口)	
3 9 8 a	第一大入賞口 (受入口)	
4 1 0	裏箱 (支持部材)	
4 1 0 a	回転体中継基板固定部	
4 1 2	開口部	
4 1 4	着脱溝	
4 1 6	着脱レバー	
4 1 6 a	ツマミ部	
4 1 6 b	開放部	40
4 1 8	着脱機構	
4 2 0	着脱突起	
4 2 2	着脱係止部	
4 2 4	演出用役物裏球経路上部材 (固定部材)	
4 2 6	演出用役物裏球経路下部材 (遊技媒体排出部材)	
4 3 0	演出用役物 (特別役物)	
4 3 2	役物回転体 (特別役物)	
4 3 4	フィギュア	
4 3 8	振分機構 (貯留振分手段)	
4 4 6	演出用役物ベース (役物支持ベース)	50

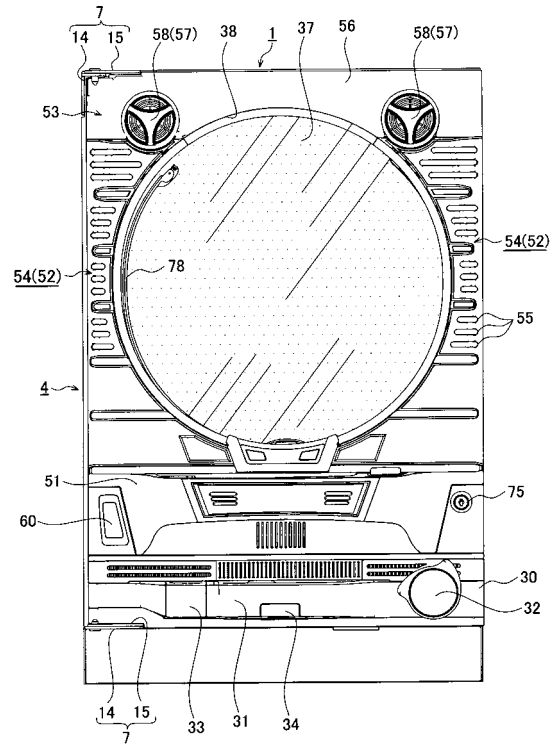
4 4 8	回転駆動ユニット（特別役物移動手段）	
4 5 0	第一閉鎖部材（閉鎖部材）	
4 5 0 a	切欠き部	
4 5 0 b	スリット	
4 5 2	第二閉鎖部材（閉鎖部材）	
4 5 2 a	円筒部	
4 5 2 b	平坦部	
4 5 2 c	湾曲部	
4 5 2 d	光入射部	
4 5 2 e	第一光誘導部	10
4 5 2 f	第二光誘導部	
4 5 2 g	光放射部	
4 5 4	光源	
4 5 6	LED（棒状装飾体用発光手段）	
4 5 8	光源基板	
4 6 0	役物回転体本体	
4 6 0 a	球流通空間（流通空間）	
4 6 2	天板部	
4 6 2 b	長孔（連通孔）	
4 6 4	底板部	20
4 6 4 b	通孔	
4 6 6	隔壁部	
4 6 6 c	凹部（エネルギー減衰手段）	
4 7 0	第一演出樋（演出樋、振分手段）	
4 7 2	第二演出樋（誘導樋）	
4 7 6	第一の演出口（第一排出口）	
4 7 8	第二演出樋誘導口（誘導受部）	
4 8 0	第二の演出口（第二排出口）	
4 8 4	球振分部モータ（回転駆動手段）	
4 9 0	カバーレンズ	30
4 9 0 a	カバー部	
4 9 0 b	底部	
4 9 0 c	光入射部	
4 9 0 d	第一光誘導部	
4 9 0 e	第二光誘導部	
4 9 0 f	光放射部	
4 9 2	回動駆動機構（回転傾動手段、振分手段）	
4 9 4	第一リンク部材（第一伝達部材）	
4 9 4 a	スリット（係合部）	
4 9 6	第二リンク部材（第二伝達部材）	40
4 9 6 a	ピン（被係合部）	
4 9 8	検知片（回転位置検知手段）	
4 9 8 a	逃し部	
5 0 0	球振分部モータセンサ（検知センサ，回転位置検知手段）	
5 0 2	装飾部材（発光装飾体）	
5 0 4	装飾レンズ	
5 0 6	拡散レンズ	
5 0 6 a	光放射部	
5 0 6 b	光反射部	
5 0 6 c	光入射部	50

5 0 6 d	開口部	
5 0 8	基板	
5 1 0	L E D (役物装飾用発光手段)	
5 1 2	光源基板	
5 2 0	L E D (フィギュア用発光手段)	
5 2 2	接続コネクタ (役物接続部)	
5 3 6	ベース天板部	
5 3 6 a	上部球誘導路 (排出誘導路)	
5 3 6 b	落下口	
5 3 8	ベース底板部	10
5 4 0	ベース外周壁部	
5 4 0 a	第一排出受入口	
5 4 0 b	第二排出受入口	
5 4 2	球排出流路 (第一排出流路)	
5 4 4	演出球排出流路 (第二排出流路)	
5 4 6	球排出流路センサ (排出誘導センサ)	
5 4 8	第一演出球排出流路センサ (第一排出センサ)	
5 5 0	第二演出球排出流路センサ (第二排出センサ)	
5 5 2	ソレノイド (貯留部駆動手段)	
5 5 2 a	プランジャー	20
5 5 4	遊技球保持部材	
5 5 4 a	収容凹部 (貯留部)	
5 5 4 b	延出部	
5 7 2	第一大入賞口カウントセンサ (受入検出手段)	
6 0 0	主基板	
7 0 0	第一特別図柄抽選手段 (抽選手段)	
7 1 0	第二特別図柄抽選手段 (抽選手段)	
7 3 0	特別遊技状態発生手段 (有利遊技状態発生手段 , 特典付与手段)	

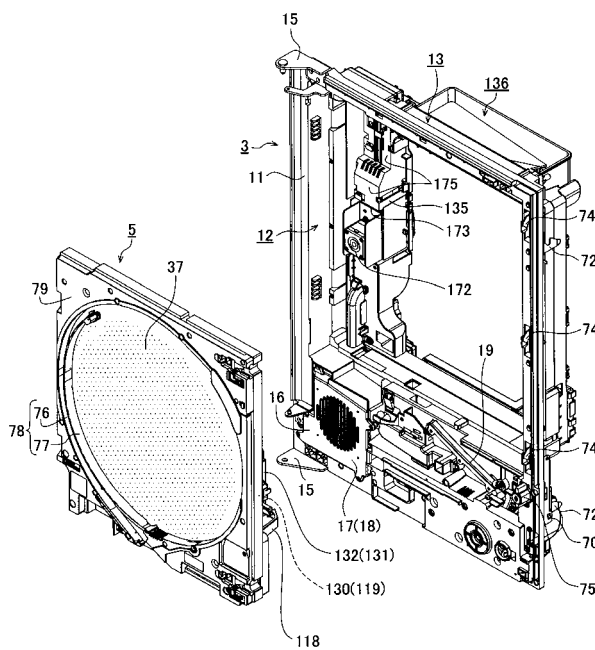
【図 1】



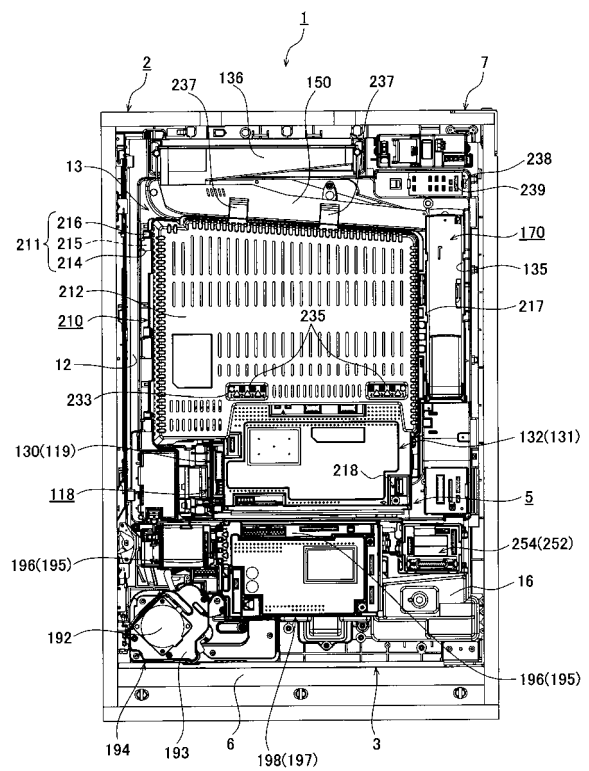
【図 2】



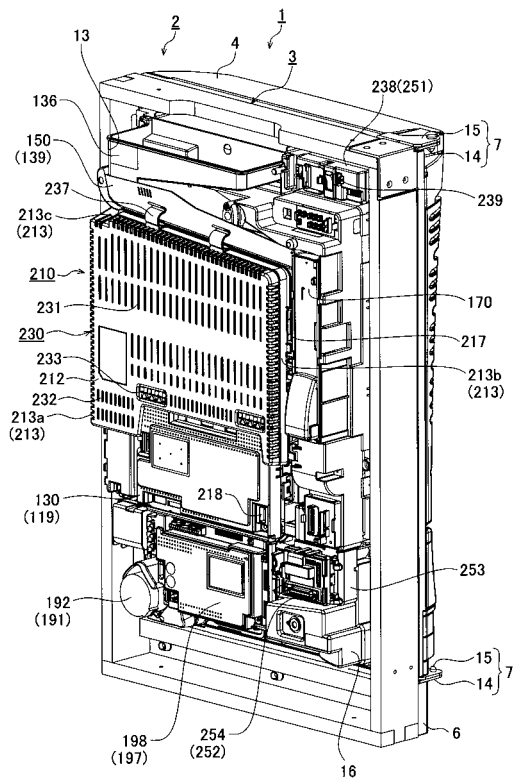
【図 3】



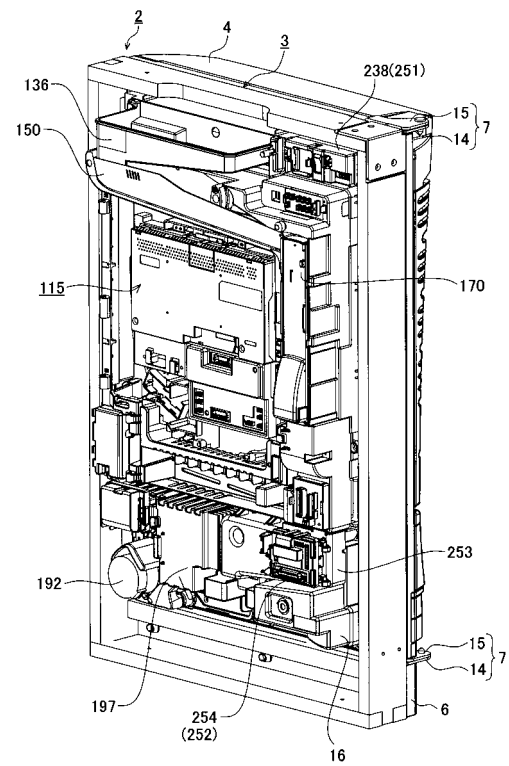
【図 4】



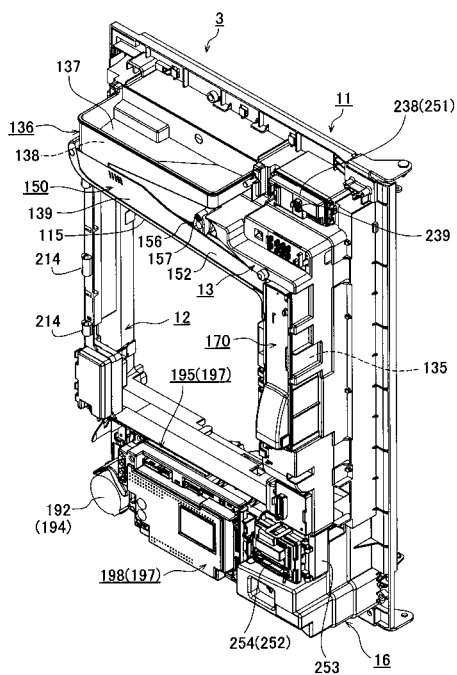
【図 5】



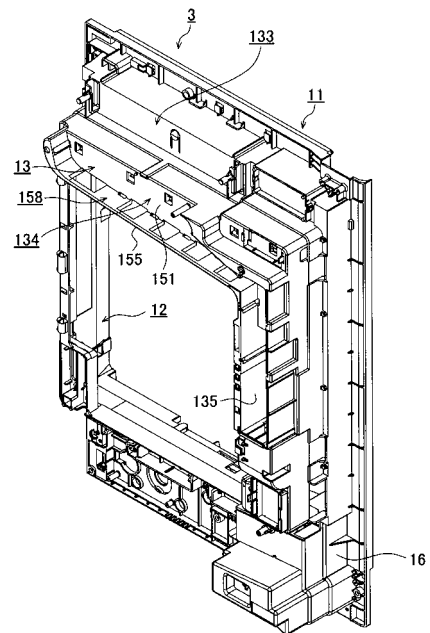
【図 6】



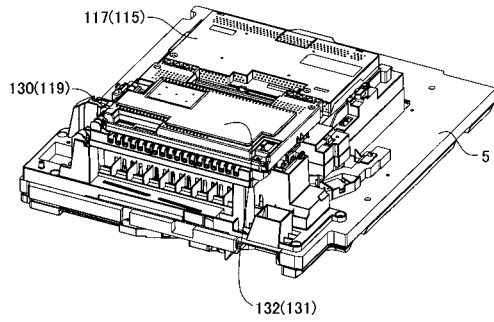
【図 7】



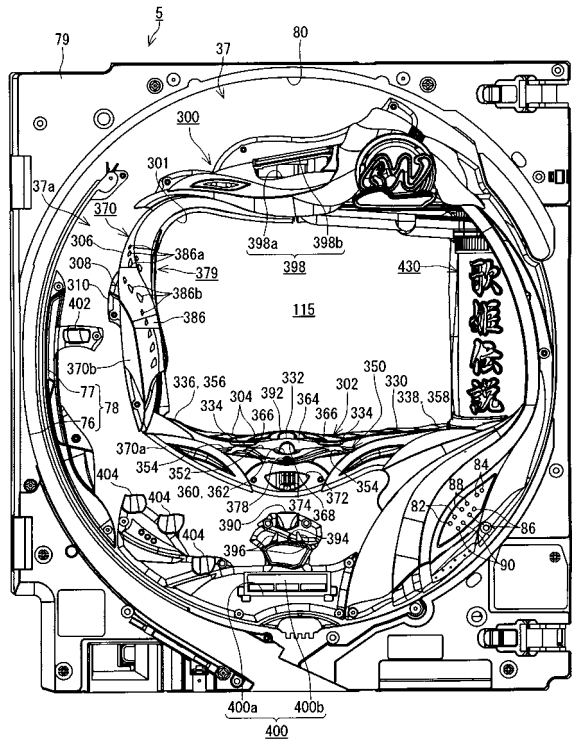
【図 8】



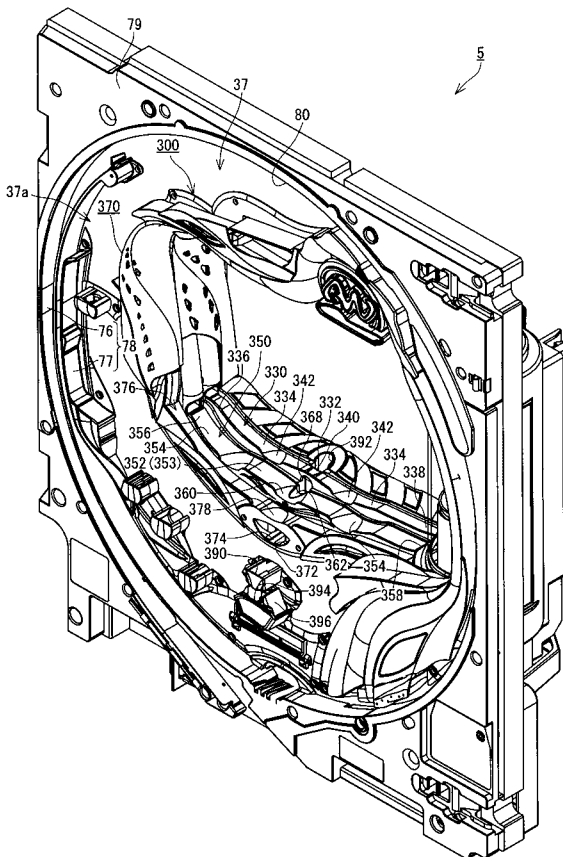
【 図 9 】



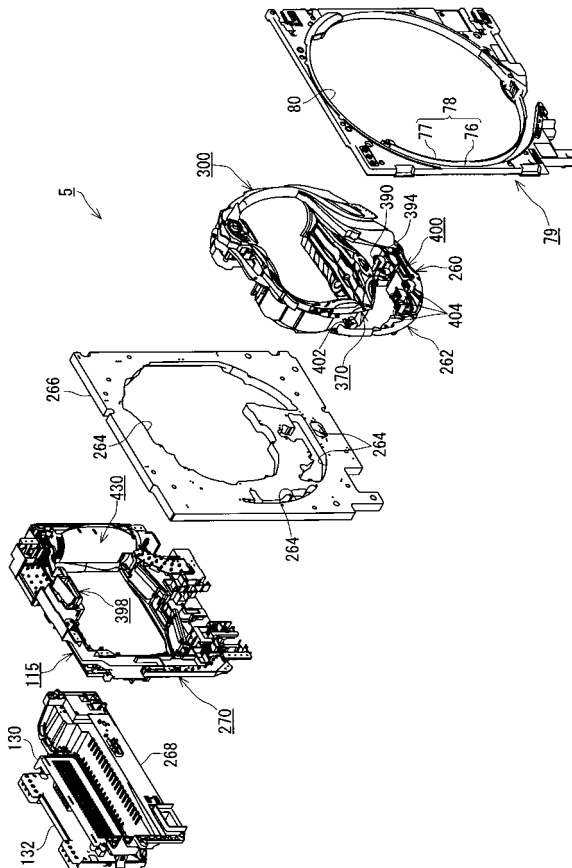
【 図 1 0 】



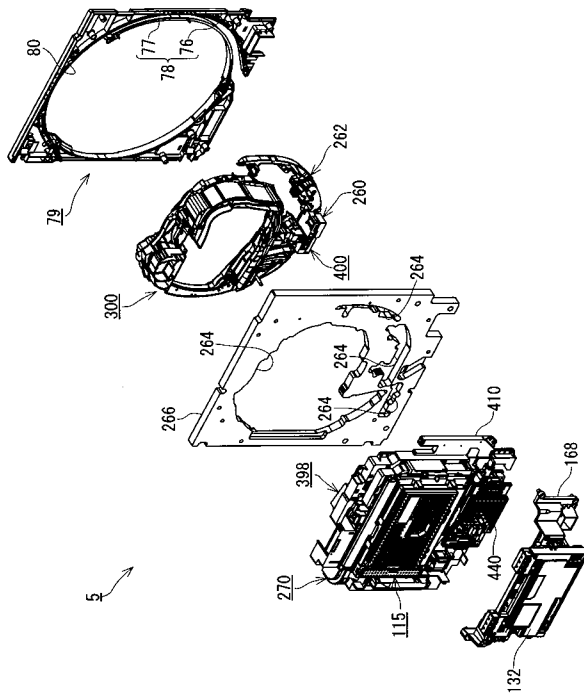
【 図 1 1 】



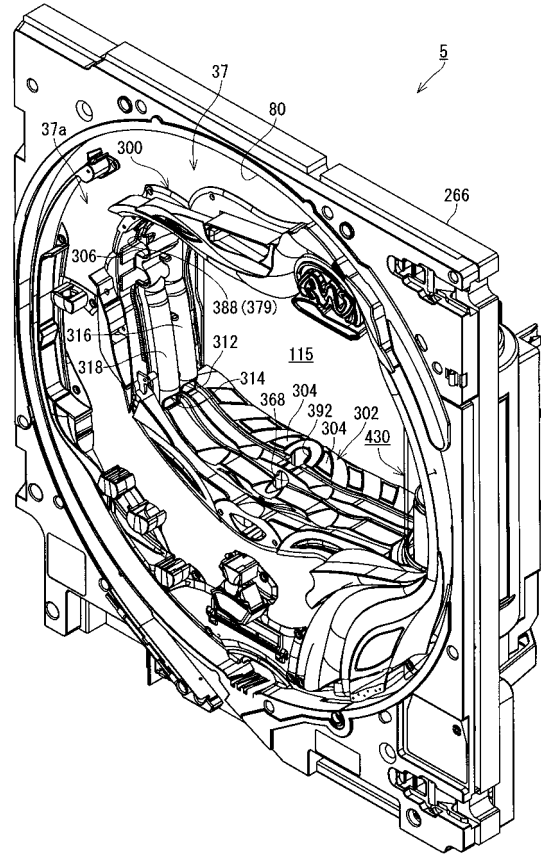
【 図 1 2 】



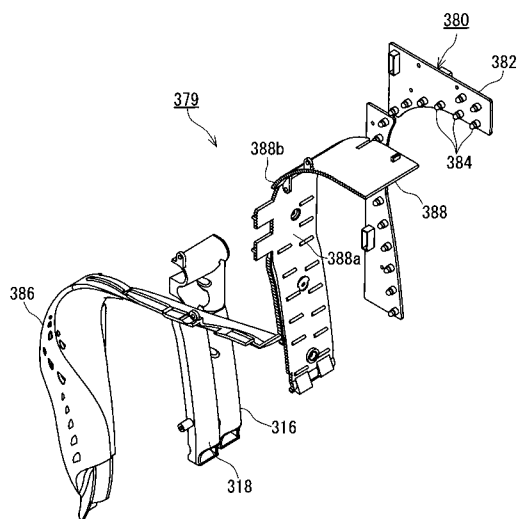
【図 13】



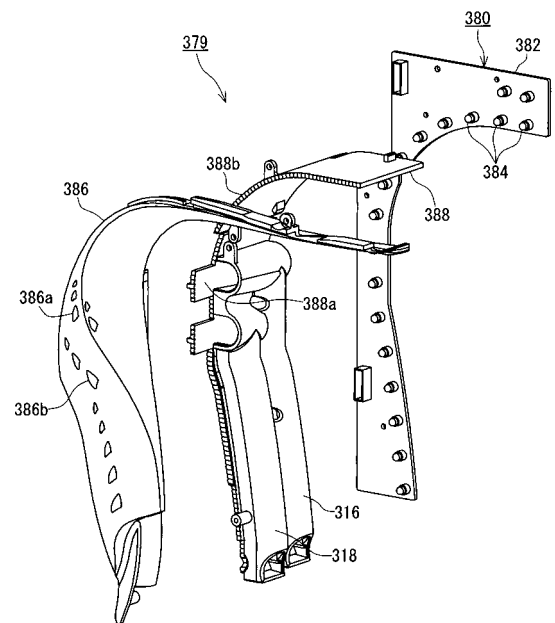
【図 14】



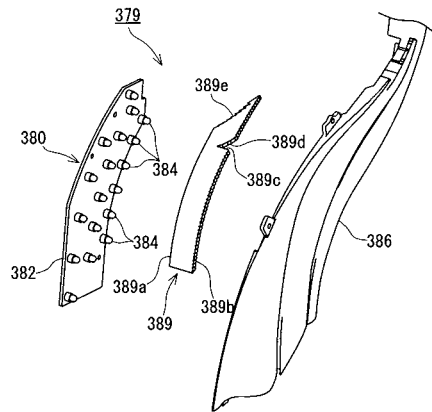
【図 15】



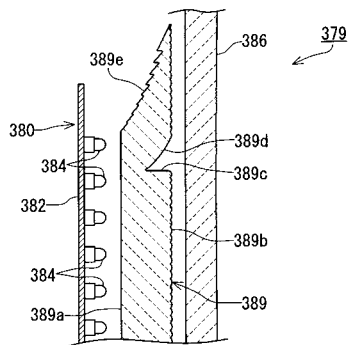
【図 16】



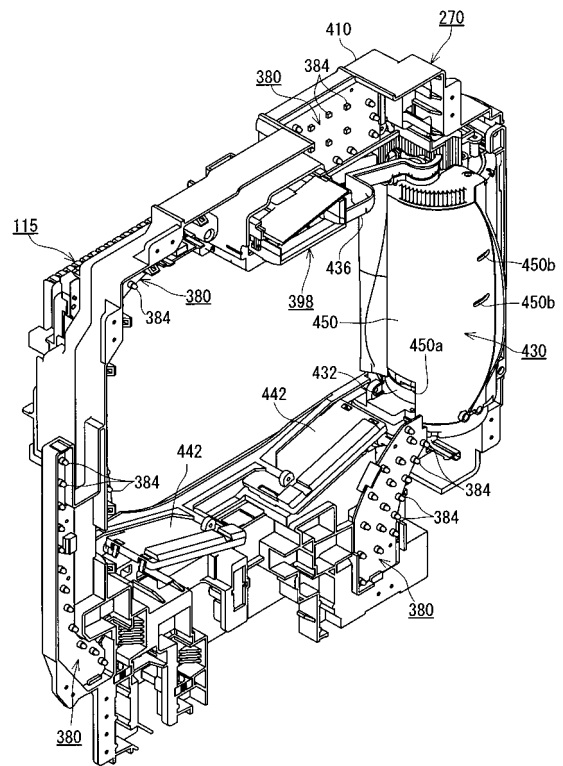
【図 17】



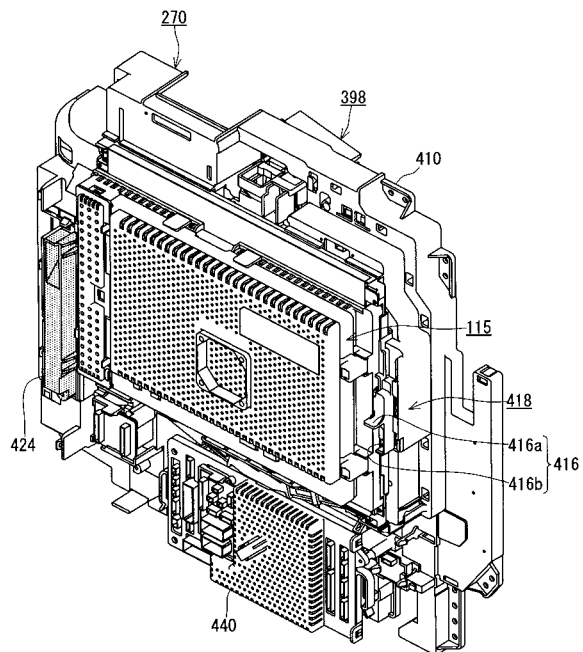
【図 18】



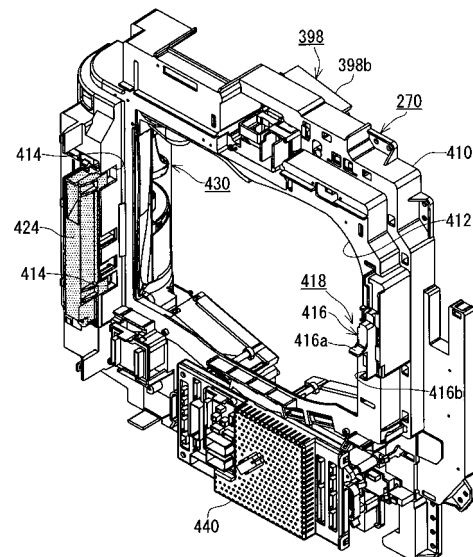
【図 19】



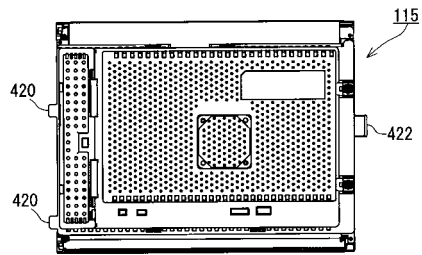
【図 20】



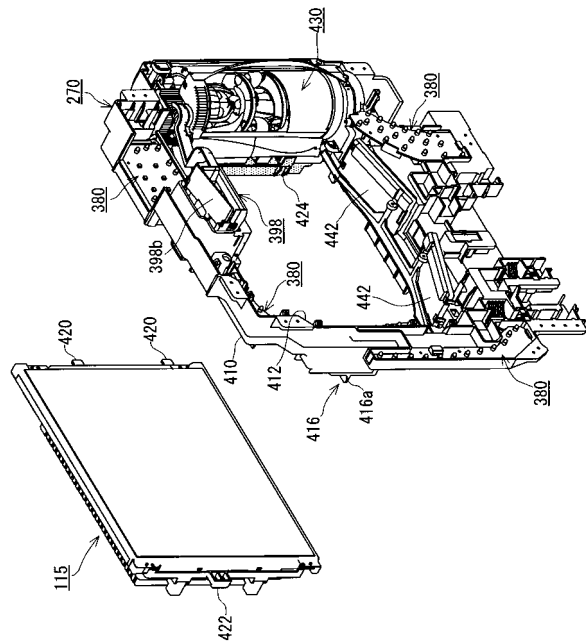
【図 21】



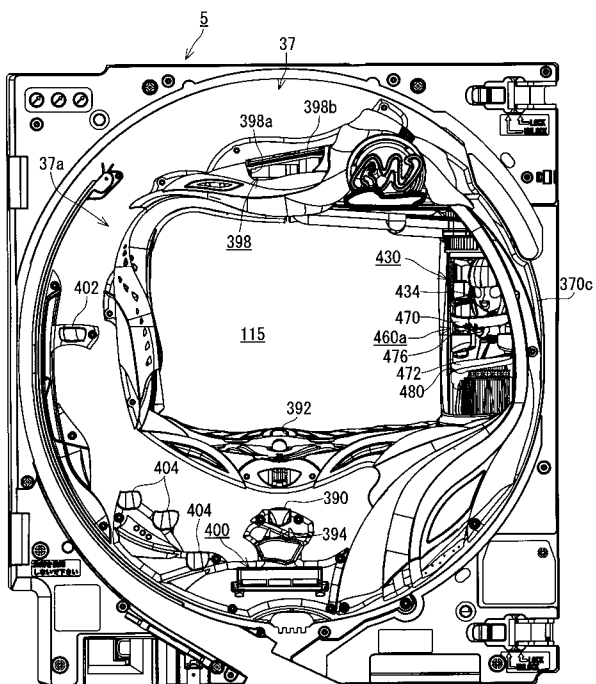
【図 22】



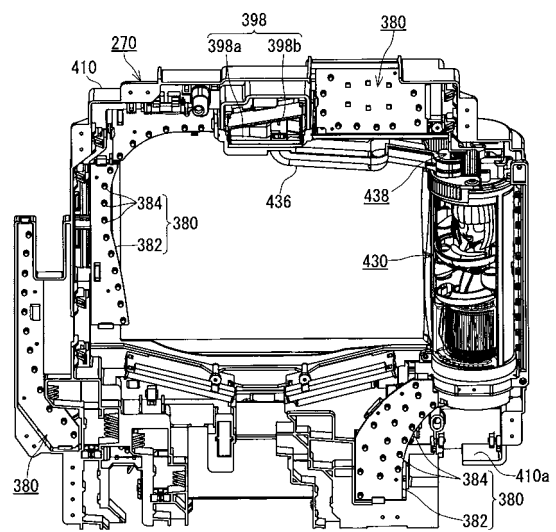
【図 23】



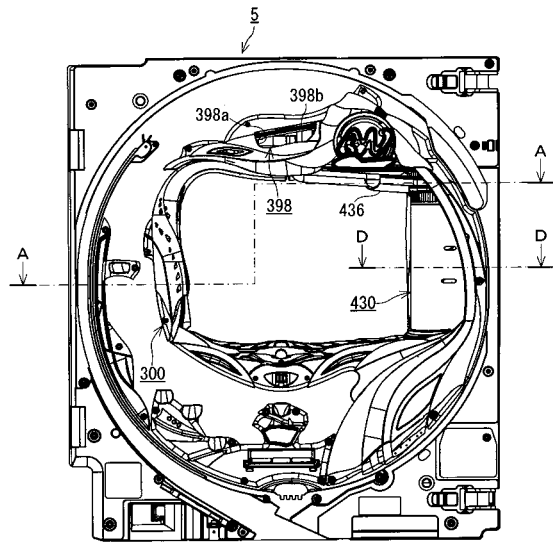
【図 24】



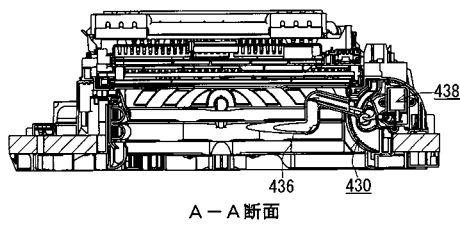
【図 25】



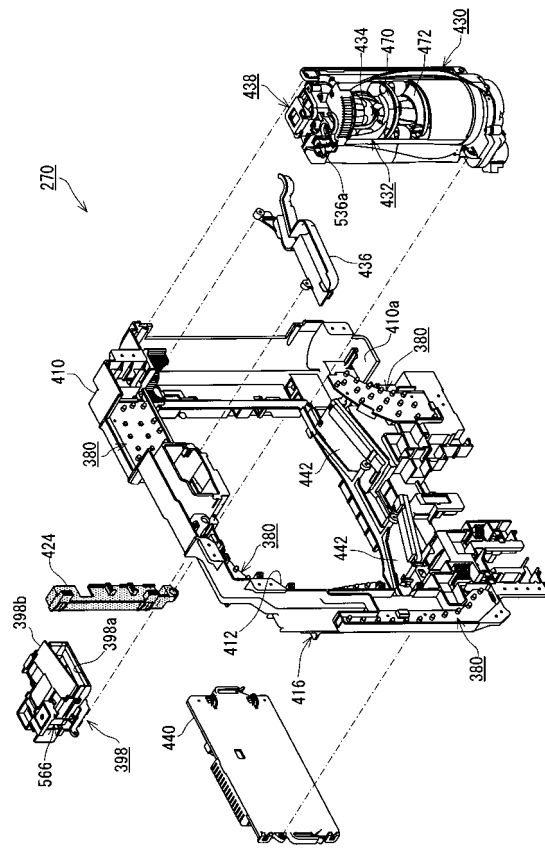
【図 26】



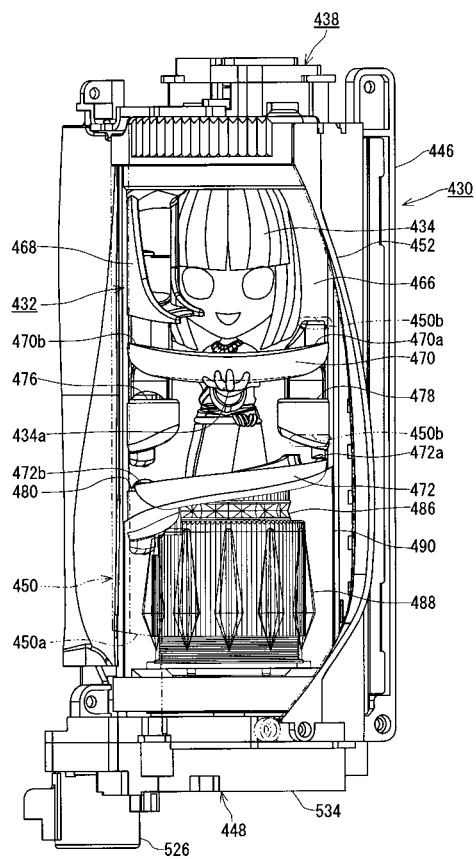
【図 27】



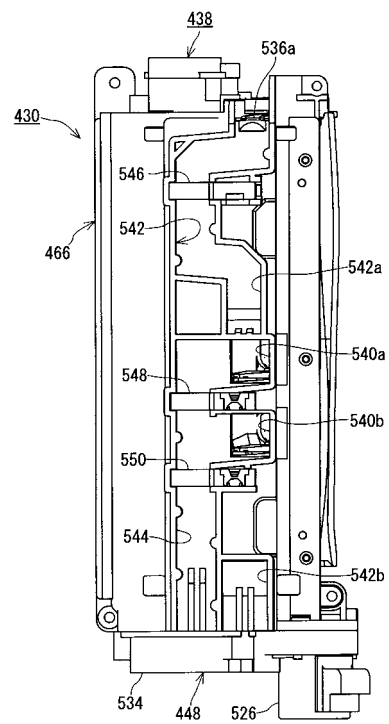
【図 28】



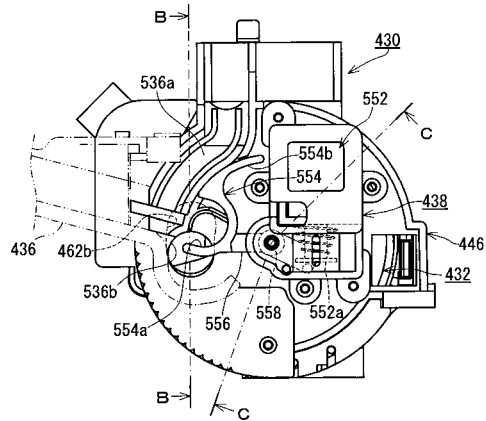
【図 29】



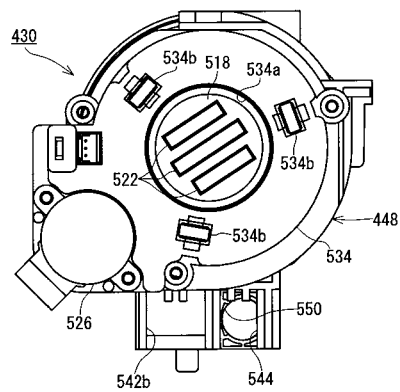
【図 30】



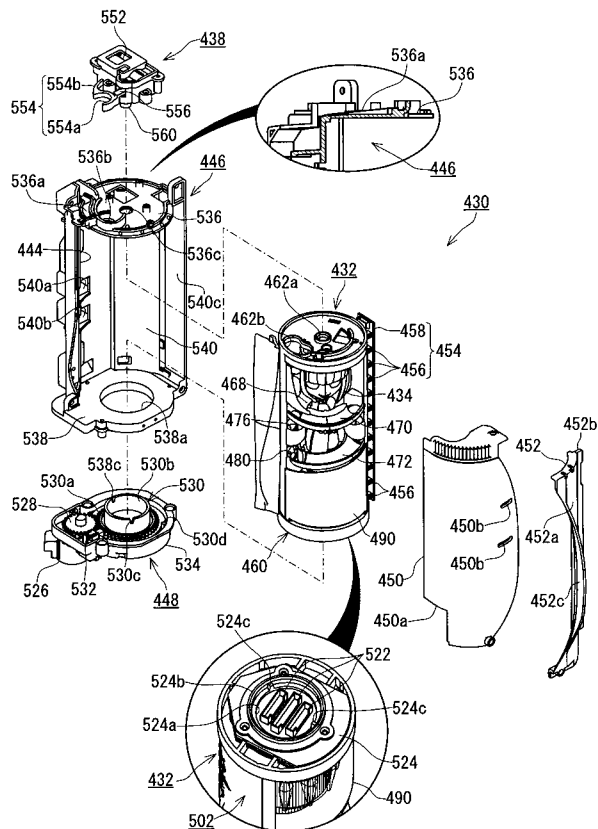
【図 3 1】



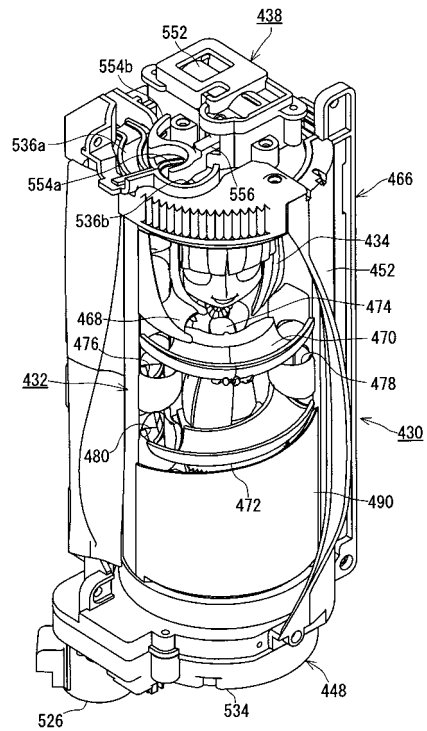
【図 3 2】



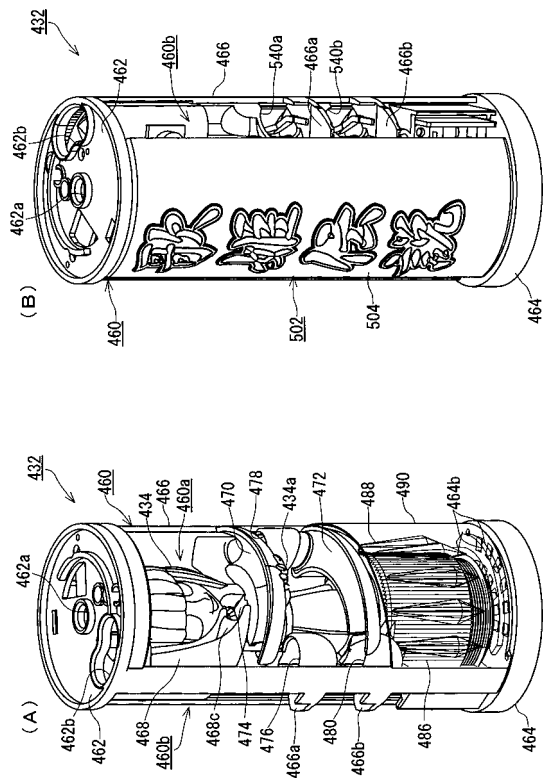
【図 3 4】



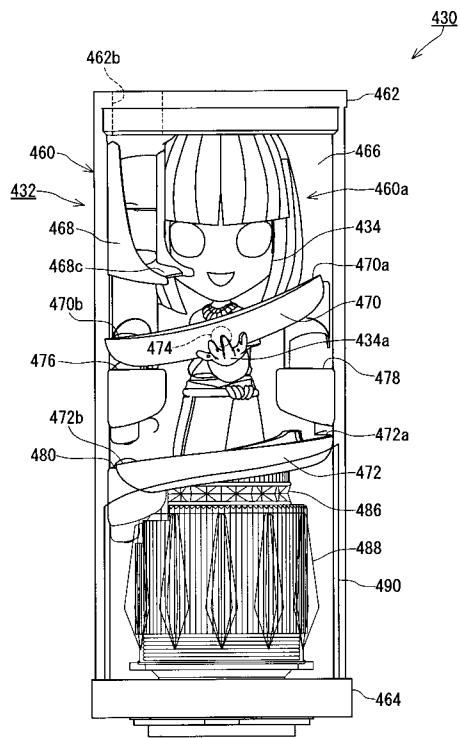
【図 3 3】



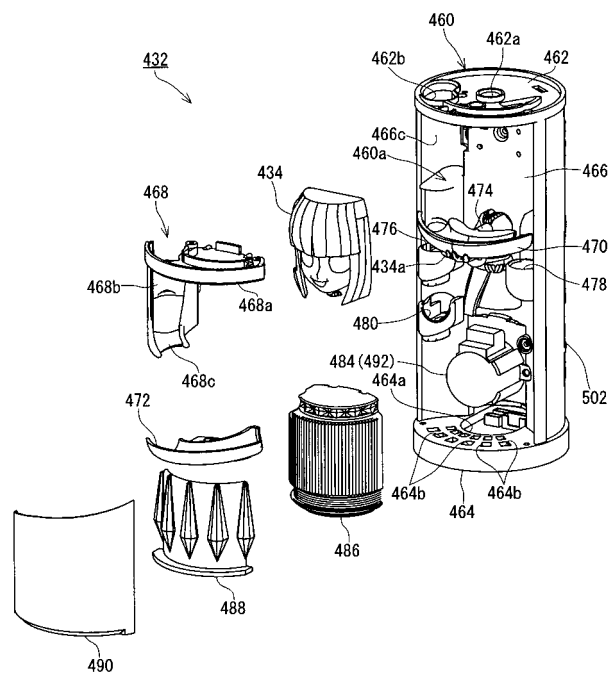
【図 3 5】



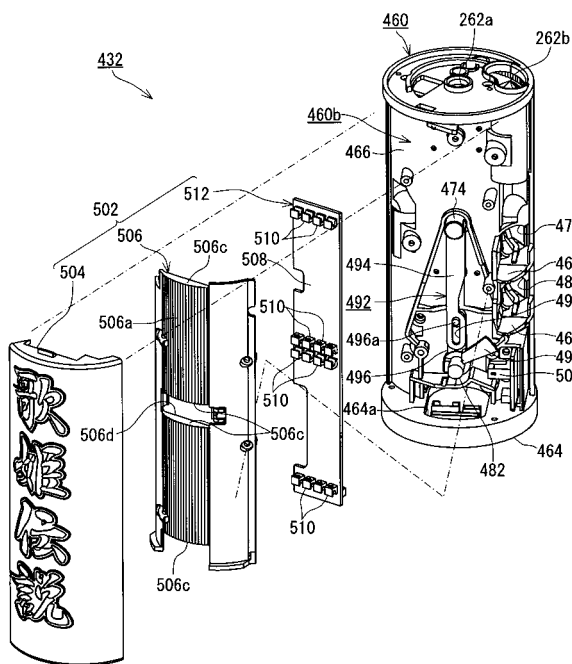
【図 36】



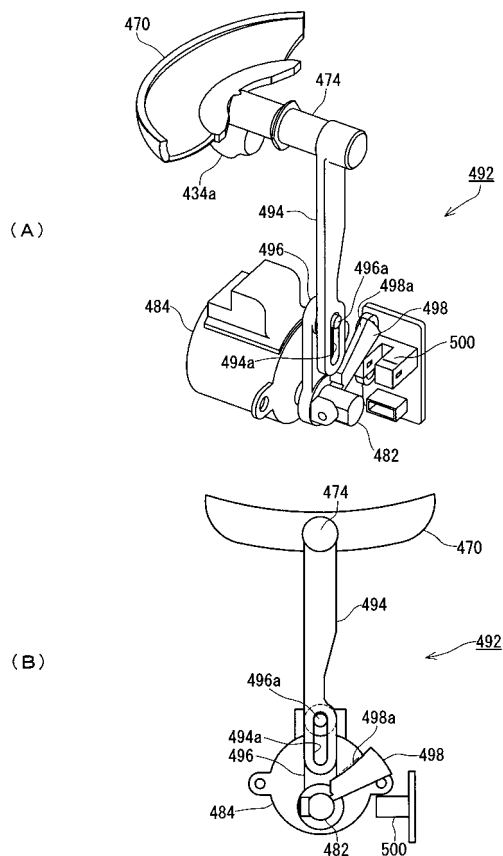
【図 37】



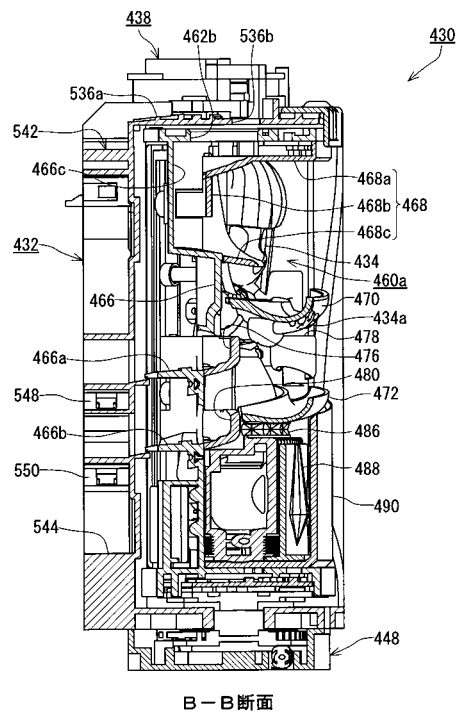
【図 38】



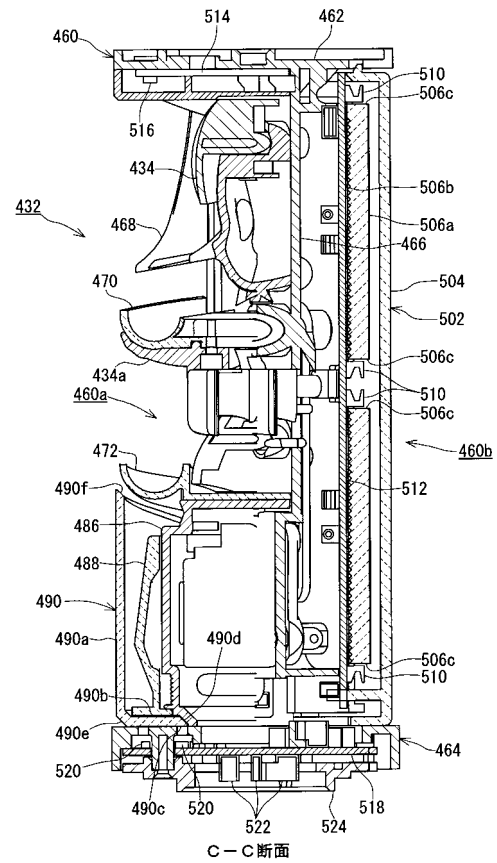
【図 39】



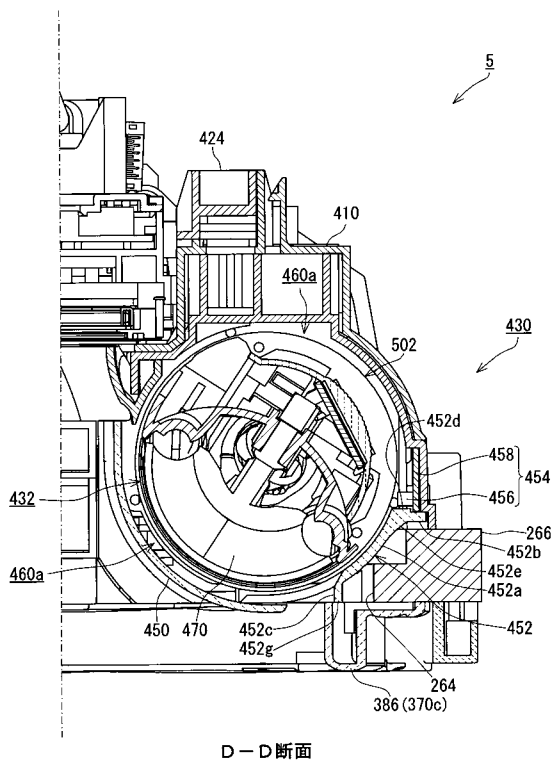
【図 40】



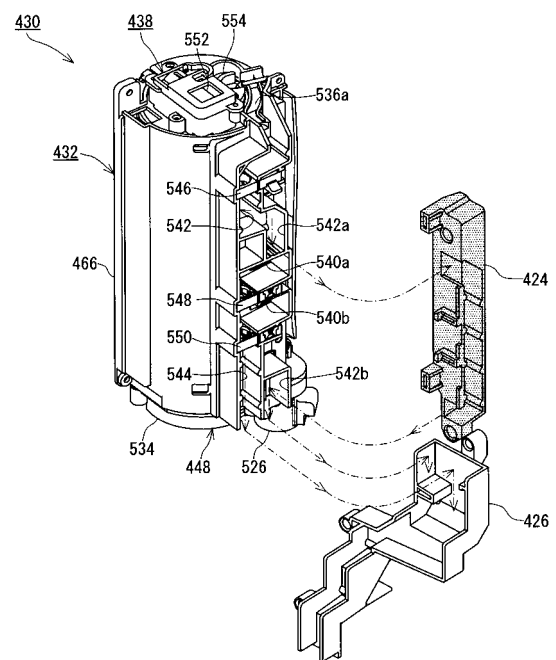
【図 41】



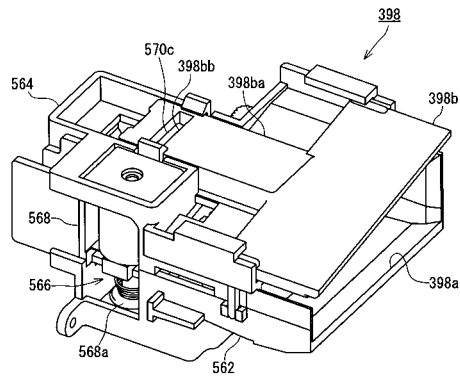
【図 42】



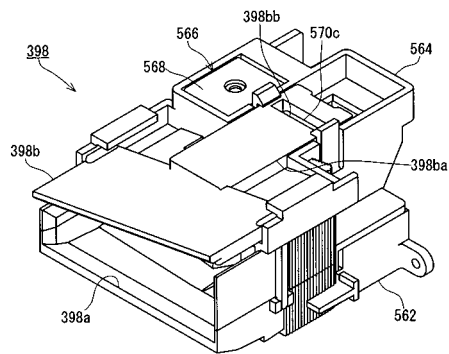
【図 43】



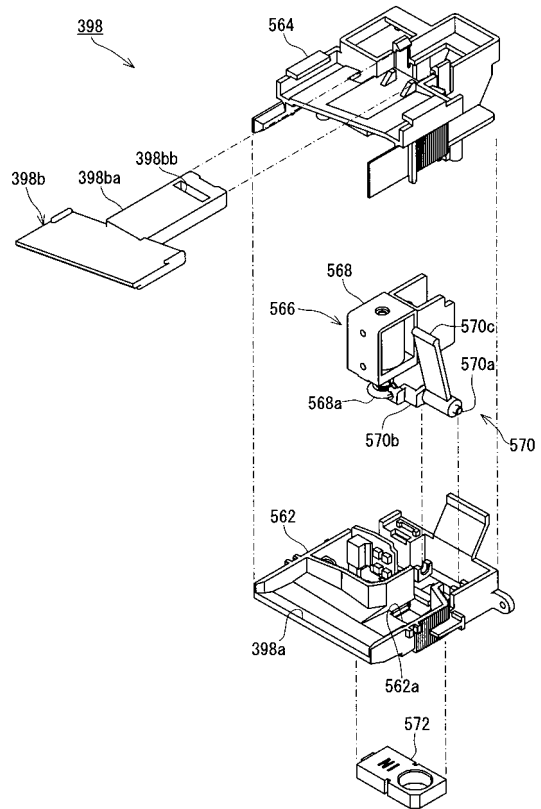
【図 44】



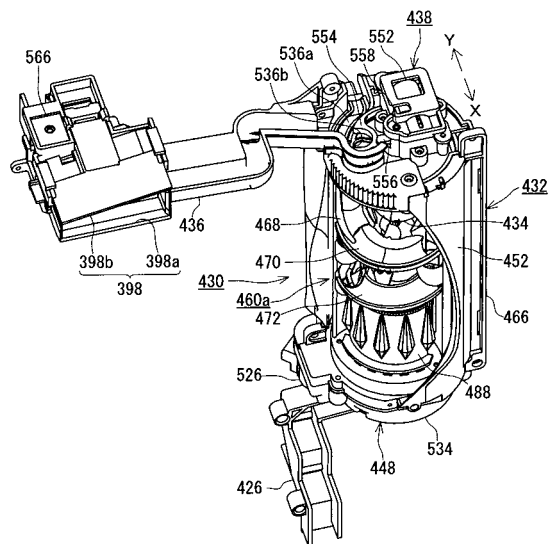
【図 45】



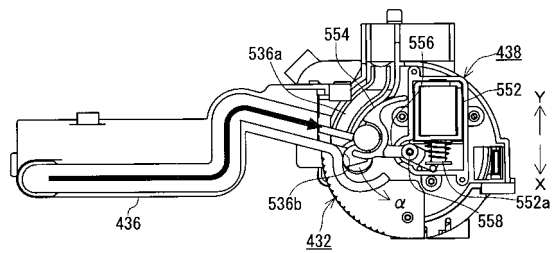
【図 46】



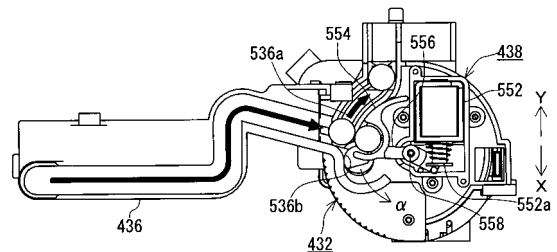
【図 47】



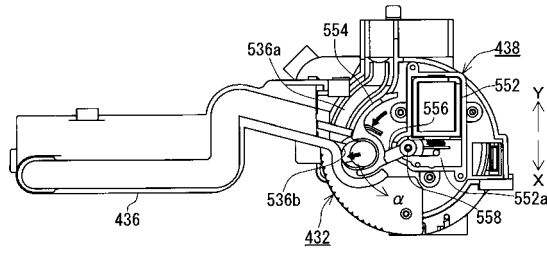
【図 48】



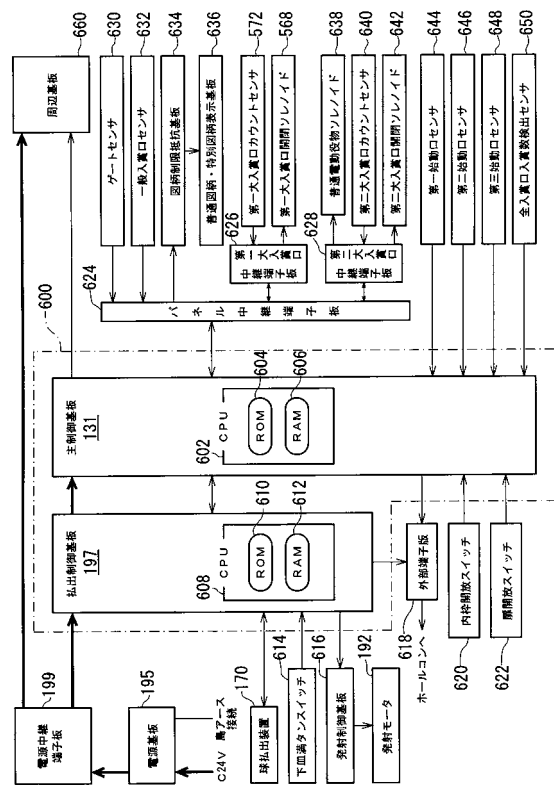
【図 49】



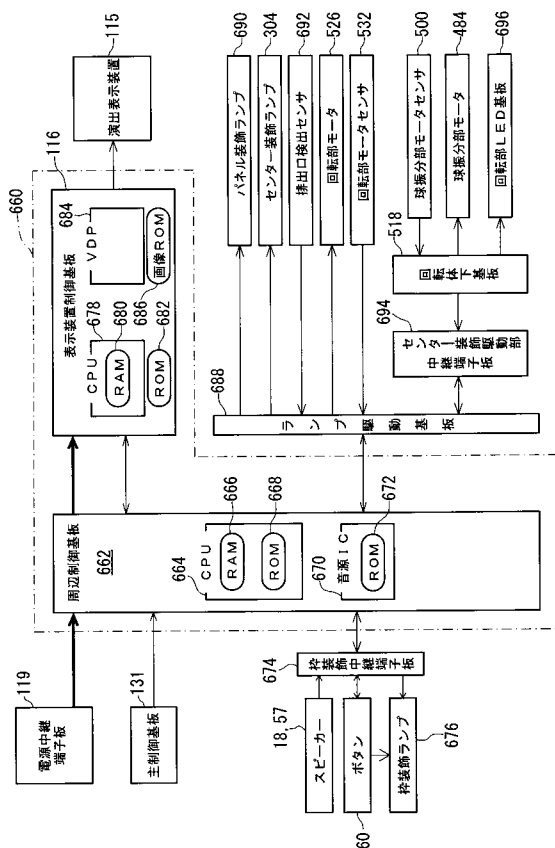
【図50】



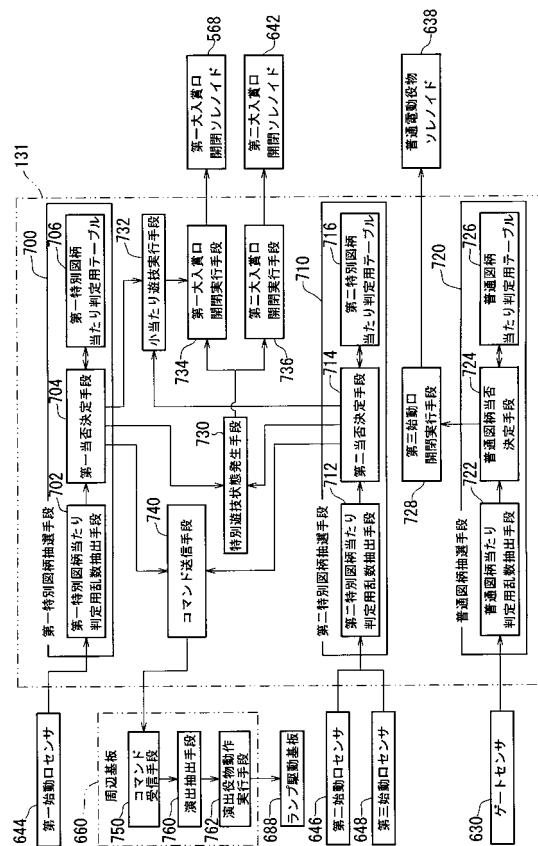
【図51】



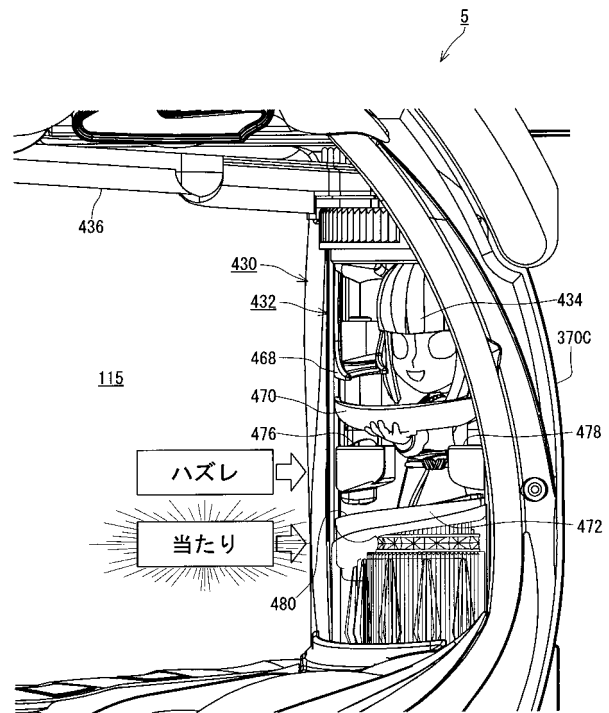
【図52】



【図53】



【 図 5 5 】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2005-58280(JP,A)
特開平6-225966(JP,A)
特開2004-24328(JP,A)
特開2004-173976(JP,A)
特開2003-284826(JP,A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A63F 7/02